

令和6年度決算に係る行政報告書

(主要な施策の成果を説明する書類)

令和7年8月

埼玉県加須市

この報告書は、地方自治法第 233 条及び加須市予算規則第 29 条に基づき、令和 6 年度決算に係る主要な施策の成果を説明する書類として作成したものである。

当該決算年度に、どういう予算に基づいて、何にどう取り組み、結果としてどんな事業実績や成果をあげることができたか等について、原則として職員人件費を除くすべての予算事業について、具体的な数値等で、より見やすく分かりやすくとりまとめた。

なお、成果を数値化できないもの等については、事業を行うに当たり、特に意を用いたことや改善したこと等を記載するように努めた。

また、ゼロ予算事業として、予算措置は伴わないものの職員の創意工夫や市民の皆さんとのパートナーシップなどにより市民サービスを向上させる事業についての実績・成果も同様にとりまとめた。

表記について

主な事業の実績・成果については、過去 5 年分の実績も合わせて表に掲載し、より分かりやすくデータ化した。

目 次

I	財政の状況（一般会計）		
1	歳入		1
2	歳出		2
3	収支		5
4	市税		6
5	地方債等（一般会計・全会計）		7
6	財政構造（普通会計）		11
7	地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他 社会保障施策に要した経費		12
8	森林環境譲与税の使途		14
II	一般会計の状況（主要な事業の実績・成果 予算科目別）		
1 款	議会費	1 項 議会費	17
2 款	総務費	1 項 総務管理費	22
2 款	総務費	2 項 徴税費	144
2 款	総務費	3 項 戸籍住民基本台帳費	151
2 款	総務費	4 項 選挙費	158
2 款	総務費	5 項 統計調査費	161
2 款	総務費	6 項 監査委員費	167
3 款	民生費	1 項 社会福祉費	168
3 款	民生費	2 項 児童福祉費	238
3 款	民生費	3 項 生活保護費	290
3 款	民生費	4 項 災害救助費	294
4 款	衛生費	1 項 保健衛生費	296
4 款	衛生費	2 項 清掃費	359
4 款	衛生費	3 項 水道費	368
5 款	労働費	1 項 労働諸費	369
6 款	農林水産業費	1 項 農業費	377
7 款	商工費	1 項 商工費	429
8 款	土木費	1 項 土木管理費	455
8 款	土木費	2 項 道路橋りょう費	459
8 款	土木費	3 項 河川費	473
8 款	土木費	4 項 都市計画費	475
8 款	土木費	5 項 住宅費	495
9 款	消防費	1 項 消防費	497
10 款	教育費	1 項 教育総務費	521
10 款	教育費	2 項 小学校費	543
10 款	教育費	3 項 中学校費	550
10 款	教育費	4 項 幼稚園費	558
10 款	教育費	5 項 社会教育費	561
10 款	教育費	6 項 健康スポーツ費	598
10 款	教育費	7 項 学校給食費	616
11 款	公債費	1 項 公債費	619
12 款	予備費	1 項 予備費	620
III	特別会計の状況		
	国民健康保険事業		623
	国民健康保険直営診療所		631
	後期高齢者医療		632
	介護保険事業		635
	野中土地区画整理事業		646
	河野博士育英事業		649
IV	ゼロ予算事業の状況（実績・成果 部課順）		
			653

Ⅴ (巻末資料) 物価高騰に係る対応の説明

令和6年度決算 物価高騰に係る対応に要した経費				705
.....				
i	一般会計の状況			
2款	総務費	1項	総務管理費	709
3款	民生費	1項	社会福祉費	710
3款	民生費	2項	児童福祉費	711
4款	衛生費	3項	水道費	713
6款	農林水産業費	1項	農業費	714
7款	商工費	1項	商工費	715
10款	教育費	7項	学校給食費	716
ii	特別会計の状況			
	【参考】水道事業			721

I 財政の状況（一般会計）

1 歳入

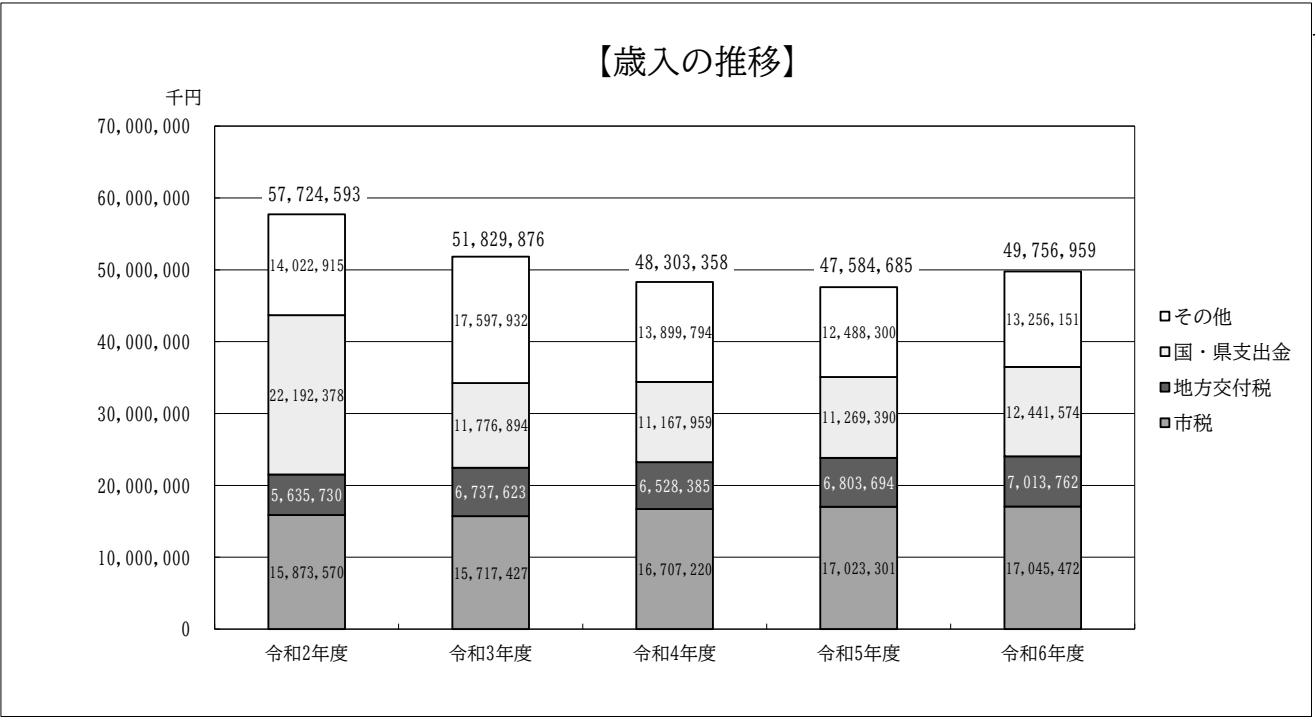
区 分	令和6年度					令和5年度				
	決算額	構成比 (%)	前年比		人口一人 当たり額 (円)	決算額	構成比 (%)	前年比		人口一人 当たり額 (円)
			増減額 (千円)	増減率 (%)				増減額 (千円)	増減率 (%)	
市 税	17,045,472	34.3	22,171	0.1	152,409	17,023,301	35.8	316,081	1.9	151,838
地 方 譲 与 税	534,666	1.1	75	0.0	4,781	534,591	1.1	6,617	1.3	4,768
利 子 割 交 付 金	6,501	0.0	1,687	35.0	58	4,814	0.0	▲ 559	▲ 10.4	43
配 当 割 交 付 金	123,915	0.2	35,936	40.8	1,108	87,979	0.2	10,591	13.7	785
株式等譲渡所得割交付金	178,031	0.4	75,705	74.0	1,592	102,326	0.2	42,075	69.8	913
法 人 事 業 税 交 付 金	241,627	0.5	27,210	12.7	2,160	214,417	0.5	9,910	4.8	1,912
地方消費税交付金	2,763,329	5.6	130,276	4.9	24,708	2,633,053	5.5	▲ 26,340	▲ 1.0	23,485
環境性能割交付金	117,963	0.2	13,527	13.0	1,055	104,436	0.2	11,849	12.8	932
地方特例交付金	648,138	1.3	480,237	286.0	5,795	167,901	0.4	14,378	9.4	1,498
地 方 交 付 税	7,013,762	14.1	210,068	3.1	62,712	6,803,694	14.3	275,309	4.2	60,685
（ 普 通 ）	6,248,005	-	236,920	3.9	55,866	6,011,085	-	260,651	4.5	53,615
（ 特 別 ）	765,388	-	▲ 26,747	▲ 3.4	6,844	792,135	-	15,114	1.9	7,065
交通安全対策特別交付金	14,633	0.0	▲ 825	▲ 5.3	131	15,458	0.0	▲ 1,183	▲ 7.1	138
分担金及び負担金	279,851	0.6	955	0.3	2,502	278,896	0.6	49,758	21.7	2,488
使用料及び手数料	415,559	0.8	3,247	0.8	3,716	412,312	0.9	▲ 63,901	▲ 13.4	3,678
国 庫 支 出 金	9,081,467	18.3	823,144	10.0	81,201	8,258,323	17.4	▲ 137,677	▲ 1.6	73,659
県 支 出 金	3,360,107	6.8	349,040	11.6	30,044	3,011,067	6.3	239,108	8.6	26,857
財 産 収 入	63,775	0.1	▲ 24,919	▲ 28.1	570	88,694	0.2	33,792	61.5	791
寄 附 金	607,094	1.2	302,476	99.3	5,428	304,618	0.6	189,761	165.2	2,717
繰 入 金	2,880,067	5.8	2,323,229	417.2	25,752	556,838	1.2	▲ 10,039	▲ 1.8	4,967
繰 越 金	3,209,197	6.4	▲ 2,523,264	▲ 44.0	28,695	5,732,461	12.0	▲ 654,960	▲ 10.3	51,130
諸 収 入	900,206	1.8	▲ 98,299	▲ 9.8	8,049	998,505	2.2	▲ 83,879	▲ 7.7	8,906
市 債	271,600	0.5	20,599	8.2	2,428	251,001	0.5	▲ 939,365	▲ 78.9	2,239
合 計	49,756,959	100.0	2,172,274	4.6	444,894	47,584,685	100.0	▲ 718,673	▲ 1.5	424,427

住民基本台帳人口

令和7年3月31日 111,840人

令和6年3月31日 112,115人

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



2 歳出

(1) 目的別歳出内訳

区 分	令和6年度					令和5年度				
	決算額	構成比 (%)	前年比		人口一人 当たり額 (円)	決算額	構成比 (%)	前年比		人口一人 当たり額 (円)
			増減額 (千円)	増減率 (%)				増減額 (千円)	増減率 (%)	
議 会 費	280,167	0.6	939	0.3	2,505	279,228	0.6	▲ 11,683	▲ 4.0	2,491
総 務 費	7,828,785	16.8	▲ 110,107	▲ 1.4	70,000	7,938,892	17.9	1,297,429	19.5	70,810
民 生 費	19,274,814	41.4	814,657	4.4	172,343	18,460,157	41.6	1,203,661	7.0	164,654
衛 生 費	3,869,933	8.3	▲ 232,998	▲ 5.7	34,602	4,102,931	9.2	▲ 60,634	▲ 1.5	36,596
労 働 費	77,093	0.2	▲ 5,183	▲ 6.3	689	82,276	0.2	1,059	1.3	734
農 林 水 産 業 費	1,383,665	3.0	▲ 5,913	▲ 0.4	12,372	1,389,578	3.1	52,201	3.9	12,394
商 工 費	438,615	0.9	217,890	98.7	3,922	220,725	0.5	▲ 242,754	▲ 52.4	1,969
土 木 費	3,425,526	7.4	665,019	24.1	30,629	2,760,507	6.2	▲ 6,289	▲ 0.2	24,622
消 防 費	1,760,106	3.8	72,531	4.3	15,738	1,687,575	3.9	135,267	8.7	15,052
教 育 費	4,865,005	10.5	950,692	24.3	43,500	3,914,313	8.8	▲ 482,140	▲ 11.0	34,913
公 債 費	3,323,100	7.1	▲ 216,206	▲ 6.1	29,713	3,539,306	8.0	▲ 81,526	▲ 2.3	31,569
諸 支 出 金					0					0
合 計	46,526,808	100.0	2,151,319	4.8	416,012	44,375,489	100.0	1,804,593	4.2	395,803

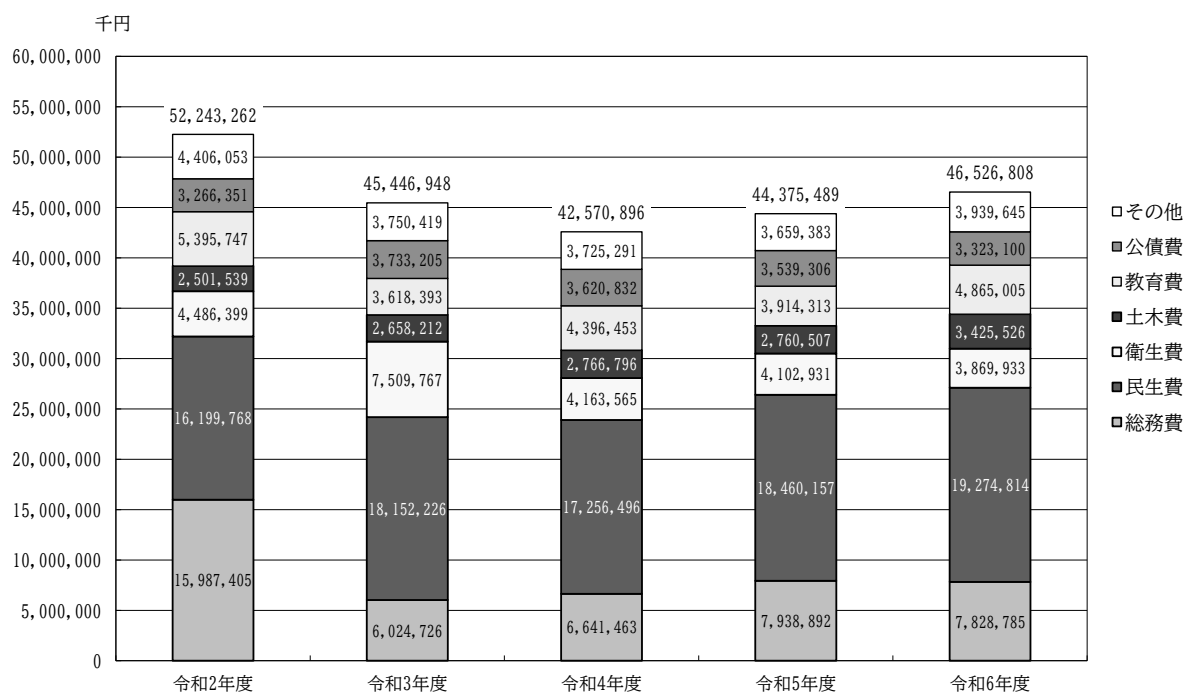
住民基本台帳人口

令和7年3月31日 111,840人

令和6年3月31日 112,115人

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

【目的別歳出の推移】



(2) 性質別歳出内訳

(単位：千円)

区 分	令和6年度						令和5年度		
	決算額	構成比 (%)	前年比		人口一人 当たり額 (円)	一般財源等	決算額	構成比 (%)	人口一人 当たり額 (円)
			増減額 (千円)	増減率 (%)					
人件費	7,795,896	16.8	865,188	12.5	69,706	7,072,241	6,930,708	15.6	61,818
任期の定めのない常勤職員	3,978,251	8.6	76,497	2.0	35,571	3,607,438	3,901,754	8.8	34,801
再任用職員	133,073	0.3	20,414	18.1	1,190	133,066	112,659	0.3	1,005
会計年度任用職員(フルタイム)	237,624	0.5	77,328	48.2	2,125	237,624	160,296	0.4	1,430
会計年度任用職員(パートタイム)	1,660,395	3.6	659,399	65.9	14,846	1,347,351	1,000,996	2.3	8,928
物件費	6,472,647	13.9	277,788	4.5	57,874	5,334,586	6,194,859	14.0	55,255
維持補修費	1,162,886	2.5	▲ 240,100	▲ 17.1	10,398	644,722	1,402,986	3.2	12,514
扶助費	12,533,165	26.9	749,008	6.4	112,063	4,689,730	11,784,157	26.6	105,108
補助費等	5,888,635	12.7	1,051,872	21.7	52,652	5,226,862	4,836,763	10.9	43,141
公債費	3,323,100	7.1	▲ 216,206	▲ 6.1	29,713	3,287,702	3,539,306	8.0	31,569
積立金	2,247,181	4.8	▲ 1,286,740	▲ 36.4	20,093	1,663,659	3,533,921	8.0	31,521
投資及び出資金	0				0	0	0		0
貸付金	10,878	0.0	1,065	10.9	97	0	9,813	0.0	88
繰出金	4,362,163	9.4	▲ 242,697	▲ 5.3	39,004	3,511,092	4,604,860	10.4	41,073
普通建設事業費	2,730,258	5.9	1,192,142	77.5	24,412	649,022	1,538,116	3.5	13,719
補助事業	805,207	1.7	279,169	53.1	7,200	37,984	526,038	1.2	4,692
単独事業	1,878,755	4.0	890,001	90.0	16,799	602,342	988,754	2.2	8,819
その他	46,296	0.1	22,972	98.5	414	8,696	23,324	0.1	208
災害復旧事業費	0				0	0	0		0
合 計	46,526,808	100.0	2,151,319	4.8	416,012	32,079,616	44,375,489	100.0	395,803

住民基本台帳人口

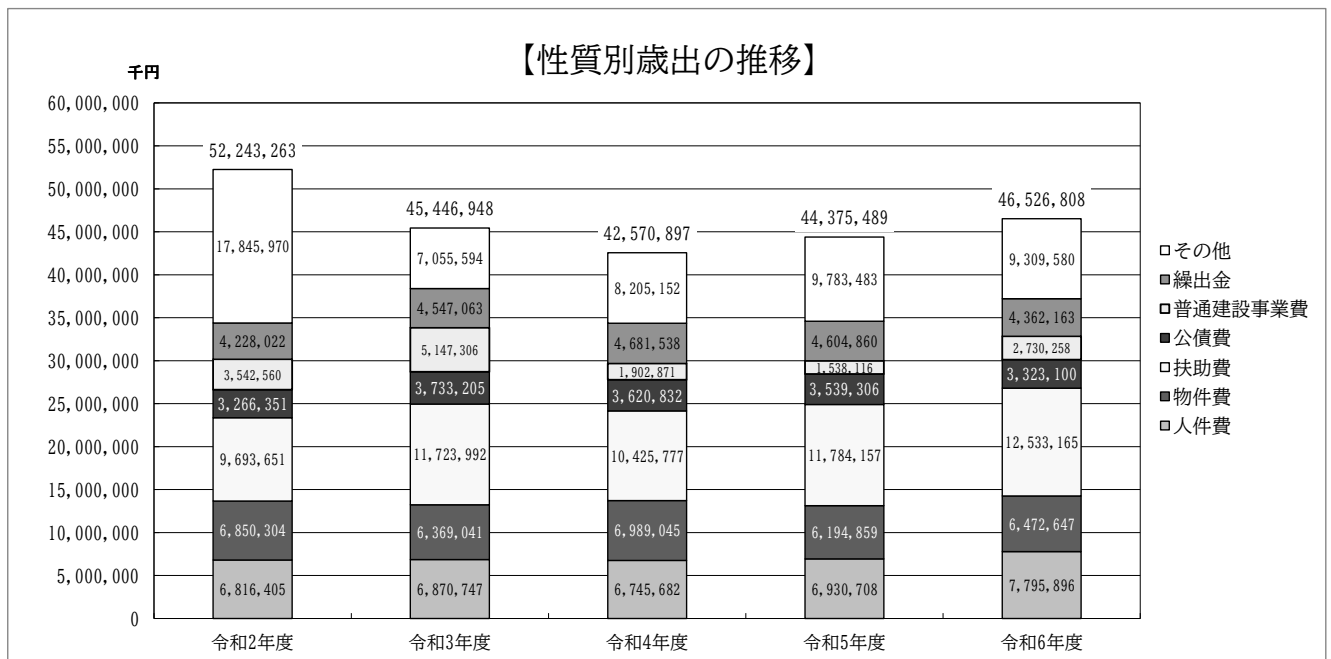
令和7年3月31日

111,840人

令和6年3月31日

112,115人

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



(3) 節別歳出入内訳

区 分	令和6年度					令和5年度				
	決算額	構成比 (%)	前年比		人口一人 当たり額 (円)	決算額	構成比 (%)	前年比		人口一人 当たり額 (円)
			増減額 (千円)	増減率 (%)				増減額 (千円)	増減率 (%)	
1 報酬	1,468,781	3.2	279,769	23.5	13,133	1,189,012	2.7	23,400	2.0	10,605
2 給料	2,827,559	6.1	92,737	3.4	25,282	2,734,822	6.2	28,048	1.0	24,393
3 職員手当等	2,225,749	4.8	500,844	29.0	19,901	1,724,905	3.9	51,898	3.1	15,385
4 共済費	1,110,997	2.4	71,014	6.8	9,934	1,039,983	2.3	32,659	3.2	9,276
5 災害補償費	350	0.0	▲ 444	▲ 55.9	3	794	0.0	769	3,076.0	7
6 恩給及び退職年金					0					0
7 報償費	259,429	0.6	7,817	3.1	2,320	251,612	0.6	108,762	76.1	2,244
8 旅費	53,635	0.1	2,590	5.1	480	51,045	0.1	4,621	10.0	455
9 交際費	1,920	0.0	499	35.1	17	1,421	0.0	556	64.3	13
10 需用費	2,250,476	4.8	46,037	2.1	20,122	2,204,439	5.0	29,301	1.3	19,662
11 役務費	364,192	0.8	30,506	9.1	3,256	333,686	0.8	12,495	3.9	2,976
12 委託料	6,729,182	14.5	403,225	6.4	60,168	6,325,957	14.3	▲ 266,732	▲ 4.0	56,424
13 使用料及び賃借料	466,189	1.0	26,775	6.1	4,168	439,414	1.0	40,729	10.2	3,919
14 工事請負費	2,118,640	4.6	739,380	53.6	18,943	1,379,260	3.1	▲ 804,036	▲ 36.8	12,302
15 原材料費	15,707	0.0	1,007	6.9	140	14,700	0.0	2,639	21.9	131
16 公有財産購入費	813	0.0	▲ 40,569	▲ 98.0	7	41,382	0.1	40,933	9,116.5	369
17 備品購入費	256,011	0.6	95,141	59.1	2,289	160,870	0.4	▲ 66,540	▲ 29.3	1,435
18 負担金、補助及び交付金	6,807,194	14.6	1,110,671	19.5	60,865	5,696,523	12.8	214,378	3.9	50,810
19 扶助費	10,440,126	22.4	626,069	6.4	93,349	9,814,057	22.1	1,146,056	13.2	87,536
20 貸付金	10,878	0.0	1,065	10.9	97	9,813	0.0	▲ 12,738	▲ 56.5	88
21 補償補填及び賠償金	18,037	0.0	▲ 5,196	▲ 22.4	161	23,233	0.1	17,858	332.2	207
22 償還金利子及び割引料	3,737,490	8.0	▲ 295,504	▲ 7.3	33,418	4,032,994	9.1	41,398	1.0	35,972
23 投資及び出資金	0				0					0
24 積立金	2,247,181	4.8	▲ 1,286,740	▲ 36.4	20,093	3,533,921	8.0	1,268,108	56.0	31,521
25 寄附金	0				0					0
26 公課費	2,002	0.0	▲ 480	▲ 19.3	18	2,482	0.0	496	25.0	22
27 繰出金	3,114,269	6.7	▲ 254,895	▲ 7.6	27,846	3,369,164	7.6	▲ 110,465	▲ 3.2	30,051
合 計	46,526,808	100.0	2,151,319	4.8	416,012	44,375,489	100.0	1,804,593	4.2	395,803

住民基本台帳人口

令和7年3月31日 111,840人

令和6年3月31日 112,115人

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

3 収支

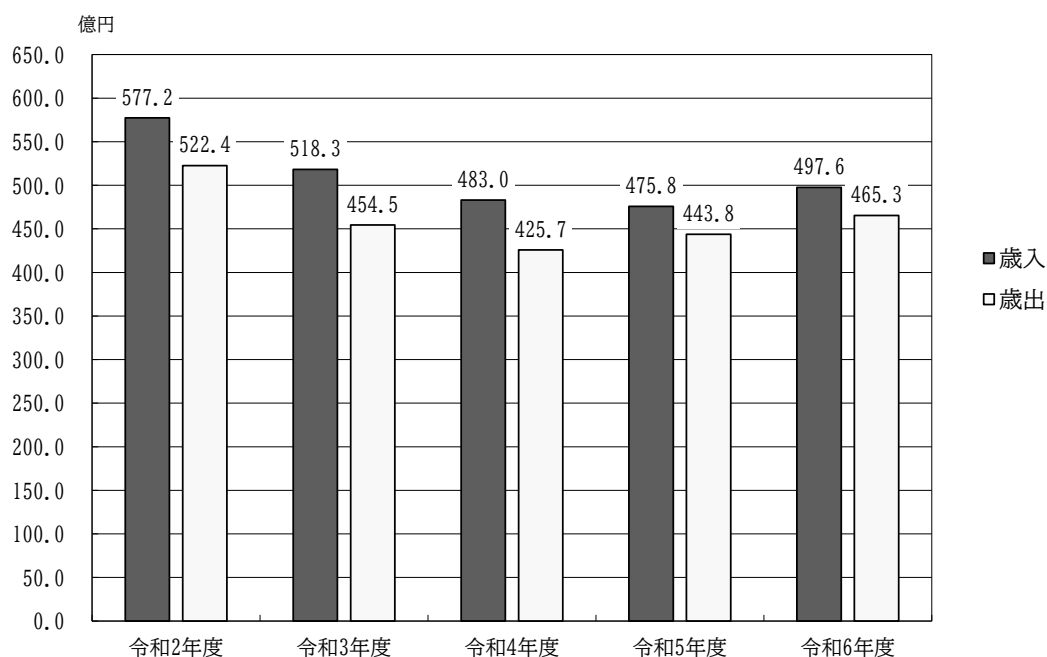
(単位：千円)

	令和6年度	前年比 (%)	令和5年度	前年比 (%)
A 歳入総額	49,756,959	4.6	47,584,685	▲ 1.5
B 歳出総額	46,526,808	4.8	44,375,489	4.2
C 形式収支 (A-B)	3,230,150	0.7	3,209,196	▲ 44.0
D 実質収支	2,652,381	15.9	2,287,567	▲ 54.8
E 実質収支比率	9.8%		8.7%	
F 単年度収支	364,814	113.1	▲ 2,774,982	▲ 9,966.3
G 実質的黑字要素の額 (財政調整基金積立等)	1,481,294	▲ 37.5	2,368,872	267,871.9
H 実質的赤字要素の額 (財政調整基金取崩等)	1,560,955			
I 実質単年度収支 (F+G-H)	285,153	170.2	▲ 406,110	▲ 1,422.0

※ 端数整理の結果、形式収支と実質収支が整合しない場合がある。

※ 実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む。）で除したものの。

【歳入歳出決算額の推移】



4 市税

(単位：千円)

区 分 税目別		調 定 済 額			収 入 済 額			構成比 %	収入済額F の対前年度 増減率 %
		現年課税分 A	滞納繰越分 B	合 計 C	現年課税分 D	滞納繰越分 E	合 計 F		
普 通 税	1 法定普通税	16,488,909	234,057	16,751,645	16,374,481	92,661	16,495,821	96.8	0.2
	(1)市民税	6,627,479	114,559	6,742,038	6,577,652	43,196	6,620,848	38.8	▲ 3.4
	個人均等割	181,532	3,536	185,068	180,034	1,375	181,409	1.1	▲ 13.0
	所 得 割	5,378,579	104,754	5,483,333	5,334,215	40,741	5,374,956	31.5	▲ 4.6
	法人均等割	382,990	2,249	385,239	380,582	387	380,969	2.2	12.0
	法 人 税 割	684,378	4,020	688,398	682,821	693	683,514	4.0	2.2
	(2)固定資産税	8,654,023	109,035	8,763,058	8,594,326	45,738	8,640,064	50.7	3.1
	純固定資産税	8,576,004	109,035	8,685,039	8,516,307	45,738	8,562,045	50.2	3.1
	土 地	2,329,929	29,623	2,359,552	2,313,711	12,426	2,326,137	13.6	0.9
	家 屋	4,473,428	56,875	4,530,303	4,442,288	23,858	4,466,146	26.2	4.0
	償却資産	1,772,647	22,537	1,795,184	1,760,308	9,454	1,769,762	10.4	3.5
	交付金・納付金	78,019		78,019	78,019		78,019	0.5	4.5
	(3)軽自動車税			427,379			415,739	2.4	5.1
	環境性能割			28,679			28,679	0.2	57.9
	種 別 割	388,237	10,463	398,700	383,333	3,727	387,060	2.3	2.6
目 的 税	(4)市たばこ税	819,170		819,170	819,170		819,170	4.8	▲ 1.8
	(5)特別土地保有税								
	1 都市計画税	550,548	6,998	557,546	546,715	2,936	549,651	3.2	▲ 1.3
	(1)土 地	243,970	3,101	247,071	242,272	1,301	243,573	1.4	▲ 0.3
	(2)家 屋	306,578	3,897	310,475	304,443	1,635	306,078	1.8	▲ 2.0
合 計		17,039,457	241,055	17,309,191	16,921,196	95,597	17,045,472	100.0	0.1
国民健康保険税		2,231,337	271,634	2,502,971	2,116,937	95,416	2,212,353	100.0	0.7

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

【都市計画事業費等及び財源内訳（都市計画税等）】

(単位：千円)

区 分 税目別		徴 収 率 (%)			
		D/A ×100	前年度	E/B ×100	F/C ×100
普 通 税	1 法定普通税	99.3	99.3	39.6	98.5
	(1)市民税	99.2	99.2	37.7	98.2
	個人均等割	99.2	99.1	38.9	98.0
	所 得 割	99.2	99.1	38.9	98.0
	法人均等割	99.4	99.2	17.2	98.9
	法 人 税 割	99.8	100.1	17.2	99.3
	(2)固定資産税	99.3	99.3	41.9	98.6
	純固定資産税	99.3	99.3	41.9	98.6
	土 地	99.3	99.3	41.9	98.6
	家 屋	99.3	99.3	41.9	98.6
	償却資産	99.3	99.3	41.9	98.6
	交付金・納付金	100.0	100.0		100.0
	(3)軽自動車税				97.3
	(4)市たばこ税	100.0	100.0		100.0
	(5)特別土地保有税				
目 的 税	1 都市計画税	99.3	99.3	42.0	98.6
	(1)土 地	99.3	99.3	42.0	98.6
	(2)家 屋	99.3	99.3	42.0	98.6
	合 計	99.3	99.3	39.7	98.5
	国民健康保険税	94.9	94.6	35.1	88.4

区 分		令和5年度 (決算額)	
都 市 計 画 事 業 費 等	街 路		
	公 園		
	下 水 道		2,035,926
	そ の 他		
	市街地開発事業		138,223
	都市計画事業 計 A		2,174,149
	土地区画整理事業 B		
D の 財 源 内 訳	地方債償還額 C		997,645
	合計 (A+B+C) D		3,171,794
	地 方 債 E		468,800
	支 出 金 F		128,576
	負担金その他 G		571,632
	都市計画税収入額 H		549,651
	一般財源等 D - (E+F+G+H) I		1,453,135
合計			3,171,794
充当割合 $\frac{H}{H+I} \times 100$ J			27.4%

5 地方債等（一般会計・全会計）

(1) 会計別現在高

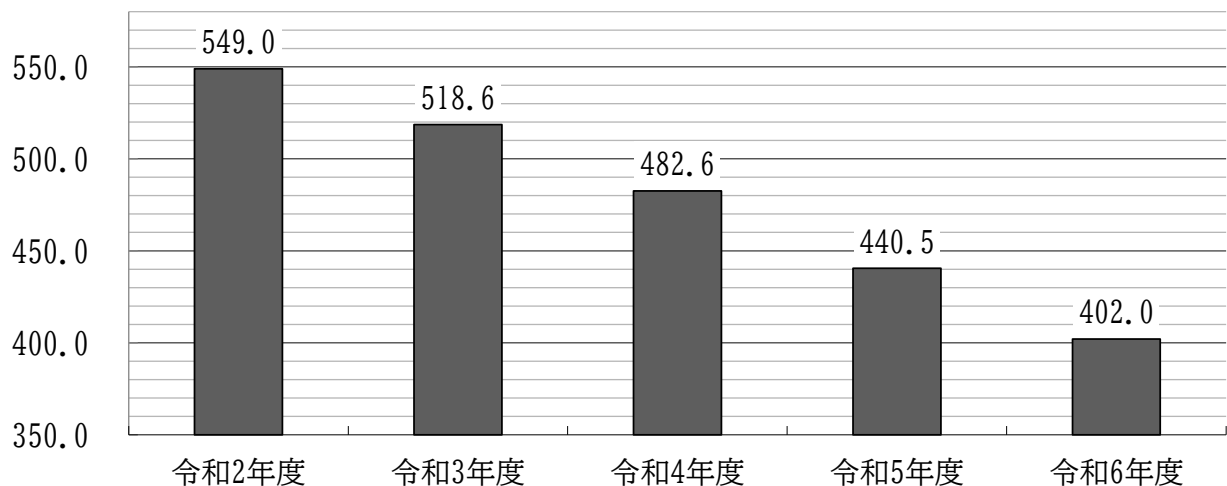
(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一 般 会 計	22,459,894	25,458,265	28,685,124	31,045,196	32,750,333
野 中 土 地 区 画 整 理 事 業 特 別 会 計	65,392	45,801	76,316	121,056	165,202
栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計					8,888
普 通 会 計	22,525,286	25,504,066	28,761,440	31,166,252	32,924,423
国 民 健 康 保 険 直 営 診 療 所 特 別 会 計					
野 中 土 地 区 画 整 理 事 業 特 別 会 計					
水 道 事 業 会 計	7,079,350	7,373,408	7,673,802	8,004,768	8,313,879
下 水 道 事 業 会 計	10,337,296	11,058,768	11,675,874	12,481,032	13,387,856
う ち 公 共 下 水 道 事 業	7,912,569	8,302,827	8,611,955	9,120,694	9,717,423
う ち 農 業 集 落 排 水 事 業	2,424,727	2,755,941	3,063,919	3,360,338	3,670,433
公 営 事 業 会 計	17,416,646	18,432,176	19,349,676	20,485,800	21,701,735
埼 玉 東 部 消 防 組 合	261,484	117,288	149,751	208,926	270,400
一 部 事 務 組 合	261,484	117,288	149,751	208,926	270,400
合 計	40,203,416	44,053,530	48,260,867	51,860,978	54,896,558
増 減 額	▲ 3,850,114	▲ 4,207,337	▲ 3,600,111	▲ 3,035,580	▲ 986,234

※単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。
※一部事務組合は、借入ごとの構成市町の負担割合に基づく加須市負担分である。

【全ての地方債等現在高の推移】

(億円)



(2) 借入先別・利率別現在高（一般会計）

		政 府 資 金			小 計	地方公共団体 金 融 機 構
		財政融資資金	郵便貯金・簡易生命保険管理機構 (旧郵貯資金)	(旧簡保資金)		
令和5年度 現在高 A		10,145,255		101,122	10,246,377	9,624,197
令和6年度 発行額 B		164,000			164,000	33,300
令和6年度 元金償還額 C		1,349,702		57,353	1,407,055	849,617
差引現在高 A + B - C		8,959,553		43,769	9,003,322	8,807,880
差引現在高の 利率別内訳	0.5% 以下	7,618,454		25,797	7,644,251	8,514,275
	1.0% 以下	170,751			170,751	180,868
	1.5% 以下	771,380			771,380	12,700
	2.0% 以下	386,819		17,972	404,791	97,666
	2.5% 以下	10,850			10,850	2,371
	3.0% 以下	993			993	
	3.5% 以下	306			306	
	4.0% 以下					
	4.5% 以下					
	5.0% 以下					
	5.5% 以下					
	6.0% 以下					
	6.5% 以下					
	7.0% 以下					
	7.0% 超					
証 書 借 入 分		8,959,553		43,769	9,003,322	8,807,880
証 券 発 行 分						
割 合 (%)		39.9		0.2	40.1	39.2

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

(単位：千円)

市中銀行等	国の予算貸付・ 政府関係機関貸付	共済等	埼玉県	合 計	割合（％）
4,343,319	21,233	495,624	727,515	25,458,265	
74,300				271,600	
845,780	4,247	64,877	98,395	3,269,971	
3,571,839	16,986	430,747	629,120	22,459,894	
3,493,519	16,986	280,000	629,120	20,578,151	91.5
74,300		150,747		576,666	2.6
				784,080	3.5
4,020				506,477	2.3
				13,221	0.1
				993	0.0
				306	0.0
					0.0
					0.0
3,571,839	16,986	430,747	629,120	22,459,894	100.0
15.9	0.1	1.9	2.8	100.0	

(3) 目的別現在高（一般会計）

（単位：千円）

区 分	令和5年度 現在高 A	令和6年度 発行額 B	令和6年度元利償還額			差引現在高 A + B - C	割合 %
			元金 C	利 子	計		
総 務 債	1,140,618	15,000	197,947	2,074	200,020	957,671	4.3
民 生 債	172,728	0	59,279	196	59,475	113,449	0.5
衛 生 債	995,744	0	137,518	2,860	140,378	858,226	3.8
農 林 水 産 業 債	278,082	37,600	47,944	439	48,383	267,738	1.2
土 木 債	254,041	86,000	36,539	1,491	38,030	303,502	1.4
消 防 債	90,824	18,300	41,643	439	42,082	67,481	0.3
教 育 債	4,725,818	114,700	905,035	15,880	920,915	3,935,483	17.5
減 税 補 て ん 債	57,494	0	31,697	54	31,751	25,797	0.1
減 収 補 て ん 債	80,941	0	11,563	2	11,565	69,378	0.3
臨 時 財 政 対 策 債	17,661,975	0	1,800,806	29,692	1,830,499	15,861,169	70.6
合 計	25,458,265	271,600	3,269,971	53,128	3,323,100	22,459,894	100.0

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

6 財政構造（普通会計）

（単位：千円）

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
1 形 式 収 支 （前年度比（％））	3,312,899 (2.8)	3,222,712 (▲ 43.8)	5,732,749 (▲ 10.3)	6,387,709 (16.1)	5,499,566 (16.8)
2 実 質 収 支 （前年度比（％））	2,684,630 (17.6)	2,283,083 (▲ 54.9)	5,063,108 (0.1)	5,060,230 (9.0)	4,644,224 (18.2)
3 実質収支比率（％）	9.9	8.7	19.6	19.3	18.4
4 単 年 度 収 支	401,547	▲ 2,780,025	2,878	416,006	716,254
5 実 質 単 年 度 収 支	321,886	▲ 411,153	3,762	624,842	716,650
6 財 政 力 指 数	0.726	0.721	0.729	0.737	0.756
7 経 常 収 支 比 率（％）	94.9 （減収補てん償（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 94.9%）	94.6 （減収補てん償（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 95.0%）	91.3 （減収補てん償（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 93.2%）	87.9 （減収補てん償（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 93.3%）	91.8 （減収補てん償（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 97.4%）
8 実質公債費比率（％）	5.6	5.6	5.1	4.5	4.4
9 一 般 財 源 比 率（％）	71.2	74.3	72.0	65.6	56.7
10 義務的経費比率（％）	50.9	50.2	48.9	49.1	37.9

※ （ ）内は、前年度比増減割合。

※ 普通会計とは、総務省の定める会計区分のひとつで、一般会計・特別会計で経理する事業の範囲が自治体ごとに異なっているため、統一的な基準で整理して比較できるようにした統計上の会計区分。

当市の普通会計は、次の会計を合算したもの。

- ・一般会計 ・住宅新築資金等貸付事業特別会計 ・野中土地区画整理事業特別会計（一部）
- ・栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計 ・河野博士育英事業特別会計

※ 住宅新築資金等貸付事業特別会計は令和2年度末をもって廃止。

※ 栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計は令和3年度末をもって廃止。

※ 実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む）で除したもの。

7 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

（歳入）
地方消費税交付金（社会保障財源化分） 1,475,095 千円

（歳出）
社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 16,504,612 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】（単位：千円）

事業名	経費	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一般 財源	うち地方消費税 交付金（社会保 障財源化分）
		国県 支出金	市 債	その他		
戦没者遺族支援事業	520				520	102
更生保護活動支援事業	1,180				1,180	231
民生委員・児童委員活動推進事業	26,793	16,732			10,061	1,972
生活困窮者自立相談支援事業	6,204	4,653			1,551	304
生活困窮者住居確保給付事業	1,199	899			300	59
生活困窮者学習支援事業	5,998	2,999			2,999	588
中国残留邦人等支援事業	11,191				11,191	2,194
障害（児）者生活サポート事業	17,938	2,000			15,938	3,124
心身障害者生活ホーム事業	898	448			450	88
重度心身障害者医療費支給事業	177,837	87,182			90,655	17,770
在宅障害者おむつ支給事業	4,194				4,194	822
特別障害者手当等支給事業	57,090	42,817			14,273	2,798
在宅重度心身障害者手当支給事業	50,436	24,460			25,976	5,092
重度視覚障害者介助手当支給事業	996				996	195
在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業	880	440			440	86
身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業	64				64	13
障害者福祉団体支援事業	415				415	81
障害者自立支援事業	2,682,318	2,016,399			665,919	130,532
補装具費支給事業	11,696	8,639			3,057	599
自立支援医療費支給事業	123,978	92,983			30,995	6,076
障がい児発達支援事業	653,426	490,069			163,357	32,021
障がい者成年後見制度利用支援事業	244	183			61	12
訪問入浴サービス事業	4,025	3,019			1,006	197
日中一時支援事業	163	122			41	8
地域活動支援センター事業	8,261			3,559	4,702	922
移動支援事業	17,423	13,068			4,355	854
障害（児）者日常生活用具給付等事業	23,189	4,468			18,721	3,670
障害者相談支援事業	18,776				18,776	3,681
障害者就労支援事業	3,424				3,424	671
障害者スポーツ交流事業	67				67	13
障害者コミュニケーション支援事業	3,092	2,400			692	136
社会参加促進事業	6,719				6,719	1,317
外国人高齢者福祉手当支給事業	120				120	24
老人クラブ支援事業	5,560	1,175		2,873	1,512	296
ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業	10,270				10,270	2,013
家族介護用品支給事業	2,342				2,342	459
緊急通報システム整備事業	2,293				2,293	449
配食サービス事業	14,132				14,132	2,770
生活管理指導短期入所事業	120				120	24
養護老人ホーム入所事業	60,174			15,213	44,961	8,813
敬老祝金支給事業	40,805				40,805	7,998
敬老会助成事業	8,670			1,098	7,572	1,484
介護サービス利用者負担助成事業	33,924				33,924	6,650
子育て短期預かり事業	241	110			131	26
訪問支援ホームスタート事業	1,592	1,062			530	104
産後支援事業	2,188	1,111		66	1,011	198
子育て支援医療費支給事業	398,344	63,045		53,724	281,575	55,194
未熟児養育医療給付事業	4,783	2,629			2,154	422
遺児手当事業	2,406				2,406	472
多子世帯学童保育料軽減事業	5,720				5,720	1,121
子育てのための施設等利用費支給事業	61,985	45,503			16,482	3,231
教育・保育に係る教材費等補助事業	3,401	542		298	2,561	502
子育て支援センター事業	36,218	24,106			12,112	2,374
子育て支援ネットワーク事業	165	101			64	13
民間児童館助成事業	3,189				3,189	625
母子家庭等自立支援事業	13,204	10,020			3,184	624
ひとり親家庭等医療費事業	53,308	24,702			28,606	5,607

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

事業名	経費	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一般財源	うち地方消費税 交付金(社会保 障財源化分)
		国県 支出金	市 債	その他		
社会福祉	民間保育所運営委託事業	1,765,524	1,232,242	113,950	419,332	82,196
	民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業	515,617	378,164		137,453	26,943
	低年齢児保育事業	62,292	31,146		31,146	6,105
	長時間保育事業	33,926	22,298		11,628	2,279
	病後児保育事業	8,868	5,910		2,958	580
	夜間保育所事業	51,662	35,678		15,984	3,133
	民間保育所障害児保育事業	7,532	2,580		4,952	971
	一時保育事業	16,441	10,960		5,481	1,074
	避難者支援民間保育所等運営委託事業	732	505		227	44
	民間保育所助成事業	19,429	3,334		16,095	3,155
	保育団体助成事業	232			232	45
	民間放課後児童健全育成事業	277,600	173,179	4,818	99,603	19,524
	児童手当支給事業	1,671,335	1,457,559		213,776	41,904
	児童扶養手当支給事業	362,367	117,872		244,495	47,925
	避難者支援児童扶養手当支給事業	1,445	482		963	189
	公立保育所管理運営事業	828			828	162
	あすなろ園管理運営事業	960			960	188
	民間保育所等施設整備助成事業	5,646	3,764		1,882	369
	生活保護事業	2,034,641	1,434,479		600,162	117,642
	被災者支援事業	2,290			2,290	449
	小計	11,525,155	7,898,238	195,599	3,431,318	672,598
社会保険	国民健康保険組合支援事業	560			560	110
	国民健康保険事業特別会計繰出事業	1,096,441	391,138		705,303	138,251
	後期高齢者医療広域連合負担事業	1,109,583			1,109,583	217,497
	後期高齢者医療特別会計繰出事業	332,716	232,858	1,211	98,647	19,337
	介護保険事業特別会計繰出事業	1,531,539	72,291		1,459,248	286,038
	小計	4,070,839	696,287	1,211	3,373,341	661,233
その他	食生活改善推進事業	450			450	88
	地域医療ネットワーク(とねっと)事業	348			348	68
	初期・2次・3次救急医療支援事業	124,494	16,896	47,694	59,904	11,742
	特別休日歯科診療事業	175			175	34
	小児科医による救急講座・子育て相談事業	30			30	6
	不妊治療事業	6,280	609		5,671	1,111
	妊婦応援事業	4,565	1,493		3,072	602
	出産・子育て応援事業	55,100	36,900		18,200	3,568
	こんにちは赤ちゃん事業	2,739	1,826		913	179
	母子保健推進員訪問活動事業	43			43	8
	健康づくり地域交流事業	1,331			1,331	261
	乳幼児健診事業	12,104			12,104	2,373
	親子歯科保健推進事業	707			707	139
	育児健康相談事業	416			416	82
	幼児発達支援事業	2,899			2,899	568
	親と子の食育事業	59			59	12
	がん検診事業	169,285	429	4,721	164,135	32,173
	骨粗しょう症予防事業	1,803	579		1,224	240
	健康相談事業	77			77	15
	生活習慣病予防事業	358	63	174	121	24
	成人歯科保健推進事業	1,891	184		1,707	335
	こころの健康づくり事業	764	382		382	75
	新型コロナウイルスワクチン接種事業	121,928	1,078	70,052	50,798	9,957
	高齢者予防接種事業	77,287			77,287	15,150
	後期高齢者健康診査事業	50,557			50,557	9,910
	予防接種事業	272,164	4,868		267,296	52,394
	避難者支援予防接種事業	764			764	150
	小計	908,618	65,307	122,641	720,670	141,264
合 計	計	16,504,612	8,659,832	319,451	7,525,329	1,475,095

※上記経費は、令和6年度決算に基づく集計である。

※事務費や事務職員の人件費等は除外している。

※地方消費税交付金(社会保障財源化分)は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

8 森林環境譲与税の使途

(歳入)
森林環境譲与税 13,446 千円

(歳出)
木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等に要する経費（森林環境譲与税充当分） 13,446 千円

【森林環境譲与税の使途】

(単位：千円)

事業区分	事業名	経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち 森林環境譲与税
			国県 支出金	市債	その他		
木材利用の促進	道路維持管理事業	5,033	0	0	0	5,033	3,923
	公園整備事業	4,221	0	0	0	4,221	3,290
	小学校管理運営事業	1,707	0	0	0	1,707	1,330
	中学校管理運営事業	3,023	0	0	0	3,023	2,356
普及啓発	屋敷林等保全事業	885	0	0	0	885	690
	「浮野の里」自然環境保全事業	2,383	0	0	0	2,383	1,857
合	計	17,252	0	0	0	17,252	13,446

Ⅱ 一般会計の状況

(主要な事業の実績・成果 予算科目別)

事業名		議会運営事業			5131-10				
担当課		議会事務局			現 年	前年度からの繰越			
款	01	議会費	当初予算額	28,946,000 円		—			
項	01	議会費	最終予算額	28,946,000 円		—			
目	01	議会費	決 算 額	22,598,559 円		—			
事業の目的		加須市議会基本条例に基づき、市民と行政との協働を推進するため、議決機関としての議会運営を適切に補助し、議会運営の充実を図る。							
事業の概要		・事務局機能を発揮し、円滑かつ効率的な議会運営に努めるとともに、会議録（本会議・常任委員会・特別委員会）の公開により、さらに開かれた議会を推進する。 ・住民自治を原則にした請願・陳情等を受理し、議会に諮る。 ・タブレット端末を活用し、ペーパーレス化を推進する。 ・議会改革を推進する。							
事業の実績・成果									
二代表制に基づく議決機関として、団体意思の決定機能及び執行機関への監視機能を担う議会の補助を行い、本会議、常任委員会、議会運営委員会を円滑に運営した。									
1 会議の開催状況									
(1) 本会議									
区 分	会 期 日 数 (日)	本 会 議 日 数 (日)	市 長 提 出 議 案 (件)	諮 問 (件)	請 願 (件)	陳 情 (件)	議 員 提 出 議 案 (件)	議 員 提 出 修 正 案 (件)	傍 聴 者 (人)
合 計	102	30	79	4	9	1	1	0	372
※市民に開かれた市議会を目指し、質疑及び一般質問の通告書をホームページで事前公表した。									
(2) 常任委員会等									
区 分	開 催 日 数 (日)	条 例 (件)	予 算 (件)	決 算 (件)	請 願 (件)	陳 情 (件)	傍 聴 者 (人)		
総務常任委員会	4	0	4	0	3	0	7		
民生教育常任委員会	3	2	5	5	2	0	10		
産業建設常任委員会	2	0	3	4	1	0	1		
予算決算常任委員会	10	－	1	1	－	－	8		
議会運営委員会(付託案件のみ)	3	－	－	－	3	1	－		
合 計	22	2	13	10	9	1	26		
(3) その他の委員会									
区 分	構成人員 (人)		内 容		開催日数 (日)				
議会運営委員会(付託案件除く)	7		議会運営等について		13				

2 会議録、ホームページの作成

議会に対する市民の理解と信頼を深めるため、会議録を作成し、市ホームページ上での公開を行い、より開かれた議会を推進した。また、市議会ホームページを更新し、積極的な情報発信を行い、より開かれた議会の推進に努めた。

(1) 加須市議会会議録の作成

会 議 録 名	作成部数 (部)	内 訳	支出額 (円)
定例会会議録	60	15 部×4 回	4,330,953
臨時会会議録	15	15 部×1 回	162,360
常任委員会会議録 (総務・民生教育・産業建設等)	56	14 部×4 回	1,170,613
予算決算常任委員会会議録	28	14 部×2 回	1,691,520
合 計	159		7,355,446

(2) 市ホームページにおける議会のホームページへのアクセス件数 (単位: 件)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数	50,917	60,401	60,207	84,191	63,364

3 政務活動費の交付

議員の政策立案能力の向上及び調査研究並びに議会の活性化に資するため必要な経費の一部として、1人当たり月額12,000円の政務活動費を会派に交付し、議員の能力の向上や議会の活性化を図った。また、収支報告書及び領収書をホームページで公表し、適正な運用と透明性の向上に努めた。

(単位: 円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
交付額	3,972,000	3,888,000	3,888,000	3,468,000	3,600,000
決算額	2,332,694	2,443,551	3,093,554	2,861,381	2,956,214

4 行政視察

議会運営委員会において、本市議会の運営改善のため、課題となっていた議会報告会の運営方法や、委員会に係る中継等について、先進地の事例を学び、今後、議会改革検討委員会等で継続して検討することした。

また、令和6年度分の行政視察報告書(委員会及び会派分)をホームページで公表し、透明性の向上に努めた。

委員会名	実施日	視察先・視察内容
議会運営委員会	11月6日(水) ～8日(金)	○長野県長野市議会 ・議会改革(意見交換会)について ・常任委員会のインターネット中継について ○新潟県上越市議会 ・議会報告会・意見交換会について ○新潟県柏崎市議会 ・通年議会について ○新潟県長岡市議会 ・議会中継について

5 議長交際費

「加須市議会議長交際費支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。

(単位: 円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額	800,000	720,000	720,000	680,000	680,000
決算額	148,750	72,300	149,550	320,100	416,910

6 本会議インターネット中継の運用（インターネット中継システム使用料）

市民に開かれた議会の実施に向け、本会議におけるインターネット中継（ライブ中継及び録画中継）を行った。

（単位：円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額	1,879,000	1,879,000	1,923,000	1,936,000	1,936,000
決算額	1,775,400	1,711,600	1,691,800	1,694,000	1,705,440

事業名		議会広聴広報事業			5131-11					
担当課		議会事務局			現 年	前年度からの繰越				
款	01	議会費	当初予算額	4,043,000 円		—				
項	01	議会費	最終予算額	4,043,000 円		—				
目	01	議会費	決 算 額	3,417,960 円		—				
事業の目的		加須市議会基本条例に基づき、市民に信頼される開かれた議会、より身近な議会を推進するため、積極的に議会情報を発信するとともに、市民との意見交換会等を通じた広聴活動を行う。								
事業の概要		市議会だよりを年4回（39,200部）定例会後に発行する。 また、市議会ホームページの内容を充実するとともに、新着情報を随時更新して周知を図る。 さらに、市議会モニター制度、市民や平成国際大学生との意見交換会の開催といった広聴活動を展開する。								
事業の実績・成果										
開かれた議会、親しみやすい議会を目指し、かぞ市議会だよりを自治会を通じて配布するとともに、ホームページに掲載し、市議会の審議や活動状況を広く、分かりやすく市民に周知した。 また、X（旧 Twitter）による情報発信や市議会議員と市議会モニターとの意見交換会の開催など、広聴活動に取り組んだ。										
1 かぞ市議会だよりの発行										
発行日		市議会だより名		発行部数（部）		支出額（円）				
6月1日		かぞ市議会だより第61号		39,200		840,840				
9月1日		かぞ市議会だより第62号		39,200		840,840				
12月1日		かぞ市議会だより第63号		39,200		840,840				
3月1日		かぞ市議会だより第64号		39,200		840,840				
合 計				156,800		3,363,360				
2 加須市議会議員と加須市議会モニターとの意見交換会の参加者数										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
開 催 数		2回		2回		2回		2回		
参加者数（人）		60		49		37		50		
内 訳	回	第1	第2	第1	第2	第1	第2	第1	第2	
	市議会モニター	7	6	5	10	9	7	6	5	
	市議会議員	10	6	7	9	9	9	8	9	
	傍聴議員	12	8	5	12	9	6	8	14	
3 「加須市議会と平成国際大学との連携協力に関する協定」に基づく協力事業										
令和6年度は、市議会議員が平成国際大学を訪問し、「平成国際大学の現況と未来」について浅野和生副学長から説明を受け、また、施設見学や質疑応答などを通じて、同大学への理解を深めることができ、今後のさらなる連携・協力に関する一助となった。なお、令和2年度～4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
開 催 数		一回		一回		一回		1回		1回
参加者数（人）		—		—		—		66		33
内 容						—		意見交換会		視察訪問研修
会 場				新型コロナウイルス感染症 感染予防のため中止		—		本会議場等		平成国際大学
内 訳	平成国際大学学生					—		36		0
	平成国際大学職員等	—		—		—		5		10
	市議会議員	—		—		—		25		22

事業名		議員年金対策給付費負担事業			5131-12	
担当課		議会事務局		現 年	前年度からの繰越	
款	01	議会費	当初予算額	33,727,000 円	—	
項	01	議会費	最終予算額	33,727,000 円	—	
目	01	議会費	決 算 額	33,727,000 円	—	
事業の目的		平成 23 年 5 月末で地方議会議員年金制度が廃止されたことから、適正に議員年金を支給するために必要な負担金を市議会議員共済会へ支払う。				
事業の概要		これまでの議員年金は、議員共済会の積立金、共済給付費負担金、共済掛金、特別掛金により支給されていたが、地方議会議員年金制度廃止後の給付に要する費用は、地方議員共済会が保有する残金の積立金を除き、加須市が負担する。				
事業の実績・成果						
地方議会議員年金制度の廃止に伴い、経過措置としての給付に要する費用の財源を各地方公共団体が公費で負担するため、総務省及び市議会議員共済会から示された給付費を負担した。						
1. 負担金			(単位：円)			
内 容		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
事務負担金		364,000	364,000	364,000	364,000	325,000
市議会議員共済会 給付費負担金		45,198,720	41,368,320	39,644,640	37,346,400	33,402,000
合 計		45,562,720	41,732,320	40,008,640	37,710,400	33,727,000
2. 年金受給者数等						
内 容		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
年金受給者数(人)		86	83	80	75	75
内訳	退職年金	45	43	45	39	35
	遺族年金	38	37	38	36	40
退職年金平均 受給額(年額)(円)		881,531	873,513	853,929	851,117	861,656

事業名		市役所業務短期補助事業			3112-03
担当課		職員課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	8,493,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	3,024,641 円	—
目	01	一般管理費	決 算 額	406,302 円	—
事業の目的		会計年度任用職員として任用し市政に参画してもらうとともに、市職員の時間外勤務の抑制及び健康増進に資する。			
事業の概要		会計年度任用職員を業務繁忙等により人員を必要としている部署に配置する。			
事業の実績・成果					
会計年度任用職員を業務繁忙等により人員を必要としている部署に配置した。					
【配置実績】					
配置部署		配置人数	配置理由		
国保年金課		1 人	令和 6 年 10 月からマイナンバーカードの健康保険証としての利用申込及び公金受取口座の登録支援の業務量増加		

事業名		市の花コスモス普及事業			5133-07	
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	1,461,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	1,461,000 円	—	
目	01	一般管理費	決 算 額	1,171,220 円	—	
事業の目的		・市の花「コスモス」が市民生活と結びつき、加須市の象徴として市民に末永く愛され、親しまれる花として市内全域の普及に努め、併せて市民と行政との協働によるまちづくりを推進する。				
事業の概要		・市民と協働による市の花の栽培等を推進する。 ・市の花の市内における見どころを関係課等と連携して整備、紹介する。 ・加須市をPRするため、市の花を各公共施設等で栽培するとともに、外部へ情報を発信する際の封筒や資料へ積極的に掲載する。				
事業の実績・成果						
1 全自治協力団体及び公共施設にコスモスの種の配布希望を調査し、希望のあった自治協力団体及び公共施設にコスモスの種を配布した。また、本庁舎総合案内及び各総合支所地域振興課窓口等で、小袋に入れたコスモスの種を配置し、来庁者に配布した。その結果、市内各所及び多くの公共施設でコスモスが咲き、街並みに彩りを加え、市民に親しんでいただくことができた。						
年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自治協 力団体	配布団体数	17	13	14	15	14
	栽培面積 (㎡)	6,970	7,660	7,720	9,130	10,180
公共 施設	配布施設数	39	44	49	51	54
	栽培面積 (㎡)	2,663	3,015	2,441	2,698	2,730
庁舎内 配布	栽培面積 (㎡)	—	—	—	2,970	4,660
2 加須未来館周辺の休耕田等にコスモス等の栽培を実施し、加須未来館への集客の向上及び大越地区の生産調整の推進を図ることができた。【農業振興課】 〔受託者〕 加須市グリーン・ツーリズム振興組合 〔事業面積〕 8,578 ㎡						

事業名		合併15周年記念事業（新設）			5133-12
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	12,867,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	12,867,000 円	—
目	01	一般管理費	決 算 額	4,152,497 円	—
事業の目的		・加須市が誕生して 15 周年となる節目を記念して、市及び市民をあげて記念事業を展開し、市民とともに加須市を盛り上げ、市民の郷土意識「かぞ愛」の醸成を図る。 ・市民顕彰を随時行い、市民と行政との協働によるまちづくりを推進する。			
事業の概要		・合併 15 周年記念式典を開催する。 ・合併 15 周年に因んだ各種記念事業を市民との協働により展開する。 ・名誉市民、一般表彰、感謝状を贈呈する。			
事業の実績・成果					
「加須市」が誕生して 15 年となる節目の年に、市及び市民を挙げて記念事業を展開し、市内外に「加須市合併 15 周年」を P R するとともに、市民の郷土意識の醸成を図ることができた。					
1 イベントの開催					
事業名		内容	参加者数等	所管課	
合併 15 周年記念式典		様々な分野で功績のあった市民、団体の表彰等実施	573 人	総務課	
キャッチコピー・ロゴマーク募集		公募によるキャッチコピー・ロゴマークの作成	キャッチコピー981 件 ロゴマーク 137 件	シティプロモーション課	
のぼり旗作成		キャッチコピー・ロゴマークを記載したのぼり旗を作成	120 本作製	総務課	
加須市ふるさと写真コンクール 歴代入賞作品展示		令和 6 年度及び歴代入賞作品（平成 28 年度～）の展示	展示作品数 54 作品	シティプロモーション課	
記念式典における物産展		合併 15 周年記念式典時に加須の特産品の販売等を実施	573 人	観光振興課	
青少年未来会議		市立中学生の提言や考えを市政に反映するための会議を開催	85 人	議事課	
Baseball15 フェスティバル 2024		新たなスポーツ Baseball15 の大会を開催	336 人	スポーツ振興課	
加須産いちごスイーツメニュー 開発支援補助金		新メニューを開発し、販売を行う事業者への開発支援補助金の交付（補助率 10/10 上限 150,000 円）	6 件	産業振興課	
加須のうどん×YouTube「埼玉うどん子 TV」		武正倫氏とのコラボイベント（トークショーなど）を開催	309 人	観光振興課	
くんくんウォーク		加須のにおいを感じながら市内を散策	13 人	生涯学習課	
上記以外のイベントの実施					
市民の日特別給食メニューの提供（小中学校及び幼稚園・保育所）、「私の 3 2 3」の募集・紹介、郷土資料展示室（騎西城）特別公開、親子クライミング教室の開催、市民の日特別展示（市内図書館）を実施した。					

2 新たなキャッチコピー・ロゴマーク



3 協賛事業

「加須市合併 15 周年記念協賛事業募集要項」に基づき、市民団体等から市民の日に因んだ自発的な取組を募り、実施した。

記念セール・割引・イベントの開催等、21 事業を実施していただいた。

4 公共施設等の無料化

市内シャトルバス、運動公園、体育館、グリーンファームなどの 17 施設等で実施した。

5 冠化事業

市の既存事業等に「加須市合併 15 周年記念」の冠を付けて開催 99 件

6 市民顕彰

市政の進展及び市民福祉の増進に貢献し功労のあった個人又は団体に対し、感謝状等を贈呈(164 件)することにより、活力あるまちづくりへの推進及び市政への参画と協働に対する市民意識の醸成が図られた。

事業名		自治体間交流事業			5134-01	
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	276,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	276,000 円	—	
目	01	一般管理費	決 算 額	109,247 円	—	
事業の目的		・ 県内外の自治体との間で、教育・文化・スポーツなどの交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図る。				
事業の概要		・ 防災協定関係等にある自治体や県内外の自治体との間で、教育・文化・スポーツなどの交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図る。 ・ 姉妹都市等との住民交流を促進するため、該当する事業に対して補助金を交付する。				
事業の実績・成果						
1 新たな友好都市協定の締結～長野県中野市～ 加須市出身の音楽家である下總皖一氏と長野県中野市出身の国文学者である高野辰之氏が、多くの童謡、唱歌及び校歌を世に残した縁をきっかけに、両氏を顕彰する住民同士の交流が30年近く続いていることから、令和6年10月14日に、加須市役所で中野市との「友好都市協定」を締結した。 今後は、両市の地域資源を活用しながら、民間及び行政の交流を進め、中野市との友好を深めながら地域の活性化を目指していく。						
2 姉妹都市・友好都市交流事業補助金 姉妹都市（栃木県さくら市）・友好都市（福島県双葉町及び長野県中野市※）と住民交流の推進を図るため、1団体当たり補助対象人数30人（訪問事業：1,500円／人、歓迎事業：1,000円／人）を限度として、親善及び交流を目的とする事業に補助金を交付する。 ※長野県中野市については、友好都市協定締結以降、補助対象とした。 ・ 訪問事業（最大45,000円／団体） ・ 歓迎事業（最大30,000円／団体）						
年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問	交 付 団 体 数	0	0	0	3	1
	補 助 対 象 人 数	0	0	0	59	14
	補助金額（円）	0	0	0	88,500	21,000
歓迎	交 付 団 体 数	0	0	1	0	1
	補 助 対 象 人 数	0	0	12	0	22
	補助金額（円）	0	0	12,000	0	22,000
3 姉妹都市、友好都市との主な交流						
(1) 栃木県さくら市						
令和6年 7月7日	さくら市で「喜びの道の駅 ゆめきらり 2024」が開催され、姉妹都市の道の駅が一堂に会し、各地域の物産販売を通して交流を図った。（北川辺総合支所 農政建設課、地域振興課、大利根総合支所 農政建設課、地域振興課）					
令和6年 11月10日	さくら市との協働により、さくら市の食（グルメ）を活用した「姉妹都市婚活グルメツアー」を開催した。（人権・男女共同参画課）					
(2) 福島県双葉町						
令和6年 7月4日・5日	種足小学校5年生が、臨海学校の一環として双葉町立双葉南・北小学校と、合同体験（いかだ乗り、ボディボート体験、ナイトハント）を実施した。					
(3) 長野県中野市						
令和6年 11月10日	中野市が、第12回童謡のふる里おとね市民まつりで、物産販売及び中野市をPRした。（大利根総合支所 地域振興課）					

事業名		多文化共生推進事業（国際交流推進事業から事業名称変更）			5135-01
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,270,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,270,000 円	—
目	01	一般管理費	決 算 額	760,770 円	—
事業の目的		・ 国籍や民族・性別など、互いの差異を認め合い、対等な関係を築き、違いについて理解を深める。			
事業の概要		・ 海外日本語教師のホームステイ先を斡旋する「ワンナイトステイ事業」や、国際交流を行う市内団体への支援を行う。 ・ 外国人住民が地域社会の一員として共に暮らしていくために必要な支援等を行う。			
事業の実績・成果					
1 ワンナイトステイ事業					
国際交流基金日本語国際センター及び埼玉県国際交流協会において実施する海外日本語教師のホームステイについて、市内の受入家庭を登録し、ホームステイ受入の斡旋をすることで、身近な国際交流を促進した。					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録家庭数	5	5	3	3	3
受入人数	0（※1）	1（※2）	3（うち1件はオンライン交流会）	6	7
（※1）新型コロナウイルス感染症予防のため、斡旋団体の事業が中止 （※2）オンラインにて交流会を開催					
2 市内在住外国人向け多言語表記配布物等					
(1) 市で作成・配布（延べ90 資料）					
・ 主な市の配布物等 市ホームページ（11 言語）、広報かぞ（9 言語）、こいのぼり手ぬぐい同封チラシ（1 言語）、加須市紹介リーフレット（1 言語）、市民プラザかぞ施設案内（1 言語）、総合案内表示等（1 言語）、外国人生活情報セット（5 言語）、人権啓発リーフレット（9 言語）、ごみの分け方・出し方（10 言語）、地域別ごみカレンダー（4 言語）、災害時における避難場所に配布するコミュニケーション支援ボード（4 言語）、ハザードマップ（7 言語）、子育てガイドブック（9 言語）、集団胃がん検診後の注意事項（1 言語）、図書館コミュニケーション支援ボード（1 言語）、給食だより（9 言語）					
(2) 関係機関が作成したものを市で配布（延べ95 資料）					
・ 主な配布物等 外国語人権相談ダイヤル・人権相談所案内リーフレット（10 言語）、DV 相談窓口多言語チラシ（10 言語）、加須にほんごの会「日本語教室」案内（8 言語）、交通安全教育テキスト（8 言語）、日本年金機構ホームページ・国民年金制度の仕組み（14 言語）、母子手帳（10 言語）、予防接種予診票（17 言語）					
3 多言語情報配信ツールの活用					
外国人定住者に対して、暮らしやすい環境の整備を図るため、インターネット上で PDF ファイルを10 言語で閲覧できる多言語情報配信ツール（カタログポケット）を令和4 年度に導入し、活用している。					
【対応言語】英語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字）、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、日本語の10 言語					
【令和6 年度配信情報】広報かぞ、ごみの分け方・出し方、給食だより、子育てガイドブック、人権啓発リーフレット					

4 外国人生活情報セットの新規作成

市全体の人口に対する外国人の割合が増加傾向にあることから、国籍等の異なる人々が互いの文化を認め合い、地域社会を支え合い、ともに暮らしていくことのできるまちづくりを推進し、多文化共生社会を目指すため、日本で生活するうえでのマナーやルールをまとめた「外国人生活情報セット」を作成し、令和6年11月から配布している。

(1) 対応言語（6言語）

英語、中国語（簡体字）、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、やさしい日本語

(2) セット内容（手提げ袋の内容物）

- ・ようこそ加須市へ
- ・「ごみの分け方・出し方」簡略版チラシ
- ・自治会に加入しましょう
- ・納税ガイド
- ・「多言語情報配信ツール（カタログポケット）」チラシ
- ・「外国人総合相談センター埼玉」チラシ（県国際交流協会）
- ・「生活オリエンテーション動画」チラシ（出入国在留管理庁）
- ・「災害時に便利なアプリとWEBサイト」チラシ（内閣府）

(3) 配布場所

- ・加須市役所本庁舎1階正面入り口付近「多言語情報コーナー」
- ・市ホームページ など

事業名		秘書事務事業			5121-02
担当課		秘書課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	6,820,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	6,820,000 円	—
目	01	一般管理費	決 算 額	5,905,980 円	—
事業の目的		市長及び副市長の公務を適切に執行する。			
事業の概要		市長及び副市長のスケジュール管理、市長交際費の適正管理を行う。			
事業の実績・成果					

○市長交際費

「加須市市長交際費の支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。

【市長交際費の推移】

（単位：円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額	2,000,000	1,800,000	1,800,000	1,700,000	1,700,000
決算額	287,650	289,450	592,200	958,680	1,236,435

○祝電

叙勲褒章の受章者等に対し、祝電を送った。

【祝電の推移】

（単位：人）

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
33	52	40	60	47

事業名		入札契約管理事業			5311-23
担当課		管理契約課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	6,978,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	6,978,000 円	—
目	01	一般管理費	決 算 額	6,391,317 円	—
事業の目的		適正な公共調達の実施のため、地域性に応じ、透明性、競争性、公正性を確保した入札・契約事務の執行を図る。			
事業の概要		・「公共調達改革に関する加須市の取組基本方針」に基づき、落札率の高止まりの抑止及び市内事業者の育成等を図る。 ・適正な公共工事の施工を確保するための業者選定業務の実施 ・電子入札システムの活用による透明性を確保した円滑で効率的な入札契約業務を執行			
事業の実績・成果					
市が執行する建設工事等、物品購入等及び公共施設飲料自販機設置の競争入札について、次のとおり実施した。また、令和6年度から建設工事等の競争入札において最低制限価格制度を導入した。					
1 建設工事の入札状況					
(1) 一般競争入札					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成立件数（件）	13	20	14	29	36
金 額（円）	452,771,000	599,102,900	498,850,000	2,111,021,000	1,721,082,000
平均落札率（％）	95.16	95.98	96.25	96.68	96.38
※ 令和6年度の不成立・最低制限価格未満の入札は、共になし。					
(2) 指名競争入札					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成立件数（件）	135	176	147	136	114
金 額（円）	2,166,906,300	2,320,726,829	2,004,940,921	1,269,012,990	941,764,700
平均落札率（％）	95.91	96.48	95.96	96.32	96.25
(注) 単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算					
※ 令和6年度の不成立は1件。最低制限価格未満の入札は4件5業者発生した。					
2 建設工事に係る業務委託（土木施設維持管理・設計・調査・測量）の入札状況					
指名競争入札					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成立件数（件）	101	99	118	112	130
金 額（円）	450,844,750	462,518,951	516,439,054	513,403,652	685,278,109
平均落札率（％）	94.61	94.32	94.27	95.37	95.40
(注) 単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算					
※ 令和6年度の不成立は1件。最低制限価格未満の入札は3件4業者発生した。					

3 物品購入等入札状況

指名競争入札

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成立件数（件）	134	144	142	120	149
金 額（円）	600,101,433	1,659,326,516	4,177,150,178	935,873,937	2,883,545,538
平均落札率（％）	81.88	84.56	83.45	85.21	85.49

（注）単価契約については、落札金額（単価）に予定数量を掛けた総額で換算

※ 令和6年度は、11件が不成立、2件が不調となった。そのうち、3件は再度入札により契約を締結し、10件は随意契約により契約締結

4 公共施設飲料自動販売機設置の入札状況

一般競争入札件数 8件中4件成立した。落札金額は計1,157,884円、平均落札率は112.74%となった。不成立となった4件のうち再度入札により3件契約を締結し、1件は未設置となった。

事業名		総務管理事業			5311-27
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	6,221,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	10,156,962 円	—
目	01	一般管理費	決 算 額	9,672,987 円	—
事業の目的		・適正な事務執行に努めることで、総務一般事業の円滑な遂行をする。			
事業の概要		・市民総合賠償保険加入、消耗品の購入等について、財政事情を勘案しながら予算を執行する。 ・行政境界事務、自衛隊受託事務等について、効率的・効果的に事務を執行する。 ・原発避難者支援、平和事業、栄典事務について、必要に応じ適切に事務を執行する。			
事業の実績・成果					
1 市民総合賠償補償保険 市が所有、使用、管理する施設の瑕疵や市の業務遂行上の過失に起因する事故の損害賠償金及び市が主催・共催し、市民が参加する行事等で入院・通院を伴う傷害を被った場合の補償金を補てんする保険として、市民総合賠償補償保険に引き続き加入し、万一の事故等の発生に備えた。 保険適用案件：1 件					
2 自衛官募集事務 自衛隊に対する理解と協力を推進するため、自衛隊家族会等と協力して自衛官を募集した。 自衛官募集案内を広報かぞへ掲載（4 月、5 月、6 月、8 月、10 月、11 月、12 月号）計 7 回					
3 東日本大震災による県外避難者支援 (1) 広報紙、関連情報紙を希望する県外避難者宅へ郵送（1 回／月） (2) 郵送によるアンケートの実施 令和 6 年 5 月に実施した第 26 回及び令和 6 年 12 月に実施した第 27 回については、アンケートを郵送し、返送してもらう方法で実施することにより、避難者の健康状態等の確認、必要な支援を把握し、市が対応できる案件については各所管課で対応した。（対応例：買い物に困っている方に、デマンド型乗合タクシーの利用について案内した） (3) 加須市被災者支援会議の開催 アンケート結果を踏まえて、令和 6 年 7 月に第 21 回、令和 7 年 2 月に第 22 回加須市被災者支援会議を開催し、避難者住民に係る特例事務への対応状況等の確認や市の支援状況等について情報を共有した。 (4) 令和 6 年度東日本大震災犠牲者追悼行事の開催支援 令和 7 年 3 月 11 日に双葉町埼玉自治会主催による「東日本大震災犠牲者追悼行事」が旧騎西高等学校モニュメント前にて開催された。なお、会場使用に係る調整を埼玉県及び埼玉県サッカー協会と行い、支援した。 日 時：令和 7 年 3 月 11 日（火） 午後 2 時 20 分～ 会 場：旧県立騎西高等学校（SFA フットボールセンター「彩の国 KAZO ヴィレッジ」） 主 催：双葉町埼玉自治会 内 容：東日本大震災で犠牲になった方の追悼式 参加者：約 80 人					
4 平和事業					
令和 6 年 5 月 3 日		加須市民平和祭を開催			
令和 6 年 7 月 2 日		被爆樹木二世苗木を植樹（大利根東小学校）			
令和 6 年 8 月 2 日～8 月 16 日		「平和を考える写真展」を開催 106 名入場			
令和 6 年 8 月 15 日		終戦の日に半旗を掲揚			

事業名		法務相談事業			5312-02
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,550,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,550,000 円	—
目	01	一般管理費	決 算 額	1,208,632 円	—
事業の目的		法令上の争点を整理し、法的紛争を未然に防止するとともに、発生した訴訟及び審査請求に的確に対応する。			
事業の概要		・ 本事業の定例相談を、毎月 1 回本庁舎において顧問弁護士と直接相談する。 ・ 臨時相談は急を要するときに行うものとする。 ・ 業務の執行により紛争等が生じたとき、又は生じるおそれがあるときに業務所管課が相談するものとする。 ・ 行政不服審査法に基づく行政不服審査請求に対応する。			
事業の実績・成果					
○顧問弁護士相談					
・ 市役所における定例相談及び電子メールによる臨時相談を行った。 ・ 顧問弁護士からの的確な助言等を業務にいかし、問題の発生を未然に防止するとともに、円滑に事務を遂行できた。					
【令和 6 年度の定例相談件数】					
総数 38 件（うち電子メールによる臨時相談 10 件）					
（相談部局の内訳）					
(単位：件)					
総合政策部		7	上下水道部	3	
総務部		4	北川辺総合支所	2	
環境安全部		4	大利根総合支所	1	
経済部		4	生涯学習部	2	
福祉部		6	学校教育部	2	
都市整備部		3			
			合 計	38	
【相談件数の推移】					
(単位：件)					
年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
相談件数	23	32	31	32	38

事業名		人事管理事業			5313-03	
担当課		職員課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	98,056,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	113,561,454 円	—	
目	01	一般管理費	決 算 額	60,874,741 円	—	
事業の目的		・職員一人ひとりの能力を発揮させるため、人材育成事業と組み合わせながら人事管理を行う。 ・職員が健康で安全に働き続けられる職場とするため、健康診断や産業医による健康相談など労働安全衛生対策の充実を図る。 ・行政サービスを確実に提供し行政需要等への確に対応するため、定員管理を実施する。				
事業の概要		・職員採用試験、職員昇任試験(主幹職・主査職)や人事評価などを実施する。 ・定期健康診断や産業医による健康相談 ・ストレスチェックや産業医による健康相談 ・人事配置・給与支給・勤怠労務管理・服務管理(分限懲戒等)・定員管理 ・会計年度任用職員の任用管理				
事業の実績・成果						
1 職員昇任試験の実施						
(1) 一次試験(筆記・論文試験): 令和6年11月23日 二次試験(面接試験) : 令和7年1月15日・21日						
(2) 受験者数及び合格者数の推移 (単位: 人)						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
主査職	対象者数	69	70	79	80	82
	受験者数	19	16	22	26	27
	受 験 率	27.5%	22.9%	27.8%	32.5%	32.9%
	合格者数	9	10	11	11	9
主幹職	対象者数	132	136	132	129	127
	受験者数	16	16	13	16	15
	受 験 率	12.1%	11.8%	9.8%	12.4%	11.8%
	合格者数	11	11	9	9	6
2 職員採用試験の実施						
(1) 実施内容等						
①前期試験						
一次試験(総合適性検査 SCOA) : 令和6年6月8日～6月16日						
二次試験(面接試験) : 令和6年7月8日・9日・12日・16日						
②後期試験						
一次試験(教養試験・専門試験又は職務基礎力試験、適性検査、論文) : 令和6年9月22日						
二次試験(面接試験1回目) : 令和6年10月19日						
(面接試験2回目) : 令和6年10月22日・24日・25日						
・年2回の採用試験を実施し、前期試験では10月1日採用による定員確保を図った。						
・テストセンター方式による総合適性検査 SCOA を採用し、場所や日時を選択して受験できる環境整備を図った。						
・職種別 PR 動画及びポスターの作成並びに市 HP や SNS を活用した周知を行い、受験者数の確保に努めた。						

(2) 受験者数及び採用者数の推移

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受験者数	128	105	75	73	220 ^{※1}
採用者数	24	21	20	14	34 ^{※2}

※1 前期試験及び後期試験の総数

※2 令和6年10月1日及び令和7年4月1日の総数（職種別内訳：一般事務23人、その他専門職11人）

3 職員表彰の実施

(1) 永年勤続表彰 勤続30年となった職員を表彰 19人

(2) 功績表彰 他の職員の模範となり推奨すべき業績のあった職員を表彰 6件(19人)

4 健康経営の実践

- ・7月を健康月間と定め、職員のストレスチェック（受検者数1,322人：受検率98.1%）と労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断（一般健診1,139人：受診率81.9%）を実施した。（定期健康診断については、令和7年1月に追加で実施した定期健康診断分を含む。）
- ・埼玉県が健康経営に取り組む事業所・団体を認定する「埼玉県健康経営実践事業所」に、令和6年12月31日付けで加須市役所が認定を受けた。

5 会計年度任用職員の任用管理

会計年度任用職員の任用管理業務の一部（雇用保険資格取得・喪失手続、社会保険算定基礎届・月額変更届の提出等）を外部委託することで事務の効率化を図った。

正職員の給料表と同様の改定、給与改定における遡及分の支給や勤勉手当の支給など、処遇の改善を図った。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 41,626,200円

・翌年度への繰越事業の内容

職員人事給与システム更改及び庶務事務システム導入（41,626,200円）

・令和6年度から令和7年度へ繰り越す理由

システム更改及び新規導入が令和7年7月予定であり、年度を超えた契約が必要となるため。

事業名		人材育成事業			5313-04
担当課		職員課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	4,087,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	4,087,000 円	—
目	01	一般管理費	決 算 額	2,743,921 円	—
事業の目的		自立した自治体経営を目指すため、加須市職員の目指すべき「職員像」を明らかにし、総合的視点から職員の人材育成を図る。			
事業の概要		・ 自主研修を実施する。 ・ 鴻巣市、行田市及び羽生市と共同で実施している「四市共同研修会」や彩の国さいたま人づくり広域連合で行われる各種研修へ計画的に職員を派遣する。 ・ 自治大学校や市町村アカデミー等への派遣研修を行う。 ・ 新規採用職員サポーター制度を実施する。			
事業の実績・成果					
1 各種研修の実施 職員の能力・資質を伸ばし、市民サービスの向上につなげるため、職員研修実施計画に基づき各種研修を実施した。					
(1) 令和6年度 研修実績					
○市の自主研修 (単位：人)					
新規採用職員研修(前・後期)(令和6年4月採用)	14	新規採用職員研修(前・後期)(令和6年10月採用)	6	職員人権問題研修	497
男女共同参画研修	44	接遇能力向上研修	569	メンタルヘルス研修(ラインケア)	52
メンタルヘルス研修(セルフケア)	42	コンプライアンス研修	543	新任課長研修	12
情報セキュリティ研修(eラーニング研修)	1,795	人事評価(評価者)研修	71	コミュニケーション研修	55
子育て支援研修	30	財務会計事務研修	39	安全運転・エコドライブ講習	12
交通安全研修	638	公務員倫理研修	525	交通安全研修(自主学習)	1,558
○四市共同研修 (単位：人)					
初級職員研修	17	○J T研修	15	法制執務研修	9
政策形成研修	13				
○彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修 (単位：人)					
課長級研修	10	課長補佐級研修	9	主査級研修	11
中級研修(基礎)	15	階層別選択等研修	23	講師養成研修	1
民間企業派遣研修	1				
○その他機関への派遣研修 (単位：人)					
自治大学校	3	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)	7	地域活性化センターとの連携協定に基づいた事業	1
埼玉県総合技術センター	8	埼玉県	5	埼玉県後期高齢者医療広域連合	1
衛生推進者養成講習等	6				

(2) 研修人数の推移					(単位：人)
研 修 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市の自主研修	2,297	2,800	2,121	3,746	6,502
四市共同研修	39	114	49	71	54
彩の国さいたま人づくり 広域連合への派遣研修	81	78	76	68	70
その他機関への派遣研修	27	34	51	78	31
合 計	2,444	3,026	2,297	3,963	6,657

2 新規採用職員サポーター制度の実施

対象者数：新規採用職員 20 人（4 月新規採用職員 14 人 10 月新規採用職員 6 人）

実施期間：4 月新規採用職員 令和6年4月～9月
10 月新規採用職員 令和6年10月～令和7年3月

所属長の推薦をもとにサポーターを指名し、所属長の作成した指導案に基づいて、サポーターを中心に各課において新規採用職員へ指導・助言を行った。

事業名		職員福利厚生事業		5313-06	
担当課		職員課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,520,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,520,000 円	—
目	01	一般管理費	決 算 額	1,168,766 円	—
事業の目的		職員の福利厚生の充実を図るとともに、自立した自治体経営を目指すため、職員間の交流による連携(絆)を深め、組織力を向上させる。			
事業の概要		・ 加須市役所職員厚生会の活動を支援する。 ・ 職員用の医薬品を購入し、配備する。			
事業の実績・成果					
1 職員厚生会実施事業					
(1) 親睦共済事業		・ ディズニー・オン・アイス鑑賞バスツアー ・ 東京ディズニーシーバスツアー ・ ボウリング大会 ・ 宿泊補助金 ・ 親睦活動補助金 ・ 新規採用職員、退職者記念写真等			
(2) 体育事業・教養事業		・ クラブ活動補助			
【補助金の推移】		(単位：千円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市補助金	0	0	0	706	1,150
※参考 令和6年度 会員負担金 3,399,200 円 (月 400 円)					
2 職員用の常備医薬品を購入し、本庁舎及び各総合支所へ配備した。					

事業名		施工等管理事業			5314-03	
担当課		管理契約課			現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	140,000 円		—
項	01	総務管理費	最終予算額	140,000 円		—
目	01	一般管理費	決 算 額	104,615 円		—
事業の目的		・市が発注する建設工事及び委託に係る契約の適正な履行の確保と給付の完了の確認及び良質な成果品を確保する。 ・受注者の建設意欲を高め、工事の質的向上を図る。				
事業の概要		・市が発注する建設工事及び委託業務の検査 ・監督員及び指定検査員を対象とした研修会の実施 ・優秀建設工事表彰式の実施				
事業の実績・成果						
1 令和6年度に実施した完了検査（853件）は全て合格となり、適正な公共調達を図ることができた。 (単位：件)						
区 分			件 数			
入札			350			
工事			160			
うち、検査書類等の修正指示			7			
うち、再検査			0			
委託			190			
うち、検査書類等の修正指示			5			
うち、再検査			0			
随意契約			503			
工事			166			
うち、検査書類等の修正指示			17			
うち、再検査			0			
委託			337			
うち、検査書類等の修正指示			43			
うち、再検査			0			
2 加須市優秀建設工事表彰式を開催して、市発注工事における優秀な成績の工事に対し、受注者と技術者を表彰し受注者及び技術者の建設意欲を高め、併せて工事の質的向上を図った。 開催日 令和6年8月22日（木） 会 場 北川辺文化・学習センター「みのり」多目的ホール 表彰者 2者（土木業者2者）						
3 監督員及び指定検査員になった職員を対象に研修会を実施（3回）した。 開催日 令和6年7月26日（午前・午後）、令和7年2月4日（午後） 会 場 本庁舎会議室						
4 一般社団法人日本経営協会主催による「土木工事技術検査の具体的な進め方」についての研修会をオンラインで受講し、完成検査・部分検査に関する技術面・法律面等の検査執行に必要な知識向上を図り、工事検査を適正に行うことができた。 開催日 令和6年11月14日、15日 参加者 検査員2名						
5 検査員会議を開催（3回）し、兼任検査員との情報交換や工事検査における主な視点、年度末に向けての検査実施等について協議し、受注者の技術の向上や指導・育成等を図ることができた。 開催日 令和6年5月30日、7月19日、令和7年1月31日 会 場 本庁舎会議室						

事業名		広報紙等発行事業			5111-01
担当課		シティプロモーション課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	28,189,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	22,507,000 円	—
目	02	文書広報費	決 算 額	20,499,941 円	—
事業の目的		市民へ行政に関する必要な情報を提供し、情報の共有化を図る。			
事業の概要		紙面構成の検討、特集記事の企画立案、掲載内容の調整・配置等の編集を行い、広報紙「広報かぞ」を毎月発行する。			
事業の実績・成果					
1 広報紙「広報かぞ」の発行					
広報紙「広報かぞ」を毎月 1 日に発行した。イラスト制作委託や、ユニバーサルデザインフォントを活用し、紙面のビジュアル力を高めながら、読みやすく、手に取って読んでもらえる広報紙づくりに取り組んだ。					
・「広報かぞ」月発行部数及び年間印刷製本費					
年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
月発行部数 (部)	41,400 (5 月～4 月)	41,600 (5 月～4 月)	41,600 (5 月～4 月)	41,600 (5 月～4 月)	41,600 (5 月～4 月)
決算額 (円)	15,847,920	13,979,674	16,592,110	19,668,558	18,194,169
2 「広報かぞ」のリニューアル					
令和 7 年 1 月号から「つながる、広がる広報紙」をコンセプトに、これまで以上に興味を持ってもらえる内容、市民に寄り添った内容を目指し、広報かぞを一部リニューアルした。					
【主なリニューアル事項】					
(1) リニューアルしたことが一目でわかるよう、表紙デザインを一新した。					
(2) 観光大使で YouTuber の武正倫氏が、市内のうどん店を紹介する新コーナーを開始した。					
(3) 青少年未来議会での提案を受け、市立中学校の生徒が学校のイチ推しを紹介するコーナーを開始した。					
(4) 市民の声を生かした広報紙づくりに取り組むため、読者アンケートを開始した。併せて、アンケート回答者に抽選で「かぞブランド認定品」を贈呈する企画を開始し、産業振興と地域活性化に寄与した。					
(5) 新たな財源確保として、有料広告の掲載を開始した。(1 枠 20,000 円)					
3 配布					
自治協力団体を通じた配布をはじめ、市内の公共施設、コンビニエンスストア、駅、工業団地立地企業や東日本大震災避難者等に配布し、広く情報提供に努めた。					
4 各種ツールを活用した配信					
広報かぞを市公式ホームページや、民間の無料スマートフォンアプリ「マチイロ」、ウェブサイト「マイ広報紙」など、多くのツールを活用し広く配信を行った。					
このほか外国人住民向けに 10 言語で閲覧できる多言語情報発信ツール「カタログポケット」を活用して、ホームページや専用アプリ等で配信した。					

事業名		市民カメラマン事業		5111-02	
担当課		シティプロモーション課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	27,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	27,000 円	—
目	02	文書広報費	決 算 額	26,494 円	—
事業の目的		市民との協働による広報活動の活性化を図る。			
事業の概要		ボランティアとして活動する意欲がある市民を公募し、市民カメラマンとして市長が委嘱する。 市内で行われるイベント等の撮影を依頼する。 3 年度以上活動した方には、感謝状を贈呈する。			
事業の実績・成果					
市民カメラマン事業は、平成 22 年 10 月（加須地域では平成 19 年 4 月）から実施しており、撮影していただいた写真を広報かぞ、市公式ホームページや SNS へ掲載し、市民との協働によるまちづくりにつなげている。 市の魅力を市民カメラマンの写真を通じて紹介するとともに、市民カメラマン活動の周知及びモチベーションのアップを目的として、「市民カメラマン写真展」を開催した。 また、写真展で展示した作品を、市公式ホームページに「市民カメラマン作品集」として公開した。					
1 委嘱日 令和 6 年 4 月 10 日（水）					
2 委嘱数及び広報紙等掲載件数					
年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
委嘱人数（人）	5	5	8	7	7
掲載件数（件）	86	49	52	88	552
3 市民カメラマン写真展					
(1) 開催期間：令和 7 年 1 月 8 日（水）～22 日（水） ※土曜日を除く					
(2) 展示場所：本庁舎 1 階 市民ギャラリー					
(3) 展示数：42 点					

事業名		加須市PR・営業推進事業			5112-01
担当課		シティプロモーション課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	6,668,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	6,850,000 円	—
目	02	文書広報費	決 算 額	6,349,862 円	—
事業の目的		加須市の魅力や特長、アピールポイント、各種施策を市内外に向けて積極的に情報発信することにより、本市の認知度を上げるシティプロモーションを展開する。			
事業の概要		PR営業本部会議を開催し、新たなPR方策の検討・事業化に努める。 PR用品等の作成・活用のほか、様々なPR手段を積極的に導入し、加須市の魅力発信に努める。			
事業の実績・成果					
1 加須市PR営業本部会議の開催					
(1) 開催日：令和7年1月24日（金）					
(2) 構成：副市長、加須市商工会代表、加須市山岳連盟代表、加須市PTA連合会代表、加須市観光大使、株式会社むさしの村代表、道の駅かぞわたらせ代表、道の駅童謡のふる里おおとね代表、加須はなさき公園代表、平成国際大学教授、一般公募（合計17名）					
2 こいのぼり手ぬぐいの作製（増刷）					
(1) 作製本数：4,000 本 (2) 作製費用：1,942,600 円					
3 ガイドマップの作製（修正増刷）					
(1) 作製部数：10,000 部 (2) 作製費用：1,892,000 円					
4 高速道路サービスエリアへのリーフレット設置					
(1) 設置場所・期間：蓮田SA（上り）・令和6年8月の1カ月間 (2) 広告料：66,000 円					
(3) 設置冊子（配布数）：加須市ガイドマップ「かぞくる！」（249 部）、かぞブランドブック（89 部）					
5 テレビ埼玉データ放送サービスの実施					
(1) 提供件数：23 件/年間 (2) 使用料：55,000 円×12 月＝660,000 円					
6 加須市が新聞、テレビ、ラジオなどで掲載（放送）された件数 （単位：件）					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	570	611	470	485	547
7 FMラジオによる広報番組の放送					
コミュニティ放送局「FMわたらせ」と連携して市の広報番組を作成し、毎月第1・第3木曜日の16時15分から16時30分の間に定時放送し、行政や観光情報等の地域に密着した情報を広く発信した。 また、令和6年10月6日（日）に第12回渡良瀬遊水地まつり inKAZOの会場から出張レポートで生放送し、イベントの様子や市のPRを行った。					
(1) 定時放送回数：24 回 (2) 委託料：633,490 円					
8 ドローンによる動画撮影の委託					
加須市民平和祭でジャンボこいのぼりが遊泳する様子を、ドローンで動画撮影する業務を委託した。撮影した動画は市ホームページやSNS等で発信するとともに、報道機関等に提供し、市のPRに活用した。					
9 加須市の新たなキャッチコピー・ロゴマークを作成					
合併15周年を記念して、加須市の新たなキャッチコピー・ロゴマークを作成した。公募作品から選考し決定したキャッチコピーの趣旨を表現するロゴマークを公募し、市民による投票等を経て決定したもので、これを活用して市のPRを行った。					

【公募状況】

○キャッチコピー

(1) 募集期間：令和6年7月1日（月）～7月31日（水） (2) 応募件数：981件

○ロゴマーク

(1) 募集期間：令和6年11月1日（金）～12月2日（月） (2) 応募件数：137件

キャッチコピー	笑うかぞには福来る
ロゴマーク	

【キャッチコピー・ロゴマークを活用したPR】

- ・新たなデザインの名刺台紙を作成 1,000セット
- ・新たなデザインのPRショッピング袋を作成 10,000枚
- ・新たなデザインの職員用名札を作成
- ・写真撮影用バックパネルを作成
- ・ガイドマップへの掲載
- ・キャッチコピー・ロゴマークを用いた加須市のPR動画を作成

事業名		ホームページ・SNS活用事業			5112-02	
担当課		シティプロモーション課		現年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	6,878,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	6,878,000 円	—	
目	02	文書広報費	決 算 額	6,825,519 円	—	
事業の目的		ホームページやSNSを活用し、世界に向けてタイムリーかつスピーディーに情報を発信し、加須市の認知度を高める。				
事業の概要		見やすく分かりやすいホームページ実現のため、ページの更新状況を把握し、各課に対し更新の働きかけを行う。 また、SNSで旬な情報や動画をタイムリーかつスピーディーに発信する。				
事業の実績・成果						
1 ホームページ						
市の情報をタイムリーかつスピーディーに発信するため、随時内容を更新して公開した。 また、公開の際には、情報のカテゴライズや更新内容のチェックを徹底し、利用者の利便性・検索性の向上を図った。						
・ホームページ運営管理諸費用 (単位：円)						
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
運営管理諸費用	4,771,663	2,656,500	6,506,500	2,623,500	2,777,280	
・ホームページの月平均表示回数 (単位：回)						
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
回 数	541,706	612,632	505,775	555,350	491,442	
2 SNS						
市の情報やPR動画等を、市内外に向けて広く発信した。ライン登録者のうち、登録者がほしい情報の種類を設定することで、登録者に必要な情報のみ受信することができる基本設定をされていない方に対し、毎月1回、設定促進のメッセージを送信した。						
・各ツールの内訳						
SNS	件 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
フェイスブック	投稿数(件)	280	257	293	311	330
	フォロワー数(人)	2,709	2,814	2,888	3,199	3,322
エックス	投稿数(件)	279	266	292	318	345
	フォロワー数(人)	4,873	5,131	5,431	5,753	6,103
ユーチューブ	投稿数(件)	146	119	87	69	25
	チャンネル登録数(人)	685	907	1,200	1,480	1,680
インスタグラム	投稿数(件)	172	58	34	37	47
	フォロワー数(人)	1,423	1,770	2,036	2,361	2,649
ライン	投稿数(件)	119	212	254	555	987
	友だち数(人)	3,133	45,923	50,393	52,427	53,533
3 AIチャットボットの導入						
市の制度や手続きなど市民からの様々な問い合わせに対し、24時間365日、AI(人工知能)が対話形式で自動応答する「AIチャットボット」を市ホームページと市LINE公式アカウントに導入し、市民の利便性の向上や業務の効率化を図った。						
導入日：令和6年10月1日(火)						
システム導入委託料：1,545,500 円						
システム使用料：1,089,000 円(令和6年10月～令和7年3月分)						
対応言語：日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)、ベトナム語、ポルトガル語						

事業名		ふるさと写真・動画コンクール事業			5112-03
担当課		シティプロモーション課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	222,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	222,000 円	—
目	02	文書広報費	決 算 額	200,057 円	—
事業の目的		加須市の素晴らしさを再発見し、郷土への愛着を高めてもらうとともに、応募作品を活用し、多くの方に本市の魅力をPRする。			
事業の概要		テーマを決定し、応募作品の受付、審査を行い、市民の日に入賞者を表彰する。 写真コンクールは、応募作品をホームページ等で公開する。 動画コンクールは、応募作品をSNS等で公開する。			
事業の実績・成果					
【加須市ふるさと写真コンクール】					
「ありがとう」をテーマに写真コンクールを開催した。					
全応募作品を市公式ホームページに公開し、市内外に向けて広く市の魅力を発信した。					
1 応募数の推移					
回数 開催年度	第 11 回 令和 2 年度	第 12 回 令和 3 年度	第 13 回 令和 4 年度	第 14 回 令和 5 年度	第 15 回 令和 6 年度
応募者数（人）	52	67	59	59	57
応募点数（点）	79	107	89	98	90
2 入賞作品展示					
加須市合併 15 周年を記念し、ふるさと写真コンクールの歴代入賞作品を展示した。					
展示期間：令和 7 年 2 月 4 日（火）～3 月 23 日（日）					
展示場所：本庁舎ギャラリー、パストラルかぞ					
3 主な費用					
市長賞 1 人（賞金 30,000 円）					
議長賞 1 人（賞金 20,000 円）					
優秀賞 3 人（賞金 7,000 円）					
入 選 4 人（賞金 3,000 円）					
審査員謝金 6,000 円（3,000 円×2 人＝6,000 円）					
【加須市ふるさと動画コンクール】					
「ありがとう」をテーマに動画コンクールを開催した。					
全応募作品を市公式SNSに投稿したとともに、入賞作品を市公式ホームページに公開し、市内外に向けて広く市の魅力を発信した。					
1 応募数の推移					
回数 開催年度	第 4 回 令和 2 年度	第 5 回 令和 3 年度	第 6 回 令和 4 年度	第 7 回 令和 5 年度	第 8 回 令和 6 年度
応募点数（点）	15	15	18	11	9
2 主な費用					
市長賞 1 人（賞金 30,000 円＋かぞブランド認定品 20,000 円相当）					
議長賞 1 人（賞金 20,000 円＋かぞブランド認定品 10,000 円相当）					
優秀賞 3 人（賞金 7,000 円＋かぞブランド認定品 3,000 円相当）					

事業名	市長への手紙・メール事業			5121-01
担当課	秘書課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	22,000 円
項	01	総務管理費	最終予算額	22,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	5,377 円
事業の目的	広聴の推進を図るため、市民から直接、手紙・メールによる意見、提案、要望等をいただく。			
事業の概要	手紙については、市内公共施設に投函箱を設置し、メールについては、ホームページによりそれぞれ意見等を伺い、市長が1件1件確認して市長名で回答する。			

事業の実績・成果

「市長への手紙」専用はがき及び投函箱を本庁舎、各総合支所、各地区のコミュニティセンターなどをはじめとする市内の公共施設に設置し、市民等からいただいたご意見等について、市長名で回答している。

また、加須市公式ホームページ内の「市長へのメール」からいただいたご意見等についても、市長名で回答している。

1 市長への手紙通数の推移

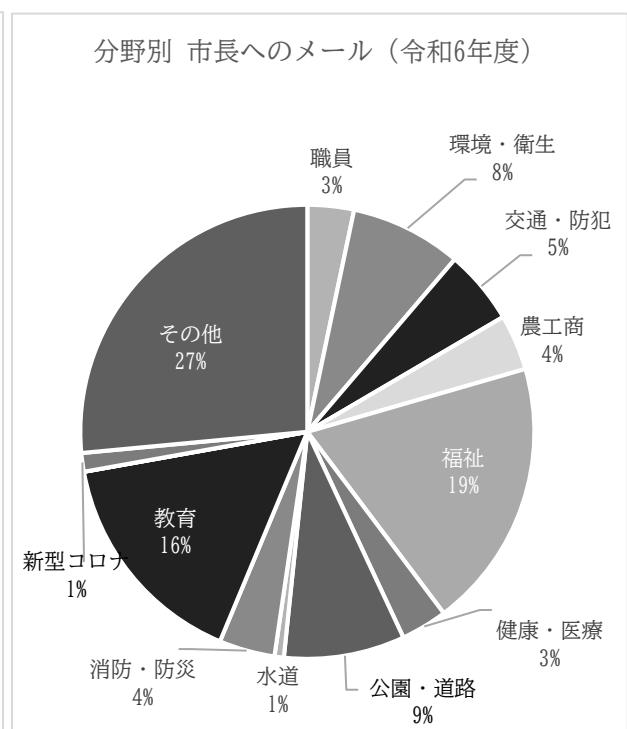
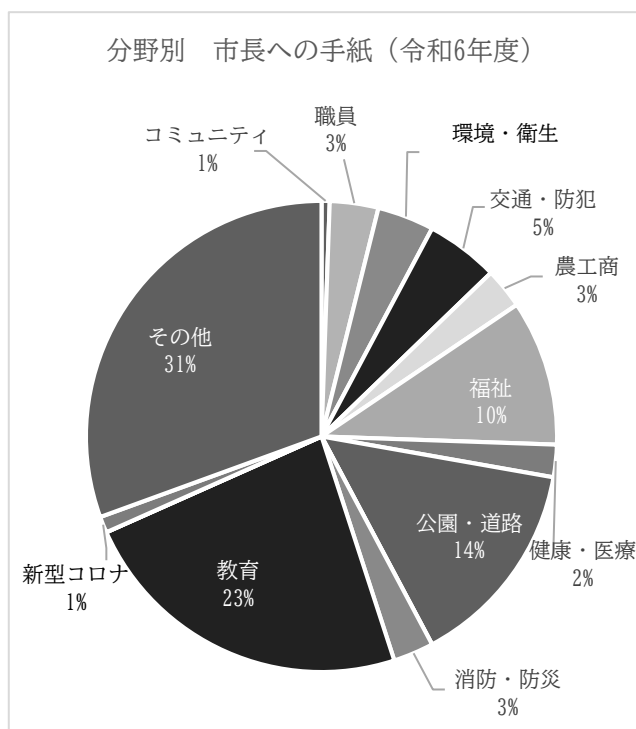
(単位：通)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
通 数	232	204	187	180	132

2 市長へのメール通数の推移

(単位：通)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
通 数	132	117	152	151	150



事業名		情報公開・個人情報保護事業			5132-01	
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	454,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	454,000 円	—	
目	02	文書広報費	決 算 額	101,519 円	—	
事業の目的		透明で開かれた市政運営の推進と行政への市民の信頼の確保を図るとともに、市が保有する個人情報を適切に保護することにより個人の権利利益の保護を図り、もって基本的人権の擁護に資する。				
事業の概要		・加須市情報公開条例及び個人情報の保護に関する法律に基づく制度を適正に運用する。 ・加須市情報公開・個人情報保護審査会を必要に応じて開催する。 ・審議会等の会議の公開及び会議録の公表制度を運用する。				
事業の実績・成果						
○行政情報を適切に公表した。 ○個人情報を適切に保護した。 ○審議会等の会議を適切に公開し、会議録を公表した。						
1 情報公開及び個人情報保護関係						
(1)情報公開請求・申出受付処理件数					(単位：件)	
		受付処理件数				
			全部公開	一部公開	非公開	取下げ
公開請求等		32	8	20	3	1
【情報公開請求・申出受付処理件数の推移】					(単位：件)	
年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
受付処理件数	21	24	32	25	32	
(2)個人情報開示請求受付処理件数						(単位：件)
		受付処理件数				
			全部開示	一部開示	不開示・存否応答拒否	取下げ
開示請求		38	10	24	3	1
【個人情報開示請求受付処理件数の推移】					(単位：件)	
年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
受付処理件数	32	50	28	25	38	
2 審議会等の公開・議事録の公表						(単位：件)
開催件数		公開・一部公開	書面審議	非公開	会議終了後 20 日以内に議事録を公表した件数	
315		90	4	221	310	
(非公開理由：会議の内容に個人情報が含まれるため)						

事業名		文書収発浄書事業			5312-01
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	90,986,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	91,169,000 円	—
目	02	文書広報費	決 算 額	79,428,853 円	—
事業の目的		・適正な行政サービスを実施するため、本市における印刷、郵送、使送などの事務を円滑に進める。			
事業の概要		・印刷用紙などの関連消耗品の購入、郵送、使送業務、ファックス等の借上げ ・コピー機等を管理するとともに簡易印刷物については庁内印刷機等を活用する。 ・郵便物等の文書の収発業務及び各総合支所等への使送業務を行う。			
事業の実績・成果					
○ 自治協力団体への広報紙等の使送業務については、配布物の仕分け・配送をシルバー人材センターへ業務委託を行い、市内 4 地域で配布物を 1 日で配布することにより、市民サービスの向上が図られている。					
○ 郵便料・コピー用紙購入費については、経費削減のため、電子メールの活用や裏面の再利用、イベント等の広報を可能な限り広報紙へ一元化するなどの取り組みを行い、総合的な経費の削減に努めた。					
1 郵便料等の推移					
(単位：円)					
年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
郵便料	41,952,274	41,391,490	42,164,314	39,381,381	43,857,008
(単位：円)					
年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
コピー用紙購入費	12,451,336	12,464,808	11,430,115	14,724,045	12,541,972
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
コピー機 管理台数 (台)	15	15	15	15	15
コピー機カウンター 料金(円/年)	4,361,564	4,066,003	4,268,223	3,829,884	3,426,963
コピー機使用枚数 (枚/年)	4,295,774	4,022,904	4,231,170	3,800,124	3,397,728
〔コピー機管理台数内訳〕 本庁舎：9 台、各総合支所：各 2 台 計 15 台					
2 OA機器にかかる費用					
【本庁】(総務課)					
種 類	リース料 (円)		契約期間		リース会社
	年 額	月 額	開 始	終 了	
ファクシミリ	233,640	19,470	R4.10.1	R7.5.31	セキグチシステム販売(株)
紙折機	6,534	-(再リース)	R5.10.1	R6.9.30	(有)アライ
	6,534	-(再リース)	R6.10.1	R7.9.30	(有)アライ
電動裁断機	165,000	13,750	R3.2.1	R8.1.31	キャノンシステムアンドサポート(株)
デジタル印刷機 1 号機	262,680	21,890	R4.8.1	R6.10.31	(有)アライ
			R6.11.1	R7.7.31	(株)雄飛堂 熊谷支店
デジタル印刷機 2 号機	179,520	14,960	R5.3.1	R6.10.31	(有)アライ
			R6.11.1	R8.2.28	(株)雄飛堂 熊谷支店
丁合機	114,840	9,570	R3.2.1	R8.1.31	キャノンシステムアンドサポート(株)

【騎西総合支所】（地域振興課）

種 類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年 額	月 額	開 始	終 了	
ポスター・プリンター	76,560	6,380	R2.4.1	R7.3.31	(株)雄飛堂 熊谷支店
印刷機	125,400	10,450	R6.4.1	R7.3.31	(株)雄飛堂 熊谷支店
ファクシミリ	50,160	4,180	R5.9.1	R6.8.31	(株)雄飛堂 熊谷支店
			R6.9.1	R7.8.31	
複写機（市民用）	87,841	-（再リース）	R5.7.1	R6.6.30	キャノンシステムアンドサポート(株)
			R6.7.1	R7.6.30	

【北川辺総合支所】（地域振興課）

種 類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年 額	月 額	開 始	終 了	
印刷機	118,800	9,900	R6.7.1	R7.6.30	(株)雄飛堂 熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	20,314	-（再リース）	R6.7.1	R7.6.30	NTT・TCリース(株) 関東支店
複写機兼ファクシミリ（カラー）	136,636	単価契約	R6.7.1	R7.6.30	キャノンシステムアンドサポート(株)
複写機（市民用）	116,160	-（再リース）	R6.9.1	R7.8.31	埼玉オーエー機器(株)

【大利根総合支所】（地域振興課）

種 類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年 額	月 額	開 始	終 了	
印刷機	125,400	10,450	R6.4.1	R7.3.31	(株)雄飛堂 熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	55,326	—	R6.4.1	R7.3.31	キャノンシステムアンドサポート(株)
複写機（市民用）	44,280	3,690	R6.4.1	R7.3.31	リコージャパン(株)マーケティング本部 埼玉支社

事業名		例規文書管理事業			5312-03
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	8,271,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	8,271,000 円	—
目	02	文書広報費	決 算 額	6,694,926 円	—
事業の目的		法制執務や法令解釈に関し必要な助言や相談を行い、条例、規則等の制定改廃及び適切な文書管理（公印の管理を含む。）を実施することで円滑な行政運営を図る。			
事業の概要		法制執務及び例規整備に関する相談を実施するとともに、法令関係図書、例規データベース等の法令業務に関する環境を全庁的に整備し、迅速かつ的確に行政立法等に係る業務を実施する。 また、情報公開に対応した文書管理の構築や公印の適正な管理を行う。			
事業の実績・成果					
○例規等の審査を適切に実施し、制定改廃が必要な例規への対応を図った。 ○ファイリングシステムについて、総務課職員による巡回指導を行い、所管課ごとに課題を発見し、それぞれ運用を改善した。					
1 例規等の審査の実施 令和6年度審査件数 501 件 【内訳】 条例…30 件、規則…37 件、訓令…5 件、告示・要綱等…429 件					
2 法制執務・政策法務等関係図書の整備 1,137,002 円					
3 例規・法令検索システムの適正な運用及び紙製例規集の追録作成 ・ 例規・法令検索システム使用料…924,000 円 ・ 例規・法令検索システム更新データ作成…858,000 円					
4 ファイリング用品等の整備 保存箱、個別フォルダー、フォルダーラベル等の購入…2,598,750 円					
5 保存期間満了文書の再資源化 廃棄文書の搬出、溶解処理施設までの運搬及び溶解処理（古紙へ再資源化）					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量（kg）	16,380	15,680	15,700	14,720	14,680
単価（円/kg）	9.13	16.5	19.8	19.8	5.5
委託金額（円）	149,549	258,720	310,860	291,456	80,740
※各総合支所分を含む。					
6 ファイリングシステム巡回指導の実施 【対象】 本庁舎内の各課 【期日】 令和6年10月29日、同月30日、同年11月1日及び同月20日					

事業名		財政管理事業			5311-24
担当課		財政課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	11,919,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	12,251,000 円	—
目	03	財政管理費	決 算 額	10,300,039 円	—
事業の目的		経済情勢や事業の進捗状況を踏まえ、中・長期的な視点に立ち、持続可能で安定した財政運営を行う。			
事業の概要		・ 予算編成及び執行に関すること ・ 財政計画（見直し）及び財政事情の公表に関すること ・ その他財政に関すること（財務会計システムの管理・運用など）			
事業の実績・成果					
・ 令和 5 年度決算に係る行政報告書（主要な施策の成果を説明する書類）及び令和 7 年度一般会計・特別会計予算書（当初予算書）を作成した。					
令和 5 年度決算に係る行政報告書 160 冊 421,520 円					
令和 7 年度一般会計・特別会計予算書 160 冊 393,888 円					
・ 令和 5 年度決算に基づく健全化判断比率（4 指標）を公表した。					
(単位：％)					
		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和 5 年度		— (12.00)	— (17.00)	5.6 (25.0)	— (350.0)
令和 4 年度		— (12.03)	— (17.03)	5.1 (25.0)	— (350.0)
※ 実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は算出されないため、「—」と表記している。					
※ 括弧内の数字は、加須市の早期健全化基準である。					
・ 令和 5 年度決算に基づく財務書類（統一的な基準）を作成し、ホームページで公表した。					
※ 財務書類とは、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書、注記及び附属明細書である。					

事業名		公金納付円滑事業			5252-04
担当課		会計課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	21,106,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	21,106,000 円	—
目	04	会計管理費	決 算 額	19,365,704 円	—
事業の目的		市民の利便性の向上を図るため、公金納付方法について研究し、納付場所や時間に制約されず公金を納付できる環境を整備する。			
事業の概要		・口座振替での収納を促進するため、関係機関と連携し、市民への周知 ・多岐にわたる窓口で納付された公金の迅速かつ正確な管理 ・コンビニエンスストア納付制度及びスマートフォンによるバーコード決済の適切な運用			
事業の実績・成果					
1 公金収納日計処理業務 コンビニエンスストア収納により多様化・複雑化した日計処理業務について、専門的知識を有する事業者にて委託することで、正確かつ迅速な処理を行った。 (1) 業務内容 金融機関等で収納された市税、料金の納入済通知書の読取、コンビニエンスストア収納データ代行受信、各種システムへの消込データの作成等 (2) 経費 令和6年度処理業務委託料 11,301,324 円 (単位：円)					
会計名	一般	国保	後期高齢	介護	
金 額	9,427,335	1,171,653	335,103	367,233	
(3) 受託業者 AGS株式会社					
2 コンビニエンスストア収納代行業務 納付方法を拡充し、市民の利便性の向上を図るため、平成24年度からコンビニエンスストア収納を実施した。また、令和2年6月から、スマートフォン決済アプリ「PayB」で払うキャッシュレス決済を導入し、令和5年4月からは「楽天銀行」「LINEPay」「PayPay」「auPAY」「d払い」「ファミペイ」も利用可能となった。 (1) 業務内容 コンビニエンスストアでの市税、料金の収納、収納済データの作成等 (2) 経費 令和6年度処理業務委託料 12,854,864 円 (単位：円)					
会計名	一般	国保	後期高齢	介護	
金 額	8,781,168	2,720,696	528,000	825,000	
(3) 受託業者 りそな決済サービス株式会社					

事業名		会計管理事業			5311-25
担当課		会計課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	22,768,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	22,768,000 円	—
目	04	会計管理費	決 算 額	20,695,069 円	—
事業の目的		財政の健全化を図るため、法令との整合性、正確性を重視し、多様化する出納事務を円滑に遂行する。 また、公金の確実な管理と効率的な運用を図る。			
事業の概要		現金等の出納・保管及び支出負担行為・支出命令に係る債務の確認を行う。 歳計現金及び各種基金の管理運用を適正に行う。 各課における公金の適正な取扱いを指導する。			
事業の実績・成果					
1 歳入歳出事務について、予算及び法令に則した伝票等の審査を行い、適正な出納処理に努めた。					
2 「公金取扱事務の管理適正化方針」に基づいた現金取扱業務の实地検査					
(1) 調 査 日 令和6年7月4日、5日、18日、19日、8月1日、2日の6日間					
(2) 調査対象 本庁・各総合支所 計51課 各体育館・コミセン・文化学習センター・幼稚園等 計98施設					
(3) 調査項目 現金収納手続きについて 現金、はがき、切手、収入印紙の保管について					
(4) 調査方法 現金取扱業務一覧表に基づき、担当職員からのヒアリング					
(5) 指導内容 切手等は所在を明らかにし施錠できる金庫等に適正に保管をすること					
.					
.					
.					

事業名		公用自転車利用推進事業			4314-04	
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	12,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	12,000 円	—	
目	05	財産管理費	決 算 額	0 円	—	
事業の目的		・ 地球温暖化防止等に身近なところから貢献するとともに、職員の健康維持増進を図る。				
事業の概要		・ 施設に応じた適正な配車を継続し、公用自転車が利用できる体制を維持する。 ・ 各施設から、片道 2 キロ未満の移動手段として、公用自転車を利用するよう、職員への周知を徹底する。				
事業の実績・成果						
1 公用自転車の配置及び利用						
環境への配慮及び職員の健康増進のため、業務上自転車を利用する機会、必要性があると認められる公共施設へ、公共施設から 2 km未満の移動手段として、公用自転車を配置した。 今後、修理不能となった公用自転車を入れ替え、公用自転車の更なる利用を推進する。						
(1)公用自転車配置箇所及び配置台数						
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	合計
加須地域 (令和元年度 以前 74 台)	礼羽小 (1 台)	なし	グリーンフ ァーム加須 (1 台) ※1 台廃車	加須図書館 (1 台) ※1 台廃車	なし	75 台
騎西地域 (令和元年度 以前 16 台)	なし	総合支所 (2 台)	なし	騎西体育館 (1 台) ※1 台廃車	なし	18 台
北川辺地域 (令和元年度 以前 14 台)	なし	なし	なし	なし	※10 台廃車	4 台
大利根地域 (令和元年度 以前 10 台)	なし	なし	なし	なし	なし	10 台
合計 (114 台)	1 台	2 台	0 台	0 台	▲10 台	107 台
(2)公用自転車利用実績						
年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
公用自転車 利用回数	410	307	242	196	166	
2 km未満公用車 利用回数	318	171	215	130	128	
公用自転車 利用率(%)	56.3	64.2	53.0	60.1	56.5	
※公用自転車利用率＝公用自転車利用回数／（2 km未満公用車利用回数＋公用自転車利用回数）						

(3) 公用自転車ヘルメット設置

ヘルメット設置数

設置場所	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本庁舎	5	5	5
騎西総合支所	2	2	2
北川辺総合支所	2	2	2
大利根総合支所	2	2	2
その他公共施設	41	41	41
合 計	52	52	52

事業名		公共施設等再整備基金事業			5311-10
担当課		財政課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	108,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	186,252,000 円	—
目	05	財産管理費	決 算 額	186,223,102 円	—
事業の目的		公共施設等の整備・改修計画に位置づけられたもののほか、今後発生する一般的な公共施設等の建替え又は改修等を目的とした経費に充てる財源として、計画的に基金に積み立てるとともに、適時必要額を活用する。			
事業の概要		今後予定されている公共施設等の整備・改修計画、必要額を把握し、その財源として前年度繰越金の一部を基金へ積み立てる。			
事業の実績・成果					
・今後の公共施設の改修等を目的とした経費の財源として、前年度繰越金等を活用して積み立てを行った。 また、運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。					
【年度末基金残高の推移】			(単位：円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
取り崩し額	609,937,374	469,731,509	474,626,771	387,800,877	1,060,414,271
積み立て額	701,288,556	1,600,000,000	2,150,000,000	859,997,000	184,329,000
利 子	261,303	160,525	69,057	67,956	1,894,102
年度末残高	1,863,086,776	2,993,515,792	4,668,958,078	5,141,222,157	4,267,030,988
※ 令和6年度は、元和小学校校舎増築工事、クリーンセンターの施設修繕、道路維持管理、枝線用排水路改修などの財源として1,060,414,271円取り崩した。					

事業名		普通財産管理事業			5314-05
担当課		管理契約課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	14,267,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	14,267,000 円	—
目	05	財産管理費	決 算 額	12,238,558 円	—
事業の目的		普通財産の有効活用を図るため、適正な維持管理を推進する。			
事業の概要		・ 固定資産台帳による市有財産管理及び財産規則等に基づく公表 ・ 普通財産（土地・建物）の適正管理 ・ 除草、剪定、消防設備点検、各種修繕、火災保険及び光熱水費の支払いなどの維持管理 ・ 政教分離が必要な物件への適正な対応			
事業の実績・成果					
加須市が所有する普通財産について、除草・樹木剪定等を行い適正な維持管理に努めた。また、用途廃止された法定外公共物等の売払いを実施し、財源確保に努めた。					
1 普通財産の推移					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通財産（全体）（箇所）		311	306	308	316
2 普通財産に係る主な歳出					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
修 繕	箇所数（箇所）	4	1	4	1
	総 額（円）	191,180	18,700	363,044	198,000
除 草	箇所数（箇所）	49	50	56	59
	総 額（円）	3,712,770	5,339,576	4,098,378	6,224,659
樹 木 剪定等	箇所数（箇所）	6	5	9	11
	総 額（円）	1,069,200	1,595,440	3,093,200	2,826,450
不動産 鑑 定	箇所数（箇所）	5	9	10	9
	総 額（円）	264,000	484,000	440,000	396,000
工 事	箇所数（箇所）	1	3	1	0
	総 額（円）	220,000	909,150	40,535,000	0
合計総額（円）		5,457,150	8,346,866	48,529,622	9,645,109
3 普通財産に係る主な歳入					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
土地建物 貸付収入	件数（件）	44	44	38	36
	総額（円）	4,302,301	3,851,977	3,790,901	3,554,854
駐 車 場 貸付収入	件数（件）	64	67	66	65
	総額（円）	1,993,000	2,239,036	1,950,000	2,044,000
売払収入 （法定外公共物）	件数（件）	13	16	16	12
	総額（円）	8,197,156	28,056,233	12,945,797	11,964,892
売払収入 （普通財産）	件数（件）	2	8	4	2
	総額（円）	7,877,638	63,683,864	17,967,164	37,563,907
諸 収 入 （線下補償等）	件数（件）	2	12	6	9
	総額（円）	231,902	482,677	3,696,092	1,658,034
合計総額（円）		22,601,997	98,313,787	40,349,954	56,785,687

事業名		普通財産活用推進事業			5314-06
担当課		管理契約課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	9,615,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	9,615,000 円	—
目	05	財産管理費	決 算 額	3,353,900 円	—
事業の目的		健全な財政基盤による自治体経営の実現のため、普通財産の有効活用を推進する。			
事業の概要		未利用普通財産の適正な利活用を計画的に推進するため、「未利用普通財産の利活用基本方針」に基づき、対象となる未利用普通財産の利活用を実施する。			
事業の実績・成果					
加須市が所有する普通財産のうち、未利用普通財産及び貸付市有地について公売を実施し、財源確保に努めた。なお、一般競争入札による普通財産の公売を 2 件実施したが、申込者がなく不調になった。					
1 取組実績					
(1) 随意契約による売却					
対象物件		大利根クリーンセンター隣接地			
所 在 地		北大桑字舟戸 1829 番 1、地目：雑種地、地積：247.06 m ² 北大桑字舟戸 1829 番 3、地目：雑種地、地積：601.03 m ² 北大桑字舟戸 1830 番、地目：雑種地、地積：998 m ² 北大桑字舟戸 1969 番、地目：雑種地、地積：80 m ²			
契 約 日		令和 7 年 2 月 20 日			
売 却 額		18,691,609 円			
(2) 公共事業による売却					
事業名		主要地方道加須北川辺線 加須市上三俣地内外 橋りょう架換工事 買収用地			
該 当 地		上三俣字中通 903 番 4、地目：雑種地、地積：34 m ² のうち 2.69 m ²			
契 約 日		令和 6 年 8 月 29 日			
売 却 額		39,005 円（内 土地代金：39,005 円）			
事業名		一般県道礼羽騎西線 加須市馬内地内 自転車歩行者道整備工事 買収用地			
該 当 地		馬内 622 番、地目：宅地、地積：1,847 m ² のうち 45.95 m ² （礼羽幼稚園） 馬内 623 番、地目：宅地、地積：881 m ² のうち 26.8 m ² （礼羽コミュニティセンター）			
契 約 日		令和 6 年 8 月 29 日			
売 却 額		7,763,947 円（内 土地代金：1,818,750 円、物件補償：5,945,197 円）			
2 未利用普通財産の利活用の推移 (単位：件)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利 活 用 実 施 件 数	2	8	4	2	4
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 6,079,000 円					
・ 翌年度への繰越事業の内容					
普通財産解体設計業務委託（5,379,000 円）					
普通財産解体に伴うアスベスト調査業務委託（700,000 円）					
・ 令和 6 年度から令和 7 年度へ繰り越す理由					
入札の不調により年度内の完了が困難となったため。					

事業名		庁舎維持管理事業			5314-08
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	247,833,000 円	44,550,000 円
項	01	総務管理費	最終予算額	485,588,000 円	44,550,000 円
目	05	財産管理費	決 算 額	226,858,831 円	44,550,000 円
事業の目的		・施設内の安全性の確保及び施設の長寿命化を図る。			
事業の概要		・庁内の総合管理体制を整備し、修繕箇所に優先順位をつけ、効率的に修繕（改修）する。 ・空調設備の温度設定や使用時間の徹底など、経常経費の削減に努める。 ・庁舎における禁煙を徹底する。			
事業の実績・成果					
庁舎については、設備を点検し、故障や不具合があった場合、効率的な修繕等を行うことにより、施設を適正に維持管理した。（令和3年度から、各総合支所で各健康福祉センターの維持管理を実施）					
1 庁舎管理委託					
(1) 本庁舎		：庁舎総合管理、電話交換設備保守委託、駐車場除草等			115,835,808 円
(2) 騎西総合支所		：庁舎総合管理、電話交換設備保守委託、整枝・剪定等			13,106,632 円
(3) 北川辺総合支所		：庁舎管理、整枝・剪定、除草等			8,340,437 円
(4) 大利根総合支所		：庁舎管理、電話交換設備保守委託、除草、剪定等			6,901,824 円
2 修繕費					
【本庁舎】修繕工事一覧表（総務課）					
修 繕 工 事 名			施工業者又は件数等	費 用	
加須市役所本庁舎設備棟受変電設備状態監視ポイント追加修繕			村田電気工業(株)	3,025,000 円	
加須市役所本庁舎冷温水発生機凝縮器水室水漏れ修繕（令和7年3月完了）			三菱重工冷熱(株)	1,034,000 円	
その他修繕（50万円未満）			18 件	1,911,712 円	
合 計			20 件	5,970,712 円	
【騎西総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）					
修 繕 工 事 名			施工業者又は件数等	費 用	
その他修繕（50万円未満）			3 件	181,445 円	
【北川辺総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）					
修 繕 工 事 名			施工業者又は件数等	費 用	
北川辺健康福祉センターインターロッキング・階段修繕			小林土建工業(株)	1,100,000 円	
その他修繕（50万円未満）			8 件	1,099,681 円	
合 計			9 件	2,199,681 円	
【大利根総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）					
修 繕 工 事 名			施工業者又は件数等	費 用	
その他修繕（50万円未満）			7 件	1,181,950 円	
3 電気料金、使用量・使用量増減率の推移					
(1)電気料金を削減するため、平成24年度から特定規模電気事業者（PPS）を活用している。令和4年度末には、原油等高騰や円高の影響により入札が不調となり、急遽、受け入れ可能小売電気事業者と74の公共施設・1年契約をした。令和6年度に再度入札を実施した結果、令和6年8月から特定規模電気事業者（PPS）と1年の契約を締結した。					
(2)電気使用量を削減するため、蛍光灯の間引き、昼休みの電気消灯等を行い、節電に努めた。（平成26年度比：100.9%）					
〔参考〕第2次加須市節電行動プランにおける目標：平成26年度電気使用量（1,239,716kwh）					

施設	項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本庁舎	電気料金(円)	14,927,001	16,672,373	23,127,153	23,116,016	23,328,694
	電気使用量(kwh)	885,562	880,221	838,018	828,438	834,101
	使用量増減率(%)※	6.6	▲0.6	▲4.8	▲1.1	0.6
騎西 総合 支所	電気料金(円)	3,111,038	3,745,928	4,850,256	5,722,584	5,286,399
	電気使用量(kwh)	153,060	158,978	149,534	156,605	153,414
	使用量増減率(%)※	12.7	3.9	▲5.9	4.7	▲2.0
北川辺 総合 支所	電気料金(円)	1,799,533	3,037,060	4,173,157	5,137,115	4,436,691
	電気使用量(kwh)	101,222	143,679	105,481	141,199	138,227
	使用量増減率(%)※	5.2	41.9	▲26.6	33.9	▲2.1
大利根 総合 支所	電気料金(円)	1,896,793	2,663,567	3,744,245	4,794,022	4,191,295
	電気使用量(kwh)	103,924	121,549	124,252	135,788	125,195
	使用量増減率(%)※	4.8	17.0	2.2	9.3	▲7.8
計	電気料金(円)	21,734,365	26,118,928	35,894,811	38,769,737	37,243,079
	電気使用量(kwh)	1,243,768	1,304,427	1,217,285	1,262,030	1,250,937
	使用量増減率(%)※	7.1	4.9	▲6.7	3.7	▲0.9

※前年度の電気使用量と比較した増減率(%)

4 光熱水費等維持管理費の推移

【本庁舎】(総務課)

年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電 話 料 (円)		5,714,365	6,410,272	6,648,793	6,075,288	5,989,083
水道料	使用量(m³)	5,682	6,492	6,609	6,595	6,341
	支払額(円)	1,636,294	1,875,644	1,909,918	1,905,557	1,825,153
下 水 道 使 用 料 (円)		844,574	969,984	988,100	985,934	946,606
A重油 (冷暖房用)	購入量(ℓ)	64,000	65,100	68,000	74,000	76,000
	支払額(円)	3,765,960	5,380,320	6,341,720	7,734,747	8,478,800
	平均単価(円)	58.8	80.1	93.3	104.5	111.6

【騎西総合支所】(地域振興課)

年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電 話 料 (円)		716,842	752,834	663,037	709,459	733,914
水道料	使用量(m³)	1,002	1,028	1,040	1,039	1,042
	支払額(円)	263,380	276,580	280,672	280,166	279,704
下 水 道 使 用 料 (円)		119,522	129,792	132,753	132,330	131,484

【北川辺総合支所】(地域振興課)

年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電 話 料 (円)		864,323	893,843	831,433	813,694	819,806
水道料	使用量(m³)	515	670	662	558	534
	支払額(円)	144,894	229,442	225,823	206,562	202,624

【大利根総合支所】(地域振興課)

年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電 話 料 (円)		821,213	956,917	924,292	808,251	681,036
水道料	使用量(m³)	423	845	635	955	692
	支払額(円)	99,270	175,296	140,085	207,713	150,513

5 本庁舎の老朽化による改修工事設計

- ・令和6年度 加須市本庁舎照明器具 LED 化及び議場等天井改修工事設計業務委託：14,190,000 円

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 44,550,000 円

- ・令和5年度 加須市役所冷温水発生機オーバーホール【令和5年9月補正】38,390,000 円
(令和6年12月完了)
- ・令和5年度 加須市役所本庁舎冷却塔等更新工事設計業務委託【令和5年12月補正】6,160,000 円

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 237,820,000 円

1 翌年度への繰越事業の内容

- ・令和6年度 本庁舎冷却塔及び自動制御機器等更新工事【令和7年2月補正】237,820,000 円

2 令和6年度から令和7年度へ繰り越す理由

- ・2月補正予算で計上し、履行期間が短く、年度内の事業完了が困難であるため。

事業名		車両管理事業			5314-09	
担当課		総務課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	23,106,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	23,106,000 円	—	
目	05	財産管理費	決 算 額	17,220,239 円	—	
事業の目的		・ 定期的な点検整備により安全性を確保するとともに、総括的配車管理により保有する車両を効率的に利用する。				
事業の概要		・ 環境基準に合った車を適切に整備するとともに、修繕等では対応しきれない車を把握し、廃車に伴う買替えを行う。 ・ 庁内のネットワークを利用し、車両の利用状況を把握し管理する。 ・ 公用自動車の毎月の利用状況を報告書等で確認し、組織に応じた適正な配車体制を図る。 ・ 電気自動車やハイブリッド車への買替えを促進する。				
事業の実績・成果						
温室効果ガス削減のため、車両買い替え時に低公害車への切り替えを進め、市全体で 6 台を入れ替えた。 低公害車車両の割合：令和 6 年度末の低公害車 153 台／保有車 235 台＝65.1%						
1 共用車維持管理費用						
(1) 燃料費						
【本庁舎】令和 6 年度管理台数 20 台（総務課）						
年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ガソリン	購 入 量 (ℓ)	10,552	9,944	11,652	10,785	9,307
	支 払 額 (円)	1,472,268	1,629,501	2,030,644	1,915,913	1,671,284
	平均単価 (円)	140	164	174	178	180
軽油※	購 入 量 (ℓ)	477	463	1,298	0	0
	支 払 額 (円)	55,960	68,256	194,771	0	0
	平均単価 (円)	117	147	150	—	—
※令和 5 年 10 月に市所有中型バスを売却したため、購入なし。						
【騎西総合支所】令和 6 年度管理台数 5 台（地域振興課）						
年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ガソリン	購 入 量 (ℓ)	1,096	1,461	1,475	1,767	1,660
	支 払 額 (円)	152,533	237,706	256,010	314,172	299,003
	平均単価 (円)	139	163	174	178	180
【北川辺総合支所】令和 6 年度管理台数 11 台（地域振興課）						
年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ガソリン	購 入 量 (ℓ)	4,175	4,789	4,243	4,373	4,646
	支 払 額 (円)	573,271	702,804	713,140	766,276	829,962
	平均単価 (円)	137	147	168	175	179
軽油	購 入 量 (ℓ)	453	462	234	354	367
	支 払 額 (円)	51,706	63,401	34,341	54,152	57,608
	平均単価 (円)	114	137	147	153	157

【大根総合支所】令和6年度管理台数 10台（地域振興課）

年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ガソリン	購入量（ℓ）	3,074	2,760	2,659	3,228	2,936
	支払額（円）	434,644	468,822	466,301	574,528	530,488
	平均単価（円）	141	170	175	178	181
軽油	購入量（ℓ）	115	176	175	162	200
	支払額（円）	12,947	24,206	26,086	24,422	30,614
	平均単価（円）	113	138	149	151	153

*車両管理事業全体の燃料費は、3,418,959円

(2) 修繕料 2,473,028円（車検費用、車両修繕費用）

(3) 保険料 1,216,170円（任意保険料、自賠責保険料）

2 バス運転業務

【総務課職員運転】

年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市所有中型バス	運行日数（日）	3	2	28	0	-
	走行距離（km）	323	183	3,898	0	-
レンタカーバス	運行日数（日）	0	0	2	1	0
	賃貸料（円）	0	0	63,800	32,670	0

※ 市所有中型バスは、車両の老朽化に伴う修繕費の増加及び運行日数の減少等を総合的に判断し、令和5年10月に売却した。

3 ドライブレコーダーの設置

交通事故発生時における原因究明に役立てるとともに、防犯カメラとして地域防犯に寄与するため、重要度や使用頻度等に応じてドライブレコーダーを設置した。

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
既存車（台）	0	48	9	4(▲1)	2	8	71
リース車（台）	1	0	0	1	0	0	2
新車（台）	2	3	0	5	8	7	25
再利用（台）	-	▲4	▲1	2	1	1	▲1
年 度 別	3	47	8	12	11	16	97
累積設置率							45.3%

※ 令和2年度に設置した機器の再利用4台のうち、1台は市所有中型バスの売却による減、2台は令和4年度に、1台は令和5年度に既存車へ付替え。

※ 令和3年度に設置した機器の再利用1台は、既存車の廃車による減。

※ 令和6年度に設置した機器の再利用1台は、令和4年度に廃車した車両の付替え。

※ 再利用とは、車両入替時に他既存車へ付替えした台数。

4 市長車運転業務委託

市長車の運転手を安定的に確保し、安全かつ効率的に運行するため、令和5年11月から市長車の運行業務を委託した。

○ 市長車運行管理業務委託（単価契約）

年 度	令和5年度	令和6年度
委託料（円）	2,963,510円	5,674,460円

※ 令和5年度の委託期間は、令和5年11月1日から令和6年3月31日までの5か月。

事業名		財政調整基金・市債管理基金事業			5311-11
担当課		財政課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,029,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,481,316,000 円	—
目	06	財政調整基金費	決 算 額	1,481,307,110 円	—
事業の目的		災害復旧、市債の繰上償還、その他財源の不足を生じた時のために基金を積み立てるとともに、計画的に必要な額を活用する。			
事業の概要		預金利子を一般会計に収入した後、基金へ積み立てる。また、必要に応じて基金を取り崩し、一般会計に繰り入れる。			
事業の実績・成果					
・財政調整基金及び市債管理基金の管理を行い、将来の財源不足に備えるため積み立てを行った。 また、運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。					
【年度末基金残高の推移】					
1 財政調整基金 (単位：円)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
取り崩し額	908,741	19,127,244	0	0	1,560,955,000
積み立て額	100,000	100,000	100,000	2,368,103,000	1,479,331,000
利子及び配当金	1,204,926	863,263	784,089	768,677	1,963,413
年度末残高	2,745,189,682	2,727,025,701	2,727,909,790	5,096,781,467	5,017,120,880
うち有価証券	885,300	885,300	885,300	885,300	885,300
うち債券	300,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000
2 市債管理基金 (単位：円)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
取り崩し額	100,000,000	227,000,000	0	0	0
積み立て額	0	0	0	0	0
利 子	849,918	19,109	3,072	4,010	12,697
年度末残高	364,312,788	137,331,897	137,334,969	137,338,979	137,351,676

事業名		公共交通バリアフリー化事業		1165-03	
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	31,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	31,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		年齢や障害の有無に関わらず、誰もが公共交通を利用できるよう、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、公共交通のバリアフリー化を促進する。			
事業の概要		公共交通事業者に対し、駅舎等バリアフリー化を要望するとともに、バリアフリー化の改修を支援し、公共交通のバリアフリー化を図る。			
事業の実績・成果					
東武鉄道株式会社に対し、埼玉県を通じて駅舎等のバリアフリー化の要望活動を実施した。					
○埼玉県を通じての鉄道整備要望（令和6年10月 県交通政策課とりまとめ）					
要望先		要望内容			
東武鉄道㈱		柳生駅へのエレベーター、エスカレーターを設置			
東武鉄道㈱		柳生駅への多機能トイレの設置			
※鉄道整備要望の中からバリアフリー化関連を抜粋					

事業名		総合教育会議運営事業		2211-33	
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	24,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	24,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	12,000 円	—
事業の目的		地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を適切に運営する。			
事業の概要		市長と教育委員会により構成する総合教育会議を開催し、以下の事項を協議・調整する。 ・教育の条件整備など重点的に講ずべき施策 ・児童・生徒等の生命・身体保護等緊急の場合に講ずべき措置等			
事業の実績・成果					
○設置の経緯 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成27年4月1日から、全ての地方公共団体に市長と教育委員会で構成される「総合教育会議」の設置が義務付けられた。 本会議は、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とし、令和6年度は以下のとおり会議を開催した。					
○開催回数 2回（令和6年8月26日、令和7年3月7日）					
○構成員 市長、教育長及び教育委員					
○令和6年度の協議事項 ・加須市立小中学校のあり方について ・増え続ける外国人児童・生徒の支援について ・加須市がめざす学校教育について					

事業名		渡良瀬遊水地活用推進事業			4212-05
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	148,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	148,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	47,800 円	—
事業の目的		地域の振興と活性化を図るため、ラムサール条約湿地として登録された渡良瀬遊水地のワイズユース（賢明な利用）を推進する。			
事業の概要		渡良瀬遊水地利活用推進計画を推進し、環境を保全しながら観光拠点としての活用を図る。			
事業の実績・成果					
1 渡良瀬遊水地利活用庁内推進委員会の開催（意見照会による代替え開催） 令和6年8月27日に渡良瀬遊水地利活用庁内推進委員会を開催し、「加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画」における令和5年度の進行管理等を行った。 ・委員数16人					
2 渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座の開催 加須市、栃木市及び板倉町との共催による「渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座」を令和6年4月から12月までの毎月第4土曜日（12月は第3土曜日）に開催した（全9回 受講者8人のうち加須市在住は1人）。					
3 渡良瀬遊水地ロゴマークの活用 渡良瀬遊水地の価値や魅力を高め、親しみを深めてもらうために、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会で作成した、渡良瀬遊水地ロゴマークをイベントの周知等で活用した。					
 渡良瀬遊水地ロゴマーク					
4 渡良瀬遊水地ヨシ焼きの実施 渡良瀬遊水地の貴重な湿地環境の保全、害虫の駆除及び樹林化の防止等を目的に、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会会員（栃木市、小山市、野木町、加須市、古河市、板倉町、国土交通省利根川上流河川事務所）及び事務局である一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団と調整を行い、令和7年3月1日（土）にヨシ焼きを実施した。					

事業名		渡良瀬遊水地まつり開催事業		4212-06	
担当課		地域振興課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	9,542,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	8,502,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	8,501,355 円	—
事業の目的		ラムサール条約の理念である、湿地の「賢明な利用（ワイズユース）」の考え方に基づき、渡良瀬遊水地の広大な自然の保全・活用を推進する。			
事業の概要		渡良瀬遊水地のラムサール条約への登録を記念し、渡良瀬遊水地まつりを開催する。開催にあたっては、渡良瀬遊水地の歴史や環境、役割等について、展示・体験を通じてその魅力を十分に発揮できるものとする。			
事業の実績・成果					
1 開催日 令和6年10月6日（日）					
2 内 容					
【ステージ関連】 ・オープニングセレモニー ・ステージ発表 加須市立北川辺東小学校、 開智未来高等学校吹奏楽部 ・トークショー ・サイクリングヨガ  ステージ発表 【サイクリング関連】 ・レンタサイクル クロスバイク・電動アシスト自転車 各10台 ・こども向けストライダーレース 参加者 37 人 ・サイクリング団体&企業 PR ブース（5 社） 【その他】 ・運営ボランティア 市内中学生 8 人、高校生 1 人 ・キャンプ用品等展示・体験 ・模擬店（33 団体、売上 1,539,470 円） ・遊水地隣接市町観光 PR ブース （小山市、栃木市、板倉町、古河市、加須市） ・道の駅との連携 ・FMわたらせによる事前周知及び当日の中継 ・渡良瀬遊水地及び加須の偉人に関するパネル展示 ・パトカー、白バイ、指揮車の展示 ・交通安全母の会による啓発活動 ・消防車両、救急車両の展示 ・防火啓発活動 ・熱気球係留体験  消防車両、救急車両の展示 【環境・治水学習関連】 ・クビアカツヤカミキリに関する展示 ・野鳥観察会（2 回実施） ・利根川上流河川事務所パネル展示 ・災害対策車両展示 ・災害VR体験 ・ヨット&カヌー体験  災害VR体験					
3 観客数の推移					
(単位：人)					
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
観客数	コロナのため中止	コロナのため中止	約 8,000	約 6,000	約 5,500

事業名		オープンガーデン促進事業			4221-02
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	203,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	203,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	182,285 円	—
事業の目的		市民の絆づくりに寄与するため、市街地の景観形成や市民の憩いの場を創造する。			
事業の概要		オープンガーデンを市民等に周知するとともに、オープンガーデン登録者の募集を継続的に行い、オープンガーデンを定期的を開催する。			
事業の実績・成果					
1 「オープンガーデン加須 2024」の開催					
(1) 開催期間		令和 6 年 4 月 8 日(月)～令和 6 年 5 月 31 日(金)			
(2) 開催時間		各オーナーの都合により異なる			
(3) 参加オーナー数		9 人(スタンプラリー参加は 8 人)			
(4) 周知方法		市 HP 及び SNS への掲載、パブリシティの実施、広報かぞへの掲載、オープンガーデンチラシの作成、行政情報広告放映モニターへの掲載			
(5) スタンプラリー応募数		55 人			
2 「オープンガーデン加須 2025」に向けての調整等					
令和 7 年度のオープンガーデン実施に向けて、登録オーナーと事業実施日程の調整、事業への意見聴取、キーワード準備、チラシの作成等を適時行った。					

事業名		地域市民活動促進事業			5131-03	
担当課		市民協働推進課			現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	5,517,000 円		—
項	01	総務管理費	最終予算額	5,120,000 円		—
目	07	企画費	決 算 額	5,078,356 円		—
事業の目的		協働によるまちづくりを推進するために、市民の自主的・主体的な活動を支援する。				
事業の概要		・「まちづくりネットワーク・かぞ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図る。 ・地域市民活動支援補助金を交付し、団体の育成及び自立支援を行う。				
事業の実績・成果						
各地域で自主的に活動している市民活動団体に対し、人材育成や団体の成長に合わせた助成、情報の提供等を支援することにより、各種市民活動団体の自立促進を図った。						
■地域市民活動支援補助金		803,000 円				
《はじめよう部門》				(単位:円)		
団 体 名		補助金額	概 要		イベント・参加人数等	
チーム笑が咲く		240,000	健康寿命埼玉一を目指し、健康維持や体力向上のための「えがさく体操」の出前講座、イベント等により、健康寿命の延伸に寄与した。		・えがさく体操の出前講座 座市内約 20 か所で実施 ・笑顔咲く咲くフェスティバル 参加人数：約 150 人	
ハッピーバード		86,000	地域住民と手助けし合う関係づくり及び居場所づくりを目的とし、「和食輪食(わくわく)」や「ゆったりヨガ」等の交流イベントを実施した。		・和食輪食 (24 回) 参加人数：467 人 ・ゆったりヨガ (12 回) 参加人数：120 人	
《そだてよう部門》				(単位:円)		
団 体 名		補助金額	概 要		イベント・参加人数等	
下總皖一を歌う合唱団		180,000	埼玉県及び加須市の偉人「下總皖一」の音楽を演奏することで、地域の住民、次世代に広く感動を伝え、地域の文化芸術の発展に寄与した。		・合唱団コンサート 参加人数：867 人 ・加須市内小中学校での出前コンサート (4 校)	
コミュニティハウス三俣		147,000	地域コミュニティ事業として、「ほっとするスペース」で楽しく過ごせるイベントを開催し、住み慣れた場所で安心して自分らしく暮らせる環境づくりを行うことで、地域活性化に寄与した。		・第 1 回コミュニティハウス三俣 (3 日間) 参加人数：125 人 ・第 2 回コミュニティハウス三俣 (1 日) 参加人数：45 人	
特定非営利法人 たすけあいワーカーズ きらきら館		150,000	ストレッチ教室やパソコン講習等イベントを開催し、住み慣れた場所で安心して自分らしく暮らせる環境づくり (きらきらサロン) を実施した。		・きらきらサロン (11 回) 参加人数：51 人 ・ストレッチ教室 (11 回) 参加人数：166 人	

■まちづくり連携組織補助金 3,912,847 円

(単位:円)

団 体 名	補助金額	概 要
まちづくりネットワーク・かぞ	3,912,847	・まちづくり活動支援事業（総会、モデル事業支援、まちづくりフォーラム in かぞ「加須祭」～若きアーティストの饗宴～開催等） ・情報受発信及びスキルアップ事業（まちネット通信発行、まちづくり学習会、まちづくり視察研修の開催等） ・市民活動ステーションの管理運営（市民活動団体支援、情報交換・交流事業等）

■市民活動ステーション管理運営費（消耗品費、電話料） 343,109 円

■市民活動フェア経費（会場借上料） 19,400 円

第 12 回市民活動フェア

開催日：令和 7 年 3 月 7 日（金）～9 日（日）

開催会場：市民総合会館 3 階多目的ホール

事業名		協働推進事業			5131-04
担当課		市民協働推進課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	120,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	120,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	23,666 円	—
事業の目的		将来にわたり自助・共助の精神が根づいた自立したまちをつくるため、市民、団体、企業と行政との協働を推進する。			
事業の概要		加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく各取組 ・新しいまちづくり市民会議の運営を支援する。 ・協働によるまちづくり推進員を設置し、市民等との協働による事業や意見等の調整を行う。 ・各課事務事業の協働の推進に係る調査・進行管理を行う。			
事業の実績・成果					
○加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく市内の協働体制づくりの推進 ・各課に協働によるまちづくり推進員（計 52 名）を配置し、協働への理解を深めた。 ・新規採用職員（計 28 名）に対し協働によるまちづくり研修を実施し、協働意識の啓発を行った。					
○まちづくり市民会議の開催 ・「加須市『若者』まちづくり市民会議（かぞのイイトコ見つけ隊）」として、高校生（15 歳以上）から 39 歳までの若者世代を対象としてメンバーを募集し、計 8 名のメンバーで市民会議を発足した。（令和 7 年 3 月末日現在メンバー数：7 名） ・合計 3 回のミーティングのほか、市内の様々なスポットやお店、イベント等取材し、SNSを活用した情報発信を継続的に行い、メンバーによる自主的・主体的な活動を支援した。 ・SNS（インスタグラム）による情報発信件数：8 件（令和 7 年 3 月末日現在）					

事業名		夢・未来応援事業			5131-14	
担当課		市民協働推進課			現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	2,635,000 円		—
項	01	総務管理費	最終予算額	2,635,000 円		—
目	07	企画費	決 算 額	873,929 円		—
事業の目的		加須市の未来を担う若者たちの夢を叶えるための挑戦を市民とともに応援することにより、市全体の活気を盛り上げ、もって元気都市かぞの実現を目指す。				
事業の概要		夢を叶えるために応募してきた若者たち（市内の中学生～20 歳以下）の挑戦を、一定条件の中で審査し、対象者に夢チャレンジ応援助成金（上限 20 万円）の支給や応援者との接点を作るなど、全市を挙げて応援する。3 年以内に最終成果報告を広報紙や HP に掲載する。				
事業の実績・成果						
○事業周知（7 月～9 月）						
・ 広報誌による周知や校長会において各中学校への PR を行うほか、市内各中学校へ PR チラシを配布						
・ 市内及び近隣の高等学校、公共施設などにポスターを掲示						
・ 市 HP、公式 X（旧 Twitter）、LINE、Facebook、テレビ埼玉のデータ放送にて周知した。						
○一次審査：担当及び関係部課長等による書類審査（10 月 8 日）						
・ 応募者：6 人						
・ 一次審査通過者：6 人（うち、1 人は辞退）						
○二次審査会：公開プレゼンテーション						
・ 日時：12 月 1 日（日）10 時 00 分から						
・ 場所：不動岡コミュニティセンター 会議室 1, 2, 3						
・ 審査員：副市長、教育長 加須市観光大使 武正 倫氏 会場審査員：40 人						
・ 採用決定者：5 人						
○夢・未来応援事業 夢チャレンジャーとして 5 名への支援を決定						
① プロ野球選手になりたい						
・ 挑 戦 者：中学 1 年生						
・ 理 由：小学 1 年生から野球を始め、現在は浦和リトルシニアという硬式野球チームに所属している。地元の花咲徳栄高校に入学し、プロ野球選手になりたい。						
・ 今頑張っていること：毎日少しでも自主練をし、睡眠と食事をしっかりとるようにしている。						
・ これからチャレンジしたいこと：肩は消耗品なので、病院や整体で身体のメンテナンスをしたい。ピッチングをプロの指導者や経験者に指導してもらいたい。						
② 自分のアパレルブランド（ショップ）の立ち上げ						
・ 挑 戦 者：高校服飾デザイン科卒業						
・ 理 由：高校 3 年間の服飾デザイン科で学んだ服飾技術や、作り上げた自分の世界観を趣味だけで完結したくないと思い、自分のアパレルブランドを立ち上げたい。						
・ 今頑張っていること：アクセサリー等のハンドメイド作製、好きな世界観の研究や自分をアウトプットすること、最近の需要の把握と研究。						
・ これからチャレンジしたいこと：大きな施設の一部を使い、期間限定で商品を販売することや、オンラインでの商品販売、ブランドのコンセプトを分かりやすく伝えるための個展。						

③ プロ陸上選手、オリンピックの陸上選手になりたい

- ・挑 戦 者：中学3年生
- ・理 由：初めて打ち込めるものであり、中学では納得のいく結果を残せなかった悔いもあり、その悔しさから陸上選手が将来の夢になった。
- ・今頑張っていること：陸上クラブで専門的な技術を教わり、トレーナーにメンテナンスをしてもらいながらケガの防止、身体の使い方、筋肉の付け方などを教わっている。
- ・これからチャレンジしたいこと：体育科の高校へ進学し、陸上部に所属するのはもちろんのこと、引き続きトレーナーに身体のメンテナンスをしてもらいたい。

④ プロダンサーになりたい

- ・挑 戦 者：高校1年生
- ・理 由：幼いころからダンスを習っており、テレビなどでアーティストのバックダンサーを見て自分の中でダンスへの思いが変わり、世界で活躍するプロダンサーになると決めた。
- ・今頑張っていること：プロダンサーのダンスレッスンに通い、世界大会などのダンスの大会に参加して自分のスキルアップを頑張っている。
- ・これからチャレンジしたいこと：日本だけでなく、海外のダンスレッスンの受講や、世界大会など様々な大会へ出場して実績を積むことを頑張りたい。

⑤ 高校の陸上のインターハイで優勝すること

- ・挑 戦 者：中学3年生
- ・理 由：中学の全国大会に出場したが良い結果を残せず、悔しい思いをしたから。
- ・今頑張っていること：日々の練習、体のケア、食事トレーニング。
- ・これからチャレンジしたいこと：これまで以上に良い練習をして、自分の限界に挑戦したい。足に負担がかからないように、シューズの買い替えのペースを短くしたい。記録会にたくさん参加して、本番の雰囲気意識して走る経験を増やしたい。

○応援支援金の支給 859,100 円

- ・陸上選手（3名）：大会や記録会の参加費用、合宿遠征費用、スパイクやトレーニングシューズ代
- ・海洋学者：河川・海洋調査に係る交通費・宿泊費、調査器具
- ・ミュージカル女優：ボイストレーニング費用
- ・F1ドライバー：レース出場に係るタイヤやチェーン代
- ・プロ野球選手：グローブ代、大会遠征費用

○「夢の応援者（サポーター）」からの支援（令和6年度実績1件）

- ・令和5年度チャレンジャー1名へ：寄付100,000円

○市からの支援（令和6年度実績7件）

- ・アナウンサーになりたい：第15回加須市民平和祭 司会補助の参加（観光振興課）
第10回渡良瀬遊水地まつり 司会の参加（北川辺総合支所 地域振興課）
加須のうどん×埼玉うどん子TVコラボイベント 司会進行（観光振興課）
- ・イラストを仕事にしたい：令和6年度こいのぼりマラソンのポスター作成（スポーツ振興課）
令和6年度夢・未来応援事業二次審査会ポスターのイラスト協力（市民協働推進課）
- ・令和6年度チャレンジャー（うち3名）
：FMわたらせ「おかえり！わたらせ」内「かぞトピ」にてチャレンジャーが出演し、自己PRと支援募集の周知を行った。
- ・令和6年度チャレンジャー（うち4名）
：FMわたらせ「おかえり！わたらせ」内「加須ストリート」にてチャレンジャーが出演し、自己PRを行った。

事業名		家族・地域の絆推進運動事業			5133-01
担当課		市民協働推進課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	187,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	187,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		市民一人ひとりが家族や地域のつながりを深め、市民相互の信頼関係やコミュニティ意識を高めることにより、地域力の向上を図るとともに、「協働」のまちづくりを深化させる。			
事業の概要		・基本運動 あいさつ運動、えがお運動、おもいやり運動の励行 ・基本行動 市に関わりのあるすべての団体が、「絆」マーク、文言、冠を活用し、運動の展開			
事業の実績・成果					
これまでの事業の検証を行い、令和7年度以降の事業の在り方を検討した。					

事業名		居住U I J ターン促進事業			5213-01	
担当課		建築開発課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	3,773,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	3,773,000 円	—	
目	07	企画費	決 算 額	2,649,467 円	—	
事業の目的		「絆でつくる緑あふれる安心安全・元気な田園都市 加須」の実現を目指し、居住U I J ターンに取り組み、市外からの移住や市内に住む親族との同居・近居を促進・支援して定住人口を確保する。 また、親族との同居・近居は、親族間での生活支援等（子育て・介護・経済）が可能となることから、相互の安心・安全な生活の確保と本市の活性化を実現する。				
事業の概要		H28 年度から市外からの転入者及び市内で親族との同居・近居をしようとする者を定住コンシェルジュがサポートし、住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除、引越費用の一部助成、加須産米の贈呈、さらに、R3 年度から移住に関するオンライン相談、移住体験見学会を拡充し、現在 6 つの事業を展開している。				
事業の実績・成果						
1 定住コンシェルジュを配置し、市外からの転入者及び市内で親族との同居・近居をしようとする相談者に対して、適切なアドバイスを行った。						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
受付件数（件）		134	82	109	63	52
2 住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除を行った。（市内に親族がいて、条件に合致する方が対象）						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象件数（件）		41	44	42	40	26
手数料免除金額（円）		623,040	728,620	606,540	617,700	369,240
3 市内に自己用住宅を取得して転入する中学生以下の子と同居する親子に引越し費用の一部助成を行った。【市民課】						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
助成件数（件）		47	45	53	53	39
助成金額（円）		566,000	439,000	578,000	571,000	482,000

4 市内に転入する中学生以下の子と同居する親子に、中学生以下の子1人につき10kgの加須産米引換券の贈呈を行った。【市民課】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
贈呈件数（世帯）	296	257	319	272	300
贈呈量（kg）	870	738	912	4,020	3,630
引換量（kg）	590	534	590	2,588	3,580
決算（円）	248,240	215,320	223,540	1,062,940	1,979,071

5 居住UIJターンを促進するため、移住イベントに出展し移住相談・PRを実施した。【市民協働推進課】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
出展回数（回）	—	0	3	3	3

6 移住後の具体的な生活イメージを描いていただき、本市への移住促進を図るため、移住を検討している個人の方を対象に、加須市内の様々な施設等を対象者のニーズに沿って案内する「移住体験見学会」を実施した。【市民協働推進課】

実績：令和6年度 1回

事業名		コミュニティバス運行事業			5241-01
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	146,013,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	146,013,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	136,178,850 円	—
事業の目的		高齢者等、交通弱者の病院・公共施設等への移動手段を確保し、公共交通の維持・充実を図るため、コミュニティバスを運行する。(実施主体：加須市コミュニティバス円滑運行協議会)			
事業の概要		令和３年度に策定した「加須市地域公共交通計画」に基づき、市全域（栗橋駅西口を含む）を運行エリアとして、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの３つの運行方式によるコミュニティバスを運行するとともに、より市民に利用しやすいコミュニティバスとなるよう随時運行改善を実施する。			
事業の実績・成果					
病院・公共施設等への移動手段の確保や、公共交通不便地域の解消を図るため、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの３つの運行方式でコミュニティバス「かぞ絆号」を運行した。 また、デマンド型乗合タクシーの利用者利便性の向上及び運行効率化に向け、運行形態の変更の実現可能性及び実施した場合に期待される効果の把握を目的に、運行改善シミュレーションを実施した。					
シミュレーション項目：エリアの統合、ダイヤフリーへの変更、13 時便の運行、 市内・市外乗り入れポイントの追加、時間帯別運行台数の見直し、 シャトルバスのデマンド交通化、項目の組合せによるシミュレーション					
○コミュニティバス「かぞ絆号」の１日平均利用者数					(単位：人)
区 分		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
デマンド型乗合タクシー	北エリア	6.3	7.6	8.3	8.5
	中エリア	54.9	61.5	69.4	74.1
	南エリア	34.3	37.6	44.7	46.2
	小 計	95.5	106.6	122.4	128.8
シャトルバス	新古河駅西口発	6.0	7.3	7.1	7.8
	プラザきさい発(※)	5.2	7.4	7.6	8.0
	小 計	11.2	14.7	14.7	15.8
循環バス	西循環	15.1	15.8	13.9	19.6
	東循環	49.2	55.1	61.4	65.1
	小 計	64.3	70.9	75.3	84.7
合 計		171.0	192.2	212.5	229.2
端数処理の都合により計が一致しない箇所がある。					
(※) シャトルバスのプラザきさい発は、令和４年１月から加須駅南口発、令和４年６月から済生会加須病院発					

事業名		路線バス・タクシー維持促進事業			5242-01
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	10,217,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	10,217,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	10,202,603 円	—
事業の目的		市民が安全、便利、快適に移動できるよう民間路線バス・タクシーの維持・継続を図る。			
事業の概要		民間路線バス、タクシーの維持・継続に向けて事業者等との協議や支援を実施する。			
事業の実績・成果					
民間路線バス（東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線）について、補助金を交付し、路線の維持を図った。					
○民間路線バス（東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線）への補助及び路線の維持					
・朝日自動車株式会社が運行する路線バス「東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線」について、運行費用の一部について、補助を実施し、路線の継続を図った。					
・川口コミュニティセンターと豊野コミュニティセンターに路線バス利用促進ポスターを掲示し、利用促進を図った。					
・令和6年10月1日のダイヤ改正に合わせて、バス路線沿線の住民及び豊野台テクノタウン工業団地会に対し、積極利用をお願いするリーフレットを配布し、利用促進を図った。					
(年間延べ利用者数)			(単位：人)		
令和5年度		令和6年度		増減数	
156,569		130,500		▲26,069	

事業名		鉄道輸送力増強等促進事業			5243-01
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	47,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	47,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	28,148 円	—
事業の目的		市民が安全、便利、快適に移動できるよう、鉄道の維持・充実を図るため、鉄道の輸送力増強等を促進する。			
事業の概要		東武伊勢崎線・日光線輸送力増強等、地下鉄 7 号線延伸、東北新幹線久喜駅設置など、鉄道の輸送力増強等に関する要望活動及び交通施策の調査・研究を行う。			
事業の実績・成果					
交通政策関連協議会等に参画し、要望活動を実施した。 ○埼玉県を通じての鉄道整備要望（令和 6 年 10 月 県交通政策課取りまとめ） ○東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会 ・令和 6 年 10 月 16 日 東武鉄道株式会社に対して、陳情活動を対面で実施し、「東武伊勢崎線輸送力改善に関する陳情書」を提出した。 ○地下鉄 7 号線建設誘致期成同盟会 ・令和 6 年 11 月 12 日 埼玉県知事及び埼玉県議会議長並びに関係する県議会議員に対して、要望活動を対面で実施し、「埼玉高速鉄道線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を提出した。 ・令和 7 年 2 月 21 日 財務副大臣及び国土交通大臣をはじめとする政務三役並びに関係する国会議員に対して、要望活動を対面で実施し、「埼玉高速鉄道線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を提出した。 ○東北新幹線久喜駅設置促進期成同盟会 ・令和 6 年 10 月 25 日 東日本旅客鉄道株式会社大宮支社及び埼玉県に対して「東北新幹線久喜駅設置に関する陳情書」を郵送で提出した。					

事業名		マイナンバー活用事業			5251-05
担当課		DX推進課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	13,425,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	13,700,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	13,187,347 円	—
事業の目的		市民の利便性の向上と行政の効率化を図るため、マイナンバー制度の利活用を推進する。			
事業の概要		・申請時等の事務手続きの簡素化のため、申請時等の添付書類の削減を図るとともに、マイナンバー及びマイナンバーカードの利活用を推進する。 ・情報提供ネットワークシステムを介した情報連携を円滑かつ継続的に行うため、必要に応じて関係システムの改修を行う。			
事業の実績・成果					
1 マイナンバーカードの機能拡充の推進 【マイナンバーカードの活用が可能な行政サービス】 ・平成29年3月住民票の写し、印鑑登録証明書等のコンビニ交付を開始 ・平成29年11月マイナポータルに係る子育てワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始 ・令和元年11月マイナポータルに係る介護ワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始 ・令和2年3月図書館の貸出カードへ公的個人認証（JPKI）シリアル方式を導入 ・令和3年10月マイナンバーカードの健康保険証利用の本格運用開始 ・令和4年3月マイナンバーカードの公金受取口座の登録開始 ・令和5年2月マイナポータルに係る引越しワンストップサービスを開始 ・令和6年3月マイナポータルに係る被災者支援サービス(罹災証明書・被災証明書の発行申請)を開始 ・令和6年12月2日からマイナ保険証(健康保険証の利用登録がされたマイナンバーカード)を基本とする仕組みに移行 ・令和7年3月24日からマイナ免許証(免許情報が記録されたマイナンバーカード)の運用開始					
2 特定個人情報保護評価の見直し等 自治体情報システム標準化に対応するための評価の再実施を行った（重点項目評価書3事務、基礎項目評価書17事務）。 公表している評価書の記載事項を実態に照らして、必要な見直しを行った（基礎項目評価書4事務）。					
3 公金受取口座の活用 公金受取口座を活用した給付を実施し、市民の利便性の向上と行政の効率化を図った。					
4 関係システムの整備 ①行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に対応するため、関係システムの整備を実施し、平成 29 年 11 月 13 日より情報連携を開始している。 ・特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機設置等関連事務委任交付金 8,857,000 円 （自治体中間サーバ・プラットフォーム ASP サービスに係る負担金） ②令和 6 年 6 月の情報提供ネットワークシステムにおける「特定個人情報データ標準レイアウト」の改版に対応するため、運営主体が示す改版仕様を踏まえた住民情報システムの改修を実施した。 ・特定個人情報データ標準レイアウト改版に伴う住民情報システム改修委託 1,551,000 円 ③マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う健康保険証の廃止により、子育て支援医療費及び重度心身障害者医療費の支給に関する事務(独自利用事務)の実施に際し、健康保険証の提示に代わり、マイナンバーを利用した情報連携により受給資格を確認するため、住民情報システムの改修を実施した。 ・独自利用事務追加に伴う住民情報システム改修委託 297,000 円					

事業名		総合振興計画策定事業			5311-01														
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越														
款	02	総務費	当初予算額	7,711,000 円	—														
項	01	総務管理費	最終予算額	7,711,000 円	—														
目	07	企画費	決 算 額	6,270,000 円	—														
事業の目的		計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「絆でつくる 緑あふれる 安心安全・元気な田園都市 加須」を実現するため、総合振興計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む。）を策定する。																	
事業の概要		市民と行政の協働により、総合振興計画（基本構想・基本計画）を策定する。 ・第2次計画期間（令和3年度～令和12年度） ・前期基本計画（令和3年度～令和7年度） ・後期基本計画（令和8年度～令和12年度）																	
事業の実績・成果																			
・ 令和7年度に行う加須市総合振興計画後期基本計画策定に向け、広く市民等の意向を把握するため、2種類のアンケート調査を行った。																			
・ まちづくりアンケート調査 調査対象 市内在住の18歳以上の男女 5,000人 有効回収数 1,506票（回収率 30.1%） 【主な調査項目】 回答者の属性について 加須市の住みごこちについて まちづくりについて 加須市の施設等について 自由意見																			
加須市の住みやすさ <table><thead><tr><th>住みやすさ</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>どちらかといえば住みやすい</td><td>47.7%</td></tr><tr><td>住みやすい</td><td>21.2%</td></tr><tr><td>どちらかといえば住みにくい</td><td>7.4%</td></tr><tr><td>住みにくい</td><td>2.9%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>0.7%</td></tr><tr><td>どちらもいえない</td><td>20.0%</td></tr></tbody></table>						住みやすさ	割合	どちらかといえば住みやすい	47.7%	住みやすい	21.2%	どちらかといえば住みにくい	7.4%	住みにくい	2.9%	無回答	0.7%	どちらもいえない	20.0%
住みやすさ	割合																		
どちらかといえば住みやすい	47.7%																		
住みやすい	21.2%																		
どちらかといえば住みにくい	7.4%																		
住みにくい	2.9%																		
無回答	0.7%																		
どちらもいえない	20.0%																		
・ 若者の進学・就職などの希望に関する調査 調査対象 不動岡高等学校、開智未来高等学校、 花咲徳栄高等学校在学の2年生 平成国際大学在学の3年生 合計1,180人 有効回収数 1,033票（回収率 87.5%） 【主な調査項目】 回答者の属性について 進路希望について 住まいの希望について 結婚・こどもについて 自由意見																			
卒業後の住まいの希望 <table><thead><tr><th>住まいの希望</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>現在の居住地や実家以外の場所で暮らしたい</td><td>41.0%</td></tr><tr><td>現在の居住地に住み続けたい、 実家に住み続けたい</td><td>27.4%</td></tr><tr><td>住む場所のこだわりや希望はない</td><td>31.4%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>0.2%</td></tr></tbody></table>						住まいの希望	割合	現在の居住地や実家以外の場所で暮らしたい	41.0%	現在の居住地に住み続けたい、 実家に住み続けたい	27.4%	住む場所のこだわりや希望はない	31.4%	無回答	0.2%				
住まいの希望	割合																		
現在の居住地や実家以外の場所で暮らしたい	41.0%																		
現在の居住地に住み続けたい、 実家に住み続けたい	27.4%																		
住む場所のこだわりや希望はない	31.4%																		
無回答	0.2%																		

事業名		総合振興計画進行管理事業			5311-02
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	132,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	132,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	51,881 円	—
事業の目的		計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「絆でつくる 緑あふれる 安心安全・元気な田園都市 加須」を実現するため、総合振興計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む。）の進捗を管理する。			
事業の概要		各施策の実現に向け、各事業及び KPI の取組状況を把握し、進捗を的確に管理するため、加須市総合振興計画推進本部において協議を行うとともに、加須市総合振興計画推進懇話会に報告し、意見及び助言等を受け、様々な視点からの評価や見直しを行う。 ・前期基本計画期間（令和 3 年度～令和 7 年度）			
事業の実績・成果					
1 第 2 次加須市総合振興計画の取組結果					
計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「絆でつくる 緑あふれる 安心安全・元気な田園都市 加須」の実現を目指し、まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含した第 2 次加須市総合振興計画に位置付けた KPI（重要業績評価指標）149 本について、令和 5 年度の取組結果を加須市総合振興計画推進本部及び加須市総合振興計画推進懇話会へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。					
令和 5 年度については、KPI（重要業績評価指標）149 本中、97 本（65.1%）が「目標を達成・概ね達成」と評価された（下表参照）。					
〔令和 5 年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）〕					
区 分		取組項目数		割 合	
1 目標を達成		54 (57)		36.2% (38.3%)	
2 概ね達成		43 (41)		28.9% (27.5%)	
3 やや遅れている		36 (34)		24.2% (22.8%)	
4 大幅に遅れている		13 (14)		8.7% (9.4%)	
5 評価対象外		3 (3)		2.0% (2.0%)	
※（ ）内：令和 4 年度取組結果である。					
2 加須市総合振興計画推進本部の開催					
令和 6 年 7 月に総合振興計画推進本部を開催し、第 2 次加須市総合振興計画に位置付けた KPI（重要業績評価指標）の進捗状況を確認するとともに、取組を実施するに当たり、生じた課題等について議論し解決を図った。					
3 加須市総合振興計画推進懇話会の開催					
令和 6 年 8 月に懇話会を開催し、様々な分野の視点から、加須市総合振興計画に位置付けた取組の結果等について意見や提言をいただいた。					
4 取組結果等の公表					
令和 5 年度における取組結果等について、広報かぞ（12 月号 NO.177）及びホームページにて公表した。					

事業名		行政経営プラン進行管理事業			5311-04															
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越															
款	02	総務費	当初予算額	54,000 円	—															
項	01	総務管理費	最終予算額	54,000 円	—															
目	07	企画費	決 算 額	39,000 円	—															
事業の目的		「市民との協働による未来につなげる自治体経営」を実現するため、「第3次加須市行政経営プラン」に定める事項を着実に実行する。																		
事業の概要		取組状況を定期的に把握し、進捗を的確に管理するため、加須市行政経営本部会議において協議を行うとともに、加須市行政経営懇話会に報告し、意見及び助言等を受け、様々な視点からの評価や見直しを行う。 ・第3次計画期間（令和3年度～令和7年度）																		
事業の実績・成果																				
1 行政経営プランの取組結果 「市民との協働による未来につなげる自治体経営」の実現を目指し、第3次加須市行政経営プラン（計画期間：令和3年度から令和7年度まで（計画期間：5年間））に掲げる取組項目の全133項目について、令和5年度の取組結果を加須市行政経営本部会議及び加須市行政経営懇話会へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。 令和5年度については、再掲9項目を除いた124項目中、89項目（71.8%）が「目標を達成・概ね達成」と評価された（下表参照）。 [令和5年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）] <table><tr><td>区 分</td><td>取組項目数</td><td>割 合</td></tr><tr><td>1 目標を達成</td><td>48（47）</td><td>38.7%（37.9%）</td></tr><tr><td>2 概ね達成</td><td>41（39）</td><td>33.1%（31.5%）</td></tr><tr><td>3 やや遅れている</td><td>24（23）</td><td>19.4%（18.5%）</td></tr><tr><td>4 大幅に遅れている</td><td>11（15）</td><td>8.9%（12.1%）</td></tr></table> ※（ ）内：令和4年度取組結果である。						区 分	取組項目数	割 合	1 目標を達成	48（47）	38.7%（37.9%）	2 概ね達成	41（39）	33.1%（31.5%）	3 やや遅れている	24（23）	19.4%（18.5%）	4 大幅に遅れている	11（15）	8.9%（12.1%）
区 分	取組項目数	割 合																		
1 目標を達成	48（47）	38.7%（37.9%）																		
2 概ね達成	41（39）	33.1%（31.5%）																		
3 やや遅れている	24（23）	19.4%（18.5%）																		
4 大幅に遅れている	11（15）	8.9%（12.1%）																		
2 加須市行政経営本部会議の開催 令和6年7月に本部会議を開催し、行政経営プランの各取組の進捗状況を確認するとともに、取組を実施するに当たり、生じた課題等について議論し解決を図った。																				
3 加須市行政経営懇話会の開催 令和6年8月に懇話会を開催し、市民の立場と経営の視点から、行政経営プラン取組結果等について意見や提言をいただいた。																				
4 取組結果等の公表 令和5年度における取組結果等について、広報かぞ（12月号N0.177）及びホームページにて公表した。																				

事業名		行財政改革推進事業			5311-06
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	107,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	107,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	92,400 円	—
事業の目的		市民に質の高い行政サービスを提供していくため、持続可能で安定的な行財政基盤を確立する。			
事業の概要		効果的で効率的な自治体運営を推進するため、加須やぐるまマネジメントサイクルによる行政評価を行い、不断の改善と見直しを進めるとともに、新たな行政課題への対応を図る。			
事業の実績・成果					
1 有料広告の取組					
民間企業等との協働により、市の新たな財源の確保や歳出削減、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図ることを目的に、有料広告の取組を実施した。					
令和 6 年度に広告料収入又は無償提供があったものは、7 件の媒体で、収入額及び削減額の合計は、4,837 千円であった。					
(1) 広告料収入を得たもの					
No.	名 称		収入額	備 考	
1	市ホームページバナー広告		680,000 円	8/15 枠掲載 (月額 10,000 円/1 枠)	
2	循環バス車内広告		36,000 円	3/5 枠掲載 (月額 1,000 円/1 枠) 収入の 1/2 を手数料として車両所有事業者へ支払う。(18,000 円)	
3	広告付受付番号自動発券機システム		462,000 円	本庁舎及び各総合支所に設置する行政情報・広告放映モニターで広告放映し、広告料の一部を納入	
4	広報かぞ広告		1,160,000 円	19/30 枠掲載 (月額 20,000 円/1 枠)	
合 計			2,338,000 円		
(2) 現物の無償提供を受けたものと削減効果額					
No.	名 称		削減効果額	備 考	
1	市民課等窓口用封筒		815,100 円	角 2 窓なし封筒 18,000 枚 角 6 窓なし封筒 60,000 枚	
2	広告付受付番号自動発券機システム		740,000 円	受付番号自動発券機を無償提供	
3	エンディングノート		943,250 円	エンディングノート 3,500 部	
合 計			2,498,350 円		
2 令和 6 年度 若手職員によるプロジェクトチームの取組					
・ 目 的 : 若手職員の育成及び組織の活性化					
・ 構成員 : 男性 3 名、女性 2 名、合計 5 名					
・ 研究テーマ: つなぐ。～活力あふれる、加須市の輝く未来を目指して～					
人、事業者、文化などのさまざまな『つながり』に着目した施策を検討し、将来にわたって暮らしやすく、親しみやすいまちづくりの実現に向けた取り組みの推進を図る。					
3 職員提案制度に基づく事務改善事例の活用					
○本市の市政に関する改善を行うことを奨励し、もって職員の意欲の向上及び考える職員の育成並びに組織の活性化を図ることを目的として、毎年、各課が所掌する事務又は事業で、効果的に見直した事務改善の事例を改善事例集として取りまとめた。					
・ 改善報告数: 96 件(全 52 課所室)					

○他課から報告された事務改善事例を自課の事務改善へ取り入れることにより、全庁的に改善効果を高める取組を行った。

・改善報告事例 活用済（一部活用を含む）：30 事務

4 行政手続等における押印の見直し

市民の負担軽減と利便性の向上を図るため、行政手続等における押印の見直しを引き続き進めた。

・押印を廃止した行政手続等の例

第一種社会福祉事業経営届出書、国民健康保険出産育児一時金受取代理申請書 など

・行政手続等における押印の見直し結果

		総 数 (①+②)			① 市の規定に 基づくもの			② 国、県等の規定 に基づくもの		
			廃止	継続		廃止	継続		廃止	継続
市民向け 行政手続	押印有 申請書等の数	1,785	1,460	325	1,403	1,123	280	382	337	45
	割合 (%)	100%	82%	18%	79%	80%	20%	21%	88%	12%
市役所 内部手続	押印有 申請書等の数	514	449	65	329	276	53	185	173	12
	割合 (%)	100%	87%	13%	64%	84%	16%	36%	94%	6%
合 計	押印有 申請書等の数	2,299	1,909	390	1,732	1,399	333	567	510	57
	割合 (%)	100%	83%	17%	75%	81%	19%	25%	90%	10%

事業名		分権推進事業			5311-07
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	2,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	2,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		計画的な行政運営を推進するため、本市が地域の実情に即した行政を展開できるよう、地方分権を推進する。			
事業の概要		県と移譲を受ける事務について調整する。			
事業の実績・成果					
埼玉県権限移譲方針に基づき、移譲対象事務について受入れの検討を実施した。 なお、令和 6 年度は埼玉県との意見交換会がオンライン形式で実施されたため、予算（普通旅費）の執行はなかった。					
○移譲事務の状況				(単位：事務)	
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
全体の移譲対象 事務数	164	164	164	162	162
本市への 移譲対象事務数	110	110	110	108	108
移譲済み事務数	84	84	84	80	80
受入率 (%)	76.4	76.4	76.4	74.1	74.1

事業名		個人版ふるさと納税促進事業			5311-17	
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	179,678,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	308,558,000 円	—	
目	07	企画費	決 算 額	297,166,492 円	—	
事業の目的		計画的な財政運営を推進するため、加須市を愛し、応援しようとする個人または団体から広く寄附金を募り、歳入の確保を図るとともに、寄附者の加須市に対する思いを具現化する。				
事業の概要		寄附獲得に向け、ホームページやポータルサイトを活用し、ふるさと納税制度及び市の特産品、市の魅力をPRする。 市の魅力アップにつながる返礼品の充実を図る。 寄附金を基金に積み立て、各種事業の財源とする。				
事業の実績・成果						
ふるさと納税（ふるさとづくり寄附金）で加須市に貢献したい、応援したいという個人や団体から広く寄附金を募った。市ホームページ及びふるさと納税ポータルサイトへの掲載を行った。一般社団法人埼玉レディーススペースボールに事務の一部を委託した。						
○寄附金の実績						
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
個人	12,814 件	113,359,196 円	29,079 件	299,174,915 円	32,298 件	571,734,738 円
団体	10 件	1,253,234 円	14 件	2,512,968 円	14 件	3,850,623 円
合計	12,824 件	114,612,430 円	29,093 件	301,687,883 円	32,312 件	575,585,361 円
(※令和6年度の個人30件、団体12件は市内からの寄附)						
○ふるさと納税に要した経費等						
歳入	ふるさと納税のうち個人分（A）				571,734,738 円	
歳出	報償品費（送料含む）				176,953,930 円	
	手数料、消耗品費、委託費、郵便料				120,212,562 円	
	合計（B）				297,166,492 円	
費用負担割合（B/A）					51.97%	
(※ふるさと納税募集に係る費用以外も含む)						
○ふるさと納税の寄附金の内訳						
寄附金の内訳				件数	金額	
豊かな自然と快適な環境のまちづくりに関する事業				4,273 件	84,577,565 円	
芸術文化の振興に関する事業				448 件	8,419,000 円	
健康づくりの推進に関する事業				526 件	10,590,200 円	
まちおこしに関する事業				910 件	14,505,000 円	
スポーツの振興に関する事業				548 件	10,501,000 円	
子育て支援に関する事業				18,976 件	311,832,117 円	
地域医療の充実に関する事業				1,161 件	25,677,000 円	
地域における保健福祉活動を推進する安全なまちづくりに関する事業				542 件	8,841,479 円	
教育が充実した豊かなまちづくりに関する事業				922 件	25,969,000 円	
特に用途を希望しない				3,994 件	74,403,000 円	
クラウドファンディング				33 件	270,000 円	
合計				32,333 件	575,585,361 円	
(※用途を複数希望している場合、それぞれ1件として集計)						

事業名		企業版ふるさと納税促進事業			5311-18		
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越		
款	02	総務費	当初予算額	1,191,000 円	—		
項	01	総務管理費	最終予算額	1,191,000 円	—		
目	07	企画費	決 算 額	270,280 円	—		
事業の目的		加須市を応援する企業から広く寄附金を募り、女子野球を基軸としたスポーツによる地域活性化をはじめ、地方創生の取組の推進を図る。					
事業の概要		企業訪問及び寄附獲得の業務支援委託やマッチング支援サービス業者等と連携して、加須市の取組及び魅力を企業へPRすることにより、地域再生計画に位置付けた寄附活用事業への寄附を募る。 寄附金を基金に積み立て、各種事業の財源とする。					
事業の実績・成果							
「埼玉西武ライオンズ・レディース」の運営法人である「一般社団法人埼玉レディースベースボール」との連携協定に基づき、女子野球を基軸としたスポーツによる地域活性化の推進を図るため、令和3年度から企業版ふるさと納税制度の活用を開始した。							
○加須市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）							
・計画期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで ※令和6年度末に1年間期間延長を行った							
・令和3年3月31日に内閣府から認定を受けた。							
*企業版ふるさと納税は、地方公共団体において「地域再生計画」を作成し、計画に位置付けた事業に寄附をした企業に対して、税額控除が適用される仕組み（平成28年の地域再生法の一部改正及び平成28年度税制改正により創設）							
○マッチングサービスの活用							
・寄附金の更なる獲得のために、企業紹介に関する契約を締結							
締結日		契約先					
令和4年11月18日		(株)企業版ふるさと納税マッチングサポート					
令和5年8月1日		(株)地域デザインラボさいたま					
令和6年2月21日		(株)カルティブ及び(株)新朝プレス					
令和6年2月21日		(株)J T B					
○企業版ふるさと納税の寄附金の実績と内訳							
寄附金の内訳		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
女子野球でつながる“ひと”も“まち”も元気プロジェクト		10 件	5,400,000 円	4 件	2,600,000 円	10 件	3,399,000 円
安心安全でいきいきと暮らせるまちづくり事業		1 件	1,000,000 円	1 件	100,000 円	3 件	900,000 円
魅力と活力を生む産業のまちづくり事業		0 件	0 円	0 件	0 円	2 件	200,000 円
未来へつなぐ人を育むまちづくり事業		1 件	400,000 円	0 件	0 円	0 件	0 円
豊かな自然と快適な環境のまちづくり事業		1 件	100,000 円	0 件	0 円	0 件	0 円
協働による持続可能なまちづくり事業		0 件	0 円	1 件	500,000 円	0 件	0 円
合計		13 件	6,900,000 円	6 件	3,200,000 円	15 件	4,499,000 円

事業名		水と緑と文化のまちづくり基金事業			5311-19
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	335,044,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	578,426,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	570,770,784 円	—
事業の目的		加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を本市のまちづくりに要する経費の財源として基金に積み立て活用を図る。			
事業の概要		加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を基金に積み立て、適正な管理及び活用を図る。			
事業の実績・成果					
基金運用から生じた利益（利子）及び寄附金について、基金へ積み立てた。					
【基金残高の推移（令和7年3月末）】（単位：円）					
		令和6年度			
前年度末高		481,029,668			
積立額		570,770,784			
		(内 利子) 140,269			
		(内 寄附金) 570,630,515			
取崩額		169,011,000			
年度末残高		882,789,452			
基金から取り崩し、41事業に169,011,000円を活用した。					
【基金の活用】（単位：円）					
寄附金の内訳		主な活用内容		金額	
豊かな自然と快適な環境のまちづくりに関する事業		・資源物持ち帰り禁止看板等作成 ・駅前広場照明灯 LED 交換		42,926,000	
芸術文化の振興に関する事業		・斎藤与里美術品修復 ・加須市デジタル文化財マップの作成		4,883,000	
健康づくりの推進に関する事業		・個別胃内視鏡検査の助成		5,908,000	
まちおこしに関する事業		・渡良瀬遊水地まつり実行委員会補助金 ・くんくんウォーク開催		3,928,000	
スポーツの振興に関する事業		・こいのぼりマラソン大会の運営 ・女子野球タウン関連イベント		34,246,000	
子育て支援に関する事業		・子ども食堂・フードパントリー団体連絡会運営費の補助 ・子育て支援医療費		62,459,000	
地域医療の充実に関する事業		・健康管理システムの保守・使用 ・休日小児科診療事業委託料		9,538,000	
教育が充実した豊かなまちづくりに関する事業		・GIGA 端末等の修繕 ・中学生の職業体験に係る費用		5,123,000	

事業名		政策調整管理事業			5311-26
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	711,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	711,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	661,196 円	—
事業の目的		計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像を実現するため、行政施策の総合調整等を実施する。			
事業の概要		行政施策の企画、調査・研究、総合調整を行う。			
事業の実績・成果					
○政策会議：24 回実施(17 件)					
○国・県への要望状況(市長会)					
		国への要望（毎年2月頃）		県への要望（毎年7月頃）	
令和2年度		○都市計画法改正に伴う開発許可制度の見直しについて		① 介護人材の確保・定着について ② 利根川新橋の整備について ③ 農業振興地域整備計画の変更の要件緩和について	
令和3年度		○普通交付税における地域デジタル社会推進費に係る地方交付税措置について		① 一級中川、一級河川青毛堀川及び稲荷木落排水路 の整備促進について ② 介護保険の調整交付金の交付割合を介護給付費の 5%とすることについて ③ 利根川新橋の建設について	
令和4年度		○子育て支援医療費助成制度の創設について		① 一級河川青毛堀川、一級河川中川及び稲荷木落排水路の整備促進について ② 利根川新橋の建設について ③ 介護人材の確保・定着について	
令和5年度		○学校給食費の無償化について		① 一級河川中川及び稲荷木落排水路の整備促進について ② こどもの医療費助成費用に対する県補助の拡大について ③ 学校給食費の無償化について	
令和6年度		○持続可能な農業経営のための施策の充実について		① 一級河川中川及び稲荷木落地区の排水路の整備促進について ② 学校給食費の無償化について ③ 農用地区域からの除外や農地の転用について	

t

事業名		公共施設等総合管理計画進行管理事業			5314-02
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	6,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	6,000 円	—
目	07	企画費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		市民サービスの向上と安定的な財政運営を図りながら、公共施設等の総合的な管理を推進する。			
事業の概要		加須市公共施設等総合管理計画に定める基本方針に基づき、庁内検討組織（公共施設等総合管理計画推進本部）において、今後の行政サービスのあり方と各施設のあり方を一体的に検討する。 ・計画期間（令和4年度～令和37年度）			
事業の実績・成果					
・令和4年3月に策定（令和4年6月公表）した、「加須市公共施設等総合管理計画（試案）改訂版」及び「加須市公共施設等個別施設計画」に基づき、令和5年度に公共施設の庁内検討組織（公共施設等総合管理計画推進本部）において今後の施設のあり方を検討した施設について、具体的な手法を検討し、個別の再編計画を策定した。 ・公共施設の適正配置の必要性等について、広報紙（令和6年7月号）等により周知を行った。					

事業名		公平委員会運営事業			5312-05
担当課		公平委員会		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	387,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	387,000 円	—
目	08	公平委員会費	決 算 額	311,504 円	—
事業の目的		地方公務員法に基づき職員の勤務条件に関する措置の要求、不利益処分に関する審査請求の審査及び苦情処理を行う。			
事業の概要		地方公務員法に基づき、職員の給与、勤務時間等の勤務条件に関する措置の要求を審査、判定し必要な措置をとり、また、不利益な処分の審査請求に対する裁決をする。その他、措置要求又は審査請求に至らない軽微な苦情処理を行う。 全国公平委員会連合会、同関東支部及び埼玉県公平委員会連合会との連絡調整を行い、また同総会・研究会に出席する。			
事業の実績・成果					
・公平委員会業務を円滑に実施したほか、研修会を開催したことにより委員及び職員の更なる知識の習得が図られた。					
1 公平委員会運営状況					
・公平委員会の開催：1回（新委員長の選出等）					
・職員の苦情相談：なし					
・勤務条件に関する措置要求：なし					
・不利益処分に関する審査請求：なし					
2 加須市公平委員会研修会					
開催日：令和7年2月19日（水） 14時～15時					
会 場：加須市役所5階 505会議室					
講 師：加須市公平委員会事務職員					
内 容：人事評価制度における勤務条件に関する措置の要求事例について					
参加者：加須市公平委員会委員・事務職員					

事業名		自治協力団体活動促進事業			5131-01
担当課		市民協働推進課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	128,105,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	125,830,000 円	—
目	09	自治振興費	決 算 額	123,978,800 円	—
事業の目的		市民と行政の協働によりまちづくりを進めていくため、協働のパートナーである自治協力団体の運営の円滑化を図り、地域の自治を促進する。			
事業の概要		・自治協力団体及び自治協力団体連合会の活動を支援する。 ・各自治協力団体の運営基盤を支援する。			
事業の実績・成果					
○自治協力団体間の連絡調整機関の支援					
自治協力団体（自治会・区等）間の連絡調整機関である加須市自治協力団体連合会及び各支部の運営を支援した。					
1 自治協力団体連合会への助成					
各自治協力団体間の連絡調整機関としての連合会へ運営費を助成することにより、円滑な運営が図られた。					
[自治協力団体連合会への補助金交付状況]			(単位：円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
補助金交付額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
2 自治協力団体代表者（会長・区長等）研修事業への助成					
連合会が実施している自治協力団体代表者研修の参加費の一部を助成することにより、全体研修及び各支部研修で会員の意識高揚が図られたほか、会員相互の活発な交流が行われた。					
(1) 連合会全体研修					
[連合会の自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況]			(単位：人、円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加人数	交付額	実施なし	実施なし	実施なし	63 200,000
					72 208,968
(2) 連合会各支部研修 (3,000 円/人)					
[自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況]			(単位：人、円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加人数	交付額	実施なし	実施なし	実施なし	100 300,000
					78 234,000
[令和6年度各支部の参加人数]					
・加須 28人 ・騎西 19人 ・北川辺 9人 ・大利根 22人					
○自治協力団体の支援					
1 自治協力団体運営への助成					
各自治協力団体へ世帯数等の算出根拠に基づいた補助金を交付することにより、団体運営の円滑化が図られた。					
[自治協力団体への補助金交付状況]			(単位：円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
補助金交付額	106,898,440	106,951,760	106,644,800	106,506,280	106,667,120

2 自治協力団体集会施設整備事業への助成

自治協力団体が運営する集会所の修繕費等の一部補助を行うことにより、集会施設の適正な維持管理が図られた。

■新築整備事業・・・新築：補助率 7/10・800 万円限度

[自治協力団体集会施設整備事業（新築整備）への補助金交付状況]

(単位：件、円)

		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
件数	交付額	1	8,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0

■修繕、附帯施設整備・・・修繕：補助率 1/2・100 万円限度、附帯施設：補助率 1/2・50 万円限度

[自治協力団体集会施設整備事業（修繕、附帯施設整備）への補助金交付状況]

(単位：件、円)

		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
件数	交付額	30	4,620,000	23	6,186,000	24	7,743,000	26	6,714,000	38	5,063,000

3 自治協力団体集会施設運営への助成

自治協力団体の運営する集会所の運営費の一部補助を行うことにより、集会施設の円滑な運営管理が図られた。

自治会単位：補助率 7/10・7 万円限度、連絡班単位：補助率 7/10・3 万 5,000 円限度

[自治協力団体集会施設運営への補助金交付状況]

(単位：件、円)

		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
件数	交付額	235	9,031,000	235	7,918,000	235	8,529,000	235	8,776,675	235	8,438,935

4 自治協力団体集会施設敷地等借上への助成

自治協力団体の運営する集会所の敷地借上料の補助を行うことにより、集会施設の円滑な維持管理が図られた。

[自治協力団体集会施設敷地等借上への補助金交付状況]

(単位：件、円)

		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
件数	交付額	55	2,218,677	55	2,218,677	53	2,132,677	53	2,132,677	52	2,097,677

○その他（市政に関する情報提供・自治協力団体要望受付等）

自治協力団体を支援し、連絡調整を密にすることにより、市政運営への協力等が得られた。

事業名		コミュニティ推進事業			5133-02
担当課		市民協働推進課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	5,112,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	3,712,000 円	—
目	09	自治振興費	決 算 額	3,593,657 円	—
事業の目的		協働によるまちづくりを推進するため、地域コミュニティの活性化を図る。			
事業の概要		・全市的及び各地域のコミュニティづくりを推進する。 ・（一財）自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」を活用し、コミュニティ活動を支援する。			
事業の実績・成果					
○コミュニティ助成事業 コミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報を目的とした（一財）自治総合センターコミュニティ助成金を活用し、地域コミュニティ活動団体に補助を行うことにより、コミュニティ活動の充実を図った。					
(単位：円)					
団体名		助成金額	概 要		
水深区		1,200,000	木村集会所備品の購入 (椅子、テーブル、冷蔵庫、掃除機等)		
○加須市コミュニティ協議会への助成 市コミュニティ協議会並びに各地域コミュニティ協議会に補助を行うことにより、コミュニティ活動事業の推進を図った。					
(単位：円)					
名 称		補助金額	概 要		
加須市コミュニティ協議会		400,000	広報紙の作成・発行、コミュニティ活動支援		
加須地域コミュニティづくり推進協議会		525,000	コミュニティ助成事業、コミュニティ活動支援		
騎西地域コミュニティ協議会		525,000	花いっぱい運動、ごみなし運動、交通事故なし作戦、コミ協備品の貸出し		
北川辺地域コミュニティ協議会		407,299	美化推進運動、花いっぱい運動、コミ協備品の貸出し		
大利根地域コミュニティ協議会		525,000	ごみなし運動、各地区コミュニティ協議会への助成		
合 計		2,382,299			
※北川辺地域コミュニティ協議会において、一部事業が実施できなかったため補助額を精算した。					

事業名		市民まつり開催事業		5133-08	
担当課		観光振興課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	17,365,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	14,685,000 円	—
目	09	自治振興費	決 算 額	10,528,004 円	—
事業の目的		多くの市民参加による、市民の手づくりイベントとして市民まつりを開催し、コミュニティの醸成を図り、ふるさとづくりを推進する。			
事業の概要		4つの各地域市民まつりを開催する。また、各地域、各種団体の相互交流を図るための催し物を実施する。			
事業の実績・成果					
1 加須地域市民まつり					
加須地域市民まつりを開催し、郷土への理解や愛着を深めるとともに市民相互の絆を深めながら地域交流の促進を図ることができた。					
また、交通事故のない安全で安心なまちづくりの推進および啓発活動を行った。					
(1) 計画概要					
ア 日 程 令和6年10月20日(日)					
イ 参加団体数 98 団体					
ウ 内 容					
① 式 典					
② 催 物 各種団体発表、各種団体模擬店					
(2) 経 費 (実行委員会)					
収入合計 7,752,042 円 - 支出合計 5,160,685 円					
差引残額 = 2,589,315 円					
※残金は市へ返還					
					
加須地域市民まつりの様子					
2 騎西銀杏祭					
多くの地域住民が交流と親睦を図ることにより、ふるさと意識の高揚とコミュニティの振興を目的に計画したが、雨天により中止となった。					
(1) 開催概要					
ア 開 催 日 令和6年11月3日(日)					
イ 参加予定団体数 51 団体					
ウ 内 容					
① 各種団体活動発表及び模擬店、各種団体ステージ発表					
② 子ども広場					
(2) 経 費 (実行委員会)					
収入合計 4,961,286 円 - 支出合計 3,649,864 円					
差引残額 = 1,311,422 円 ※残金は市へ返還					

3 北川辺ふるさと秋まつり

「北川辺ふるさと秋まつり」は、第50回衆議院議員総選挙投票日と日程が重なったため、実行委員会を開き、「開催中止」となった。

開催中止を周知するため、チラシを作成、配布した。

(1) 経 費 (実行委員会)

収入合計 20,001 円 - 支出合計 17,534 円

差引残額 = 2,467 円 ※残金は市へ返還

4 童謡のふる里おおとね市民まつり

地域コミュニティの推進、伝統文化の振興及び産業経済の総合的な発展を図り、市民が主役となり大根地域の秋のイベントを実施することで、協働のまちづくりのさらなる進展を図ることができた。

(1) 開催概要

ア 開催日 令和6年11月10日(日)

イ 参加団体数 40 団体

ウ 内 容

- ① 式典
- ② 各まつり部会模擬店・活動展示
- ③ 啓発活動・行政参加
- ④ ステージ発表

エ 来場者数 約5,500 人

(2) 経 費 (実行委員会)

収入合計 2,455,488 円 - 支出合計 2,203,738 円

差引残額 = 251,750 円 ※残金は市へ返還



事業名		行政デジタル化推進事業			5251-03
担当課		DX 推進課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	19,137,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	19,137,000 円	—
目	10	電算管理費	決 算 額	18,157,261 円	—
事業の目的		デジタル技術を活用することで、市民の利便性や行政サービスの向上、効果的で効率的な行政運営を図り、デジタルで喜びや笑顔あふれるスマートなまちづくりを推進する。			
事業の概要		・電子申請サービスにより、行政手続等のオンライン化を推進する。 ・AI・RPA の導入により、効率的な業務遂行体制を整備する。 ・3 ない窓口（書かない・待たない・行かない）の推進により、市民の利便性向上を図る。			
事業の実績・成果					
1 電子申請サービスの提供（委託料等 1,166,873 円） 市民の利便性向上を図るため、申請や届出等一部の手続きがインターネット（オンライン）で行える「電子申請サービス」を、埼玉県内市町村が共同により提供している。また、キャッシュレス決済の機能により、本サービスを利用したオンラインによる支払いが可能である。 市のイベントや講習会への参加申込み等手続のオンライン化を推進するとともに、利用拡大に向けて、広報紙、ホームページ等により周知を図った。 ・電子申請手続数： 131 件 《主な手続き》 粗大ごみ収集申込、水道使用開始・休止等届、犬の登録申請・死亡届、講習会・セミナー申込 等					
2 音声文字起こしサービスの運用（使用料 1,056,000 円） 加須市行政経営プランの取組項目である「議事録などの公表の推進」による市政の透明性の確保と速やかな議事録の公表、加えて業務の効率化による職員の負担軽減を図るため、音声認識による文字起こしサービスを運用した。 ・利用件数： 731 件					
3 AI・RPA の活用（利用料 1,452,000 円） AI：人工知能。人間の言葉の理解や認識、推論などの知的行動をコンピュータに行わせる技術。 AI-OCR：印刷された文字や手書き文字を読みとり、テキストデータへと変換する技術。 R P A：定型業務を機械に自動実行させる技術。 ・特定健診勧奨対象者抽出、音声文字起こし、デマンド型乗合タクシー最適配車、チャットボットに AI 技術を活用した。 ・がん検診結果入力、口座振替依頼書処理、人事業務処理（自己申告書や人事評価の入力）、転入転出者等アンケート結果入力、畜犬業務処理、マイナンバーカード更新通知作成等に AI-OCR・RPA を活用した。 ・ChatGPT に代表される生成 AI について、試行運用による検証・評価を行い、令和 6 年 4 月から全庁的な業務利用を開始した。 ・AI・RPA に係る理解醸成や利用促進を図るため、職員（情報化責任者等）を対象に説明会を開催した。					
4 公衆無線 LAN（フリーWi-Fi）の整備（委託料等 14,482,388 円） 平時における公共施設利用者の利便性向上と災害時における通信手段の確保を目的に、公共施設 11 拠点にフリーWi-Fi が利用できるエリア（主にロビーなど）を整備した。					
【対象施設】					
分 類		施設名			
庁舎		本庁舎、騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所			
市民総合会館		市民プラザかぞ			
文化・学習センター		パストラルかぞ、キャッスルきさい、みのり、アスタホール			
体育館		加須市民体育館、騎西総合体育館			

事業名		情報基盤管理事業			5251-07
担当課		DX 推進課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	375,742,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	375,742,000 円	—
目	10	電算管理費	決 算 額	364,472,210 円	—
事業の目的		安心で快適な市民サービスを安定的に提供していくため、信頼性の高い情報基盤を確立する。			
事業の概要		・ 住民情報システム及び庁内ネットワーク等について、稼働監視やメンテナンス等の適正な運用管理を行う。 ・ 国の示す「情報システム強靱性向上モデル」を基準とした情報セキュリティ対策を確実に実施する。 ・ 紙の印刷等を削減し、庁内ペーパーレス化を推進する。			
事業の実績・成果					
1 住民情報システム運用管理					
市民に関する情報（住民記録、税、福祉等）を総合的かつ一元的に管理し、窓口サービスや行政事務を行うための基盤である「住民情報システム」の円滑な運用を行った。					
(1) システム構成：クラウド型					
(2) 住民情報システム取扱業務： 26 業務					
1	住民記録	2	印鑑登録	3	住登外・宛名管理
4	個人住民税	5	住民税申告支援	6	法人住民税
7	固定資産税	8	軽自動車税	9	収納・滞納管理
10	国民健康保険	11	国民年金	12	後期高齢者医療
13	介護保険	14	子ども子育て支援	15	学童保育
16	児童手当	17	児童扶養手当	18	遺児手当
19	乳幼児医療	20	ひとり親家庭等医療	21	重度心身障害者医療
22	障害者福祉	23	就学	24	選挙管理
25	健康管理	26	コンビニ交付		
(3) 運用管理費 83,270,504 円（DX 推進課予算措置分） 〔 委託料 34,389,584 円、使用料等 48,880,920 円 〕					
2 自治体情報システム標準化					
住民記録や税、福祉など国が定めた 20 業務について、令和 7 年度までにガバメントクラウド（国が構築したクラウド環境）等へ国の標準仕様に適合した標準準拠システムを構築し、利用することが義務付けられている。					
標準準拠システムへの円滑な移行に向けて、プロジェクトチームによる進捗管理を行うとともに、準備作業として、データのクレンジング作業や標準準拠システム・ガバメントクラウドの環境構築など業務委託により必要な対応を行った。					
(1) 対象 20 業務 ※地方公共団体情報システム標準化基本方針に記載されている順序					
1	児童手当	2	子ども・子育て支援	3	住民基本台帳
4	戸籍の附票	5	印鑑登録	6	選挙人名簿管理
7	固定資産税	8	個人住民税	9	法人住民税
10	軽自動車税	11	戸籍	12	就学
13	健康管理	14	児童扶養手当	15	生活保護
16	障害者福祉	17	介護保険	18	国民健康保険
19	後期高齢者医療	20	国民年金		
(2) 標準化対応経費 委託料 50,127,000 円（DX 推進課予算措置分） ※特定財源：デジタル基盤改革支援補助金による対象経費の全額補助					

3 庁内ネットワーク運用管理

各種の情報システムの動作基盤である「マイナンバー利用事務系」「LGWAN 接続系」「インターネット接続系」の三系統のネットワークについて、円滑な運用を行った。

(1) 構成機器

①マイナンバー利用事務系

サーバ：6 台、パソコン：259 台、プリンタ：43 台

②LGWAN 接続系

サーバ：24 台、パソコン：842 台、プリンタ：128 台

③インターネット接続系

サーバ：8 台、パソコン：2 台

(2) 主な機能

①マイナンバー利用事務系

住民情報	家屋評価	生活保護
農地台帳管理	畜犬管理	空家管理

②LGWAN 接続系

グループウェア	LGWAN メール	電子申請
財務会計	コンテンツ管理	公共施設予約管理
音声文字起こし	職員チャットツール	

③インターネット接続系

インターネット閲覧	インターネットメール	メール無害化
ファイル交換	オンライン会議	SNS 配信

(3) 接続拠点：93 拠点（以下は、主な接続拠点）

総合支所（3 箇所）	文化・学習センター（4 箇所）	体育館（4 箇所）
図書館（4 箇所）	コミュニティセンター（13 箇所）	小中学校（30 箇所）
市民総合会館	保育所（6 箇所）	幼稚園（8 箇所）

(4) 運用管理費 192,924,000 円

〔委託料 36,231,676 円、借上料 154,404,324 円、使用料 2,288,000 円〕

(5) ペーパーレスの取組

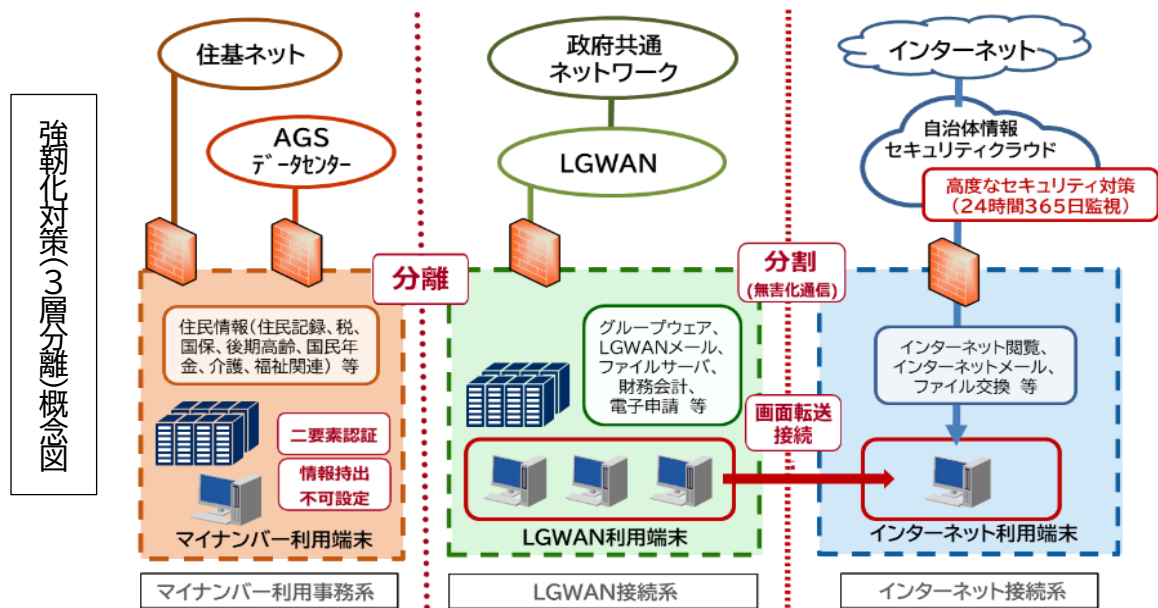
会議室等における庁内ネットワークの無線化を拡充し、ペーパーレス会議やオンライン会議を推進するとともに、職員チャットツールを導入し、職員間の情報共有等におけるペーパーレスを推進した。

【紙の印刷等枚数】

単位：万枚

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
印刷枚数	2,126	2,147	1,945	1,745
令和3年度比		101.0%	91.5%	82.1%

平成 29 年 6 月に完了した情報システム強靱化対策を踏まえ、人的及び技術的セキュリティ対策の実施により、本市の保有する情報資産の適正な管理を行った。



(1) 人的セキュリティ

- ・情報セキュリティ研修の実施

最新のセキュリティ技術や個人情報の取扱いに関する知識の修得を目的としたリモートラーニングによる情報セキュリティ研修を実施し、延べ1,795名が受講した。

(2) 技術的セキュリティ

- ・コンピュータウイルス対策の実施

埼玉県情報セキュリティクラウドを介したインターネット利用等を行うことにより、コンピュータウイルス等外部からの脅威に対する低減を図っている。

コンピュータウイルス検出件数： 6 件（年間）

※ 直近5年間（令和2年度～令和6年度）平均検出件数： 15 件

事業名	人権施策実施計画進行管理事業			2511-02
担当課	人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	02 総務費	当初予算額	136,000 円	—
項	01 総務管理費	最終予算額	136,000 円	—
目	11 人権推進費	決 算 額	43,000 円	—
事業の目的	「第3次加須市人権施策実施計画」に基づき、各種人権関連施策を総合的・計画的に推進することにより、「差別や偏見のない人権尊重社会の実現」を目指す。			
事業の概要	関係各課や人権施策推進審議会等と連携して、「第3次加須市人権施策実施計画」の進捗状況の確認・精査を行い、各種人権関連施策の実効性の確保に活かす。 ○第3次加須市人権施策実施計画 【計画期間】令和5年度～令和9年度			

事業の実績・成果

○第3次加須市人権施策実施計画に基づく各種事業の進行管理

第3次加須市人権施策実施計画の進捗状況を把握するため、関係各課に施策の達成状況調査を実施し、その結果を人権施策推進審議会に報告した。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	議事内容	出席人数
令和6年7月29日(月) 加須市役所5階504会議室	・第3次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の 令和5年度事業実施状況について	13人

◇各種施策の令和5年度実施状況

基本目標	事業数	取組に対する評価(%)			
		1	2	3	4
あらゆる場や対象をとらえた 人権教育・人権啓発の推進	30	21事業	3事業	6事業	0事業
		70.0%	10.0%	20.0%	0.0%
相談・支援の推進	39	27事業	7事業	4事業	1事業
		69.2%	17.9%	10.3%	2.6%
市民、NPO、企業等と 協働した地域づくり	11	6事業	3事業	2事業	0事業
		54.5%	27.3%	18.2%	0.0%
その他	4	2事業	1事業	1事業	0事業
		50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
合 計	84	56事業	14事業	13事業	1事業
		66.7%	16.7%	15.5%	1.1%

※令和5年度評価基準

- 1 …目標を達成(実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した)
- 2 …概ね達成(実績値が目標値の80%以上に達した)
- 3 …やや遅れている(実績値が目標値の80%未満となった)
- 4 …大幅に遅れている(実績値が目標値の50%未満となった)

事業名		人権推進事業			2511-03
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	10,531,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	10,531,000 円	—
目	11	人権推進費	決 算 額	9,372,169 円	—
事業の目的		市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。			
事業の概要		人権問題講演会、人権問題指導者研修会等の研修機会を設けるとともに、人権週間や市民まつり等の機会に人権啓発活動を実施する。さらに同和問題相談員の設置、関係機関・関係部署等と連携した同和問題・女性や子ども・高齢者・障がい者などの人権に係わる相談会などを実施する。			
事業の実績・成果					
○人権問題講習会及び人権問題指導者研修会等の開催（共催：生涯学習課・産業振興課） 同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、参加者の各人権課題の理解と認識を深めるため、人権問題講習会や人権問題指導者研修会等を開催した。					
(単位：人)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加者数	312	1,503	875	1,713	1,401
○人権擁護委員による人権相談事業等（合同相談に合わせて実施） 年間を通し、月1回、人権擁護委員による女性や子ども、高齢者、障がい者、就労問題、同和問題などの人権問題の解消に向けた相談会を開催した。 また、ホームページ、広報かぞ、市民まつり及び人権啓発展で人権相談事業についての周知を行った。					
(単位：件)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	0	0	1	0	0
○同和問題相談員による相談事業 年間を通し、同和問題相談員が、市民の同和問題に関する相談や地域住民の生活相談に対応し、必要に応じて関係行政機関と連携しながら、相談者との信頼関係を築くとともに、助言を行い、生活環境の向上、自立意識の醸成を図った。					
(単位：件)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	86	70	69	72	86
○同和問題に取り組む民間運動団体への補助金交付 同和問題解消を目指す民間運動団体3団体に対し、補助金を交付し、同和問題の早期解決を目指す人権教育・啓発事業を官民連携で実施することにより、差別の解消や人権意識の高揚に資することができた。また、補助金額については、運動団体の活動内容を精査した。					

◇「同和問題に取り組む民間運動団体」への補助金交付状況 (単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
部落解放同盟埼玉県連合会 加須支部	1,687	1,668	1,793	1,793	1,793
部落解放同盟埼玉県連合会 騎西支部	462	425	400	400	400
部落解放同盟埼玉県連合会 大利根支部	305	294			
北埼玉・埼玉「同和対策」運動連合会 加須市協議会	1,062	1,048	1,048	1,048	1,048
合 計	3,516	3,435	3,241	3,241	3,241

※部落解放同盟埼玉県連合会大利根支部は、令和4年度より加須支部と統合した。

○ヒューマンフェスティバル北埼玉の開催（共催：羽生市・行田市）

加須市・羽生市・行田市の3市共催で、加須市を会場として「ヒューマンフェスティバル北埼玉 2024」を実施し、北埼玉地域住民の人権意識の高揚・人権感覚の育成に資することができた。

開催日 令和6年10月26日（土）

場 所 加須文化・学習センター「パストラルかぞ」

参加人数 2,300人

開催内容

- ・オープニングセレモニー（加須市観光大使「さくまひでき」氏によるセレモニー）
- ・3市の児童・生徒による人権作文の発表
- ・加須市立騎西保育所の園児によるテーマソングの継承とお遊戯披露
- ・3市の学校団体・市民団体等の舞台発表
- ・人権講演会 演題：『「寝た子」はネットで起こされる!?!』
講師：一般社団法人 山口県人権啓発センター 川口 泰司 氏
- ・各種人権啓発作品等の展示（12万羽の人権折り鶴「未来へ」、北埼玉地区3市の児童・生徒が作製した人権ポスター・人権標語、北埼玉地区3市の児童が育成した人権の花、集会所・隣保館作品、障がい者福祉サービス事業所作成参加記念品、人権啓発パネル等）
- ・移動動物園、地域店舗の出店
- ・エアートランポリンの設置



人権作文発表の様子



講演の様子

事業名		田ヶ谷総合センター管理運営事業			2511-05
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	11,875,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	12,229,000 円	—
目	11	人権推進費	決 算 額	10,424,768 円	—
事業の目的		田ヶ谷総合センターを誰もが安心して、安全に利用できるよう管理するとともに、設置目的である人権問題の解決と住民の教養の向上、健康の増進及び地域の交流を促進する。			
事業の概要		田ヶ谷総合センターの適正な維持管理として、センターの設備や躯体等の保守点検業務をはじめ、修繕、清掃、夜間管理等の業務委託を行う。 また、ソフト事業として教養文化講座や人権啓発展等を行う。			
事業の実績・成果					

○施設の維持管理

田ヶ谷総合センターを市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。

- ・職員の配置（会計年度任用職員館長 1 名・会計年度任用職員 2 名）
- ・夜間鍵管理依頼
- ・各種点検の実施（防火対象物、消防用設備、自家用電気工作物保安管理、建築物・建築設備、自動ドア等）
- ・管理業務の委託（清掃業務）
- ・備品購入（図書 17 冊）
- ・修繕（カーテン・カーテンレール、正面入口床タイル、茶釜）
- ・産業廃棄物処分（PCB 不含有コンデンサー）

○田ヶ谷総合センターの来館者数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
来館者数（人）	3,666	5,835	6,767	9,260	10,793

※来館者数のうち、会議室等利用者の集計方法：利用実人数

○教養文化講座開催

教養文化講座を開催し、地域の文化力の向上や地域交流の促進、差別意識の解消に資することができた。（※子ども映画会については開催中止）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
開催回数（回）	中止	28	57	58	53
参加人数（人）	中止	249	559	533	489

○血圧計の設置

平成 30 年 7 月 26 日に血圧計を設置し、随時、血圧の測定を可能にした。

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用人数（人）	40	28	41	41	51

事業名		加須市住宅新築資金等貸付事業			2512-05
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	2,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	2,000 円	—
目	11	人権推進費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		旧特別措置法のもと、平成8年度まで、対象地区の住民で、住宅の新築若しくは不良住宅の改修又は住宅の用に供する土地の取得をする者に対し、必要な資金の貸付を行い、同和地区の環境の整備改善を図るとともに公共の福祉に寄与した。			
事業の概要		住宅新築資金等貸付金の債務者からの貸付金の収納事務を行う。 現在は貸付業務は廃止され、貸付金の徴収業務を実施している。			
事業の実績・成果					
○旧同和对策事業特別措置法等に基づく住宅新築資金貸付金の債務者に対し、貸付金の収納業務を行い、下記のとおり収納することができた。					
◇未償還貸付金の状況（令和6年度末現在）					
未償還金額（円）		件数（件）	人数（人）		
22,068,197		9	7		
◇収納状況（令和6年度末現在）					
種別		調定額(円)	収納額(円)	未収額(円)	収納率(%)
内 訳	元金	20,509,931	454,653	20,055,278	2.2
	利子	2,050,266	37,347	2,012,919	1.8
合計		22,560,197	492,000	22,068,197	2.2

事業名		環境基本計画進行管理事業		4111-02	
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	115,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	115,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	34,600 円	—
事業の目的		豊かな自然と快適な環境のまちづくりを推進するため、加須市環境基本計画に掲げた施策を計画的に推進する。			
事業の概要		環境審議会での助言・提言等を踏まえ、環境施策に係る報告書「加須市の環境」を発行し、進行管理を行う。また、報告書を市民に公表し、意見を環境行政に反映させる。 ・計画期間：R3 年度～R12 年度			
事業の実績・成果					
1 加須市環境基本計画に基づく進行管理 加須市環境基本計画及び環境関連計画に基づき、環境関連施策の進捗状況の把握、点検・評価を行い、令和5年度の施策事業実績をまとめ、環境審議会に報告した。 環境審議会での助言・提言等を踏まえ、「加須市の環境 令和6年度版（令和5年度実績）」の発行・公表及び施策事業の適切な運用を図った。 ・環境審議会（設置根拠：加須市環境基本条例第22条） 委員数：15 人 開催日： 第1回加須市環境審議会 令和6年10月10日（木）					

事業名		環境学習推進事業		4111-03	
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	164,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	164,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	158,455 円	—
事業の目的		市民及び事業者全てのエコライフの実現を図るため、環境に配慮したライフスタイルへの転換や環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう推進する。			
事業の概要		広報紙やホームページ等を活用した環境情報の提供や環境フォーラム、水辺環境の利活用を図る自然観察会を開催する。			
事業の実績・成果					
1 環境フォーラムの開催					
市民等の環境問題への理解を深め、環境に配慮したライフスタイルへの転換や、環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう環境情報を提供する機会や場の提供・充実を図るため、環境フォーラムを開催。					
・環境フォーラム 令和6年11月9日(土) 参加者150人 会場：北川辺文化・学習センター（みのり） テーマ「ゼロカーボンシティに向けて」					
2 自然観察会の開催					
貴重な自然環境や美しい歴史的景観を形成している「浮野の里（加須地域）」「風の里公園（騎西地域）」「オニバス自生地（北川辺地域）」「お花が池（大利根地域）」にて、自然観察会や職員による生きもの調査を実施し、自然に親しむとともに、生物の生態や生息環境などの学習、生物多様性への意識の向上が図られた。					
【加須地域】					
浮野の里昆虫観察会及び水生生物観察会 令和6年11月9日（土）参加者79人（水生生物観察会） 参加者66人（昆虫観察会）					
【騎西地域】					
風の里公園自然観察会 令和6年9月26日（木）参加者14人					
【北川辺地域】					
オニバス自生地自然観察会 令和6年8月24日（土）参加者5人					
【大利根地域】					
お花が池自然観察会 令和6年6月25日（火）参加者44人					
3 加須市環境学習出前講座の開催					
加須市では、令和5年3月に「加須市ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。これに伴い、ゼロカーボンシティの構築に向けた取組を推進するためには、一人ひとりが環境問題への理解を深め、学校、家庭、職場、地域など日常生活の様々な場面において、自分にできることから取り組んでいくことが大切であることから「加須市環境学習講座」を令和5年12月より実施を開始した。					
・「加須市のごみの分別方法」 令和6年6月9日（日）参加者15人					

事業名		生物多様性推進事業		4211-03	
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	82,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	82,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	72,148 円	—
事業の目的		点在する貴重な水辺環境を保全するため、多様な生物が生息できる水の郷を創造する。			
事業の概要		自然観察会等を通じた、生物多様性の重要性についての意識啓発を行う。 コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムやラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加による、県域を越えた市町村間の交流や意見交換を行う。			
事業の実績・成果					
1 生物基礎調査兼自然観察会の開催 貴重な自然環境や美しい歴史的景観を形成している「浮野の里（加須地域）」「風の里公園（騎西地域）」「オニバス自生地（北川辺地域）」「お花が池（大利根地域）」にて、自然観察会を開催し、その中で生物基礎調査を実施し、生物多様性が戦略に活用する基礎データを収集した。 また、埼玉県環境アドバイザー、埼玉県生態系保護協会加須支部と連携し、講師としてより詳しい説明等行っていただくことで、参加者は生物多様性の大切さと市内の自然環境の現状を体感した。					
2 「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」 ・コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムに参画した。 ・渡良瀬遊水地内で春に誕生した3羽の愛称が、6月8日に「つなぐ」（オス）、「希羽（ノワ）」（メス）、「輝来（キラ）」（オス）に決定した。					
3 「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」 渡良瀬遊水地の関係市町（栃木市、小山市、野木町、古河市、板倉町）と連携し、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議で運営しているホームページにて、渡良瀬遊水地のイベント情報や保全活動等のPRページを掲載し、周知を図った。					

事業名		鳥獣対策推進事業			4211-08
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	13,115,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	29,718,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	23,777,585 円	—
事業の目的		鳥獣による生活環境や農林水産業、生態系への被害を防止するため、鳥獣の保護及び狩猟、管理の適正化を図る。			
事業の概要		鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく有害鳥獣捕獲許可等の事務の実施。 アライグマ、イノシシ、ムクドリ、クビアカツヤカミキリ等の害獣、害虫の駆除及びムクドリ追払い等を実施。			
事業の実績・成果					
1 アライグマの防除対策					
・アライグマの被害防止のため、捕獲器によりアライグマ 534 頭を捕獲した。 (加須地域：248 頭、騎西地域：117 頭、北川辺地域：64 頭、大利根地域：105 頭)					
・捕獲後の対応 個体検査を実施し、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づき県へ報告した。					
【アライグマ捕獲頭数の推移】			(単位：頭)		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
捕獲件数	171	214	268	424	534
【捕獲従事者数の推移】			(単位：人)		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
捕獲従事者	45	82	114	167	238
2 令和 6 年度加須市有害鳥獣駆除補助金					
加須猟友会による有害鳥獣の駆除					
(1) 駆除実施日 令和 6 年 11 月 23 日、12 月 8 日、令和 7 年 1 月 19 日、2 月 2 日、合計 4 日間					
(2) 捕 獲 内 訳 カラス 19 羽、ムクドリ 70 羽、キジバト 79 羽、ヒヨドリ 47 羽、カワウ 10 羽					
(3) 捕 獲 場 所 特定猟具使用禁止区域(銃)を除く加須市内全域					
3 クビアカツヤカミキリの防除対策					
・新薬剤の購入(樹幹注入薬剤は年度途中より従来のウッドスターからリバイブに変更)					
・防除対策として薬剤散布及び樹幹注入及び成虫の捕殺を実施					
・広報紙等により市民への情報提供を実施					
・令和 6 年 10 月 15 日より「加須市クビアカツヤカミキリ薬剤防除等対策補助金」を開始。					
令和 6 年度の補助金活用状況 伐採 15 件 薬剤 6 件 伐採と薬剤 1 件					
4 イノシシの防除対策					
イノシシ被害の防止のため加須市猟友会と連携し、箱わなにより 15 頭を捕獲					
・注意喚起、チラシの配布、注意喚起の看板設置					
・箱わな 2 基、センサーカメラ 5 台を購入					
・イノシシ出没時現場対応、警察と連携した警戒パトロール					
・加須猟友会へのわな設置管理等業務委託(北川辺地域：年 4 回、加須地域及び大利根地域：年 2 回)					
・忌避剤等の購入による対策の施行と周知					
・国(利根川上流河川事務所)及び渡良瀬遊水地捕獲連携協議会と連携したイノシシ被害対策					
・県東部環境管理事務所と連携したイノシシ被害対策					

事業名		屋敷林等保全事業			4213-01
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,023,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,023,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	892,876 円	—
事業の目的		豊かな自然環境の保全のため、市内に残る貴重な屋敷林や樹木の保全・保護を図る。			
事業の概要		市内に点在する貴重な屋敷林や樹木を指定し、奨励金（樹林 10 円/㎡、樹木 3,000 円/本）を交付することで、貴重な緑の保全を図る。また、指定屋敷林の募集を継続して行い、保全樹林面積の増加を図る。			
事業の実績・成果					
1 指定及び奨励金交付					
市内の屋敷林等の身近な緑を末永く保全するため、市内に点在する貴重な屋敷林・樹林や樹木の中で要件を満たすものを保存樹林等として指定し、管理者に 1 ㎡当たり 10 円又は 1 本当たり 3,000 円の奨励金を交付した。					
【屋敷林等保全奨励金】					
奨励金交付箇所：100 箇所（樹林 24 箇所 91,717.5 ㎡、樹木 76 本）					
2 指定屋敷林等の指定状況					
(1) 保存樹林 (単位：箇所)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
指定箇所	26	25	25	24	24
(2) 保存樹木 (単位：本)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
指定本数	76	76	75	75	76

事業名		地球温暖化防止実行計画進行管理事業			4311-02	
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	120,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	120,000 円	—	
目	12	公害対策費	決 算 額	58,358 円	—	
事業の目的		温室効果ガスの排出を抑制するため、市役所地球温暖化防止実行計画（事務事業編）及び加須市地球温暖化防止実行企画（区域施策編）に位置付けた削減目標を達成する。				
事業の概要		両計画の進捗状況の把握及び点検評価を行う。 また、環境審議会や市民等の意見を踏まえ、適切な進行管理に努める。				
事業の実績・成果						
1 加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）の推進						
「加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」に基づき、ゼロカーボンシティを推進するため、二酸化炭素排出量削減のための取組等の周知・啓発を実施した。						
計画期間：令和5年度から令和12年度						
計画目標：令和12年度の温室効果ガス排出量を平成25年度（基準年度）に比べ46%削減						
市内のエネルギー起源二酸化炭素換算排出量（単位：kt-CO ₂ ）						
部門別		令和3年度	令和4年度	増減率 % R4/R3	平成25年度 （基準年度）	増減率 % R4/H25
産業部門		254.324	242.557	-4.6	286.802	-15.4
業務その他部門		106.206	105.161	-1.0	130.182	-19.2
家庭部門		124.598	115.993	-6.9	167.014	-30.6
運輸部門		175.255	180.941	3.2	211.469	-14.4
合計		660.382	644.652	-2.4	795.468	-19.0
※各年度の値は、埼玉県が公表した「2022年度県内市町村温室効果ガス排出量算定結果」より算定						
※各種統計データの修正や算定方法の見直し等により、各年度の数値が再計算される場合あり						
※四捨五入により、合計が合わない場合あり						
2 加須市役所地球温暖化防止実行計画（事務事業編）の推進						
「第3次加須市役所地球温暖化防止実行計画（事務事業編）」に基づき、各課・各施設等において温室効果ガスを削減するための省資源・省エネルギー等の取組を実践した。						
計画期間：令和3年度から令和12年度						
計画目標：令和12年度の温室効果ガス排出量を平成25年度（基準年度）に比べ51%削減						
市の事務事業による二酸化炭素換算排出量（単位：kg-CO ₂ ）						
種 別		令和5年度	令和6年度	増減率 % R6/R5	平成25年度 （基準年度）	増減率 % R6/H25
電気の使用		12,825,167	11,492,320	-10.4	11,418,145	0.6
灯油の使用		578,539	612,151	5.8	795,659	-23.1
A重油の使用		1,005,139	924,652	-8.0	1,104,054	-16.2
液化石油ガス（LPG）の使用		130,205	108,742	-16.5	167,728	-35.2
公用車の走行		215,885	218,292	1.1	321,910	-32.2
合計		14,754,935	13,356,157	-9.5	13,807,496	-3.3
※加須市役所地球温暖化防止実行計画に定める排出係数を用いて算出						
※各種統計データの修正等により、各年度の数値が再計算される場合あり						

3 加須市地球温暖化防止実行計画推進委員会

地球温暖化防止に係る市の実行計画の推進を図るため、庁内に推進委員会を設置し、取組状況の報告、検証を行った。

開催日：令和6年7月31日

4 加須市ゼロカーボンシティ推進協議会の設立

2030年度の二酸化炭素削減目標及び2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて、「加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」の推進を図ることを目的に、令和6年11月に加須市ゼロカーボンシティ推進協議会を設立した。

(1)設立日：令和6年11月7日

(2)委員：18名（大学、市民団体、金融機関、企業、公共団体、学生等）

(3)オブザーバー：2名（環境省関東地方環境事務所地域脱炭素創生室、埼玉県温暖化対策課）

また、年2回協議会を開催し、加須市の現状・課題の共有や市の施策に関する意見交換、アンケート調査等を実施した。

協議会の開催日

第1回協議会：令和6年11月7日

第2回協議会：令和7年3月11日

なお、協議会の設立及び初年度の運営について、環境省が実施する「令和6年度脱炭素まちづくりアドバイザー」制度を活用し、派遣アドバイザーによる助言や提言などの協力を得た。

事業名		省資源・省エネルギー促進事業				4311-03					
担当課		環境政策課			現 年	前年度からの繰越					
款	02	総務費		当初予算額	38,000 円		—				
項	01	総務管理費		最終予算額	38,000 円		—				
目	12	公害対策費		決 算 額	14,925 円		—				
事業の目的		地球温暖化を防止するため、市・市民・事業者の各主体が省資源・省エネルギーを推進する。									
事業の概要		省エネ社会の構築に向け市・市民・事業者が一体となった省エネ行動を推進するため、エコライフ DAY チェックシート・ゼロカーボン川柳、グリーン購入等の意識啓発及び実践のための取組みを実施する。									
事業の実績・成果											
1 エコライフDAY&WEEK埼玉への参加促進											
家庭からの二酸化炭素排出削減を目的とした「エコライフDAY・WEEK埼玉」への参加を促し、エコライフへの意識の向上と取組の促進を図った（年2回実施）。											
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
	参加 人数 (人)	二酸化 炭素削 減量 (kg)	参加 人数 (人)	二酸化 炭素削 減量 (kg)	参加 人数 (人)	二酸化 炭素削 減量 (kg)	参加 人数 (人)	二酸化 炭素削 減量 (kg)	参加 人数 (人)	二酸化 炭素削 減量 (kg)	
	夏	7,796	5,354	8,053	6,472	7,722	5,850	1,591	6,340	1,472	5,796
	冬	11,654	9,642	8,644	7,052	4,929	5,722	2,554	11,195	4,201	38,134
	計	19,450	14,996	16,697	13,524	12,651	11,572	4,145	17,535	5,673	43,930
対前 年増 減率 (%)	▲12.7	▲20.7	▲14.2	▲9.8	▲24.2	▲14.4	▲67.2	51.5	36.9	150.5	
※ペーパーレス化の推進を図るため、令和5年度より新たに県が開設した「エコライフDAY&WEEK埼玉特設サイト」による参加を基本とし取組みを実施したが、参加人数が伸び悩んだため、令和6年度（冬）の取組みより、従来どおり、市内小中学校への紙媒体での個別配布を実施											
2 ゼロカーボン川柳の実施											
(1)目 的 市民の「ゼロカーボン」に対する意識啓発や一人ひとりが身近にできる二酸化炭素排出量削減の取組の促進											
(2)募集項目 「ゼロカーボン」に関する川柳											
(3)応募対象者 市内在住者、在学者・在勤者 (個人、学校・クラス単位・グループ・サークル単位)											
(4)発 表 「第11回加須市環境フォーラム（令和6年11月16日）」内で表彰、作品の掲示											
(5)応募作品数 180 作品（最優秀賞：1 作品、優秀賞：1 作品、佳作：3 作品） 最優秀賞作品「CO2 コツコツ（CO2 CO2）減らし ゼロカーボン」											
3 グリーン購入の推進											
加須市役所地球温暖化防止実行計画（事務事業編）に位置付けられた「温室効果ガスの排出の抑制に配慮した取組」として、「環境配慮型事務用品の購入の推進」を掲げ、「加須市グリーン購入推進方針（令和6年3月改訂）」に基づき、職員によるグリーン購入の取組みを実施した。											
対象品目：国が定める対象品目のうち、本市が特に重点的にグリーン購入を推進する品目（加須市グリーン購入対象品目）として14分野150品目を設定											

事業名		再生可能エネルギー利用促進事業			4312-01
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	20,000,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	20,000,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	9,560,000 円	—
事業の目的		電力を創出し、節電社会の構築を図るため、太陽光などの再生可能エネルギーを活用した発電を促進する。			
事業の概要		広報紙等により再生可能エネルギー利用促進に向けた啓発を行う。 また、住宅用再生可能エネルギー設備等設置補助金を交付し、利用促進を図る。 風力発電の保守点検の実施（3年に1度）			
事業の実績・成果					
1 補助金について 住宅用再生可能エネルギー設備等の普及促進を図るため、令和6年度より「住宅用太陽光発電システム」及び「定置用蓄電池」に対する補助金を開始した。 ・令和6年度交付決定数126件（太陽光：91件・蓄電池：101件） （住宅用太陽光発電システム：最大出力1キロワットにつき2万円、上限5万円） （定置用蓄電池：一律5万円）					
2 風力発電システム保守点検 平成20年に共栄テクノスが開発して寄贈された風力発電システムが、加須市民運動公園内に設置されており、3年に1度、点検・清掃を行っている。（前回は令和4年度実施）					



事業名		環境にやさしい自動車利用促進事業			4313-01	
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	732,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	732,000 円	—	
目	12	公害対策費	決 算 額	559,892 円	—	
事業の目的		化石燃料の使用量や排出ガスの削減を図り、低炭素社会を実現するため、電気自動車などの環境にやさしい自動車の利用を促進する。				
事業の概要		電気自動車用充電設備の利用促進を図るとともに電気自動車等のエコカーの普及を促進する。また、アイドリングストップ、エコドライブ、カーシェアリングの普及啓発を進める。				
事業の実績・成果						
1 電気自動車用充電設備のインフラ整備等の促進に向けた連携協定						
電気自動車の利用促進を図るため、電気自動車用充電設備のインフラ整備を軸としたゼロカーボンシティの実現及び災害等に対する地域のレジリエンスの強化に関する連携・協力を目的に、令和6年3月に民間事業者と連携協定を締結。公共施設等15施設への電気自動車用充電設備の整備を図るため、令和6年度には3施設に充電設備の整備を行い、令和7年1月より民間事業者による運営を開始した。						
(1)令和6年度整備実績						
No.	施設	充電器の種類	基数	供用開始	利用回数	
1	道の駅童謡のふる里おおとね	急速充電	1	令和7年1月	11	
2	加須市民体育館	普通充電	2	令和7年1月	1	
3	大利根総合支所	普通充電	2	令和7年1月	0	
2 既存の電気自動車用充電設備の廃止						
加須市役所及び道の駅童謡のふる里おおとねに設置されている電気自動車用充電設備について、民間活力により新たな設備を整備するため、令和6年11月に既存設備（以下(1)の2施設）の供用を廃止した。今後、民間活力の活用により両施設を含めた公共施設等15施設への整備を促進する。						
(1)供用廃止施設						
No.	施設	充電器の種類	基数	現状	整備時期	
1	加須市役所本庁舎	急速充電	1	故障	平成24年3月整備	
2	道の駅童謡のふる里おおとね	急速充電	1	老朽化	平成26年3月整備	
(2)利用状況 (単位：回)						
No.	施設	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	加須市役所本庁舎	32	32	1※1	0	0※2
2	道の駅童謡のふる里おおとね	14	12	20	50	48※2
	合 計	46	44	21	50	48
※1 故障による復旧困難のため利用停止（令和4年10月～）						
※2 民間活力により新たな設備を整備するため供用廃止（令和6年11月）						

事業名		グリーンカーテン促進事業			4315-02
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	190,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	190,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	111,100 円	—
事業の目的		消費電力の削減を図るため、夏のエアコン等の使用を抑制する。			
事業の概要		市民の節電意識を高め CO2 を削減するため、グリーンカーテンコンテストを開催し、市内におけるグリーンカーテンの普及啓発を行う。			
事業の実績・成果					
1 ゴーヤ苗を無償配布 グリーンカーテン用ゴーヤの苗を市民等へ無償で配布 560 個 （1 世帯 5 個）					
2 「グリーンカーテンコンテスト」開催 市内におけるグリーンカーテンの普及啓発を行い、優秀な作品 5 点を選出し、賞状と記念品を贈呈した。 最優秀賞：1 点 優秀賞：1 点 佳作：3 点					
3 グリーンカーテンコンテスト応募数 (単位：件)					
令和 2 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
18		13	16	13	31

事業名		浄化槽転換促進事業			4423-01						
担当課		環境政策課			現 年	前年度からの繰越					
款	02	総務費		当初予算額	16,845,000 円	—					
項	01	総務管理費		最終予算額	6,699,000 円	—					
目	12	公害対策費		決 算 額	5,675,000 円	—					
事業の目的		生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。									
事業の概要		合併処理浄化槽への転換を促進するため、転換を実施する者に補助金を交付する。 また、合併処理浄化槽への転換について普及啓発を実施する。									
事業の実績・成果											
1 合併処理浄化槽設置整備補助金											
河川等の水質浄化を図り、より良い環境づくりを目指して、単独処理浄化槽又は汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する市民に対して補助金を交付した。（補助金の対象となる区域は、加須市生活排水処理施設整備計画における浄化槽整備区域である。）											
R6 補助金交付額 5,650,000 円											
(内訳)											
・ 合併処理浄化槽への転換に伴う設置費補助 4,270,000 円 (11 基分)											
・ 汲み取り方式の便槽または単独処理浄化槽の処分費補助 500,000 円 (10 基分)											
・ 合併処理浄化槽への配管費補助 880,000 円 (11 基分)											
(単位：基)											
年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
施工業者 人槽		市内業者	市外業者	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者
5 人槽		1	0	1	5	1	0	1	5	4	3
7 人槽		7	6	3	6	7	6	3	6	3	1
10 人槽		0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
合計(市内外別)		8	6	4	12	8	6	4	12	7	4
総合計		14		16		18		15		11	

2 浄化槽等の設置基数の状況（令和 6 年度末）※工業専用地域及び集中浄化槽を除く（単位：基）

区域 排水処理	浄化槽 整備区域	公共下水道 整備区域	流域下水道 整備区域	農業集落排水 整備区域	市内全域
合併処理浄化槽	9,128	1,937	616	575	12,256
単独処理浄化槽	6,604	3,476	467	841	11,388
汲み取り便槽	1,600	690	159	333	2,782
合計	17,332	6,103	1,242	1,749	26,426

事業名		水質浄化促進事業			4424-01
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	386,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	386,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	126,960 円	—
事業の目的		きれいな水の再生のため、市内の公共用水域の水質改善を図る。			
事業の概要		河川浄化対策協議会や市民との協働による河川の浄化活動・清掃活動を支援し市民による浄化活動を促進する。			
		さらに、河川浄化の啓発活動を実施するとともに、冬期試験通水を実施する。			
事業の実績・成果					
1 加須市河川浄化対策協議会加須支部補助金					
(1) 加須地域内 8 河川等の水質簡易測定及び清掃の実施 (午の堀川、中川、新槐堀川、会の川、六郷堀、青毛堀川、五ヶ村落、南方用水)					
(2) 会の川清掃活動 11 月に会の川清掃活動を実施し、市民との協働による河川の浄化に努めた。 実施日 令和 6 年 11 月 7 日 (木) ゴミ回収量：590 kg					
2 加須市大利根地域河川浄化対策協議会補助金					
大利根地域一斉清掃を実施し、市民との協働による河川の浄化に努めた。 実施日 令和 6 年 7 月 28 日 (日)、令和 6 年 12 月 15 日 (日)、令和 7 年 3 月 9 日 (日)					
3 利根大堰左岸に係る冬期通水推進連絡会負担金					
利根大堰左岸に係る幹線水路に冬期通水を行うことにより農業用水の高度利用と水辺空間及び多面的機能の向上を図った。					
4 冬期試験通水					
(1) 通水期間 令和 6 年 10 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで					
(2) 利根合口農業水利協議会及び関係市町、土地改良区で利根大堰に係わる冬期試験通水要望活動を行った。					
5 冬期試験通水に係る水質測定					
市内を流れる南方用水路、会の川等の各水路に通水を行い、水質測定を実施した。					
・測定結果(河川ごとの平均値) (単位：mg/ℓ)					
河川名		測定項目	通水前 (夏)	通水後 (冬)	
南方用水路		BOD	2.0	8.3	
会の川		BOD	0.83	5.4	
四ヶ村用水		BOD	1.1	1.4	
新川用水		BOD	1.1	1.5	
島中領用水路		BOD	1.3	7.7	
※環境基準は 5mg/ℓ以下					

事業名		公害未然防止事業			4431-01
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,512,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,512,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	973,861 円	—
事業の目的		市民が良好な生活環境のもとで、健康で快適に暮らすことができるまちづくりを推進する。			
事業の概要		市民からの大気汚染（野外焼却）、水質汚濁、騒音、振動、悪臭等の苦情への対応や防止対策の助言、指導を行う。 また、工場や事業所からの騒音・振動等特定施設の届出等の受理や騒音・振動規制の指導助言を行うとともに、野外焼却の禁止など市民への意識啓発を実施する。			
事業の実績・成果					
1 苦情への対応					
市民等から公害苦情の相談があった場合、現場に急行し、苦情相談者から発生時期（時間帯）や発生場所、原因者、被害の程度、要望等を聴取・調査した上で、原因究明のため現地確認や発生原因者からの事情聴取を行い、解決策として公害防止、改善対策を検討し、発生原因者へ解決に向けた助言や指導を行うとともに苦情相談者へ対応に係る説明を実施した。					
【苦情件数の推移】					
(単位：件)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
大気汚染()内、野焼き件数	44(44)	15(15)	21(21)	20(19)	20(20)
水質汚濁	6	4	7	5	3
騒音	17	23	16	12	24
振動	2	1	0	4	8
悪臭	10	16	15	15	14
合計	79	59	59	56	69

事業名		監視測定事業			4432-01		
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越		
款	02	総務費	当初予算額	6,147,000 円	—		
項	01	総務管理費	最終予算額	6,147,000 円	—		
目	12	公害対策費	決 算 額	5,918,000 円	—		
事業の目的		市民が良好な生活環境のもとで健康で快適に暮らすことのできるまちづくりを推進するため、定点及び周期的な環境測定を実施する。					
事業の概要		大気中のダイオキシン類や二酸化窒素、二酸化硫黄、河川等の水質、自動車交通騒音測定等の環境測定を継続的に実施するとともに測定結果を市民に公表する。 また、光化学スモッグ注意報の発令・解除情報及びPM2.5の注意喚起情報の提供を行う。					
事業の実績・成果							
1 河川等水質検査業務							
・市内河川等のうち、50 地点の水質検査を夏期（9 月）、冬期（2 月）に実施した。							
(単位：mg/ℓ(pH 除く))							
		p H (水素イオン濃度)		S S (浮遊物質質量)		BOD (生物化学的酸素要求量)	
		夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期
最小値		6.98	7.58	2.6	0.87	0.45	0.69
最大値		8.58	9.44	385	612	36	43
基準超過地点数		1	5	3	6	0	27
コイ、フナが生息できる「きれいな川」はBOD5 mg/ℓ以下である。							
加須市の北川辺地域を除く河川は、中川の水質環境基準のC類型を参照し、基準値は pH：6.5～8.5、SS：50 mg/ℓ以下、BOD：5 mg/ℓ以下に、北川辺地域の河川は、渡良瀬川の水質環境基準のB類型を参照し、基準値は pH：6.5～8.5、SS：25 mg/ℓ以下、BOD：3mg/ℓ以下、大腸菌群数：1,000CFU/100mL 以下にしている。							
2 ダイオキシン類環境測定業務							
(単位：pg-TEQ/m ³)							
測 定 地 点		ダイオキシン類濃度					
		夏季 (8/6～8/13)	冬季 (1/7～1/14)	平 均			
消防団第8分団（下樋遣川）		0.0075	0.021	0.0098			
騎西総合支所（騎西）		0.0076	0.023	0.015			
北川辺分署（麦倉）		0.0096	0.011	0.011			
大利根総合支所（北下新井）		0.01	0.011	0.011			
大気環境基準は、年平均 0.6pg-TEQ/m ³ である。							
3 大気測定業務							
・7月から3月にかけて測定を実施し、1 地点につき1 箇月ごとに8 回試料採取した。							
(1) 大気中の二酸化硫黄濃度測定結果 (単位：ppm)							
測 定 地 点		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
三俣小学校（北小浜）		0.0009	0.0010	0.0009	0.0009	0.0007	
騎西小学校（騎西）		0.0009	0.0008	0.0010	0.0009	0.0008	
道の駅かぞわたらせ（小野袋）		0.0017	0.0018	0.0020	0.0016	0.0013	
大利根総合支所（北下新井）		0.0009	0.0011	0.0010	0.0010	0.0008	
数値は、1 時間平均値。							
二酸化硫黄環境基準は、1 時間値の1 日平均値が0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が0.1ppm 以下であること。							

(2) 大気中の二酸化窒素濃度測定結果

(単位：ppm)

測定地点	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
三俣小学校（北小浜）	0.0034	0.0037	0.0032	0.0031	0.0028
騎西小学校（騎西）	0.0052	0.0048	0.0045	0.0045	0.0044
道の駅かぞわたらせ（小野袋）	0.0140	0.0140	0.0150	0.0100	0.0092
大利根総合支所（北下新井）	0.0055	0.0052	0.0044	0.0055	0.0040

数値は1時間平均値。

二酸化窒素環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

4 自動車交通騒音測定業務

(単位：dB(A))

測定地点	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
県道加須幸手線（睦町）	<u>71.7</u>	65.2	58.5	62.0	64.2
	<u>66.1</u>	64.6	58.5	57.9	58.8
東北縦貫自動車道（下谷）	67.0	66.6	68.7	64.7	69.2
	64.4	64.6	64.9	60.8	63.0
県道加須停車場線（中央二丁目）	58.8	57.7	56.2	61.5	58.4
	49.2	46.7	49.5	53.3	50.3
一般国道122号（下崎）	<u>72.8</u>	<u>73.1</u>	<u>72.6</u>	<u>72.6</u>	68.9
	<u>73.9</u>	<u>70.6</u>	<u>69.6</u>	<u>70.1</u>	<u>65.4</u>
県道佐野古河線（小野袋）	66.1	66.5	66.5	64.5	64.8
	64.6	64.1	64.1	63.8	64.7
県道羽生栗橋線（北下新井）	<u>70.6</u>	69.3	57.0	65.5	70.3
	64.7	64.8	56.5	60.0	64.5

上段は昼間（6時～22時）平均、下段は夜間（22時～6時）平均。

道路に面する地域に係る環境基準は、昼間は70dB以下、夜間は65dB以下である。

道路管理者又は関係行政機関の長に意見を述べることができる要請限度は、昼間は75dB、夜間は65dBである。

5 自動車交通騒音測定面的評価業務

- ・調査期日 令和7年1月8日～令和7年1月9日
- ・調査路線及び地点 県阿佐間幸手線（間口 外 地内）

路線名	調査区間		距離（km）
	始点	終点	
阿佐間幸手線	加須幸手線	三田ヶ谷幸手線	3.5

- ・調査内容

①道路交通騒音・交通条件、②沿道条件、③面的評価

調査路線	時間区分	調査結果（dB）	環境基準（dB）	評価対象戸数（戸）	昼夜ともに基準達成戸数（戸）	環境基準達成率
阿佐間幸手線	昼間	69	70	289	280	96.9%
	夜間	66	65			

6 光化学スモッグ等に関する情報の提供

- ・光化学スモッグ注意報等の発令時に、防災行政無線等により市内全域に注意喚起した。
令和6年度 光化学スモッグ予報13件、光化学スモッグ注意報2件
- ・埼玉県内のPM2.5の測定値を市のホームページにより情報提供を行った。
令和6年度 PM2.5注意喚起0件

事業名		放射能測定事業			4432-02
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,018,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,018,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	891,000 円	—
事業の目的		東京電力福島第一原子力発電所での事故の発生に伴い放出された放射性物質について適切な対応を図ることで市民の安心、安全の確保を図る。また、万が一の有事の際の環境的視点からも重要なデータとなることから測定を実施する。			
事業の概要		定期的な空間放射線量の測定及び市民からの申請による放射線量の出張測定を実施し、その結果を公表する。			
事業の実績・成果					
1 空間放射線量の定点測定					
・測定期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日まで：月曜日の午前9時					
・測定箇所 加須小学校、大越小学校、騎西中学校、北川辺中学校、大利根中学校					
・測定器 Mr. GammaA2700					
・測定結果 (単位：μSv/h)					
測定箇所		最低値	最高値		
本庁舎		0.024	0.041		
加須小学校		0.038	0.056		
大越小学校		0.029	0.041		
騎西中学校		0.033	0.042		
北川辺中学校		0.029	0.050		
大利根中学校		0.037	0.063		
2 「周辺より高線量を示すおそれのある箇所」の測定					
学校や子どもが利用する主な施設の局所的に放射線量が高いと思われる箇所の空間放射線量の測定を実施した。					
・測定箇所 小中学校・幼稚園、市立保育所、児童館など及び主な都市公園の合計69施設					
・測定期間及び測定箇所、測定結果 (単位：μSv/h)					
測定回数		測定期間	測定箇所	最低値	最高値
第40回測定		令和6年8月19日～23日	69	0.027	0.078
第41回測定		令和7年1月14日～17日	69	0.022	0.085
3 職員による出張測定（空間放射線量測定）					
・実績（令和6年度実施なし）					
4 焼却灰等の放射能測定の実施					
加須及び大利根クリーンセンターにおいて、放射性ヨウ素及び放射性セシウムの濃度測定を焼却灰（主灰）を年2回、飛灰等を年12回実施した結果、放射性ヨウ素については不検出、放射性セシウムについては基準値（8,000Bq/kg）超過はなかった。					
5 広報活動					
・市HP、広報紙で測定結果を公表した。					

事業名		環境保全推進事業		4433-01											
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越										
款	02	総務費	当初予算額	71,000 円	—										
項	01	総務管理費	最終予算額	71,000 円	—										
目	12	公害対策費	決 算 額	49,190 円	—										
事業の目的		豊かな自然と良好な生活環境を将来にわたり確保する。													
事業の概要		環境保全条例に基づく土地の埋め立ての規制・指導や空き地の雑草などの適正管理の指導を実施する。 既存の残土の堆積地や新たな違法、無許可埋立ての防止を図るため、関係機関と連携したパトロールを実施する。 環境配慮事業者への指導や協定の締結を行う。													
事業の実績・成果															
1 巡回パトロールの実施 環境保全のため、不法投棄及び違反埋立ての監視を目的とした県との合同パトロールを実施した。 ＜県下一斉合同監視パトロール＞ 実施日：令和6年10月25日 参 加：（県）東部環境管理事務所 廃棄物・残土対策担当 （市）環境政策課、資源リサイクル課															
2 空き地の雑草等の適正管理の指導件数 雑草の繁茂等、適正管理の成されていない空き地の所有者に対し、改善するよう文書指導等を行い、空き地の適正管理を図った。 （単位：件） <table><tr><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>106</td><td>120</td><td>87</td><td>92</td><td>105</td></tr></table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	106	120	87	92	105
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度											
106	120	87	92	105											
3 埼玉県緑化推進委員会会費 緑化の推進を目的として、緑の募金活動を実施した。															
4 環境配慮事業の協定締結 敷地面積 3,000 m ² 以上 建築面積 1,000 m ² 以上の製造業、加工修理業に係る工場の新設 令和6年度 該当なし															

事業名		ムクドリ対策事業		4433-05	
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	15,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	15,000 円	—
目	12	公害対策費	決 算 額	891 円	—
事業の目的		良好な生活環境を確保するため、ムクドリ被害の抑制・軽減を図る。			
事業の概要		ムクドリが嫌がる音声を飛来する群れやねぐらに向けて流したり、拍子木等による追い払いやムクドリの糞で汚れた道路の清掃を地元自治協力団体との協働により実施する。			
事業の実績・成果					
1 ムクドリの鳴き声による騒音対策					
(1) 実施予定日等					
①令和6年8月19日（月）～8月21日（水） ※ムクドリの飛来がなくなり中止					
②7～8月					
(2) 実施場所					
①花崎駅北口周辺					
②加須駅北口周辺					
(3) 実施内容					
①拍子木の打ち鳴らしや、ディストレスコール（ムクドリが嫌がるとされている鳴き声）を拡声器で流しながら公用車で巡回し、追払いを実施予定であった（自治会との事前打合せは2回実施）。					
②ディストレスコール（ムクドリが嫌がるとされている鳴き声）を拡声器で流しながら公用車で巡回し、追払いを実施（自治会との事前打合せは2回実施）。					
(4) 協力団体等					
①自治協力団体（花崎北第一区町内会、花崎北第二区町内会、花崎北第三区町内会、ライオンズガーデン花崎町内会）及び関係課（道路公園課）					
②自治協力団体（中央二丁目町内会）					
2 ムクドリの糞害対策（花崎駅北口周辺）					
① 例年、花崎駅北口ロータリー周辺の糞害対策として、歩道等の路面清掃を地元自治協力団体と協働し、高圧洗浄機やデッキブラシにより実施しているが、令和6年度は汚れが目立たなかったため、現場確認及び自治協力団体との協議により中止した。					
② 加須駅北口では、千方神社に集まるムクドリの追い払いを実施したが、地元自治会から、かえって拡散し飛び回り住宅街にふん害等の被害が広がることから中断の旨要請があったため、途中で中止した。					
3 次年度以降の対策					
全国的に抜本的な対処法が確立していないため、令和7年度以降についても、地元自治協力団体と協議のうえ、引き続き追払い等を実施する方針で決定した。					

事業名		交通安全計画進行管理事業			1321-02
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	256,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	256,000 円	—
目	13	交通安全対策費	決 算 額	130,000 円	—
事業の目的		本市における交通安全に関する施策を総合的かつ計画的な推進を図るため、交通安全対策基本法に基づく加須市交通安全計画の進行を管理する。			
事業の概要		加須市交通安全対策協議会を開催し、交通安全対策の推進体制の強化を図るとともに、交通安全計画の進行を管理する。 計画期間：令和3年度～令和7年度			
事業の実績・成果					
第2次交通安全計画に係る令和6年度の各取組の実績確認（照会）を行うとともに、交通安全計画庁内推進委員会及び交通安全対策協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行った。 また、交通安全対策協議会において各季の交通安全運動等に係る実施要綱（案）及び実施計画書（案）の協議を行った。					
○交通安全計画庁内推進委員会 開 催 日 令和6年8月21日 内 容 第2次加須市交通安全計画の令和5年度の取組結果について					
○交通安全対策協議会 第1回 開 催 日 令和6年6月26日 出席委員数 8名 内 容 ・夏の交通事故防止運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について					
第2回 開 催 日 令和6年8月28日 出席委員数 9名 内 容 ・秋の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について ・交通安全計画の令和6年度取組結果について					
第3回 開 催 日 令和6年11月15日 出席委員数 6名 内 容 ・冬の交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について ・交通安全計画の令和4年度取組結果について ・令和5年度 交通安全対策工事箇所について					
第4回 開 催 日 令和7年3月12日 出席委員数 7名 内 容 ・春の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について					

事業名		交通安全団体活動支援事業		1321-03	
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	24,131,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	23,543,000 円	—
目	13	交通安全対策費	決 算 額	18,912,905 円	—
事業の目的		市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活を送れるようにするため、交通安全活動を行う団体を支援する。			
事業の概要		・ 交通指導員協議会、交通安全母の会、交通安全協会等の円滑な活動を支援するため、補助金を交付するほか、交通指導員の報酬等の支給及び制服の貸与をする。			
事業の実績・成果					
1 加須市交通指導員協議会					
・ 活動内容					
市民が安全で安心して生活できるようにするために、朝の学童指導をはじめ、薄暮時街頭指導のほか、市のイベントや交通安全キャンペーン、子ども自転車運転免許事業への協力など、交通道德の普及・高揚・啓発に努めた。					
(1)朝の学童指導及び薄暮時街頭指導					
(2)子ども自転車運転免許事業への協力					
(3)春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通事故防止運動への参加 ほか					
・ 加須市交通指導員協議会研修会を実施（令和7年1月23日）					
交通指導員としての意識統一及び向上を図るため、交通指導員としての所作、制服の着用方法について研修を行った。					
2 加須市交通安全母の会					
・ 活動内容					
交通安全母の会は、「交通安全は家庭から」をモットーに、子どもと高齢者の交通事故を防止するための各種交通安全啓発事業を実施し、交通事故のない、明るく住み良い地域社会づくりに寄与した。					
(1)春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通事故防止運動への参加					
(2)広報紙「加須市交通安全母の会だより」を発行					
(3)各支部での交通安全啓発活動の実施					
・ 小学校新入学児童に啓発品を配布（全支部）					
・ 歩道橋に横断幕を設置し車両運転者等への啓発を実施（騎西支部）					
(4)子ども自転車運転免許事業への協力					
(5)新入学児童の交通安全教室の開催					
3 加須交通安全協会					
・ 活動内容					
交通道德の普及高揚と交通事故の防止を目的に、広報活動や啓発活動、道路反射鏡の点検及び清掃活動、交通関係功労者・団体・優良運転者の表彰、埼玉県交通安全協会の交通安全活動に関する協力、子ども自転車運転免許事業への協力等を行った。					
4 交通安全団体への補助					
交通安全団体に対して補助金を交付し、交通道德の普及・高揚・啓発を促進することにより、市内の交通安全を図った。					
・ 加須市交通指導員協議会補助金 625,000 円					
・ 加須市交通安全母の会補助金 952,000 円					
・ 加須交通安全協会補助金 2,241,000 円					

事業名		交通安全啓発事業			1321-04
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,652,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,652,000 円	—
目	13	交通安全対策費	決 算 額	1,285,086 円	—
事業の目的		市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。			
事業の概要		・各種交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加・実践型高齢者交通安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する。 ・ヘルメット着用に向けた普及・啓発を実施する。			
事業の実績・成果					
1 加須市内の交通事故年別推移					
		人身事故			物損事故
		件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)	件数(件)
令和元年		300	5	359	2,308
令和2年		240	2	305	2,045
令和3年		264	2	339	2,010
令和4年		271	4	344	2,317
令和5年		250	8	314	2,363
令和6年		250	2	300	2,492
加須警察署調べ（捜査状況等により数値の変動あり）					
2 子ども自転車運転免許事業の実施					
加須警察署や教育委員会、市内交通関係団体等と連携・協力し、市立全小学校4年生を対象に、安全講習、学科試験、実技試験を実施した。この事業により、交通ルールをはじめ、自転車の安全な乗り方などを指導し、子どもの自転車の交通事故防止を図った。					
3 中学生交通安全講習会の実施					
中学生自らが自転車に乗る際の交通ルールの習得を行うことによって、自転車乗車等に対する安全意識やマナーを学び、交通安全意識を高め、交通事故に遭わない、起こさないように心掛けてもらうことを目的に、市立全中学校1年生を対象とした交通安全講習会を実施した。					
4 参加・実践型高齢者交通安全教室					
埴北自動車学校及び加須警察署の協力・指導のもと、参加・実践型の高齢者交通安全教室を年4回開催し、加須市内の老人クラブ連合会・シルバー人材センター・グランドゴルフ協会会員の参加者が、加齢に伴う反射能力、身体能力の認識の衰えを確認することにより、高齢者の交通事故防止を図った。					
5 各種交通安全啓発活動					
春、秋の全国交通安全運動及び夏、冬の交通事故防止運動等で、交通安全を呼びかける啓発品を配布し、交通事故防止を促した。					
交通弱者である子どもや高齢者の交通事故防止を図るため、新入学児童には交通安全教育教本を配布し、また、敬老会の記念品に高齢者交通安全啓発チラシを同封した。					

事業名		交通安全施設整備事業			1322-01
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	35,157,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	32,316,000 円	—
目	13	交通安全対策費	決 算 額	31,356,221 円	—
事業の目的		市民が交通事故に遭わないようにするため、交通安全施設の整備を図る。 また、交通事故の防止を図るため、緊急に通行の安全を確保する必要性の高い危険箇所について緊急対策としての局部的かつ応急的な工事を実施する。			
事業の概要		・自治協力団体の要望等があった箇所について市基準に基づき道路反射鏡や路面標示等の交通安全施設工事を実施する。また施設の修繕、維持管理を実施する。 ・事故多発箇所及び死亡事故発生箇所については、警察、行田県土、庁内関係各課で構成されている加須市道路交通環境安全推進連絡会議に諮り、交通安全対策を実施する。			
事業の実績・成果					
交通安全上危険な箇所や交通事故多発地点について交通安全施設等(道路反射鏡、路面標示等)を整備することにより、交通安全の注意を喚起し、交通事故防止を図った。					
1 道路反射鏡新設 27 基、 5,519,800 円					
2 道路反射鏡修繕 84 基、 9,689,900 円					
3 路面表示等設置 23 箇所、10,853,315 円					
4 道路照明灯修繕 22 基、 1,667,950 円					
【交通安全施設の整備状況】					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
道路反射鏡新設 (基)	17	29	14	14	27
道路反射鏡修繕 (基)	83	61	69	40	84
路面標示等設置 (箇所)	34	45	22	24	23
道路照明灯修繕 (基)	61	31	31	33	22
○加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金 742,900 円					
補助対象団体 加須交通安全協会 (年 3 回実施)					
趣 旨 市内に設置された道路反射鏡を常に良好な状態に保つことにより、市内の交通安全を図るため、道路反射鏡の点検及び清掃活動を行う加須交通安全協会に対し、加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金交付要綱に基づき、活動費補助金を交付した。					

事業名		放置自転車対策事業			1322-02
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,053,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,053,000 円	—
目	13	交通安全対策費	決 算 額	994,877 円	—
事業の目的		通行の安全と良好な生活環境を保持するため、加須駅、花崎駅、柳生駅、新古河駅周辺の自転車放置整理区域内における放置自転車の対策を行う。			
事業の概要		・ 自転車放置整理区域内の放置自転車の指導、整理及び引渡し業務の委託を行う。 ・ 放置自転車の撤去、運搬、処分業務の委託を行う。 ・ 花崎駅北口西有料自転車駐車場運営業務を行う。(月：1,200 円、2 段ラック式：374 台) ・ 自転車駐車場の指導、整理業務の委託を行う。			
事業の実績・成果					
歩行者の安全な通行の確保と良好な生活環境の保持を図った。					
1 放置自転車監視・指導・整理・引渡し業務委託（加須駅・花崎駅） 694,892 円 (毎週月、水、金曜日、午前 7 時～8 時、4 名立哨)					
2 放置自転車撤去・移送業務委託（加須駅・花崎駅） 0円 (撤去 6 回・9 台 ※台数が少なかったため職員による撤去を行った。)					
3 花崎駅北口西自転車駐車場（有料）監視・指導・整理業務委託 105,872円 (毎週月、水、金曜日、午前 7 時～8 時、1 名立哨)					
4 放置自転車売却処分 売却処分 27 台 売却代金 297 円					
5 有料自転車駐車場利用状況 利用者 251 人 使用料 2,481,600 円					
6 放置自転車監視・指導業務委託（柳生駅） 118,267円 (隔週月、水、金曜日及び火、木、土曜日、1 名立哨) (立哨時間：月～金曜日 午前 7 時～8 時、土曜日 午前 8 時～9 時)					
【放置自転車撤去・処分台数の推移】					(単位：台)
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
撤 去 台 数	55	27	13	38	29
売却処分台数	80	44	52	47	27
【花崎駅北口西自転車駐車場（有料）の利用状況】					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
使用料（円）	1,923,600	2,004,000	2,162,400	2,218,800	2,481,600
利用者数（人）	199	206	216	220	251

事業名		交通遺児支援事業			2113-12
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	221,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	221,000 円	—
目	13	交通安全対策費	決 算 額	81,096 円	—
事業の目的		交通遺児を扶養している方への経済的支援を行い、交通遺児世帯の生活の安定を図る。 ※ 交通遺児とは、交通事故によって親が死亡した又は親に重度の障害が残った児童 (小・中学校に在学する者)			
事業の概要		交通遺児を扶養している方からの申請により、図書カードを支給する。 ・対象者調査(小・中学校へ依頼) ・支給時期:12 月 ・支給額:小学生 10,000 円、中学生 20,000 円 ・支給方法:郵送(簡易書留) ・基準日:9 月 1 日			
事業の実績・成果					
広報紙で案内するとともに、市内の小・中学校の協力を得て対象となる方を把握することによって、対象者を事業の利用につなげることができた。 また、加須市交通遺児支援基金を活用して、交通遺児支援金(図書カード)を支給することによって、交通遺児の健全な育成と交通遺児を扶養する保護者を支援することができた。					
1 事業内容 支援金(図書カード)の支給 小学生 1人当たり 10,000 円分 中学生 1人当たり 20,000 円分					
2 対象児童数及び支給額の推移 (単位:人、円)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生	2	1	1	1	1
中学生	5	4	1	2	2
支給額	120,000	90,000	30,000	50,000	50,000

事業名		消費者自立・支援事業		1174-01	
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	5,013,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	5,013,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	4,357,185 円	—
事業の目的		消費者の権利の尊重及びその自立の支援を推進し、安全で安心した消費生活の確保及び向上を図る。			
事業の概要		消費生活センターに専門職である消費生活相談員を配置し、消費生活トラブル等の相談を市民から受け、助言やあっせんを行うとともに、消費者の自立を支援する。なお、本庁舎へ相談に来られない方には、予約制により、相談員が総合支所へ出張する体制を整えている。 また、消費者団体くらしの会の自主的な消費者活動を支援する。			
事業の実績・成果					
1 消費生活講座等					
・消費者団体「加須市くらしの会」への補助金				268,000 円	
消費生活の改善・向上を図るとともに、生産者・販売者・消費者相互の意思疎通を図り、地域社会の円滑な発展に資することを目的に、事業を展開し、消費生活に対する意識向上に繋がった。 会員数：248 人					
2 消費者被害を未然に防ぐ啓発活動					
消費者被害を広く市民に周知し、悪質商法等の被害を未然に防止する啓発に努めた。					
・市広報紙等に事例及び対策を掲載					
・加須市在住の埼玉県消費者被害防止サポーターとの協働による、4 地域市民まつりでの消費者被害防止のためのマグネットシート配布による啓発活動					
消費者被害防止啓発クリアホルダー				(中学 3 年生対象)	99,000 円
消費者被害防止啓発リーフレット				(小学 6 年生対象)	48,400 円
消費者被害防止啓発マグネットシート				(全世代対象、市民まつり等で配布)	191,400 円
3 加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議					
高齢者、障がい者及び認知症等により判断能力が不十分となった方の消費者被害を防止するため、加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を活用し、関係機関との連携により消費者被害救済に努めた。					
4 消費生活相談					
本庁舎では月曜日から金曜日に消費生活相談員が市民の様々な消費生活に係る相談を受け、適切な助言及びあっせん等を行うとともに、消費者の悩みや不安の解消に努めた。					
・消費生活相談員報酬				2,937,515 円	

消費生活相談の取引形態別相談件数

(単位：件)

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
苦 情 相 談 件 数	店舗購入	105	60	53	81	85
	訪問販売	71	71	62	86	83
	マルチ販売	2	4	0	2	3
	電話勧誘販売	32	31	25	43	47
	通信販売	217	125	159	197	168
	ネガティブ オプション	7	1	2	0	1
	訪問購入	4	6	4	9	7
	その他無店舗販売	1	1	0	0	2
	不明無関係	153	132	174	180	185
	小 計	592	431	479	598	581
問い合わせ件数		61	49	27	32	32
合 計		653	480	506	630	613

5 消費生活相談弁護士

消費生活相談員が法律等の改正や相談内容の複雑化等に対処するため、月 1 回、弁護士からの助言を受けた。

・弁護士謝金 360,000 円

消費生活相談弁護士への相談件数

(単位：件)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
相談件数	70	59	44	57	56

事業名		消費者教育推進事業			1174-03
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	216,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	216,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		消費者が自らの利益の擁護及び増進のため、自主的かつ合理的に行動することができるよう、その自立を支援するため消費生活に関する教育を行う。			
事業の概要		小学 6 年生と当該保護者及び中学 3 年生を対象とした消費者教育、高齢者を対象とした講座、高齢者を見守る社会福祉協議会職員・ケアマネージャー等を対象とした消費生活レベルアップ講座を実施する。			
事業の実績・成果					
1 若年者対象消費生活講座の開催					
・市立中学校の 3 年生を対象とし、消費生活相談員等が講師を務め、携帯電話のトラブル事例やインターネットに潜む危険性などの講話を行い、トラブルの未然防止を図るとともに消費者問題に対する意識の醸成を図ることができた。					
実施校：市立中学校 8 校全て					
参加人数：3 年生の生徒 814 人					
経費：講師謝金については、埼玉県が全額負担					
2 社会福祉協議会職員・ケアマネージャー対象消費生活講座の開催					
社会福祉協議会職員・ケアマネージャーを対象とし、消費生活相談員が講師を務め、高齢者に多い消費者トラブルの事例や見守りのポイントなどの講話を行い、消費者トラブルの未然防止や消費者問題に関する知識を高めることができた。					
参加人数：社会福祉協議会職員・ケアマネージャー等 4 講座 45 人					
3 市民対象消費生活講座の開催					
市民を対象とし、消費生活相談員が講師を務め、消費者の被害事例や対策などの講話を行い、消費者トラブルに対する関心を高めることができた。					
参加人数：市民 4 講座 65 人					
4 高齢者対象消費生活講座の開催					
近年、高齢者を狙った悪質商法、詐欺的商法の被害が増加し、社会的関心が高まっている。このような消費者トラブル防止のため、地域の高齢者の交流・情報交換の場ともなっている「高齢者ふれあいサロン」にて、消費生活講座を実施し、消費者被害を身近な危険として捉えてもらうとともに、消費生活センターの紹介等を行い、相談しやすい環境を作る。					
参加人数：市民 28 講座 244 人					

事業名		定額減税調整給付事業			1174-10
担当課		税務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	0 円	1,005,474,000 円
項	01	総務管理費	最終予算額	0 円	1,005,474,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	0 円	845,609,554 円
事業の目的		「デフレ完全脱却のための総合経済対策」（令和 5 年 11 月 2 日閣議決定）を踏まえ、低所得者支援及び定額減税を補足する給付として、賃金上昇が物価高に追い付いていない市民の負担軽減を図る。			
事業の概要		物価高における市民の負担を緩和するため、デフレ脱却のための一時的な措置として、市民の可処分所得を直接的に下支えする定額減税が行われ、定額減税しきれない方に対して給付を行う。			
事業の実績・成果					
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 845,609,554 円					
物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。					

事業名		防犯のまちづくり推進計画進行管理事業			1311-02
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	69,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	69,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	51,000 円	—
事業の目的		市民が犯罪に巻き込まれることなく安全で安心して生活を送ることができる犯罪のない地域社会を実現するため、防犯のまちづくり推進計画の進行を管理する。			
事業の概要		加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会を開催し、推進体制の強化を図るとともに、計画の進行管理を行う。 第3次計画期間：令和4年度～令和8年度			
事業の実績・成果					
第3次みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画の推進を図り、進行管理を行った。 ○みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画庁内推進委員会 開 催 日 令和6年10月18日 内 容 第3次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画の令和5年度取組結果について ○みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会 開 催 日 令和7年2月4日 出席委員数 19名 内 容 第3次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画の令和5年度取組結果について					

事業名		防犯啓発事業		1311-03	
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	5,160,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	5,161,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	5,160,092 円	—
事業の目的		市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、「自分たちの地域は自分たちで守る」という防犯意識を高揚する。			
事業の概要		・ 犯罪発生状況や防犯情報等をホームページや広報紙に掲載するとともに、防災行政無線での呼びかけ、さらに「かぞホッとメール」にて配信し、防犯意識の高揚を図る。 ・ 暴力団排除条例に基づいて、啓発活動を行う。 ・ 加須市地域安全・暴力排除推進大会を開催する。			
事業の実績・成果					
1 加須市内の犯罪発生件数の推移			(単位：件)		
	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
刑法犯総数	556	616	575	646	713
侵入盗計	84	89	63	61	50
街頭犯罪計	126	169	113	166	176
※侵入盗：空き巣・忍び込み・事務所荒しなど ※街頭犯罪：自転車盗・車上狙い・ひったくり・自販機ねらいなど					
2 防犯情報の提供					
・ 毎月、広報紙及びホームページに犯罪発生件数と犯罪の防止方法等を掲載 ・ 「かぞホッとメール」及び防災行政無線による犯罪及び防犯に関する情報の提供					
3 加須市防犯協会・加須市暴力排除推進協議会への補助					
地域防犯活動を効果的に推進するとともに、全市民の防犯思想の高揚を図り、もって犯罪のない明るい社会の構築に寄与することを目的とする加須市防犯協会と、徹底した暴力排除活動を展開し、暴力のない明るく住みよいまちづくりを推進することを目的とする加須市暴力排除推進協議会に補助金を交付し、市民の防犯意識の高揚に努めた。					
・ 加須市防犯協会補助金 4,819,000 円 ・ 加須市暴力排除推進協議会補助金 336,000 円					
4 加須市地域安全・暴力排除推進大会の開催					
令和 6 年 12 月 13 日、令和 6 年度加須市地域安全・暴力排除推進大会を開催し、表彰状の贈呈、防犯に関する講話、埼玉県警察音楽隊、カラーガード隊による演奏会を行った。					
暴力排除ポスターカレンダーを 3,100 部作成し、市内公共施設、加須市商工会や自治協力団体等に配布し、啓発を行った。					

事業名		犯罪被害者等支援事業（新設）			1311-04
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	400,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	400,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		犯罪被害者等の権利利益の保護並びに被害の軽減及び回復を図り、もって犯罪被害者等が安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与する。			
事業の概要		・ 犯罪被害者等からの相談受付及び情報提供等を行う。 ・ 犯罪被害者等からの請求に基づき、見舞金を支給する。（遺族見舞金：30 万円、傷害見舞金：10 万円） ・ 市民等及び事業者に、犯罪被害者等の支援の重要性及び必要性について、情報の提供及び啓発活動を実施する。			
事業の実績・成果					
1 犯罪被害者等からの相談受付及び情報提供等					
○相談の推移 (単位：件数)					
		令和 6 年度			
件数		0			
2 犯罪被害者等からの請求に基づく見舞金の支給					
○令和 6 年度遺族見舞金：0 件					
○令和 6 年度傷害見舞金：0 件					

事業名		自主防犯活動組織育成・支援事業			1312-01
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	452,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	452,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	241,778 円	—
事業の目的		市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、防犯組織の体制を整備する。			
事業の概要		・地域防犯力を強化するため、自主防犯組織の結成及び活動を支援する。 ・自主防犯組織への支援として、補助金を交付する。(設立:上限 50,000 円、パトロール経費:1 年目 2/3・上限 30,000 円、2 年目以降 1/2・上限 15,000 円)			
事業の実績・成果					
1 自主防犯組織設立の促進					
新たに自主防犯組織の設立について検討している自治協力団体に対して、随時アドバイス等を行い、組織の促進に努めた。					
○自主防犯組織数の推移 (単位:団体)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
組織数	139	145	145	146	146
2 自主防犯組織活動費補助金の交付					
自主防犯組織に対して補助金を交付し、地域における自主防犯意識の向上や組織活動の活性化を促進した。					
○令和6年度 補助金交付団体数:19 団体					
○令和6年度 補助金交付金額:216,800 円					

事業名		かぞホッとメール配信事業			1312-05
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,827,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	1,827,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	1,826,275 円	—
事業の目的		携帯電話やパソコンのメール機能を利用して行政情報の提供を行い、市民との情報の共有化を図る。			
事業の概要		安全安心情報、子育て情報、イベント情報、就業支援情報、幼稚園・小・中学校・保育園からの情報、職員の緊急招集等のメール配信を行う。 また、市 HP に利用案内を掲載するとともに、市転入者にチラシを配布する。			
事業の実績・成果					
・こどもたちをはじめ、市民の皆さんが犯罪に巻き込まれない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、登録者の携帯電話やパソコンに、電子メールにて安全安心情報(犯罪情報など)を配信し、こどもたちを犯罪から守る、犯罪対策などとして実施した。また、子育て情報・イベント情報・就業支援情報を各担当課からそれぞれ配信した。 さらに、転入者へ広報チラシを配布するなど周知に努めた。					
○メール配信サービス事業の登録者数・情報配信数					
【メール配信サービス事業の登録者数】				(単位：人)	
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
安全安心情報	7,722	7,544	7,467	7,189	6,923
子育て情報	2,577	2,709	2,835	1,799	1,725
イベント情報	2,315	2,374	2,423	1,527	1,496
就業支援情報	739	765	784	502	503
職員緊急招集	669	749	735	729	560
小学校(幼稚園含)	9,411	9,426	9,119	6,609	2,358
中学校	4,318	3,872	3,798	3,108	829
保育所	577	613	634	582	626
延べ登録者数	28,328	28,052	27,795	22,045	15,020
実登録者数	17,891	17,979	18,097	16,096	11,287
【メール配信サービス事業の情報配信数】				(単位：件)	
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
安全安心情報	350	297	298	345	248
子育て情報	119	171	281	310	161
イベント情報	0	2	8	18	14
就業支援情報	9	10	9	11	1
合計数	478	480	596	684	424

事業名		防犯施設維持管理事業			1313-01
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	61,548,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	64,976,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	63,827,582 円	—
事業の目的		防犯環境の向上を図るため、犯罪が発生しにくい環境づくりを進める。			
事業の概要		・ 防犯上必要な箇所に順次、環境負荷の少ない LED 防犯灯を設置する。 ・ LED 防犯灯の修繕、維持管理を実施する。 ・ 防犯カメラの設置及び維持管理 ・ 防犯カメラ設置費補助事業の実施			
事業の実績・成果					
自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置及び既設防犯灯の適切な維持管理を実施した。					
1 防犯灯新設 ・ 自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置 42 基、1,013,538 円					
2 防犯灯修繕 ・ 既設防犯灯の維持管理（故障等対応） 191 基、5,190,420 円					
【防犯灯の整備状況】 (単位：基)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
防犯灯新設	54	203	70	63	42
防犯灯修繕	952	554	133	331	191
3 防犯カメラ更新工事 ・ 不具合のある防犯カメラの更新工事 2 基、1,210,000 円					
4 交通防犯施設（防犯灯・道路照明灯・道路反射鏡）管理システム （5 年長期継続契約 令和 2 年 2 月～） （1）交通防犯施設管理システム保守管理委託 549,120 円 （2）交通防犯施設管理システム賃貸借 445,500 円 （3）交通防犯施設管理システム構築 3,762,000 円					
5 電気料 51,615,199 円					
【電気料の推移】 (単位：円)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
電気料金	33,426,953	36,827,846	45,341,863	43,682,474	51,615,199

事業名		空家等対策計画進行管理事業			1314-02
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	101,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	101,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		本市が取り組むべき空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく第2次加須市空家等対策計画の進行を管理する。			
事業の概要		加須市空家等対策協議会を開催し、空家等対策の推進体制の強化を図るとともに、空家等対策計画の進行管理を行う。 計画期間：令和3年度～令和7年度			
事業の実績・成果					
第2次空家等対策計画に基づき、空家等対策に対する基本方針等の取組を推進した。 ○空家等対策協議会 令和6年度 未開催 (空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が成立した後にガイドラインや指針等を踏まえて開催する予定)					

事業名		空家等実態調査把握事業			1314-03
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	821,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	821,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	774,367 円	—
事業の目的		実効性のある空家対策の推進を行うため、市内に存在する空家等について把握し、最新の空家等の情報を管理する。			
事業の概要		・ 空家等の実態調査を行い、空家の状況を把握する。 ・ 使用状況や意向確認をするためのアンケート調査を実施する。 ・ 空家データベースによる情報の一元管理を行う。			
事業の実績・成果					
令和6年6月		令和5年12月1日を基準として行った空家等実態調査（第9回）で、新たな空家等の可能性がある家屋（95戸）のうち、賃貸・売却用の物件や既に利活用されていたもの等（12戸）を除く、83戸の所有者等に対して、利用状況や今後の利活用の意向等の確認を行った。			
令和6年10月		前年度の空家等実態調査で、空家等と判定された空家等の現況を、加須市シルバー人材センターに業務委託し調査を行った。 業務委託契約金額：356,767 円 調査対象件数：752 件			
令和6年12月		自治協力団体と連携し、令和6年12月1日を基準として、市内全域の空家等実態調査（第10回）を実施した。 利用状況及び実施調査の結果を反映した令和6年12月1日時点での空家等の数は、840戸（前年調査比88戸増）であった。			
通	年	空家等管理システムに登録された空家等の情報の更新 委託業者 株式会社電創テクノ 委託金額 264,000 円			

事業名		空家等解消対策事業		1314-04	
担当課		交通防犯課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	143,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	143,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	6,446 円	—
事業の目的		周囲への生活環境に悪影響を及ぼす管理不全な空家や活用可能でありながら放置されている空家を解消する。			
事業の概要		・ 特定空家等に対する行政指導等を実施する。 ・ 管理不全な空家等の所有者に対する適正管理指導を実施する。 ・ 空家バンク等による空家の活用促進を図る。 ・ 空家等所有者を特定するための確認調査を行う。			
事業の実績・成果					
通	年	・ 空家に関する情報や制度などの周知・啓発 ・ 周辺住民や空家等所有者等からの相談等の対応 ・ 空家バンクの運用 <登録等の状況> 通算物件登録数 11 件（前年度比+1）、通算利用登録数 37 件（前年度比+2） 令和 6 年度 成約件数 1 件（前年度比+1）、相談件数 15 件			
令和 6 年 6・7 月	令和 5 年 12 月 1 日を基準日として行った空家等実態調査（第 9 回）における「問題あり」空家（特定空家等含む）75 戸及び早期対応等が必要な「やや問題あり」空家 123 戸に対し、時期も踏まえて指導書（特定空家等）及び適正管理のお願い（特定空家等を除く）の文書を送付（一部訪問等）した。 ※なお、送付にあたっては、管理・活用のためのリーフレットや空家バンクの案内、啓発チラシ等を同封した。 → 令和 7 年 3 月までに取壊しも含め改善等が行われた空家が 60 戸あった。				
令和 7 年 2 月	市の魅力発信を行い、空き家の利活用や移住等の集客を図るため、「全国版空き家・空き地バンクの構築運営に関するモデル事業」実施事業者（下記 2 社）の全国版空き家バンクへの登録を実施 アットホーム株式会社：「at home」、 株式会社 L I F U L L：「LIFULL HOME' S」				
令和 7 年 3 月	適切な相続対策の必要性等、空家の発生予防のための相続おしかけ講座が行われた。 ・ 高齢者学級（上種足） 参加者 33 名				
令和 7 年 3 月	・ 株式会社クラッソーネと空き家対策促進に係る連携協定を締結 空き家の解消に関する問題解決の手段として、協定を締結し空き家の予防対策を実施 ①すまいの終活ナビ：費用の算出、近隣への迷惑度診断 ・ 土地の売却査定価格と家屋の解体費用が分かるシュミレーター ・ 固定資産税シュミレーター ・ 空家の迷惑度診断 ②印刷物（フライヤー）の提供 ③セミナー等の周知活動				

事業名		交通災害共済事業			1324-02
担当課		交通防犯課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	650,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	719,000 円	—
目	14	市民生活費	決 算 額	588,432 円	—
事業の目的		埼玉県総合事務組合が運営する市町村交通災害共済を活用し、交通事故により災害を受けた方又はその遺族を救済する。			
事業の概要		・埼玉県市町村総合事務組合による交通災害共済への加入を促進する。 ・交通事故で災害を受けた加入者又はその遺族に対し共済見舞金を支給する。			
事業の実績・成果					
交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故により災害を受けた方を救済するため、自治協力団体の協力を得て、交通災害共済への加入を促進した。 また、日常生活に困窮している方の経済的負担の軽減を図るため、交通災害共済加入費の一部を助成した。					
1 加入者数（加入費：一律 500 円）					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
件数（人）	13,077	9,073	8,190	7,748	7,205
加入率（％）	11.6	8.1	7.3	6.9	6.4
2 見舞金支払状況					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
件数（人）	51	73	54	41	43
金額（円）	2,984,000	6,697,000	2,939,000	2,880,000	3,175,000
3 日常生活に困窮している方に対する助成状況（助成額 300 円／1 人）					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
件数（人）	97	81	87	102	80
金額（円）	29,100	24,300	26,100	30,600	24,000

事業名		市民相談事業			2512-01	
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	3,506,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	3,506,000 円	—	
目	14	市民生活費	決 算 額	3,481,447 円	—	
事業の目的		市民が抱える様々な問題について解決を図り、安心して生活が送れるよう支援する。				
事業の概要		市民相談は本庁舎で毎日、合同相談は市民プラザかぞで月1回、弁護士法律相談は本庁舎で月2回、各総合支所で各々月1回開催する。				
事業の実績・成果						
1 市民相談						
本庁舎では月曜日から金曜日に、家庭や日常生活上における心配ごと、トラブル等に関する相談、行政への相談等を受け、助言や情報提供等を行い、市民の悩み解消と諸問題の早期解決に努めた。						
市民相談の相談項目別件数			(単位：件)			
区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
行政への要望・照会等		22	33	38	61	39
土地・建物（借地・売買）		25	21	12	13	42
金銭貸借・保証		6	1	1	8	17
交通事故		1	3	1	2	0
離婚・婚約不履行		8	14	8	4	16
相続・贈与・遺言		30	16	28	34	37
家庭問題		27	38	20	28	27
近隣関係		29	27	29	32	28
労 働		13	5	1	4	6
その他		73	61	66	72	64
合 計		234	219	204	258	276
2 弁護士法律相談						
身近なところで法律相談が受けられるよう、予約制で無料の弁護士法律相談を、本庁舎においては月2回、騎西・北川辺・大利根総合支所においては各々月1回開催し、適切な助言等を行った。						
また、予約については、庁内ネットワークにより情報共有を図り、本庁舎・各総合支所のいずれでも予約を可能としている。						
・ 弁護士謝金 3,330,000 円 (内訳) 1,800,000 円 本庁舎						
540,000 円 騎西総合支所						
450,000 円 北川辺総合支所						
540,000 円 大利根総合支所						

弁護士法律相談の相談項目別件数

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
不動産	39	49	39	27	43
借地借家	16	16	9	15	8
金銭貸借	26	29	32	38	33
損害賠償	8	21	18	14	19
交通事故	8	9	6	7	10
供 託	0	0	1	0	0
商 事	1	4	0	1	0
離 婚	69	59	56	61	44
相 続	95	82	94	88	92
贈 与	1	0	1	2	0
遺 言	4	3	8	8	7
家庭問題	26	27	26	23	16
行政・労働・公害・刑事	18	11	12	12	18
その他	78	70	93	93	61
合 計	389	380	395	389	351

3 合同相談

行政相談委員、司法書士、税理士、不動産相談員、行政書士の協力により、市民プラザかぞにおいて、月1回無料合同相談所を開設し、問題の解決に向けた適切な助言等を行った。

また、人権相談及び公認心理師による「こころの相談」（いきいき健康医療課）も併せて実施した。

・合同相談会場（市民プラザ）会場借上料 28,400 円

合同相談の相談項目別件数

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
行政相談	2	0	1	3	1
不動産	15	21	17	30	20
税	25	30	51	84	74
近隣問題	20	20	33	24	34
離婚等	1	1	1	4	0
相続登記等	1	2	1	6	5
家庭問題	0	0	3	9	3
こころ	5	7	12	18	9
その他	6	7	3	12	14
合 計	75	88	122	190	160

※人権擁護委員・同和問題相談員及び公認心理師（または臨床心理士）の相談件数も含む。

事業名		コミュニティセンター管理運営事業			5133-04
担当課		市民協働推進課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	130,977,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	142,914,000 円	—
目	15	コミュニティセンター費	決 算 額	136,924,604 円	—
事業の目的		地域コミュニティ活動の拠点として多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。			
事業の概要		・市内全 19 コミュニティセンターの適正な管理運営を行う。 ・各施設の貸出業務を行う。			
事業の実績・成果					
地域のコミュニティ活動の推進を図るため、様々な活動に利用できるよう各コミュニティセンターの適切な管理・運営を行った。					
1 コミュニティセンター別利用者数・実稼働率の推移 (上段：利用者数(人) / 中段：利用件数(件) / 下段：実稼働率(%))					
施設名 \ 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
加 須	5,678	7,332	13,055	17,022	17,535
	642	825	1,358	1,336	1,406
	21.1	23.4	36.7	36.0	38.0
不動岡	17,865	21,694	24,053	26,086	27,739
	2,555	3,011	4,780	4,425	4,344
	37.4	37.9	57.5	53.0	52.2
三 俣	6,244	7,689	10,732	12,585	12,286
	856	1,059	2,686	3,145	2,904
	28.2	30.0	41.5	48.5	44.9
礼 羽	3,653	4,602	6,486	7,543	7,074
	408	519	676	718	678
	—	—	24.4	25.8	24.5
大 桑	3,793	5,037	5,941	7,756	9,279
	464	584	719	773	804
	—	—	25.9	27.8	29.0
川 口	7,169	9,792	15,897	14,254	17,373
	1,009	1,240	1,671	1,743	1,762
	43.1	44.7	60.3	62.7	63.6
花 崎	16,303	27,870	30,809	35,395	44,478
	2,611	3,019	3,793	4,161	3,998
	41.8	40.8	51.3	56.1	54.1
南篠崎	9,163	11,307	13,343	15,772	15,495
	758	1,004	1,042	1,139	1,096
	10.4	11.7	12.1	13.3	12.7
水 深	1,739	2,663	3,795	5,250	7,148
	256	264	397	546	771
	—	—	10.7	14.7	20.9
樋遣川	2,999	4,232	6,200	7,443	6,803
	366	538	694	817	754
	—	—	18.8	22.0	20.4

施設名 \ 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
志多見	3,134	3,762	4,770	6,558	6,701
	364	442	591	844	795
	-	-	12.8	18.2	17.2
大 越	1,732	2,516	3,886	5,174	4,659
	246	321	465	578	586
	-	-	10.1	12.5	12.7
騎 西	8,637	8,878	12,125	13,868	14,017
	1,717	2,190	1,724	1,474	1,585
	31.5	33.9	26.7	22.7	24.5
種 足	171	695	863	942	908
	21	81	92	102	100
	1.1	3.7	4.2	4.6	4.6
鴻 荃	1,350	1,669	2,297	2,211	1,967
	357	451	492	428	283
	12.8	13.7	15.0	13.0	8.6
高 柳	2,315	2,735	2,997	3,073	3,277
	558	695	651	592	597
	15.0	15.9	14.9	13.5	13.6
北川辺	-	1,637	12,807	14,222	14,164
	-	283	1,881	2,250	2,287
	-	31.4	35.9	40.6	41.5
原 道	8,132	9,152	11,290	10,817	11,527
	2,707	1,546	1,818	1,625	1,594
	41.9	23.9	32.9	29.3	28.9
豊 野	2,843	3,384	4,573	4,406	3,369
	433	544	817	704	751
	6.7	8.4	14.9	12.7	13.6
総 計	102,920	136,646	185,919	210,377	225,799
	16,328	18,616	26,347	27,400	27,095

*北川辺コミュニティセンターについては、令和 4 年 2 月 1 日開館

*礼羽・大桑・水深・樋遣川・志多見・大越コミュニティセンターについては、令和 4 年 4 月 1 日から公民館からコミュニティセンターへ移行。

(※参考として、令和元年度から令和 3 年度までの利用者数は、令和 3 年度行政報告書公民館管理運営事業より公民館延べ利用者数及び延べ利用団体数を引用。)

*実稼働率…年間総利用件数を、開館日数に部屋数と利用区分数 3 を掛けた数値で、除した割合。

事業名		コミュニティセンター整備事業		5133-05	
担当課		市民協働推進課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	4,872,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	13,177,000 円	—
目	15	コミュニティセンター費	決 算 額	6,146,917 円	—
事業の目的		地域で集えるコミュニティ活動の拠点として、施設の改修整備を行う。			
事業の概要		総合的なコミュニティセンターの修繕計画を立て、施設の改修を行う。			
事業の実績・成果					
・埼玉県一般道礼羽騎西線自転車歩行者道拡幅工事に伴う ・令和6年度 礼羽コミュニティセンター門扉及び駐車場等改修工事設計業務委託 471,900 円 ・令和6年度 礼羽幼稚園及び礼羽コミュニティセンター門扉等改修工事 (礼羽コミュニティセンター分) 4,350,617 円 ・豊野コミュニティセンターの高圧ケーブル故障による緊急修繕工事 ・令和6年度 豊野コミュニティセンター高圧ケーブル更新工事 1,324,400 円 【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 6,776,000 円 ・翌年度への繰越事業の内容 令和6年度 樋遭川コミュニティセンター浄化槽更新工事【R7.2 補】 6,776,000 円 ・令和6年度から令和7年度へ繰り越す理由 令和7年2月議会補正予算に予算計上のため、年度内の事業完了が困難であったため。					

事業名		市民総合会館管理運営事業			5133-03	
担当課		市民協働推進課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	121,143,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	124,240,000 円	—	
目	16	市民総合会館費	決 算 額	116,641,609 円	—	
事業の目的		コミュニティ活動の拠点施設として、多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。				
事業の概要		・多くの市民が安全安心に施設を利用できるよう、適正な管理運営を行う。 ・施設の貸出業務を行う。				
事業の実績・成果						
市民相互の交流、市民活動及び学習活動の拠点施設として、多くの市民が利用できるよう施設の適正な管理運営を行った。						
■ 利用者数等の推移						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数（人）		67,716	98,155	123,791	137,254	139,698
うち市民交流 プラザ利用者数		38,396	52,277	75,908	89,334	93,018
利用件数（件）		5,469	6,867	8,730	8,914	8,744
実稼働率（％）		29.34	31.07	39.37	40.07	40.43
使用料（円）		4,505,850	7,814,050	8,457,800	9,182,350	9,335,600

事業名		市民平和祭開催事業			3311-03
担当課		観光振興課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	32,466,000 円	—
項	01	総務管理費	最終予算額	29,133,000 円	—
目	17	諸費	決 算 額	28,690,978 円	—
事業の目的		平和の尊さを再認識し、市民の平和意識の高揚を図るとともに、交流人口の拡大に努め、地域の活性化を図る。			
事業の概要		安全で安心できる平和な暮らしを願う「加須市民平和祭」を開催し、そのメインイベントとして「世界一のジャンボこいのぼり（全長 100m、重さ 330kg）の遊泳」を実施する。			
事業の実績・成果					
世界一の大きさを誇る 100mの「ジャンボこいのぼり」が優雅に遊泳し、メイン会場、対岸会場ともに県内外から多くの方々が訪れた。					
1 開催概要					
(1) 開催日 令和6年5月3日（金・祝）					
(2) 参加団体数					
・歓迎・式典・アトラクション 12 団体					
・地域交流ブース 12 団体					
・商工農販売ブース 33 店					
・フリーマーケット 15 団体					
・対岸イベント出店数 12 店					
・指導機関 3 団体					
(3) 実施内容					
〈メイン会場〉					
・第1部 10 時～ 平和式典（式辞、祝辞、平和都市宣言、平和作文、市民合唱）					
・第2部 11 時～ 観光大使ステージ					
・ジャンボこいのぼり遊泳 (1 回目 11 時 30 分～・2 回目 13 時 30 分～)					
・ステージ発表 市内各地域の団体など					
・青年会議所イベント広場 「究極の鬼ごっこ」					
〈対岸会場〉（合の川河川防災ステーション）					
・北川辺 Dream プロジェクトドリーム広場					
・模擬店（12 店舗）					
・演奏等（北川辺中学校吹奏楽部、開智未来高等学校吹奏楽部及び開智未来中学・高等学校ダンス部）					
2 観客数の推移					
(単位：人)					
項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
観客数	中 止	中 止	10,000	66,000	77,000

事業名		郵便切手等売捌事業（県収入証紙等売捌事業から事業名称変更）			5252-07	
担当課		会計課		現 年	前年度からの繰越	
款	02	総務費	当初予算額	23,330,000 円	—	
項	01	総務管理費	最終予算額	23,330,000 円	—	
目	17	諸費	決 算 額	23,326,360 円	—	
事業の目的		市民の利便性の向上を図るため、パスポートの申請等に必要な収入印紙の売り捌き、郵便切手類の販売を行う。				
事業の概要		会計課・各総合支所の窓口で郵便切手類・収入印紙の販売を行う。 はがき：85 円、170 円 切手：2 円、10 円、16 円、22 円、26 円、50 円、63 円、84 円、85 円、94 円、100 円、110 円、120 円、140 円、180 円 収入印紙：100 円、200 円、500 円、2 千円、4 千円、5 千円、1 万円 レターパック：プラス、ライト				
事業の実績・成果						
・郵便切手類 郵便切手類の販売に当たっては、数量、券種不足により支障を来すことがないよう適正な管理運営を行った。						
(1) 年度別実績						
【販売手数料（歳入）】 588,918 円						
【販売金額（歳入）】 (単位：円)						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
印 紙	3,488,700	4,029,300	10,041,900	20,121,000	18,417,800	
切 手	150,391	337,463	776,738	1,245,392	1,583,949	
はがき	131,922	139,293	347,445	357,525	294,354	
レターパック			871,220	252,550	815,710	
合 計	3,771,013	4,506,056	12,037,303	21,976,467	21,111,813	
【買受金額（歳出）】 (単位：円)						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
印 紙	11,915,000	3,340,000	12,200,000	10,790,000	20,260,000	
切 手	357,400	322,980	881,480	1,126,015	1,721,630	
はがき	136,080	138,600	348,075	366,975	432,130	
レターパック			1,309,500	0	912,600	
合 計	12,408,480	3,801,580	14,739,055	12,282,990	23,326,360	
(2) 令和6年度末在庫数						
・切 手						
	2 円	10 円	16 円	22 円	26 円	50 円
枚数（枚）	394	260	179	67	398	12
金額（円）	788	2,600	2,864	1,474	10,348	600
	85 円	100 円	110 円	120 円	140 円	180 円
枚数（枚）	81	275	2,459	149	373	217
金額（円）	6,885	27,500	270,490	17,880	52,220	39,060
	合 計					
枚数（枚）	4,864					
金額（円）	432,709					

・収入印紙

	100 円	200 円	500 円	2,000 円
枚数 (枚)	465	466	376	285
金額 (円)	46,500	93,200	188,000	570,000
	4,000 円	5,000 円	10,000 円	合 計
枚数 (枚)	301	214	209	2,316
金額 (円)	1,204,000	1,070,000	2,090,000	5,261,700

・はがき

	85 円	170 円	合 計
枚数 (枚)	742	25	767
金額 (円)	63,070	4,250	67,320

・レターパック

	レターパックライト	レターパックプラス	合 計
	430 円	600 円	
枚数 (枚)	446	184	466
金額 (円)	191,780	110,400	182,920

事業名		固定資産評価審査委員会運営事業			5312-06
担当課		固定資産評価審査委員会		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	207,000 円	—
項	02	徴税費	最終予算額	207,000 円	—
目	01	税務総務費	決 算 額	80,180 円	—
事業の目的		地方税法に基づき、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）に対する審査申出の審査を行う。			
事業の概要		地方税法に基づき、3 人の委員で構成される委員会で、主に固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服審査の申出を受け、調査その他事実審査を行い、決定する。 また、行田市、羽生市固定資産評価審査委員会との研究会を開催する。			
事業の実績・成果					
・令和 6 年度審査申出件数：2 件 ・評価替えの基準年度である令和 6 年度は、2 件の審査申出があった。審査申出案件第 1 号については、令和 7 年 1 月 24 日に一部認容の決定をした。また、審査申出案件第 2 号については、令和 6 年度内に審査が終了せず、令和 7 年度継続案件となった。 ・固定資産評価審査委員会の開催：5 回 ・行田市及び羽生市固定資産評価審査委員会と合同開催の研究会への参加 開催日：令和 6 年 11 月 15 日（金） 会 場：羽生市役所 3 階 302 会議室 講 師：行田市総務部税務課担当職員 内 容：「固定資産税制度について」					

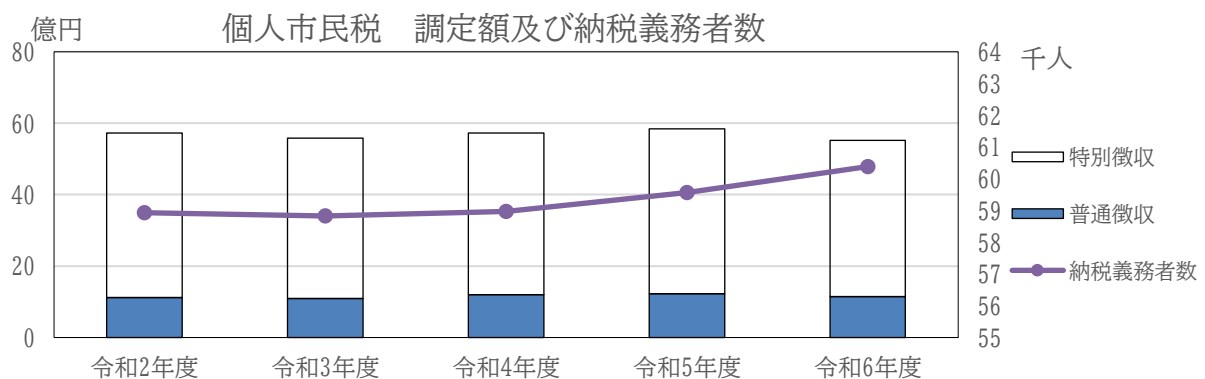
事業名		市県民税賦課事業			5311-12
担当課		税務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	38,493,000 円	—
項	02	徴税費	最終予算額	40,714,000 円	—
目	02	賦課徴収費	決 算 額	34,063,982 円	—
事業の目的		計画的な財政運営を図るため、納税者等からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。			
事業の概要		個人及び法人の課税客体を適切に把握し、公平かつ適正な賦課決定を行う。 また、未申告者の申告を促すとともに、扶養の確認等を行い、課税の公平性を確保する。			
事業の実績・成果					

個人及び法人市県民税の申告書等に基づき、適正な課税を行った。
郵送による申告書提出の勧奨や電子申告の推進を実施した。

1 個人市県民税 調定額及び納税義務者数 (単位：円、人)

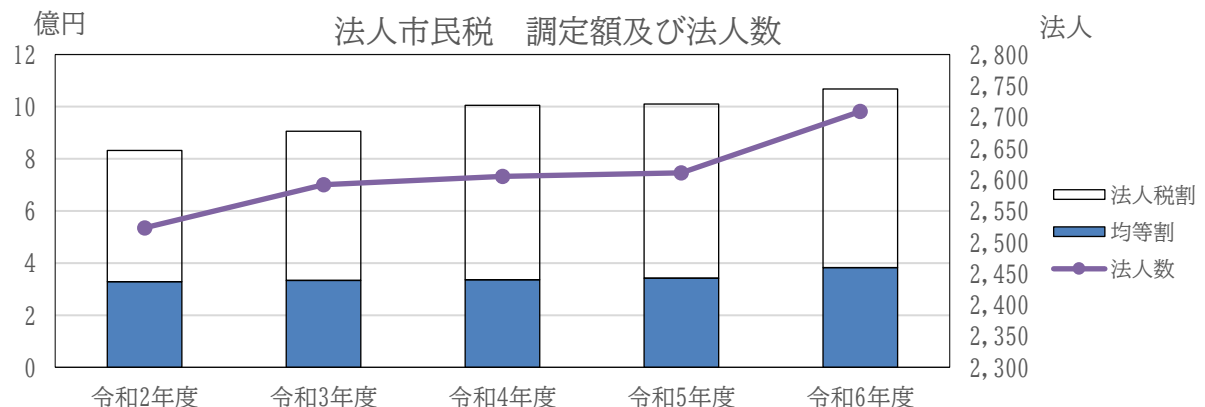
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
普通徴収	1,122,810,810	1,093,149,604	1,194,946,870	1,229,306,820	1,183,374,510
特別徴収	4,601,287,274	4,484,809,119	4,530,270,773	4,615,666,670	4,376,736,450
合計	5,724,098,084	5,577,958,723	5,725,217,643	5,844,973,490	5,560,110,960
納税義務者数	58,927	58,828	58,967	59,566	60,498

※令和6年度 特別税額控除(定額減税)は、税額控除を受けた人数 54,022 人、控除額 約 481,914 千円



2 法人市県民税 調定額及び法人数 (単位：円、法人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
均等割	328,940,700	333,625,500	336,225,500	342,377,600	382,989,700
法人税割	503,101,700	571,559,500	668,476,600	667,876,800	684,377,800
合計	832,042,400	905,185,000	1,004,702,100	1,010,254,400	1,067,367,500
法人数	2,523	2,592	2,605	2,611	2,709

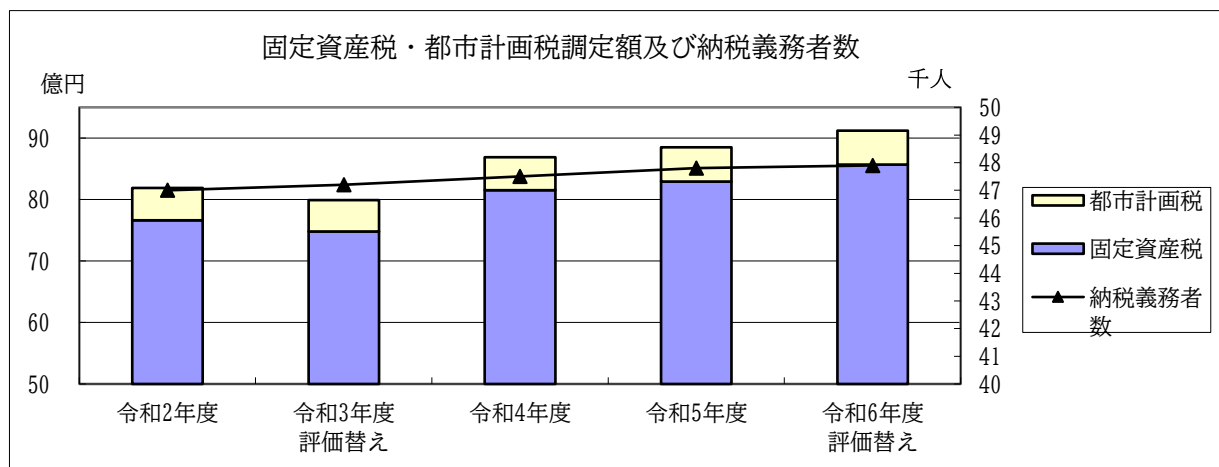


事業名		固定資産税賦課事業			5311-13
担当課		税務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	63,941,000 円	—
項	02	徴税費	最終予算額	59,782,000 円	—
目	02	賦課徴収費	決 算 額	58,165,072 円	—
事業の目的		計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努め、適正で公平な評価を行うとともに、関係法令に基づき、賦課・決定を行い、税収の確保を図る。			
事業の概要		賦課期日（1月1日）現在における固定資産に対し、固定資産評価基準に基づき、適正に評価を行い、所有者に固定資産税・都市計画税を賦課する。			
事業の実績・成果					

- ・令和6年度評価替えにより、状況類似地域の新設、路線価の調整、時点修正の適用をし、評価額を適正な均衡のとれた価格の見直し等を行った。
- ・令和9年度評価替えに伴う用途地区、主要な街路等の見直し及び標準宅地の選定替えを実施した。
- ・土地及び家屋の現況調査を実施し、適正な評価及び課税を実施した。

1 固定資産税・都市計画税の調定額の推移 (単位：円、人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
固定資産税	7,657,519,900	7,480,285,000	8,155,160,900	8,287,943,800	8,576,004,300
都市計画税	532,532,700	513,748,100	542,539,800	555,540,500	550,547,600
合 計	8,190,052,600	7,994,033,100	8,697,700,700	8,843,484,300	9,126,551,900
納税義務者数	47,039	47,226	47,588	47,808	47,955



2 土地（宅地）の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価額 (百万円)	354,985	367,950	367,709	367,485	374,446
総 筆 数 (筆)	85,487	87,052	87,856	89,231	90,854
総 地 積 (千㎡)	25,237	25,671	25,773	26,036	26,298
平均価格 (円/㎡)	14,066	14,333	14,267	14,115	14,239

3 家屋の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価額 (百万円)	277,039	269,694	301,278	313,158	327,334
総 数 (棟)	64,189	64,435	64,839	65,177	65,546
うち、木造 (棟)	52,997	53,117	53,363	53,567	53,848
うち、木造以外 (棟)	11,192	11,318	11,476	11,610	11,698

事業名		軽自動車税賦課事業			5311-14
担当課		税務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	6,277,000 円	—
項	02	徴税費	最終予算額	6,277,000 円	—
目	02	賦課徴収費	決 算 額	5,920,600 円	—
事業の目的		計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努めるとともに、関係法令に基づき賦課を行い、税収の確保を図る。 また、こいのぼりナンバーの普及により、加須市のPRに資する。			
事業の概要		原付、小型特殊自動車のナンバー登録及び廃車を行い、4輪等の軽自動車と併せて、軽自動車税の賦課決定を行う。 また、市のPRのため、こいのぼりナンバーの普及促進を図る。			

事業の実績・成果

・窓口で受け付ける原動機付自転車や小型特殊の軽自動車税申告書及び廃車申告書並びに市町村軽自動車税事務協議会からのデータに基づき、適正な課税を行った。

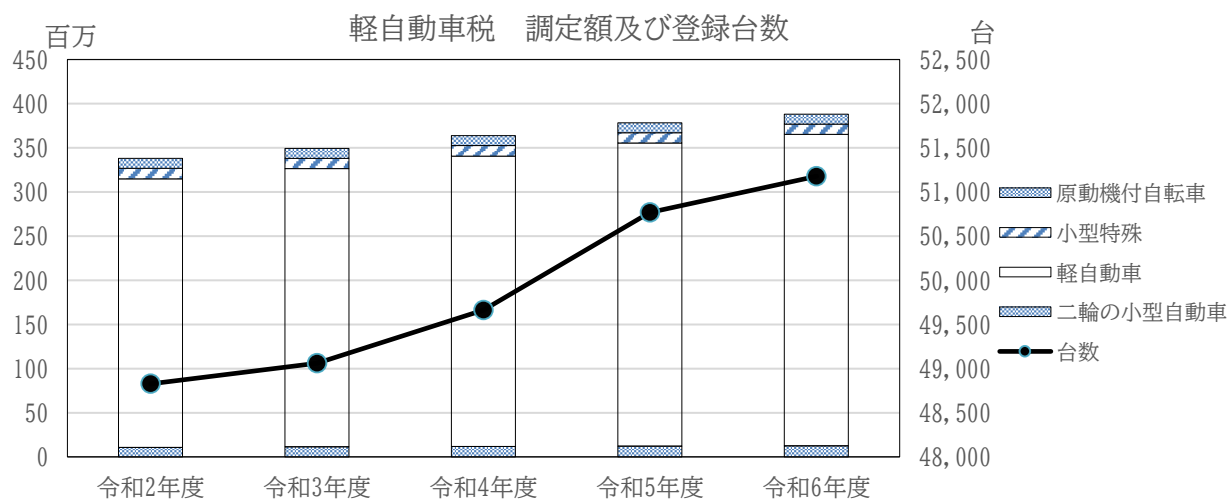
また、広報紙、ホームページへの掲載により、こいのぼりナンバーの普及に努めた。

1 軽自動車税（種別割） 課税台数 (単位：台)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
原動機付自転車	5,433	5,349	5,360	5,320	5,299
小型特殊	4,521	4,431	4,426	4,341	4,297
軽自動車	37,071	37,404	37,893	39,059	39,511
二輪の小型自動車	1,802	1,877	1,985	2,049	2,071
合計	48,827	49,061	49,664	50,769	51,178

2 軽自動車税（種別割） 調定額 (単位：円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
原動機付自転車	11,389,300	11,236,500	11,269,200	11,243,000	11,218,800
小型特殊	12,040,400	11,848,900	11,904,400	11,767,900	11,674,100
軽自動車	303,989,700	315,109,200	328,775,200	343,023,000	352,924,300
二輪の小型自動車	10,812,000	11,262,000	11,862,000	12,288,000	12,420,000
合計	338,231,400	349,456,600	363,810,800	378,321,900	388,237,200



3 こいのぼりナンバーの交付枚数

令和6年度の交付枚数 616 枚

【導入（平成23年4月）から令和7年3月末までの交付枚数 11,810 枚】

事業名		税務管理事業			5311-15
担当課		税務課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	92,914,000 円	—
項	02	徴税費	最終予算額	122,914,000 円	—
目	02	賦課徴収費	決 算 額	97,933,348 円	—
事業の目的		地方税法及び関係法令に基づく、適正、公正かつ迅速な窓口業務を行うことにより、市民サービスの向上を図る。 また、計画的な財政運営を図るため、納税者からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。			
事業の概要		過年度申告等に基づき、市税の還付を行う。また、各種税証明の交付や市たばこ税賦課決定、税務協力団体との連携及び支援を行う。 ○各種税証明の交付 ・本庁、各総合支所 ・市民サービスセンター ・コンビニエンスストア(コンビニ交付) ・郵便請求 ・オンライン申請			
事業の実績・成果					
1 証明書等交付枚数 (単位：枚)					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全 体		22,117	26,258	25,717	21,960
日曜開庁（内数）		1,117	1,743	1,469	1,534
市民サービスセンター（内数）		323	384	404	330
コンビニ（内数）		345	607	886	1,314
オンライン申請（内数）		0	0	0	4
					17
2 税収入過誤納返還金及び税収入過誤納還付加算金 (単位：円)					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
返還金		85,981,325	50,086,103	53,727,778	79,998,921
還付加算金		1,596,700	431,400	344,500	393,900
					728,700
3 市たばこ税 調定額及び課税標準本数 (単位：円、本)					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調定額		735,247,792	778,857,423	832,192,045	834,465,230
課税標準本数		131,832,772	129,920,730	127,013,442	127,360,387
					125,025,846
4 税務協力団体					
団 体 名		目 的			補 助 金 額
青色申告会		青色申告制度の趣旨徹底と資質向上のため円滑な行政の推進を図るとともに、小規模事業者の経営改善と合理化を推進する。			145,000 円
(社) 行田法人会		法人の税務行政の円滑化と緊密な連携及び企業の合理化を推進する。			500,000 円
農業青色申告会		青色申告制度の趣旨徹底と資質向上のための諸事業を積極的に遂行し、円滑な税務行政の推進を図るとともに、農業経営改善と合理化を推進する。			100,000 円
					各地域 25,000 円

事業名		収納事業			5311-16
担当課		収納課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	26,416,000 円	—
項	02	徴税費	最終予算額	26,416,000 円	—
目	02	賦課徴収費	決 算 額	19,809,072 円	—
事業の目的		将来にわたって持続可能な自立した自治体運営を確立するため、市税等の市民負担の公平性及び自主財源の確保を図る。			
事業の概要		・ 納期限、徴収緩和措置、口座振替及びコンビニ納付の周知徹底を図る。 ・ 納付や納税相談の機会を充実する。 ・ 督促状に加えて、電話・文書・臨宅等による効果的な納税催告を行う。 ・ 財産調査に基づき滞納処分または徴収緩和を適正かつ積極的に行う。 ・ 各種料金等を含めた債権管理の適正化を図る。			
事業の実績・成果					

- ・市税及び国民健康保険税について、ホームページ、SNS、広報紙や「ストップ！滞納」ポスター等の広報ツールを積極的に活用し、納期限、様々な納付方法や納税相談窓口の周知を行い、納期内納付の促進を図った。
- ・滞納者には、督促状に加え、早い段階から文書、電話や臨宅等による効果的な納税催告を行うとともに、高額滞納事案に対しては納税相談の機会を設けるなど、滞納整理の早期着手に取り組んだ。
- ・令和4年12月に導入した預貯金等照会電子化サービス及び令和6年4月に導入した差押電子化サービス（pipitLINQ）を活用し、メリハリのある滞納整理（財産ありの場合は滞納処分、財産なしの場合は徴収緩和措置）を行ったことにより、収納率が市税で0.2ポイント、国民健康保険税で2.0ポイント増加した。〈差押件数：759件（前年度比127件増加）〉

市税の収納率

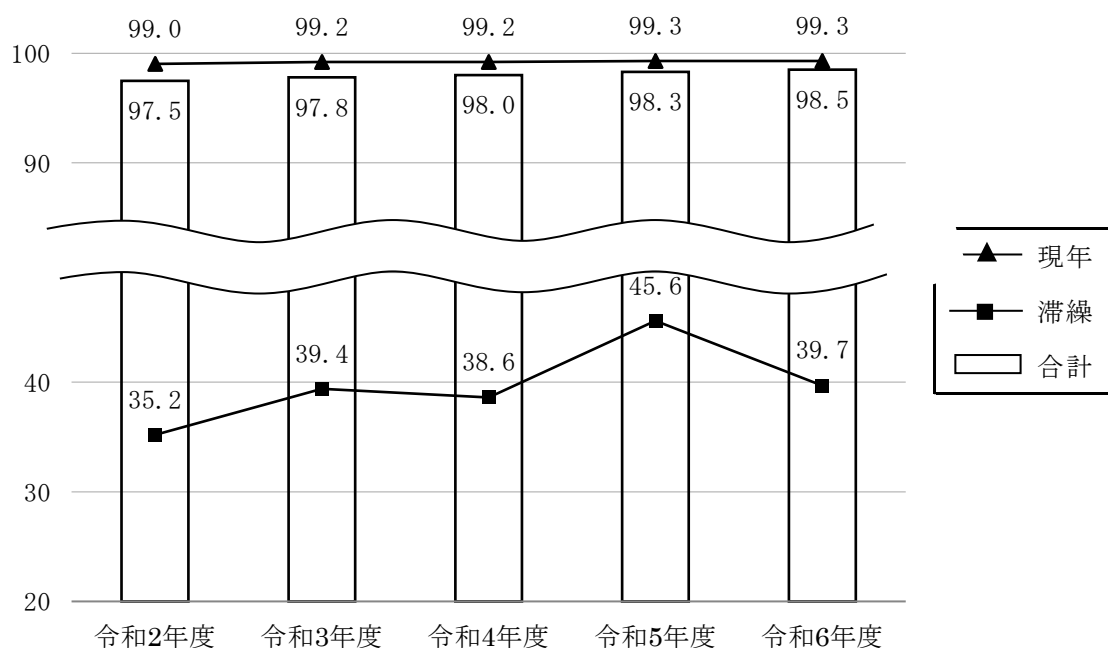
(単位：%)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
現年	99.0	99.2	99.2	99.3	99.3
滞繰	35.2	39.4	38.6	45.6	39.7
合計	97.5	97.8	98.0	98.3	98.5

※市税：市民税、軽自動車税、固定資産税・都市計画税、市たばこ税

市税の収納率の推移

単位：%

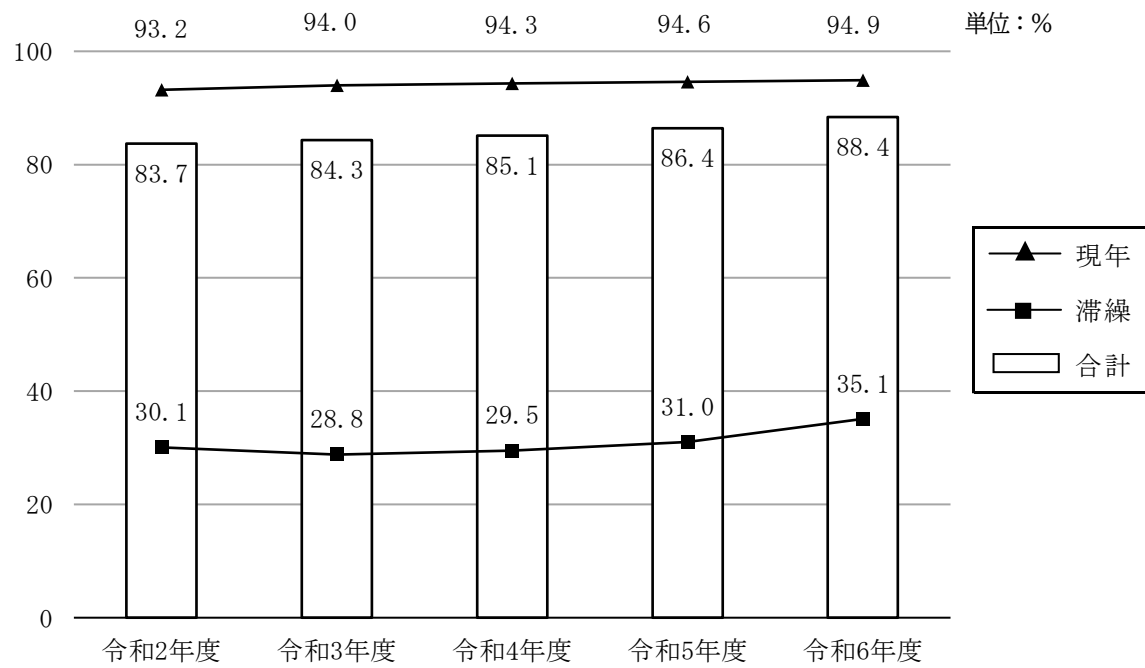


国民健康保険税の収納率

(単位：％)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
現年	93.2	94.0	94.3	94.6	94.9
滞繰	30.1	28.8	29.5	31.0	35.1
合計	83.7	84.3	85.1	86.4	88.4

国民健康保険税の収納率の推移



事業名		マイナンバーカード交付等事業			5251-04
担当課		市民課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	61,522,000 円	—
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	60,112,000 円	—
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	49,836,592 円	—
事業の目的		社会保障・税番号制度の実施に伴い、より多くの市民に制度の趣旨を理解してもらうとともに、マイナンバーカードを交付することにより、各種手続き等に係る市民負担の軽減を図る。			
事業の概要		マイナンバーの付番・通知及び希望者からの申請によるマイナンバーカードの交付に関する事務を行う。			
事業の実績・成果					

発行から5回目または10回目の誕生日を迎えた方に対して、マイナンバーカードの再発行及び電子証明書の更新を行った。

木曜日の時間外及び日曜日に予約制の交付日を設け、カード交付の促進を図った。

マイナンバーカード出張申請の業務委託を令和6年10月から令和6年12月末まで計31回実施し、1,076人の申請を受け付けた。

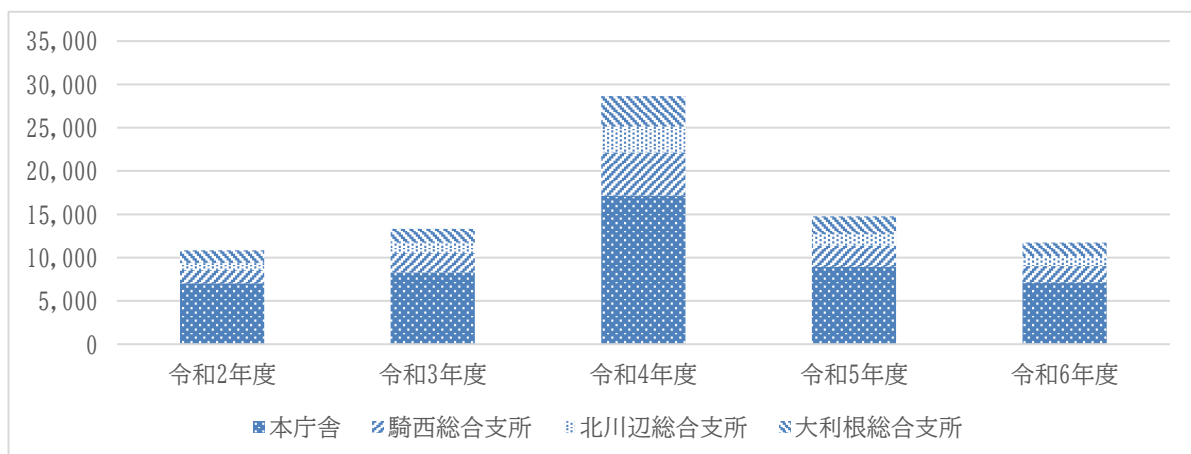
令和6年12月2日から、マイナンバーカードの特急発行・交付の制度を開始し、249件のカードの特急発行申請を受け付けた。

1 マイナンバーカード交付枚数

(単位：枚)

	本 庁 舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合 計
令和元年度以前	9,525	2,707	1,538	1,974	15,744
令和2年度	7,054	1,539	776	1,488	10,857
令和3年度	8,292	2,266	1,158	1,615	13,331
令和4年度	17,174	4,978	2,957	3,563	28,672
令和5年度	8,915	2,487	1,336	2,020	14,758
令和6年度	7,166	1,851	1,166	1,550	11,733
合 計	58,126	15,828	8,931	12,210	95,095

※年度末カード交付枚数 95,095 枚は、令和6年1月1日現在人口比 84.8%



2 マイナンバーカード保有率

	加須市		全国の保有率
	保有枚数	保有率	
令和5年度	78,946 枚	70.4%	73.5%
令和6年度	86,204 枚	76.9%	78.3%

※ カード保有率は令和5年5月から総務省が集計を開始

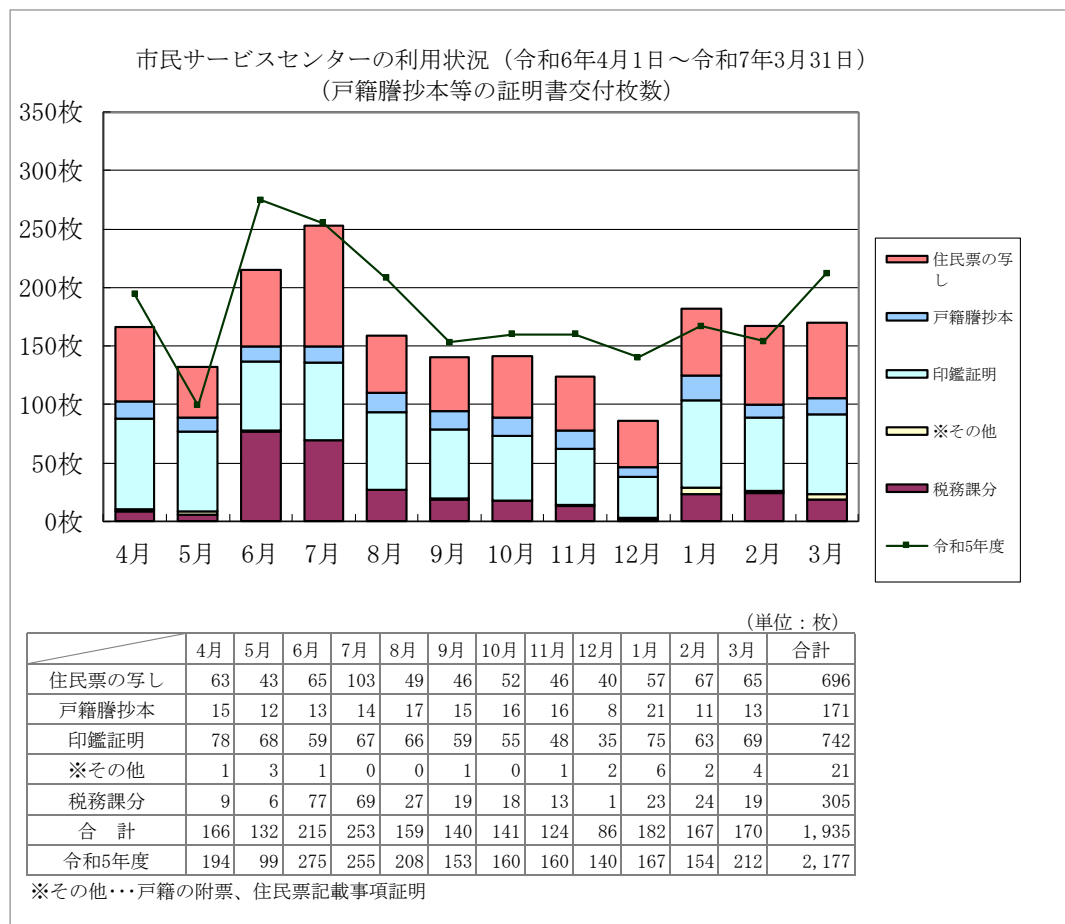
※ 保有枚数：現に保有されているカードの枚数（交付枚数から死亡や有効期限切れなどにより廃止されたカードの枚数を除いたもの）

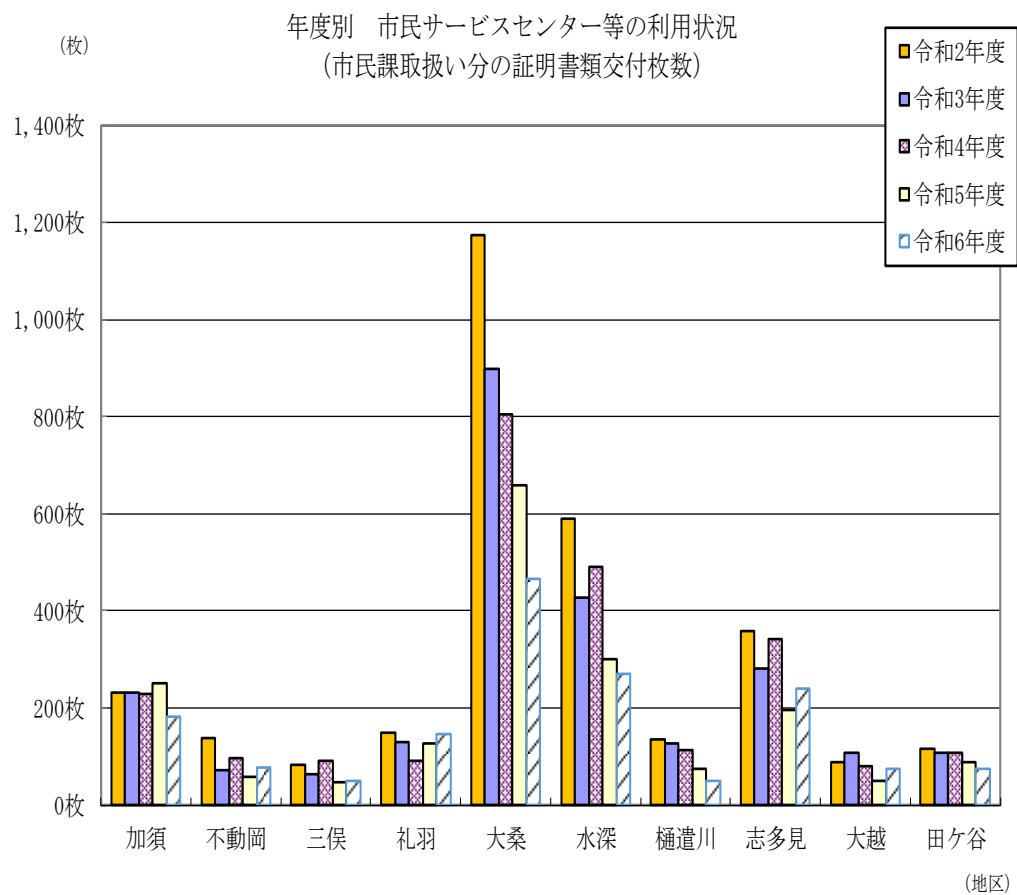
事業名		市民サービスセンター事業			5252-01
担当課		市民課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	7,486,000 円	—
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	7,486,000 円	—
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	7,485,720 円	—
事業の目的		高齢化の現状や今後さらに進展する高齢化社会を踏まえ、市民が自転車や徒歩でも容易に行ける地域の身近なコミュニティセンター等で行政窓口サービスを提供し、利便性の向上を図る。			
事業の概要		10 箇所のコミュニティセンター等に開設した市民サービスセンター、本庁窓口（市民課・税務課）及び各総合支所（市民税務担当）との連携を図りながら、住民票の写しや市税証明書等の交付業務を行う。			
事業の実績・成果					

市内 10 箇所のコミュニティセンター及び田ヶ谷総合センターに開設した市民サービスセンターで証明書交付を行い、市民サービスの向上及び利便性が図られた。

○市民サービスセンター

- ・開設日（加須地域のサービスセンター）：火曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日
午前 8 時 30 分～午後 5 時
- ・開設日（田ヶ谷サービスセンター）：水曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日
午前 8 時 30 分～午後 5 時
- ・業務内容：住民票の写し、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書、市税の証明（税務課）等の交付
- ・設置場所：加須コミュニティセンター、不動岡コミュニティセンター、三俣コミュニティセンター、礼羽コミュニティセンター、大桑コミュニティセンター、水深コミュニティセンター、樋遣川コミュニティセンター、志多見コミュニティセンター、大越コミュニティセンター、田ヶ谷総合センター





(単位：枚)

	加須	不動岡	三俣	礼羽	大桑	水深	樋遣川	志多見	大越	田ヶ谷	合計
令和2年度	231	138	82	150	1,175	591	135	358	89	115	3,064
令和3年度	231	71	63	131	899	428	127	282	107	108	2,447
令和4年度	228	96	92	92	804	490	113	341	80	107	2,443
令和5年度	250	58	46	128	658	300	74	196	49	88	1,847
令和6年度	182	78	49	146	467	270	49	240	75	74	1,630

事業名		戸籍住民基本台帳事業			5252-02
担当課		市民課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	47,640,000 円	18,150,000
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	34,462,000 円	18,150,000
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	31,895,804 円	14,982,000
事業の目的		市民の社会活動全般の基礎となる居住関係や身分関係等を公証するための自治事務・法定受託事務（住民基本台帳・印鑑登録・戸籍）を中心とした諸業務を適切かつ総合的・円滑に行う。			
事業の概要		各種情報システムの管理を行い、申請による証明書発行事務、届出の受付審査及び住民基本台帳、戸籍等の記載や適正な管理を行う。			
事業の実績・成果					

1 戸籍・住民基本台帳業務やその他関連する各種業務の正確かつ適正な事務処理を行い、市民への行政窓口サービスを行った。

・戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等各種諸証明書類の申請受付及び交付業務

令和6年度 戸籍住民基本台帳手数料

(単位：円)

項 目	本庁舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合 計
臨時運行許可	390,000	225,000	60,000	202,500	877,500
戸籍謄抄本等	11,582,150	1,859,900	1,253,550	1,445,450	16,141,050
住民票の写し等	6,495,300	752,400	419,850	556,350	8,223,900
印鑑証明書等	3,991,450	615,400	327,400	466,100	5,400,350
合 計	22,458,900	3,452,700	2,060,800	2,670,400	30,642,800

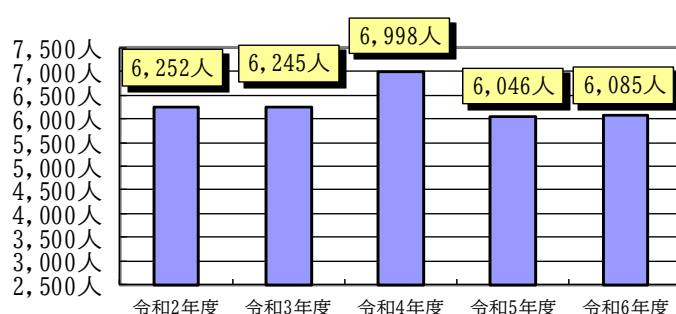
※市民サービスセンター及びコンビニ交付を本庁舎に含む

2 都合により平日に来庁できない市民に対して、日曜日に証明書等の発行窓口を開設し、利便性の向上を図った。(本庁舎は平成17年度から、各総合支所は平成22年3月28日から本格運用)

(1) 開 設 日：毎週日曜日（年末年始除く）午前8時30分～午後5時

(2) 業務内容：戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等の交付、印鑑登録業務、戸籍届出書の預かり業務

日曜窓口利用者数（年度別）

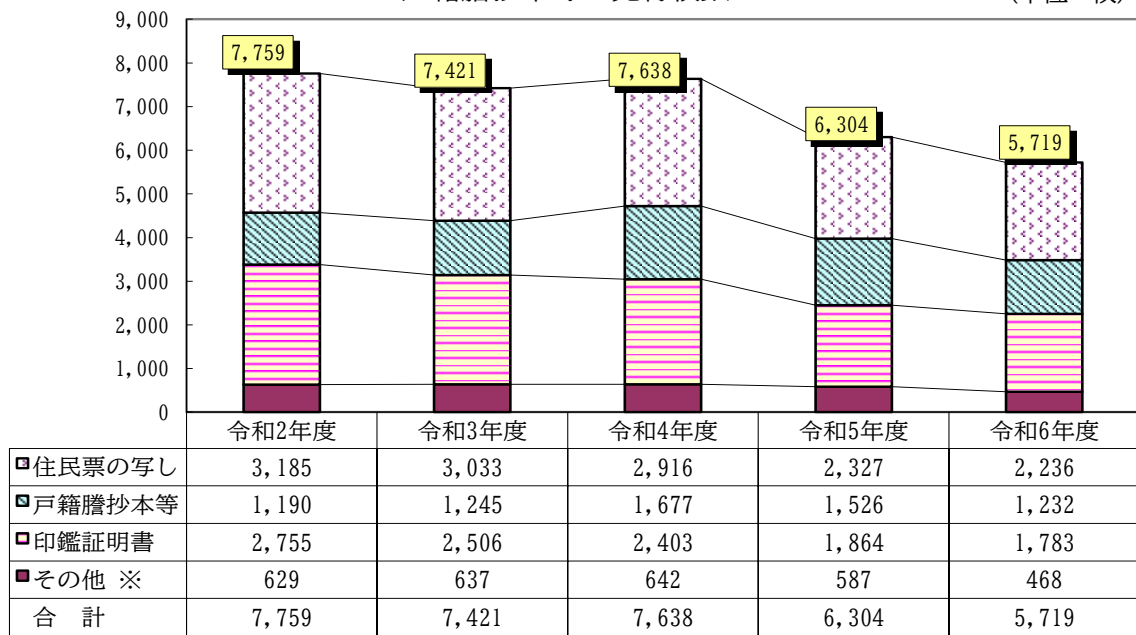


(単位：日)

	開庁日数
令和2年度	51
令和3年度	51
令和4年度	50
令和5年度	51
令和6年度	51

日曜窓口利用状況（年度別）
※戸籍謄抄本等の発行枚数

（単位：枚）



※その他…戸籍の附票、住民票記載事項証明等

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 18,150,000 円

・前年度からの繰越事業の内容

戸籍情報システム及び戸籍の附票システム改修委託（かな振り対応） 8,580,000 円

住民記録システム改修委託（かな振り対応） 9,570,000 円

・令和5年度から令和6年度へ繰り越した理由

令和5年度国庫補助対象事業となったため、当初予算及び令和6年2月補正予算で計上したが、年度内の事業完了が困難となったため。

事業名		旅券発給事業			5252-03			
担当課		市民課		現年	前年度からの繰越			
款	02	総務費	当初予算額	6,120,000 円	—			
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	6,950,000 円	—			
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	6,722,304 円	—			
事業の目的		一般旅券の申請受理等を本市で行うことにより、市民の利便性の向上を図る。						
事業の概要		埼玉県と連携し、一般旅券の申請（残存有効期間同一旅券を含む）受理及び発給を行う。						
事業の実績・成果								
権限移譲により平成 24 年 6 月 1 日から本庁舎市民課窓口において旅券発給事務を開始								
1 申請		月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）		午前 9 時～午後 4 時 30 分				
交付		月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）		午前 9 時～午後 4 時 30 分				
		日曜日		午前 9 時～午後 4 時 30 分				
2 市民課窓口における一般旅券申請件数				(単位:件)				
	10 年	5 年	訂正	増補	記載事項 変更	残存有効 期間同一	合計	
令和 2 年度	147	56	0	2	5	—	210	
令和 3 年度	187	59	0	0	4	—	250	
令和 4 年度	495	292	0	2	13	—	802	
令和 5 年度	955	682	0	—	—	22	1,659	
令和 6 年度	908	777	0	—	—	23	1,708	
※令和 5 年 3 月 27 日から旅券の増補、記載事項変更旅券は廃止され、代わりに現在所持する旅券と同一の有効期限の旅券を新たに作成する「残存有効期間同一旅券」の申請が開始された。								
3 市民課窓口における一般旅券交付件数				(単位:件)				
	月曜日～金曜日	日曜日	合計					
令和 2 年度	194	43	237					
令和 3 年度	200	45	245					
令和 4 年度	623	142	765					
令和 5 年度	1,339	378	1,717					
令和 6 年度	1,350	410	1,760					
(参考) 県パスポートセンターにおける一般旅券申請件数 上段：申請件数 (件) 下段：構成比率 (%)								
申請場所 期 間		市民課 窓口	県パスポートセンター					合 計
			大宮	川越	春日部	熊谷市	川口市	
令和 2 年 1 月～12 月		605	59	1	22	0	1	688
		87.94	8.58	0.14	3.20	0	0.14	100.00
令和 3 年 1 月～12 月		227	18	0	5	0	0	250
		90.80	7.20	0	2.00	0	0	100.00
令和 4 年 1 月～12 月		542	48	3	22	0	1	616
		87.99	7.79	0.49	3.57	0	0.16	100.00
令和 5 年 1 月～12 月		1,597	169	3	91	4	0	1,864
		85.68	9.07	0.16	4.88	0.21	0	100.00
令和 6 年 1 月～12 月		1,803	180	4	106	6	1	2,100
		85.86	8.57	0.19	5.05	0.28	0.05	100.00

事業名		住民票等コンビニ交付事業			5252-06
担当課		市民課		現年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	10,133,000 円	—
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	10,133,000 円	—
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	7,824,292 円	—
事業の目的		市民の身近な場所で、休日や時間外にも証明書を取得できる利便性の高いコンビニ交付サービスを実施することにより、市民サービスの向上を図る。			
事業の概要		マイナンバーカードを利用して、各種証明書をコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末から交付する。 証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書、所得・課税（非課税）証明書）1枚当たり交付手数料 各 150 円 ※窓口及びコンビニ共同額			
事業の実績・成果					

住民票等のコンビニ交付の周知を図るため、推進チラシを作成し、本庁舎及び各総合支所窓口における配布、各公共施設への設置、コンビニエンスストアへのポスター掲示、行政モニター放映、広報紙・ホームページへの掲載等を行った。

また、コンビニ交付サービスの利用促進を図るために作成したキオスク端末の操作手順書をマイナンバーカード交付時に配布した。

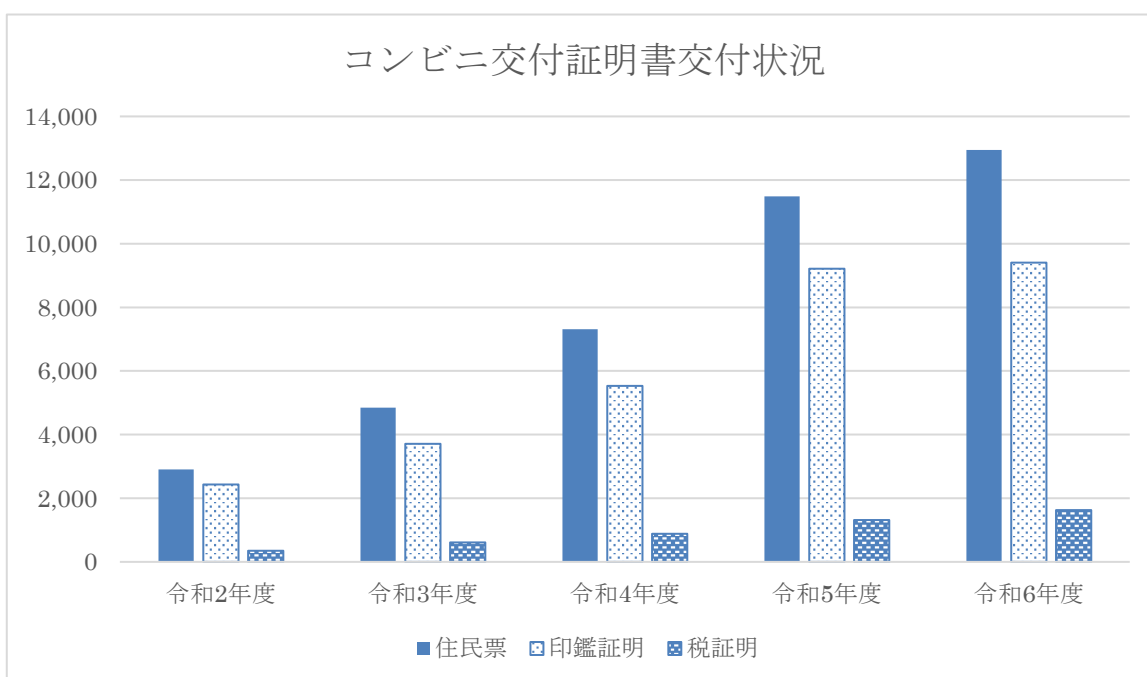
コンビニ交付証明書交付状況

(単位：枚)

	住民票	印鑑証明	税証明	合計
令和2年度	2,901	2,437	345	5,683
令和3年度	4,845	3,715	607	9,167
令和4年度	7,311	5,532	886	13,729
令和5年度	11,483	9,216	1,314	22,013
令和6年度	12,945	9,407	1,624	23,976

※平成29年3月1日からコンビニ交付サービスの運用開始

(単位：枚)



事業名		選挙管理委員会運営事業			5131-05
担当課		選挙管理委員会		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	2,473,000 円	—
項	04	選挙費	最終予算額	2,473,000 円	—
目	01	選挙管理委員会費	決 算 額	2,102,579 円	—
事業の目的		政治への市民参加の主たる制度である「選挙」を管理する選挙管理委員会の適正な運営を図る。			
事業の概要		選挙管理委員会は、4 人の委員により構成される機関であり、次の事務を行う。 ・各選挙の管理及び執行 ・選挙人名簿等の調製 ・選挙についての啓発宣伝等 ・全国団体等の会議・研究会等への参加 ・その他選挙に関連する事務			
事業の実績・成果					
・選挙人名簿の定時登録（定時、選挙時）や裁判員候補者予定者等の名簿の調製のほか、各種選挙（衆議院議員総選挙）を適正に管理執行するため、選挙管理委員会を合計 9 回開催した。					
○選挙人名簿登録者の推移（各年度 9 月定時登録数） （単位：人）					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
男	47,545	47,398	47,251	47,182	47,018
女	47,624	47,474	47,317	47,332	47,102
合計	95,169	94,872	94,568	94,514	94,120

事業名		選挙啓発事業			5131-09
担当課		選挙管理委員会		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	299,000 円	—
項	04	選挙費	最終予算額	299,000 円	—
目	02	選挙啓発費	決 算 額	221,887 円	—
事業の目的		明るくきれいで正しい選挙が行われるようにするため、あらゆる機会を通して有権者の選挙に関する意識の向上を図る。			
事業の概要		・小学生、中学生及び高校生からポスター、標語及び書道(書道の募集は小学生及び中学生のみ) コンクールへの作品を募集し、その作品展示等を行う。 ・学校に対して選挙備品(投票箱・記載台)の貸出しを実施する。 ・「新有権者の証」の送付 ・選挙出前講座(講義・模擬投票)の実施 ・選挙啓発冊子等を二十歳の集いにおいて配布する。			
事業の実績・成果					
1 明るい選挙啓発コンクールの実施					
これからの未来を担う小・中学生の選挙に対する関心を高めるとともに、有権者に対する明るい選挙の推進を図るため、教育委員会と連携して、全国規模の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」への参加のほか、加須市独自の「標語コンクール」及び「書道コンクール」を行った。					
また、同コンクールの優秀作品については、加須市、行田市、羽生市の3市合同により展示会を実施した。					
○コンクールの応募状況			(単位：作品数)		
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ポスター	103	158	173	115	180
標語	2,023	2,212	1,660	1,941	2,503
書道	845	635	574	452	375
合 計	2,971	3,005	2,407	2,508	3,058
○優秀作品展示					
展示期間		展示会場		展示物	
1月7日(火)～1月21日(火) ※1		加須市役所 1階市民ギャラリー		ポスター・標語 (標語は加須市会場のみの展示)	
1月24日(金)～2月5日(水) ※2		行田市教育文化センター「みらい」 1階 談話コーナー			
2月7日(金)～2月18日(火)		羽生市民プラザ 2階ギャラリー			
1月24日(金)～2月2日(日)		加須市役所 1階市民ギャラリー		書道	
※1 本庁舎閉庁日(土曜日及び祝日)を除く。					
※2 施設休館日(月曜日)を除く。					
2 選挙出前講座の実施					
「加須市選挙出前講座実施要綱」等に基づき、次の3校について選挙に関する講座や模擬投票などを実施した。					
○選挙出前講座実施状況			(単位：人)		
開催日	学校名等			受講者数	
8月6日(火)	あけぼの園			33	
12月19日(木)	花咲徳栄高等学校(1学年)			613	
1月28日(月)	騎西特別支援学校(高等部1～3年生)			80	
3 「新有権者の証」の送付					
18歳を迎え選挙人名簿に登録された方を対象に、選挙人名簿に登録されたこととお知らせするとともに、選挙への関心を持っていただくことを目的に「新有権者の証」を送付した。					
○令和6年度「新有権者の証」発送枚数 956枚					

事業名		衆議院議員総選挙執行事業			5131-06
担当課		選挙管理委員会		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	0 円	—
項	04	選挙費	最終予算額	55,355,000 円	—
目	03	衆議院議員総選挙費	決 算 額	53,114,841 円	—
事業の目的		民主主義の基本である選挙のうち、衆議院総選挙に関する事務の適正な執行を図る。			
事業の概要		入場券の作成・発送、ポスター掲示場の設置、選挙事務従事者の配置、期日前投票・当日投票・開票事務等に関する一連の事務を行う。 解散日：令和6年10月9日			
事業の実績・成果					
・令和6年10月27日執行の第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判官国民審査について、適正に管理執行した。					
○投票状況					
		(前回) 令和3年		令和6年	
当日有権者数（人）		94,611		93,913	
投票者数（人）		50,278		45,530	
投票率（％）		53.14		48.48	
(参考) 県平均投票率（％）		53.97		51.14	
○開票時間等					
		(前回) 令和3年		令和6年	
小選挙区選出（分）		195		175	
比例代表選出（分）		225		245	
国民審査（分）		198		195	
候補者数（人）		2		2	
○執行経費					
		(前回) 令和3年		令和6年	
事業費決算額（円）		52,866,877		53,114,841	

事業名		統計管理事業		5312-10	
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	50,000 円	—
項	05	統計調査費	最終予算額	50,000 円	—
目	01	統計調査総務費	決 算 額	22,760 円	—
事業の目的		適正な行政サービスを実現するため、国や地方自治体における政策決定の基礎資料となる統計調査を実施する。			
事業の概要		統計に係る各種行事に参加するとともに、統計調査員の確保等に取り組む。 また、市の統計情報をまとめた統計書「DATABOOK かぞ」を発行する。			
事業の実績・成果					
予定されていた全ての会議、研修会等に参加し、構成市町との情報交換を行い、令和 6 年度に実施した各種統計調査の円滑な実施に努めた。 また、市の統計情報をまとめた統計書「DATABOOK かぞ」を発行した。					
○統計事務研究会北部ブロック研究会					
会議名		年月日	場 所		
第 1 回研究会		令和 6 年 7 月 2 日	オンライン開催 (Zoom)		
第 2 回研究会		—	書面開催		
○埼玉県連合会					
会議名		年月日	場 所		
役員会		—	書面開催		
第 1 回幹事会		—	書面開催		
定例研究会		—	書面開催		
第 2 回幹事会		—	書面開催		
○県民手帳販売数					
(単位：冊)					
年度		販売冊数	納品冊数		
令和 2 年度		383	425		
令和 3 年度		369	425		
令和 4 年度		355	370		
令和 5 年度		340	380		
令和 6 年度		338	400		
○令和 5 年度版統計書「DATABOOK かぞ」の発行（令和 6 年 12 月発行）					
・ 加須市の人口、経済、社会、教育等の統計資料を官公庁や民間団体等から収集し全 18 章に収録					
・ 加須市ホームページに掲載					
・ 令和 6 年度頒布数 0 件（1 冊 500 円）					

事業名		農林業センサ調査事業			—
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	10,316,000 円	—
項	05	統計調査費	最終予算額	10,360,000 円	—
目	02	統計調査費	決 算 額	6,907,519 円	—
事業の目的		農林業、農山村の基本構造の実態とその動向を総合的に把握し、各種農林業施策の検討及び各種農林統計調査の母集団整備のためのデータを得る。			
事業の概要		調査員が調査票を配布、回収し、内容審査を行うほか、オンラインによる調査も実施する。			
事業の実績・成果					
農林水産省所管の基幹統計調査である農林業センサ調査について、円滑な調査実施と統計の正確性を確保するため、説明会の開催や調査票の内容審査を実施した。					
【調査の目的】 我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域の現状など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画、立案及び推進のための基礎資料を得る。					
【基準日】 令和7年2月1日					
【主な利用例】 ・「食料・農業・農村基本計画」及び「森林・林業基本計画」に基づく各種農林業施策の企画・立案・推進・評価の際の基礎資料 ・普通交付税算定における農業行政費の基礎資料 ・農業委員会の事務経費に係る交付金の基礎資料					
【主な内容】 ○対 象 一定規模以上の農林業を行っている全ての世帯や会社等 ○調査内容 ・経営体及び経営主に関する事項 ・農業の労働力に関する事項 ・土地に関する事項 ・農業生産に関する事項 ・過去1年間の農産物の販売及び農作業の受託（請負）に関する事項 ・農業生産関連事業に関する事項 ・山林及び林業作業に関する事項					
【令和6年度事務】 ○調査準備 ・指導員及び調査員の推薦 ・調査員事務打合せ会の開催 ・各種県照会、調査員の問合せに対する回答 ○本調査 ・調査員による調査 ・調査員及び経営体からの問合せ対応 ・調査票の内容審査 ・調査票等の県進達					

事業名		国勢調査事業			—
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	880,000 円	—
項	05	統計調査費	最終予算額	880,000 円	—
目	02	統計調査費	決 算 額	496,545 円	—
事業の目的		国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的として5年に1度実施する。			
事業の概要		調査員が調査票を配布、回収し内容審査を行うほか、オンラインによる調査も実施する。			
事業の実績・成果					
令和7年国勢調査に向けて、調査区の境界を明確にし、調査の円滑な実施と結果精度の向上を目的として、基本単位区及び調査区の修正報告を実施した。					
【基準日】 調査区設定 令和6年10月1日現在					
【令和6年度事務】 ○調査区設定 ・基本単位区及び調査区の内容審査及び修正 ・修正の県進達					

事業名		全国家計構造調査事業			—
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	2,593,000 円	—
項	05	統計調査費	最終予算額	2,638,000 円	—
目	02	統計調査費	決 算 額	1,400,276 円	—
事業の目的		国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債・耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、全国及び地域別の世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにする。			
事業の概要		調査員が調査票を配布、回収し内容審査を行うほか、オンラインによる調査も実施する。			
事業の実績・成果					
総務省所管の基幹統計調査である全国家計構造調査について、円滑な調査実施と統計の正確性を確保するため、説明会の開催や調査票の内容審査を実施した。					
【調査の目的】 家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにする。					
【調査の期間】 令和6年10月から11月までの2か月間					
【主な利用例】 ・介護保険料の算定基準の検討 ・生活保護の扶助額基準の検討 ・税制改正に伴う政策効果の予測 ・所得格差・資産格差の現状把握					
【主な内容】 ○対 象 指定された調査単位区内の世帯のうち、総務大臣が定める方法で選ばれた世帯 ○調査内容 ・収入及び支出に関する事項 ・年間収入に関する事項 ・貯蓄現在高に関する事項 ・借入金残高に関する事項 ・世帯及び世帯員に関する事項 ・現住居に関する事項 ・現住居以外の住宅及び宅地に関する事項 ・毎月の家賃支払額、毎月の住宅ローンの返済額					
【令和6年度事務】 ○調査準備 ・指導員及び調査員の推薦 ・調査員事務打合せ会の開催 ・各種県照会、調査員の問合せに対する回答 ○本調査 ・調査員による調査 ・調査員及び世帯からの問合せ対応 ・調査票の内容審査 ・調査票等の県進達					

事業名		学校基本調査事業			99111-00
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	30,000 円	—
項	05	統計調査費	最終予算額	30,000 円	—
目	02	統計調査費	決 算 額	1,358 円	—
事業の目的		学校に対する基本的事項について調査し、学校教育行政上の基礎資料を得る。			
事業の概要		市内小中学校他について、学校教育課で調査し、回答する。 調査期日：毎年5月1日			
事業の実績・成果					
文部科学省所管の基幹統計調査である学校基本調査を実施した。					
【調査の目的】 学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにする。（教育委員会による調査）					
【基準日】 毎年5月1日現在					
【主な利用例】 ・学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料 ・県及び市町村に交付する地方交付税算定の基礎資料					
【主な内容】 ○対 象 市内の幼稚園、小学校及び中学校 ○調査内容 学校数、在学者数、教職員数、学校建物・土地面積、卒業後の状況等					

事業名		経済センサス調査事業			99111-00
担当課		政策調整課		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	13,000 円	—
項	05	統計調査費	最終予算額	13,000 円	—
目	02	統計調査費	決 算 額	12,511 円	—
事業の目的		我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る。			
事業の概要		調査員が調査票を配布、回収し、内容審査を行うほか、オンラインによる調査も実施する。			
事業の実績・成果					
令和８年度の活動調査を円滑に行うため、調査区の管理及び乙調査を実施した。					
【調査の目的】 国内の全産業分野における事業所の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。					
【基準日】 ・調査区管理 令和６年６月１日現在 ・乙調査 令和６年６月１日現在					
【主な利用例】 ・公正な行政運営を行うための利用 地方消費税、中小企業振興のための補助金の分配等 ・国民や企業の活動を支えるための利用 県民経済計算、市民経済計算や地域産業関連表の基礎資料・地域の経済活動に関する統計の整備等					
【主な内容】 ○対象 調査区管理 調査時における、国内全ての民営事業所及び企業 (国及び地方公共団体の事業所、大使館等の外国公務に属する事業所及び農家を除く) 乙調査 国及び地方公共団体の事業所 ○調査内容 ・調査区管理 調査区地図の修正 ・乙調査 名称、所在地、活動状況					

事業名		監査委員運営事業			5312-04
担当課		監査委員		現 年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,822,000 円	—
項	06	監査委員費	最終予算額	1,822,000 円	—
目	01	監査委員費	決 算 額	1,506,344 円	—
事業の目的		地方自治法に基づき、市の財務に係る事務の執行等について監査等を実施し、その結果を公表することで民主的かつ効率的な行政執行を確保し、もって住民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与する。			
事業の概要		定期監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査、基金の運用状況審査、健全化判断比率等審査の実施。 また、全国、関東、県都市監査委員会及び県東部都市監査委員会との連絡調整を行い、また同総会・研修会に参加する。			
事業の実績・成果					
・加須市監査基準及び監査計画等に基づき、各種監査等を実施し、その適法性や効率性、妥当性、有効性等の検証を行った。また、その結果を市議会及び市長等に報告し、併せて市公式ホームページ等で公表した。					
1 監査等実施一覧				(単位：日)	
種類		対象等			実施日数
例月出納検査		一般会計、特別会計、企業会計等			12
決算審査		一般会計、特別会計、企業会計等			10
財政健全化等審査		一般会計、特別会計、企業会計等			1
定期監査	各部署	秘書課、総合政策部、健康スポーツ部、福祉部、生涯学習部			8
	小・中学校	三俣小学校、不動岡小学校、礼羽小学校、鴻荃小学校、高柳小学校、豊野小学校、加須北中学校、騎西中学校			7
財政援助団体等監査		(株式会社) かぞ農業公社、(社会福祉法人) 加須市社会福祉協議会、(公益社団法人) 加須市シルバー人材センター、コミュニティバス円滑運行協議会			2

事業名		国民健康保険組合支援事業			1111-29	
担当課		国保年金課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	614,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	614,000 円	—	
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	560,250 円	—	
事業の目的		埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合組合員の病気を予防するため、両組合を支援し、国民皆保険制度の維持に努める。				
事業の概要		埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合に対し、運営費及び事業費の一部を助成する。 ・助成額 組合員一人当たり250円				
事業の実績・成果						
・ 埼玉土建及び埼玉県建設国民健康保険組合が実施する健康保持、増進事業について、事業費の一部を助成し、健康づくりを支援した。						
加入者数（4月1日現在）				（単位：人）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部		1,635	1,691	1,730	1,642	1,568
建設埼玉北埼玉地区本部		685	683	656	661	673
計		2,320	2,374	2,386	2,303	2,241
補助金交付額				（単位：円）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部		408,750	422,750	432,500	410,500	392,000
建設埼玉北埼玉地区本部		171,250	170,750	164,000	165,250	168,250
計		580,000	593,500	596,500	575,750	560,250

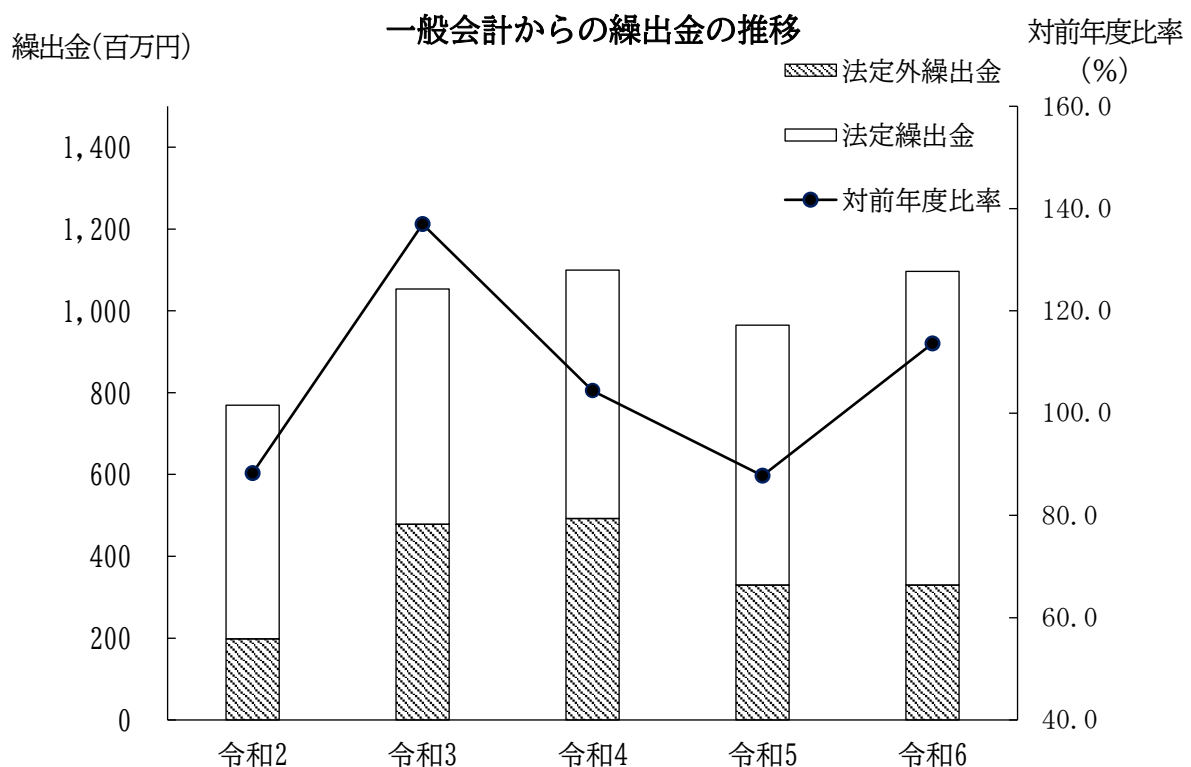
事業名		国民健康保険事業特別会計繰出事業			1134-07
担当課		国保年金課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,240,136,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,240,136,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	1,096,440,679 円	—
事業の目的		埼玉県の方針を踏まえながら、国民健康保険の健全運営を図るため、特定健康診査の実施、生活習慣病予防等の保健事業を実施することにより、医療に頼らない健康な身体づくりを推進し、医療費の抑制に努める。			
事業の概要		一般会計からの繰出金をもって国民健康保険事業の収支の均衡を図る。			
事業の実績・成果					

- ・ 国民健康保険加入者の一人当たり医療費は、高齢化や医療技術の高度化等により増加傾向にある。このような中、埼玉県国民健康保険運営方針における令和9年度からの保険税水準の準統一に向け、標準保険税率を目標に毎年度、保険税率の見直しを行うこととしている。
一般会計からの繰出金については、令和6年度は、対前年度131,679千円、13.6%の増となった。

一般会計からの繰出金の推移

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
繰 出 金 額	769,071	1,053,293	1,099,323	964,762	1,096,441
うち法定外繰出金	198,000	478,000	492,400	329,500	329,300
対前年度比率(%)	88.3	137.0	104.4	87.8	113.6



事業名		地域福祉計画進行管理事業		1161-02	
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	47,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	47,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	40,000 円	—
事業の目的		市民、市、民間事業者等がそれぞれの立場で、地域の福祉分野で果たす役割を明確化し、地域福祉推進に向けた方向性を示す計画の進行管理を行う。			
事業の概要		「加須市地域福祉計画(第3次)・地域福祉活動計画(第2次)」の進行状況を管理する。 また、地域福祉計画推進等懇話会を開催し、懇話会委員に報告する。 ・計画期間(令和4年度～令和8年度)			
事業の実績・成果					
・加須市地域福祉計画推進等懇話会を開催し、関係各課が行っている福祉関連事業の進捗状況を報告し、「加須市地域福祉計画(第3次)・地域福祉活動計画(第2次)」の進行管理について、書面による協議を行った。					
○地域福祉計画推進等懇話会の構成員(計14名)					
高齢者施設関係者(多賀谷寿光園施設長)			児童施設関係者(社会福祉法人愛の泉)		
障害者施設関係者(あけぼの園所長)			加須市社会福祉協議会副会長		
加須市自治協力団体連合会会長			加須市民生委員・児童委員協議会会長		
かぞ地域女性会連合会常任理事			加須市老人クラブ連合会会長		
加須地区保護司会会長			埼玉県加須保健所所長		
加須医師会会長			久喜人権擁護委員協議会加須部会部会長		
学識経験者(社会福祉法人理事、NPO 法人スーパーバイザー)			加須市PTA連合会家庭教育委員		
○議題等					
加須市地域福祉計画の進捗状況について					

事業名		社会福祉管理事業			1161-06
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	447,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	439,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	296,018 円	—
事業の目的		社会福祉関係事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。			
事業の概要		地域福祉課及び各総合支所福祉健康担当の経常的な管理費を支出する。			
事業の実績・成果					
・社会福祉関係事業を円滑に実施するための諸費用について支出した。					

事業名		戦没者遺族支援事業		1161-07	
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	520,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	520,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	520,000 円	—
事業の目的		戦没者や遺族の苦しみ悲しみを忘れることなく、恒久平和を市民とともに願う。			
事業の概要		加須市遺族連合会の活動推進のために活動費を助成する。 また、市民とともに戦没者の冥福を祈り、恒久平和を願うため、戦没者追悼式を 3 年ごとに開催する。 このほか、5 年に一度、戦没者等の遺族への特別弔慰金交付事務を行う。			
事業の実績・成果					
○加須市遺族連合会への補助 加須市遺族連合会の活動推進を図るため補助金を交付し、全国・埼玉県戦没者追悼式参列、英霊顕彰事業参加、地区慰霊祭開催等に充てられた。					
(1) 補助金額の推移			(単位：円)		
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
520,000	520,000	520,000	520,000	520,000	
(2) 会員数 436 人 (令和 6 年 7 月 1 日現在)					
○第 11 回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金交付事務					
(1) 支給対象者 戦没者等の死亡当時の遺族で、優先順位の高い遺族 1 名 (令和 2 年 4 月 1 日 (基準日) において、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける方がいない場合)					
(2) 受付件数【請求期限：令和 5 年 3 月 31 日】			(単位：件)		
	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合計
受付件数	382	139	61	84	666
※令和 6 年度中の受付 0 件					
(3) 国債受領件数 (令和 7 年 3 月 31 日現在) 661 件 ※市が国債を受領した後、請求者に交付					

事業名		更生保護活動支援事業		1161-09	
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,180,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,180,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	1,180,000 円	—
事業の目的		更生保護団体等の活動を支援し、犯罪や非行のない明るい地域社会を目指す。			
事業の概要		更生保護観察協会への負担金を通して、保護司会及び更生保護女性会へ活動費を助成し、各更生保護団体等の活動を支援する。			
事業の実績・成果					
・更生保護観察協会への負担金を通し、地域における犯罪予防活動や、犯罪や非行をした人の更生保護活動を支援した。					
○更生保護活動団体					
・加須地区保護司会(令和7年3月31日現在 32人：定数37人)				助成金	1,020,000円
・加須地区更生保護女性会(令和7年3月31日現在 会員220人)				助成金	62,000円
○社会を明るくする運動					
“社会を明るくする運動”はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動（主唱：法務省）で、加須地区保護司会、加須地区更生保護女性会及び加須市青少年育成市民会議が実施委員会を組織し、7月の強調月間に合わせてキャンペーン等を実施し、更生保護の趣旨普及に努める活動を行っている。					
・街頭キャンペーン					
啓発グッズとチラシを加須駅南北口で配布し啓発活動を行った。また、教育委員会（各中学校）の協力をいただき、人生の節目となる中学3年生を対象に啓発グッズ・資料等配布した。継続的に犯罪防止・非行防止の意識高揚を図ることができた。					
・音楽ライブ「“社会を明るくする運動” Unique Live」					
犯罪や非行防止について考えるきっかけとして、不動岡高等学校吹奏楽部とミュージシャンとの異色のコラボレーションライブを行い745人の集客があり啓発活動の成果があった。					
○更生保護サポートセンター（平成31年2月22日 開所）					
・運営日：毎週 月曜日・金曜日（休館日は除く）、第1、第3日曜日 午前10時から午後4時まで					
・場 所：市民プラザかぞ 1階 ボランティア室					
・内 容：「更生保護サポートセンター」は、保護司・保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら地域で更生保護活動を行うための拠点として開所。罪を犯した人や非行少年等の立ち直りを助ける保護司の処遇活動に対する支援や、地域や関係機関等と連携をして更生保護活動を行う場として活用している。					
・主な活動内容（令和6年度） ※令和6年度の開所日数 124日間					
活 動 内 容				回 数	
保護観察者等との面接				22 回	
さいたま保護観察所主任保護観察官との処遇協議				5 回	
自主研修・情報交換・事務処理等				124 回	
その他				1 回	

事業名	社会福祉協議会助成事業				1162-01
担当課	地域福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	150,936,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	150,936,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	147,891,000 円	—
事業の目的	市民参加による地域福祉活動、社会福祉に関する情報の提供、福祉教育やボランティア活動の振興等を推進する。				
事業の概要	高齢者や障がい者の在宅支援、ボランティアセンターの運営、福祉教育の支援、小地域福祉活動など多岐の福祉サービス事業を展開し、地域福祉を推進する中心的な役割を担っている社会福祉協議会への支援				

事業の実績・成果

地域福祉活動の中心的な役割を担い、各種の地域福祉活動を行う社会福祉協議会の活動を支援し、もって加須市の地域福祉の充実を図るため、補助金を交付した。

1 人件費補助

社会福祉協議会の法人運営事業に要する人件費（時間外勤務手当を除く）を補助

◆補助金額 143,891,000 円（補助対象人件費執行済額 143,957,658 円）

◆補助対象職員数 (単位：人)

	常務理事兼事務局長	支所長 (再任用・嘱託)	正職員	会計年度職員	計
本所・加須支所	1	0	13	5	19
騎西支所	0	1	0	2	3
北川辺支所	0	1	0	3	4
大利根支所	0	1	0	2	3
計	1	3	13	12	29

2 事務費補助

事務所の維持費及び事務局活動における事務費（上限 400 万円）を補助

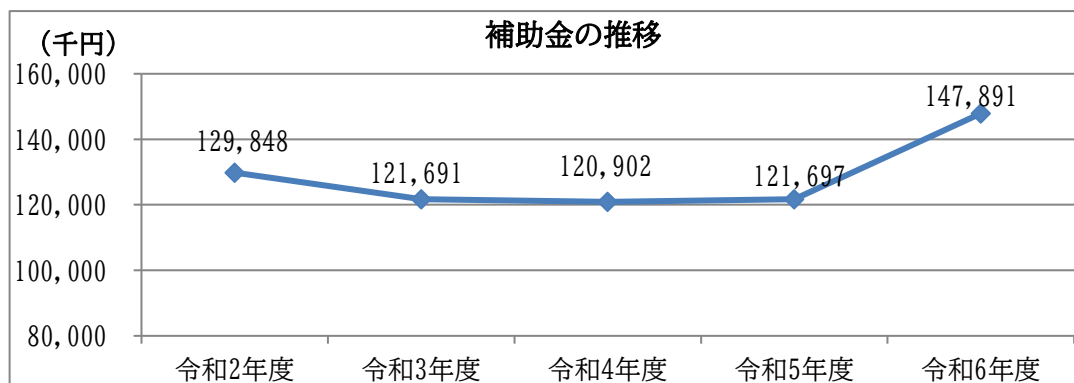
◆補助金額 4,000,000 円（補助対象事務費支出済額 9,619,864 円）

◆補助対象経費 事務所維持にかかる消耗品費、光熱水費、通信運搬費、賃借料等

3 補助金総額の推移

(単位：円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
金額	129,848,000	121,691,000	120,902,000	121,697,000	147,891,000



事業名		民生委員・児童委員活動推進事業			1162-02
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	27,409,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	27,409,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	26,846,553 円	—
事業の目的		民生委員・児童委員活動により、地域福祉の充実を図る。			
事業の概要		民生委員・児童委員の行う調査、要援護者等への相談支援活動が円滑に行えるよう支援する。			
事業の実績・成果					
こどもから高齢者まで、日常の生活や様々な福祉に関する相談や行政機関の業務などへの協力。					
1	民生委員・児童委員数		239 名（主任児童委員を含む）（8 名欠員）※R7.3.31 現在		
	単位民児協数		12 地区		
	専門部会		7 部会（生活福祉、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、広報、男女共同参画推進、総務）		
2	分野別相談・支援件数				
	（1）高齢者に関すること		1,657 件		
	（2）障がい者に関すること		94 件		
	（3）こどもに関すること		124 件		
	（4）その他		234 件		
			合計 2,109 件（活動日数 29,441 日）		
3	高齢者世帯訪問		延 48,791 回訪問		
4	各種研修への参加、共同募金、ひとり暮らし高齢者地域交流事業、敬老会、歳末たすけあい運動等の各種行事に対する参加協力、ボランティア活動、学校や地域行事への参加協力など				

事業名		地域福祉基金活用事業			1162-03
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,414,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	2,414,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	2,414,000 円	—
事業の目的		在宅福祉の推進等、地域における保健福祉活動の推進および地域事業の適正な運営を図る。			
事業の概要		地域福祉基金の運用果実を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会等)が行う地域福祉活動の支援(補助)に充てる。			
事業の実績・成果					
・「地域福祉基金」の運用から生じた収益(利子)を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会)へ助成した。助成を受けた社会福祉協議会が民生委員によるひとり暮らし高齢者見守り事業等を支援した。					
●助成額の推移 (単位:円)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
助成額	1,926,000	1,906,654	1,876,000	1,420,000	2,414,000
※助成額は、地域福祉基金の積立預金の利率により変動					
◆加須市社会福祉協議会の事業概要					
1 ひとり暮らし高齢者見守り事業(補助金 1,103,000 円、社協負担 467,768 円) 65 歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯において見守りの必要度基準を満たした方を対象に見守りと乳酸飲料の配達を兼ねて業者が週 1 回訪問した。 延訪問回数 加須地域 8,504 回、騎西地域 842 回、北川辺地域 571 回、大利根地域 436 回					
2 ボランティア保険加入促進事業(補助金 250,000 円、社協負担 8,300 円) 登録ボランティア等の活動中の事故等を補償するため、活動保険への加入の促進を行った。 【通年】・年間保険料 1 口 A350 円・天災A500 円 ・加入者総数 1,878 人(うち、事業対象加入者 738 人)					
3 こどもフェスタ事業(補助金 105,000 円、社協負担 689 円) こどものすこやかな成長と良好な親子関係の構築を図るため、親子の絆をテーマにしたイベントを市内在住のこどもと保護者を対象に開催した。 ・実施日 令和6年8月24日(土)					
4 障がい児者交流事業(補助金 196,000 円、社協負担 14,743 円) 障がい児者が親子で参加できるイベントとして、「つなぐ つながる KAZO フェス 2025」を開催した。 ・実施日 令和7年2月22日(土) ・参加者数 3,000 人					
5 社会福祉推進大会開催事業(補助金 760,000 円、社協負担 1,564 円) 福祉に対する興味・関心を深め、福祉の増進に資することを目的に実施した。 ・実施日 令和7年2月15日(土) ・参加者数 591 人					

事業名		地域福祉基金積立事業			1162-04	
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	7,677,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	13,392,000 円	—	
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	8,848,965 円	—	
事業の目的		地域における保健福祉活動の推進を図る。				
事業の概要		福祉のための寄附金を受け入れ、地域福祉基金へ積立てる。 預金利子を一般会計に収入した後、地域福祉基金へ積み立てる。				
事業の実績・成果						
「地域福祉基金」の管理を行い、社会福祉のために寄附された寄附金の積み立てを行った。						
1 寄附金額の推移（積立額）						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
寄付金額（円）		10,627,683	2,271,776	2,642,287	6,208,781	8,841,469
件数（件）		52	157	272	550	542
2 基金残高						
(1) 現 金						
108,784,898 円（令和7年3月31日現在）						
(2) 債権額面						
200,000,000 円（愛知県令和5年度第14回公募公債（10年）令和5年12月28日購入）						
100,000,000 円（福島県平成27年度第1回公募公債（10年）平成27年11月27日購入）						
100,000,000 円（東日本高速道路株式会社第91回社債（10年）令和4年1月31日購入）						
3 地域福祉基金利子積立て						
地域福祉基金利子は、原則、地域福祉基金活用事業の財源としている。						

事業名		社会福祉法人指導監査等事務事業			1164-02	
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	79,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	79,000 円	—	
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	4,456 円	—	
事業の目的		健全な福祉サービスを確保し、もってすべての市民が豊かに生活できる地域福祉の推進に資する。				
事業の概要		社会福祉法人の設立認可・定款変更認可・指導監査・現況報告書等の受付・現況報告書や財務諸表の公開などを行う。				
事業の実績・成果						
・ 社会福祉法人の定款変更の認可や現況報告書の受付、指導監査等を行った。						
○ 定款変更認可件数		(単位：件)				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
定款変更認可件数		4	0	4	5	9
○ 指導監査実施件数		(単位：件)				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
児 童 養 護 施 設		1	0	1	0	1
保 育 所		4	4	2	4	6 (1)
障 害 者 福 祉 施 設		0	0	3	0	1
老 人 福 祉 施 設		2	0	0	3	0
社 会 福 祉 協 議 会		1	0	0	1	0
計		8	4	6	8	8
※ 括弧内は特別監査内数						

事業名		指定介護保険サービス事業所指定・指導監査等事務事業			1164-03	
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	43,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	43,000 円	—	
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	27,005 円	—	
事業の目的		適切かつ良好な介護保険サービスを確保し、もって長寿社会を支えるための高齢者支援の推進に資する。				
事業の概要		指定介護保険サービス（地域密着型サービス、介護予防・生活支援サービス、居宅介護支援、介護予防支援）事業所に係る指定、各種届出の受付を行うとともに、指導監査を実施し、運営状況の確認を行う。				
事業の実績・成果						
・ 指定介護保険サービス事業所に係る指定、各種届出の受付、指導監査等を行った。						
○ 指定、各種届出受理件数				(単位：件)		
		新規指定	指定更新	廃止・休止	再開	変更
居 宅 介 護 支 援 事 業 所		4	6	2	0	53
介 護 予 防 支 援 事 業 所		2	5	0	0	9
地域密着型サービス事業所		4	2	7	0	126
介護予防・生活支援サービス事業所		10	5	9	0	256
計		20	18	18	0	444
※ 年度内に申請書及び届出書を受理した件数						
○ 年度末現在指定事業所数				(単位：件)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
居 宅 介 護 支 援 事 業 所		28	27	29	30	32
介 護 予 防 支 援 事 業 所		6	6	6	6	10
地域密着型サービス事業所		45	48	41	36	35
(市内事業所)		(25)	(27)	(24)	(23)	(24)
(市外事業所)		(20)	(21)	(17)	(13)	(11)
介護予防・生活支援サービス事業所		84	85	88	78	82
(市内事業所)		(46)	(45)	(46)	(43)	(42)
(市外事業所)		(38)	(40)	(42)	(35)	(40)
計		163	166	164	150	159
○ 指導監査実施件数				(単位：件)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
居 宅 介 護 支 援 事 業 所		3	4	3	4	5
介 護 予 防 支 援 事 業 所		0	0	0	3	3
地域密着型サービス事業所		5	4	3	4	4
介護予防・生活支援サービス事業所		0	0	0	0	0
計		8	8	6	11	12
※ 介護予防・生活支援サービス事業所への指導監査は、従来から県との同行で実施していたが、令和2年度から令和5年度まで、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため県との同行は中止となり、県が単独で指導監査を実施したため実施件数が0 となった。						
また、令和6年度から県との同行を再開したが、令和6年度に県が指導監査を実施した市内事業所のうち、介護予防・生活支援サービスの指定を受けている事業所がなかったため実施件数が0 となった。						

事業名		生活困窮者自立相談支援事業		1172-01	
担当課		生活福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	14,527,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	14,998,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	14,272,667 円	—
事業の目的		・生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、就労、福祉、住まいの確保等、包括的に支援し、自立促進を図る。			
事業の概要		・生活困窮者に対し、面談や訪問を行っているほか、支援プランを作成し、適切なサービスにつなげるなどして自立した生活が送れるよう支援する。			
事業の実績・成果					
1 事業の実績					
(1) 新規面接相談件数					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
新規面接相談件数		227 件	224 件	260 件	
(2) 相談内容（多い項目）					
① 収入・生活費（家計）について					
② 仕事探し・就職について					
③ 家賃・ローンについて					
④ 病気・健康・障害について					
(3) 面接相談後の支援状況					
面接相談後の支援状況内訳			令和4年度	令和5年度	令和6年度
支援プランを作成し、支援した件数			7 件	27 件	32 件
支援プランを作成せず短期間で支援した件数			52 件	52 件	10 件
相談面接のみ（助言、他制度へのつなぎ等で終了）			168 件	145 件	218 件
(4) 支援終結件数（生活困窮課題が解決した件数）					
支援終結件数内訳			令和4年度	令和5年度	令和6年度
支援プラン作成後、支援終結した件数			3 件	13 件	13 件
支援プランを作成せず短期間で支援し終結した件数			52 件	52 件	10 件
(5) 支援終結理由（多い項目）					
支援終結理由内訳		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
他制度の利用提案		33 件	36 件	25 件	
就労につながった		7 件	10 件	6 件	
生活保護を申請		15 件	19 件	33 件	
2 事業の成果					
生活保護に至る前の困窮者に対し、就労支援、家計相談、関係機関との調整など包括的に支援し、課題が複雑化・深刻化する前に自立の促進を図ることができた。					

事業名		生活困窮者住居確保給付事業			1172-02	
担当課		生活福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	4,113,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	5,879,000 円	—	
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	2,897,869 円	—	
事業の目的		・ 経済的に困窮し、住居を失った又は失うおそれのある方に対し、住居及び就労機会の確保を目的に家賃相当額を支援する。				
事業の概要		・ 離職や廃業又は休業等により収入が減少し、住居を失った又は失うおそれのある方に対し、住居確保給付金を原則 3 か月間（一定の条件により 3 か月間の延長及び再延長が可能）支給し、就労支援を実施する。				
事業の実績・成果						
1 事業の実績						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
申請件数（件）		61	26	20	16	4
決定件数（件）		61	26	20	16	4
廃止件数（件）		37	12	11	11	1
支給額（円）		12,229,300	7,553,900	5,151,100	2,363,100	1,199,300
2 令和 5 年度実績に伴う国への返還金						
国庫支出金返還金 1,698,569 円						
3 事業の成果						
就職活動を支えるため家賃相当額を有期で給付し、就労支援や相談支援により、就職につなげることができた。						

事業名		生活困窮者学習支援事業			1172-03
担当課		生活福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	5,999,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	5,999,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	5,998,300 円	—
事業の目的		・ 貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立促進を図る。			
事業の概要		・ 生活保護受給世帯の中学生、高校生全学年及び就学援助受給世帯の中学 3 年生を対象に学習支援等を実施する。 ・ 定員 24 名。			
事業の実績・成果					
1 事業の実績					
参加者内訳		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
中 学 生		18 人 (中学 1 年生:1 人 中学 2 年生:0 人 中学 3 年生:17 人)	20 人 (中学 1 年生:0 人 中学 2 年生:1 人 中学 3 年生:19 人)	26 人 (中学 1 年生:1 人 中学 2 年生:1 人 中学 3 年生:24 人)	
高 校 生		0 人	1 人 (高校 1 年生:1 人)	2 人 (高校 2 年生:2 人)	
世帯別内訳		生活保護世帯 2 人、 就学援助世帯 16 人	生活保護世帯 3 人、 就学援助世帯 17 人	生活保護世帯 6 人、 就学援助世帯 22 人	
進 路		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
中学卒業後の進路		高校進学 17 人	高校進学 18 人	高校進学 24 人	
高校 3 年生の人数、 進路		0 人	0 人	0 人	
2 事業の効果					
生活困窮世帯の中学 3 年生に対し、学習支援教室、進路相談、居場所の提供を実施し、進学への興味や将来への自立を促すための事業展開により、高校進学合格率は 100 パーセントであり、「貧困の連鎖」の防止に取り組むことができた。					
また、令和元年度から生活保護世帯に限り、中学 1 年生及び 2 年生までに対象を拡大し、早期に支援することによる将来像の確立、自立への取り組みを強化した。					

事業名		低所得世帯に対する物価高騰対応支援給付金給付事業			1172-10
担当課		生活福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	円	371,648,623 円
項	01	社会福祉費	最終予算額	327,463,000 円	371,648,623 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	264,011,818 円	296,184,038 円
事業の目的		物価高騰の影響を受けている低所得世帯の生活を支援するため、令和 5 年度分の非課税世帯及び均等割のみ課税世帯等に対して、現金を給付する。			
事業の概要		基準日 ①～③令和 5 年 12 月 1 日 ④⑤令和 6 年 6 月 3 日 ⑥⑦令和 6 年 12 月 13 日 給付額 ①非課税世帯(家計急変世帯含む) 7 万円/世帯 ②均等割のみ課税世帯 10 万円/世帯 ③非課税世帯及び均等割のみ課税世帯のこども加算 5 万円/児童 ④非課税世帯及び均等割のみ課税世帯 10 万円/世帯 ⑤非課税世帯及び均等割のみ課税世帯のこども加算 5 万円/児童 ⑥非課税世帯 3 万円/世帯 ⑦非課税世帯のこども加算 2 万円/児童 申込期限 ①非課税世帯分(家計急変世帯分含む)令和 6 年 4 月 30 日 ②③均等割のみ課税世帯分、こども加算分 令和 6 年 5 月 31 日 ④⑤非課税世帯及び均等割のみ課税世帯、非課税世帯及び均等割のみ課税世帯のこども加算 令和 6 年 10 月 31 日 ⑥⑦非課税世帯、非課税世帯のこども加算 令和 7 年 6 月 30 日			
事業の実績・成果					
物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。					
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 296,184,038 円					
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 61,247,037 円					

事業名		中国残留邦人等支援事業			1173-04	
担当課		生活福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	9,308,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	15,702,000 円	—	
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	11,692,745 円	—	
事業の目的		中国残留邦人等の老後の生活の安定を図る。				
事業の概要		永住帰国した中国残留邦人等で一定の要件を満たす者に対して、安定した生活が送れるよう、生活支援給付、住宅支援給付、医療支援給付等の支援を実施する。 なお、中国残留邦人等の置かれている事情に鑑み、懇切丁寧に実施する。				
事業の実績・成果						
○扶助費 11,190,990 円						
生活支援給付金 1,592,789 円 (3/ 4 国庫負担金)						
住宅支援給付金 535,380 円 (3/ 4 国庫負担金)						
医療支援給付金 8,509,836 円 (3/ 4 国庫負担金)						
介護支援給付金 166,037 円 (3/ 4 国庫負担金)						
活動支援費 173,148 円 (10/10 国庫負担金)						
葬祭給付金 213,800 円 (3/ 4 国庫負担金)						
・事業費の推移 (単位：円、世帯)						
	管理費	扶助費	精算に伴う 返還金	計	歳入対象	対象 世帯数
令和2年度	483,719	4,899,226	56,000	5,438,945	3,674,419	2
令和3年度	473,510	4,398,705	400,000	5,272,215	3,310,528	2
令和4年度	479,423	6,002,519	354,000	6,835,942	4,551,023	2
令和5年度	2,017,985	4,745,645	265,290	7,028,920	3,855,827	2
令和6年度	501,755	11,190,990	2,055,162	13,747,907	8,436,529	2

事業名		行旅病人及び行旅死亡人取扱事業			1173-05
担当課		生活福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	286,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	286,000 円	—
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		人権及び人としての尊厳を確保する。			
事業の概要		旅行中に病気等で加須市内で倒れ、入院治療を要する状態に陥ったが療養の方法がなく、かつ、救護者のない者の救護や、旅行中に加須市内で死亡し引取者のない者（身元不明者を含む。）の葬祭等を実施する。			
事業の実績・成果					
加須市管内において行旅死亡人の取り扱いが発生した場合、公告等の手続き及び葬祭を執り行うが、令和6年度において取り扱いがなかった。					
○行旅病人・行旅死亡人の取扱状況				(単位：件)	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
行 旅 病 人	0	0	0	0	0
行旅死亡人	2	1	0	0	0

事業名		あけぼの園管理運営事業			1152-07
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	8,345,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	8,345,000 円	—
目	02	障害者福祉費	決 算 額	8,343,700 円	—
事業の目的		障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。			
事業の概要		在宅障がい者に対し通所により生産活動等の機会を提供するとともに、就労指導、生活指導等を行い自立および社会参加を促すため、あけぼの園の管理運営を行う。 ・指定管理者 加須市社会福祉協議会 ・指定管理期間 令和4～8年度			
事業の実績・成果					
・あけぼの園の適正かつ効率的な運営のため、指定管理者として加須市社会福祉協議会に管理運営を委託（令和4年度～令和8年度）するとともに、入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した。 また、施設修繕として、自動ドア装置交換工事を行った。					
・令和7年3月現在の入所者数44名（生活介護21名、就労継続支援B型23名）					
・あけぼの園への入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した。 開催回数 2回					
・あけぼの園指定管理委託料 7,500,000 円					
・施設修繕（自動ドア装置交換工事） 827,200 円					

事業名		障害（児）者生活サポート事業			1152-11	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	24,030,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	24,030,000 円	—	
目	02	障害者福祉費	決 算 額	17,937,550 円	—	
事業の目的		障がい、（児）者の日常生活への支援及び介護者の負担軽減を図る。				
事業の概要		障がい者およびその家族の介護依頼に対してサービスを提供する民間サービス団体の運営に要する経費を補助する。 ・1時間当たり利用者負担額 H28 年度まで 500 円、H29 年度 650 円、H30 年度 850 円、R1 年度以降 950 円（障がい児は生計中心者の所得税額により減免あり） ・民間サービス団体への運営経費補助 1 時間当たり 2,850 円と自己負担額の差額				
事業の実績・成果						
・障がい、（児）者やその家族の多様化するニーズに応えるため、身近な場所で迅速・柔軟なサービスを提供する民間団体に運営費を補助し、福祉の向上及び介護者の負担軽減を図った。 ・サービス内容は、一時預かり、送迎サービス、外出援助、派遣による介護サービス等。						
利用状況の推移						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数（人）		1,000	944	956	962	915
利用者数（人）		359	372	402	339	430
利用件数（件）		10,221	11,791	11,361	10,924	10,332
利用時間数（時間）		8,396	10,145	10,746	9,752	9,073
運営補助額（千円）		18,974	20,460	21,524	19,417	17,908

事業名		心身障害者生活ホーム事業		1152-12	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	898,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	898,000 円	—
目	02	障害者福祉費	決 算 額	897,900 円	—
事業の目的		心身障がい者に生活ホームを利用させることで社会的自立の助長を図る。			
事業の概要		市内に住所を有し、自立した生活を望みながらも家庭環境または住宅事情等の理由により、社会的自立が阻害されている身体障がい者または知的障がい者に対して、住宅を提供するとともに、夜間を中心に生活面の指導・援助を行う。 ・施設には、運営費を補助する。 ・運営費補助単価…日額 2,460 円			
事業の実績・成果					
・心身障がい者が自立した生活をするための生活ホームの運営費等を補助し、心身障がい者の社会的自立の助長を図った。					
事業運営費補助額 1 人 1 日 2,460 円					
(単位：人、円)					
施設名		利用者実人数	月当たり延利用者数	事業運営費補助	
生活ホーム小川（市外）		1	12	897,900	
事業運営費補助額の推移					
(単位：円)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
補助額	901,550	901,550	897,900	900,360	897,900

事業名	重度心身障害者医療費支給事業			1152-18
担当課	障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03 民生費	当初予算額	213,265,000 円	—
項	01 社会福祉費	最終予算額	213,265,000 円	—
目	02 障害者福祉費	決 算 額	183,005,337 円	—

事業の目的 重度心身障がい者（児）やその家庭の経済的負担を軽減し、重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図る。

事業の概要 対象者から請求される医療保険制度の一部負担金および入院食事療養費標準負担額（18 歳年度末まで）を助成する。
 ○受給資格 身体障害者手帳 1～3 級、療育手帳マル A・A・B、精神障害者手帳 1 級、後期高齢者医療制度の障害認定者（65 歳以上で新たに該当障害になった場合は、平成 27 年 1 月から対象外）
 ※平成 31 年 1 月から所得制限導入
 ※令和 4 年 10 月から全年齢県内現物給付

事業の実績・成果

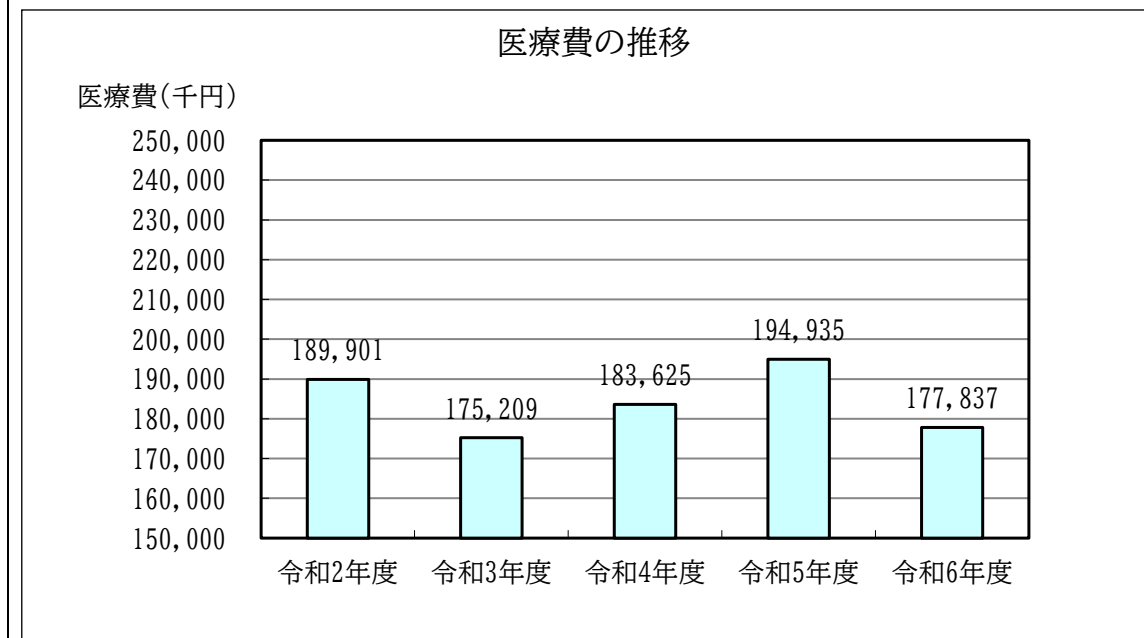
・重度心身障がい者（児）に医療費一部負担金等を助成することにより、重度心身障がい者（児）の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図った。

また、令和 5 年 7 月から入院食事療養費標準負担額の助成対象を 15 歳年度までから 18 歳年度末までに拡大した。

令和 7 年 3 月現在の受給者数 2,174 人

医療費の推移 (単位：円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
医療費	189,901,923	175,209,325	183,625,056	194,935,246	177,837,512



事業名		在宅障害者おむつ支給事業			1152-19
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	4,234,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	4,234,000 円	—
目	02	障害者福祉費	決 算 額	4,193,980 円	—
事業の目的		在宅の重度心身障がい者及び介護者の経済的負担の軽減を図るとともに障がい者への福祉の充実を図る。			
事業の概要		委託業者が対象者宅へ紙おむつを配布。1 ヶ月あたり 6,300 円を限度。 対象は、総合支援法の日常生活用具の紙おむつの対象とならない者で、下肢又は体幹 1～2 級、療育手帳マル A～A の者。（入院中・入所中・介護保険対象者・住民税課税者・新規で 65 歳以上を除く）			
事業の実績・成果					
・在宅の重度心身障がい者（児）に対し、紙おむつ等を給付することにより、本人及び介護者の経済的負担の軽減と福祉の増進を図った。					
支給対象者 65 人 延べ支給件数 697 件					
事業費の推移				（単位：円）	
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
支給額	3,725,342	3,959,312	3,893,278	4,141,476	4,193,980

事業名	特別障害者手当等支給事業			1152-20
担当課	障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	62,820,000 円
項	01	社会福祉費	最終予算額	62,820,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	57,162,895 円

事業の目的	重度障がい（児）者の介護者等の経済的・精神的負担の軽減を図る。			
事業の概要	・特別障害者手当 月額 28,840 円…20 歳以上で身体または精神の重度の障害で常時特別の介護を要する者 ・障害児福祉手当 月額 15,690 円…20 歳未満で身体 1 級の一部と 2 級の一部、知的○A 相当、精神や血液疾患等で他の障害と同程度の者 ・経過的福祉手当 月額 15,690 円…制度改正前（S61.4）20 歳以上の福祉手当受給者で特障手当、障害年金の非受給者			

事業の実績・成果

・心身に著しく重度の障害があるため、日常生活において常時特別な介護を必要とする者であって施設に入所されていない等の条件を満たす者に対して、手当を支給することにより、介護等の精神的・経済的負担の軽減を図った。なお、支給は 3 ヶ月毎に行った。

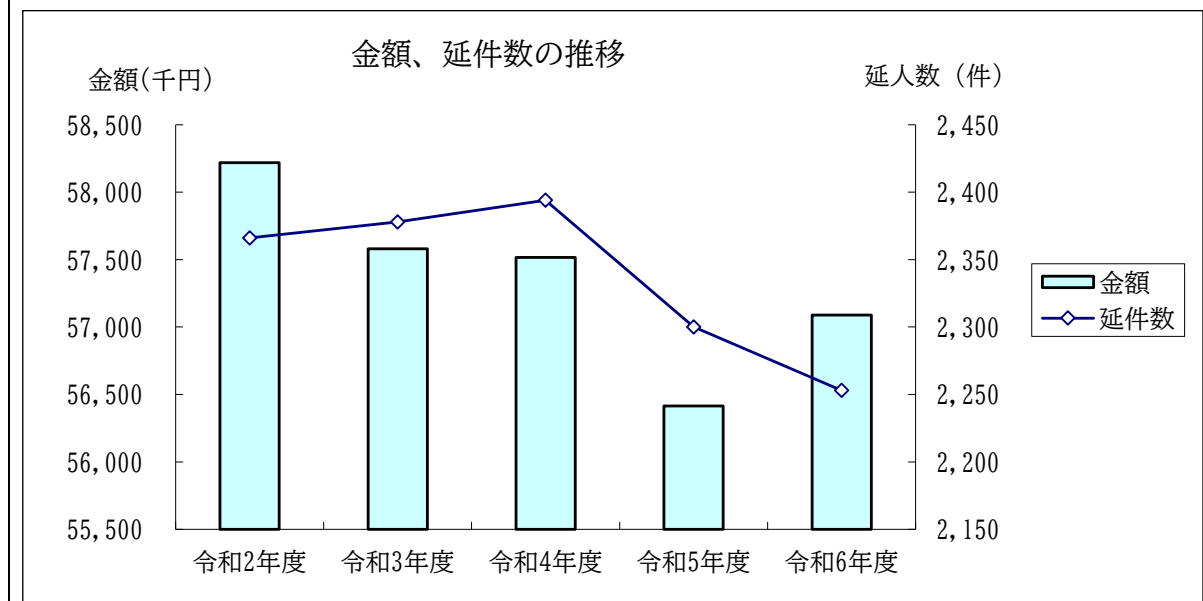
- ・令和 7 年 3 月 31 日現在受給資格者数 特別障害者手当 139 人、障害児福祉手当 55 人、福祉手当 1 人
 ◎所得制限による支給停止者数 特別障害者手当 7 人、障害児福祉手当 4 人、福祉手当 0 人

支払月	5 月期	8 月期	11 月期	2 月期	合計
金額（円）	14,084,170	14,461,220	14,458,680	14,086,300	57,090,370
延件数（件）	563	568	567	555	2,253

- ※5 月期に 2 月・3 月分の随時払いを含む。（延件数：随時 3 件）
 ※8 月期に 5 月・6 月分の随時払いを含む。（延件数：随時 11 件）
 ※11 月期に 8 月・9 月・10 月分の随時払いを含む。（延件数：随時 5 件）
 ※2 月期に 11 月・12 月分の随時払いを含む。（延件数：随時 7 件）

・金額、延件数の推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
金額（円）	58,218,430	57,581,240	57,517,540	56,414,560	57,090,370
延件数（件）	2,366	2,378	2,394	2,300	2,253



事業名		在宅重度心身障害者手当支給事業		1152-21	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	53,294,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	53,294,000 円	—
目	02	障害者福祉費	決 算 額	50,559,995 円	—
事業の目的		在宅の重度心身障害者の経済的、精神的負担の軽減を図る。			
事業の概要		身障手帳 1、2 級・療育手帳マル A、A 所持者・精神手帳 1 級所持者または超重症心身障害児で市町村民税非課税の者（施設入所者、特別障害者手当等受給者、65 歳以上の新規手帳取得者は除く）に対し、手当を支給する。 ・20 歳以上 月額 5,000 円 ・20 歳未満 月額 7,000 円 ※20 歳未満の 2,000 円増額分については、市独自で上乗せしている。			
事業の実績・成果					
・加須市在宅重度心身障害者手当支給条例に基づき、在宅重度心身障がい者（児）に在宅重度心身障害者手当を支給することにより、障がい者（児）の経済的、精神的負担の軽減を図った。					
年 2 回（9 月、3 月）支給した。					
在宅重度心身障害者手当（令和 7 年 3 月支給 20 歳未満 60 人、20 歳以上 752 人）					
支払月		9 月期	3 月期	合計	
金額（円）		25,282,000	25,154,000	50,436,000	
延人数（人）		4,912	4,884	9,796	
金額・延人数の推移					
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
金額（円）		53,534,000	51,610,000	50,447,000	50,647,000
延人数（人）		10,398	10,039	9,853	9,863
					令和 6 年度
					50,436,000
					9,796

事業名		重度視覚障害者介助手当支給事業			1152-22
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,080,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,080,000 円	—
目	02	障害者福祉費	決 算 額	996,000 円	—
事業の目的		介助者に対し経済的負担や精神的負担の軽減を図る。			
事業の概要		身体障害者手帳 1 級～2 級の在宅の視覚障がい者と同居し生活を共にしている介助者に、年額 12,000 円を支給する。			
事業の実績・成果					
・在宅の重度視覚障がい者の日常生活における介助者に対し、介助手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図った。					
支給額（年額） 12,000 円					
支給額、支給者数の推移					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
支給額（円）	924,000	936,000	1,020,000	972,000	996,000
支給者数（人）	77	78	85	81	83

事業名		在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業			1153-02
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,560,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,560,000 円	—
目	02	障害者福祉費	決 算 額	880,000 円	—
事業の目的		医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担の軽減を図る。			
事業の概要		短期入所事業や日中一時支援事業で対象障がい児を受け入れる事業者に対し、予算の範囲内において助成金を交付する。 【短期入所事業】 超重症心身障がい児：20,000 円／日 重症心身障がい児：10,000 円／日 【日中一時支援事業(～R6.6.30)】 重症心身障がい児 1 人：20,000 円／日 【日中一時支援事業(R6.7.1～)】 時間数・点数・事業の種類等により助成			
事業の実績・成果					
・医療的ケアを必要とする在宅重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担を軽減するために、短期入所事業や日中一時支援事業で対象児を受け入れた事業所に対して助成金を交付。 令和元年度から超重症心身障がい児から、重症心身障がい児へ対象が拡大された。					
【利用延べ人数】				(単位：人)	
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
短期入所事業	191	165	124	89	85
日中一時支援事業	0	0	0	0	0

事業名		身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業			1154-02
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	86,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	86,000 円	—
目	02	障害者福祉費	決 算 額	64,000 円	—
事業の目的		身体障害者等の機能低下予防を図るとともに、視覚障害者の就業及び経済的自立を推進する。			
事業の概要		保険適用外のはり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給する。 ・身体障害者手帳の所持者で肢体障害 1 級～6 級該当者 ・介護認定者で要支援 1 以上の方 ※入院中や施設入所中の方は対象外			
事業の実績・成果					
・身体障害者等の機能低下予防と、視覚障害者の就業支援・経済的自立支援のため、はり・きゅう・マッサージ・あん摩・指圧の施術費の一部を助成券で支給した。					
○指定施術院 2 事業所					
○利用状況等の推移 ※令和元年度事業開始					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
申請者数（人）	44	60	71	74	72
交付枚数（枚）	74	113	135	145	140
利用枚数（枚）	19	23	32	27	32

事業名		障害者福祉団体支援事業			1155-02	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	415,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	415,000 円	—	
目	02	障害者福祉費	決 算 額	415,000 円	—	
事業の目的		各障害者福祉団体の助成を図り、社会福祉活動の推進、福祉の増進を図る。				
事業の概要		各障害者福祉団体活動推進のために活動費を助成する。				
		【助成団体】 身体障害者福祉会（加須）、視覚障害者福祉協会加須支部、手をつなぐ親の会（加須）、聴覚障害者協会				
事業の実績・成果						
・ 障害者福祉関係団体の活動の推進、福祉の増進を図るため、関係団体へ活動費の補助を行った。 補助金額の推移 (単位：千円)						
団体名		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
加須市身体障害者福祉会		280	280	280	280	280
大利根身体障害者福祉会		67	186	77	—	—
埼玉県視覚障害者福祉協会加須支部		0	0	0	40	40
加須手をつなぐ親の会		55	55	55	55	55
加須市聴覚障害者協会		40	40	40	40	40
合 計		442	561	452	415	415
※埼玉県視覚障害者福祉協会加須支部は、令和 2 年度から令和 4 年度まで新型コロナによる活動自粛のため補助金申請なし						
※大利根身体障害者福祉会は令和 4 年度末に解散						
(単位：円)						
団体名		助成金額	会員数・実施事業			
加須市身体障害者福祉会		280,000	会員 112 人、通常総会、役員会、グラウンド・ゴルフ大会、県外研修			
埼玉県視覚障害者福祉協会加須支部		40,000	会員 6 人、定期総会・懇親会の開催、研修旅行への参加、視覚障害者交流大会への参加、視覚障害者のスポーツ振興事業への参加			
加須手をつなぐ親の会		55,000	会員 12 人、定例会の開催、施設見学			
加須市聴覚障害者協会		40,000	会員 24 人、各種手話講座へ講師派遣、手話奉仕員養成講習会への講師派遣、役員会			

事業名		重度身体障害者居宅改善整備事業		1156-01		
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	360,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	360,000 円	—	
目	02	障害者福祉費	決 算 額	0 円	—	
事業の目的		重度身体障がい者の居宅の一部を障害に応じて使いやすく改造することで、重度身体障がい者の日常生活における利便を図る。				
事業の概要		重度の身体障がい者が日常生活において直接利用する浴室、洗面所、庭など屋内外の改造整備費に対して補助金を交付する。 ・一般世帯限度額…24 万円 ・生活保護世帯限度額…36 万円				
事業の実績・成果						
・重度身体障がい者（児）の家庭内での自立を促進するため、申請に基づき、居宅改善整備費を助成する。						
申請件数 0 件 補助金額 0 円						
重度身体障害者居宅改善整備事業利用状況の推移						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者数（人）		0	0	0	1	0
補助金額（円）		0	0	0	240,000	0

事業名		障がい者福祉管理事業		1156-02	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,975,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	3,307,000 円	—
目	02	障害者福祉費	決 算 額	3,032,310 円	—
事業の目的		障害福祉関連事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。			
事業の概要		障がい者福祉に係る情報を適切に処理し、各事業の円滑かつ効果的な実施を図る。 障がい者福祉課及び総合支所福祉健康担当（障害福祉担当）の経常的な管理費を支出する。			
事業の実績・成果					
・ 障害福祉関連事業を円滑に実施するため、諸費用を支出した（各総合支所福祉健康担当分含む）。					

事業名		障害者計画及び障害福祉計画進行管理事業			1151-02
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	48,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	48,000 円	—
目	03	自立支援給付費	決 算 額	33,000 円	—
事業の目的		お互いに尊重し合い自分らしく輝けるまちを目指す。			
事業の概要		障がい者施策推進懇話会にて、計画の進行管理を行う。			
事業の実績・成果					
○障がい者施策推進懇話会 ・障害者計画及び障害者福祉計画（第6期）、障害児童福祉計画（第2期）（令和3年度～令和5年度）の進捗状況について説明・報告した。 ・開催日 令和6年8月7日 ・出席者 14名（うち報奨金対象者11名） ・懇話会委員謝金 33,000円					

事業名		障がい者相談管理事業			1152-05
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	11,214,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	15,025,000 円	—
目	03	自立支援給付費	決 算 額	14,595,617 円	—
事業の目的		障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等に係る相談支援や給付費等の適正な管理を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。			
事業の概要		障害福祉サービス費の審査支払業務を委託にて実施し、適正な給付を行う。また、個々の障がいの程度や社会活動、養育環境など勘案すべき事項を踏まえ、個別に支給決定を行う。			
事業の実績・成果					
・事業所からの障害福祉サービスの請求内容及び療養介護医療費の審査を埼玉県国保連合会へ委託し、適正な支払い事務を行った。					
1 審査支払手数料 2,674,093 円					
		区 分	件数 (件)	金額 (円)	
		障害福祉サービス等	14,544	1,746,480	
		障害児給付費等	7,685	921,000	
		療養介護医療費		6,613	
2 障害者自立支援給付費審査支払等システムの改修費 3,542,000 円					

事業名		補装具費支給事業		1152-13	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	21,725,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	21,725,000 円	—
目	03	自立支援給付費	決 算 額	11,706,853 円	—
事業の目的		身体障がい者（児）の失われた身体機能を補完又は代替する用具を支給することで、身体障がい（児）者の社会生活や日常生活の能率向上を図る。			
事業の概要		身体障がい者（児）や難病患者が補装具を購入・修理する、または貸与を受ける際の費用を助成する。自己負担は基準額の 1 割、月額上限 37,200 円、市民税非課税世帯は自己負担なし。 身体障害者手帳非対象の 18 歳未満の軽中度難聴児の補聴器購入の自己負担は基準額の 3 分の 1。			
事業の実績・成果					
・身体障がい者（児）や難病患者に対し、補装具の購入・修理費等を助成し、家庭内及び社会復帰の促進を図った（自己負担額は、基準額の原則 1 割。対象者・基準額・耐用年数等の基準がある）。					
補装具別内訳					
		購 入		修 理	
		決定件数（件）	助成金額（円）	決定件数（件）	助成金額（円）
義 肢		4	1,331,267	3	244,797
装 具		19	1,270,512	9	100,064
姿勢保持装置		3	1,813,879	5	418,836
車 椅 子		4	707,562	17	1,332,110
電動車椅子		0	0	4	608,223
視覚障害者安全つえ		7	44,007	0	0
義 眼 ・ 眼 鏡		5	138,050	0	0
補聴器・人工内耳		31	2,862,002	25	536,204
そ の 他		2	36,340	0	0
合 計		75	8,203,619	63	3,240,234
補装具費支給費（扶助費）の推移（単位：円）					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
扶助費	11,886,124	14,583,939	19,909,123	19,096,448	11,443,853
・18 歳未満の軽度・中等度の難聴児に対し、言語習得・教育等における健全な発達支援を目的に補聴器等の購入・修理費を助成（助成額は基準額の 3 分の 2。基準額・耐用年数等の基準がある）。					
難聴児補聴器購入（修理）助成費の推移					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
件 数（件）	4	2	4	6	5
助成費（円）	296,000	148,000	864,000	506,000	252,000

事業名		北埼玉地区障害支援区分審査会共同設置事業			1152-16	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	2,063,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	2,063,000 円	—	
目	03	自立支援給付費	決 算 額	1,715,000 円	—	
事業の目的		障がい者の支援の度合いに応じたサービスが利用できるように審査会を経ることで基準の透明化・明確化を図る。				
事業の概要		・ 介護給付を新規申請する者等の障害支援区分の審査を行う。 ・ 審査会は共同設置（行田市・加須市・羽生市）とする。 ・ 加須市が事務局である。 ・ 審査会委員は合計 15 人。				
事業の実績・成果						
・ 障害者総合支援法第 15 条の規定により審査会の設置が義務付けられたが、北埼玉地区 3 市で北埼玉地区障害支援区分審査会を共同設置し審査を行うことにより、単独で設置するよりも経費の削減が図れるとともに、公平性も保つことができています。						
・ 事務局 加須市 ・ 審査会開催回数 26 回 ・ 審査件数 714 件（うち加須市分 309 件）						
・ 各市負担金割合 負担金は、人口割、身障・療育・精神手帳所持者割、判定者数割の合計で算出した。 （単位：円）						
市 名		負担金額				
行 田 市		550,086				
加 須 市		776,895				
羽 生 市		388,019				
合 計		1,715,000				
・ 審査会開催回数・件数、事業額の推移						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
審査会開催回数（回）		24	26	24	24	26
審 査 件 数 （ 件 ）		454	617	542	558	714
事 業 額 （ 円 ）		1,533,920	1,755,400	1,502,000	1,559,800	1,715,000

事業名		自立支援医療費支給事業			1152-17
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	140,128,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	148,693,000 円	—
目	03	自立支援給付費	決 算 額	132,646,984 円	—
事業の目的		身体上の障害を軽減したり、機能を回復することができるような医療にかかる医療費を助成することで、身体障がい者（児）の社会生活や日常生活の能率向上を図る。			
事業の概要		日常生活能力や機能を回復・改善するための医療を受ける際の費用を一部助成する。自己負担は医療費の1割、所得により自己負担上限額あり。18歳以上の身体障害者手帳所持者を対象とする更生医療、18歳未満の身体に障害のある児童を対象とする育成医療に分類。			
事業の実績・成果					
・身体障がい者(児)に対し、必要な医療費を助成し、職業その他日常生活の能率向上及び自立した社会復帰の促進を図った。					
(支給認定件数) 更生医療 155 件 (レセプト数 1,874 件)					
育成医療 57 件 (レセプト数 131 件)					
事業費の推移			(単位：円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
更生医療	125,495,785	119,259,588	111,362,049	121,506,879	120,720,562
育成医療	1,787,597	3,342,302	2,382,124	2,502,721	3,257,664
合 計	127,283,382	122,601,890	113,744,173	124,009,600	123,978,226
・負担金返還					
国費返還金		7,816,007 円			
県費返還金		747,601 円			

事業名		障害者自立支援事業（障がい者訪問サービス事業、障がい者日中活動サービス事業、障がい者居住サービス事業、障がい者相談管理事業の一部、事業統合のうえ新設）			1152-37
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,689,800,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	2,719,832,000 円	—
目	03	自立支援給付費	決 算 額	2,712,349,267 円	—
事業の目的		障がい者が日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要なサービスに係る給付、その他の支援を行い、障がい者の福祉の増進を図る。			
事業の概要		障がい者が必要とするサービスをサービス提供事業者から受けた場合に利用者負担を除くサービス費用を給付する。			
事業の実績・成果					
・ 障害施策を 3 障害（身体・知的・精神）一元化し、障がい者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営めるよう、その者の状況や置かれている環境に応じて必要なサービスを支援した。					
1 訪問サービス					
介護給付費 236,518,754 円					
		区 分	延件数（件）	金額（円）	
		居宅介護	1,220	127,737,855	
		重度訪問介護	38	31,394,489	
		行動援護	960	76,111,288	
		同行援護	18	1,275,122	
2 日中活動サービス					
介護給付費・訓練等給付費 1,568,000,790 円					
		区 分	延件数（件）	金額（円）	
		介護給付費	4,001	1,027,288,273	
		療養介護	129	36,461,500	
		生活介護	3,477	947,107,264	
		短期入所	395	43,719,509	
		訓練等給付費	3,928	540,712,517	
		宿泊型自立訓練	6	2,197,992	
		自立生活援助	0	0	
		自立訓練（機能訓練）	0	0	
		自立訓練（生活訓練）	107	17,652,970	
		就労移行支援	471	91,567,880	
		就労継続支援A型	361	69,726,884	
		就労継続支援B型	2,848	354,786,068	
		就労定着支援	135	4,780,723	
・ 障がい者（身体・知的・精神）が日中活動できる場を提供し、創作活動・生産活動の機会の提供及び就労に必要な知識・能力の向上等の必要な支援を行った。					
3 居住サービス					
（1）介護給付費・訓練等給付費 838,866,484 円					
		区 分	延件数（件）	金額（円）	
		介護給付費	1,368	254,722,680	
		施設入所支援	1,368	254,722,680	
		訓練等給付費	2,582	584,143,804	
		共同生活援助	2,582	584,143,804	

・主として夜間に障害者支援施設及び共同生活援助（グループホーム）において入浴や食事等の日常生活上の支援を行った。

4 計画相談支援給付費 1,878 件 29,143,283 円

・障害福祉サービスを受給する際に、心身の状況、環境、サービス利用の意向等から利用するサービス種類と内容を勘案した計画相談を実施し、計画内容が適切かを確認するモニタリングを行い実態に沿ったサービスの支給を行った。

5 高額福祉サービス費 49 件 447,949 円

6 療養介護医療費 9,321,130 円

事業名		障がい児発達支援事業		1153-01	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	683,184,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	699,509,000 円	—
目	03	自立支援給付費	決 算 額	669,750,291 円	—
事業の目的		障がい児が日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要なサービスに係る給付、その他の支援を行い、障がい児の福祉の増進を図る。			
事業の概要		障がい児が必要とするサービスをサービス提供事業者から受けた場合に利用者負担を除くサービス費用を給付する。			
事業の実績・成果					
・障がい児（18 歳未満）に対し、必要なサービスの実態を把握するための障害児相談支援を行い、現状に合わせたサービスを提供し生活能力向上のための訓練や社会との交流促進の支援を行った。					
1 障害児通所給付費 633,780,066 円					
区 分			延件数（件）	金額（円）	
児童発達支援			1,909	197,115,563	
放課後等デイサービス			4,732	434,312,490	
保育所等訪問支援			29	594,982	
里親委託児童に係る障害児通所給付措置			11	1,757,031	
2 障害児相談支援給付費 19,182,829 円					
区 分			延件数（件）	金額（円）	
障害児相談支援			1,030	19,182,829	
3 高額福祉サービス費等 463,670 円					
区 分			件数（件）	金額（円）	
障害児通所給付費等			51	463,670	

事業名		障がい者理解促進事業		1151-03	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,994,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	2,994,000 円	—
目	04	地域生活支援費	決 算 額	2,926,968 円	—
事業の目的		障害の有無にかかわらず、お互いを尊重し合う機運の醸成を図る。			
事業の概要		障がい者や障害の特性への理解を深めるために、鳥取県等が推進する「あいサポート運動」を中心に研修会開催、ハンドブック作成など周知啓発を実施する。			
事業の実績・成果					
・ 障がい者への理解を深めるためあいサポート運動を推進し、市新規採用職員や市民等を対象にあいサポーター研修を実施した。講師謝金 3,000 円×6 人＝18,000 円 市新規採用職員向け：令和6年4月3日 市民向け：令和6年7月10日、9月11日、11月13日 ・ あいサポート企業認定を3事業所に行い、各事業所から「あいサポート」の普及啓発を行っている。					
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サポーター数（人）		31	160	248	302
企業認定数（事業所）		0	0	3	3
・ 公共施設駐車場に障がい者等優先駐車路面標示及び適正利用のための啓発看板を設置した。 〔青色路面標示〕 4施設 11区画 〔看板〕 5基 2,907,300 円					
・ 手話言語の意識醸成・普及のため、9月23日の「手話言語の国際デー」を記念し、9月19日から23日に騎西城ライトアップ（ブルー）を実施。2025 デフリンピック応援手話言語メッセージリレーに参加した。					

事業名		障がい者成年後見制度利用支援事業			1151-05
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	911,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	911,000 円	—
目	04	地域生活支援費	決 算 額	244,000 円	—
事業の目的		知的障がい者や精神障がい者本人の財産管理、悪徳商法からの被害等を防止する。			
事業の概要		身寄りがなく、申立てをする人がいない知的障がい者、精神障がい者の方の保護を図るため、市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始で審判の申立てを行う。65 歳以上は高齢介護課で対応。報酬助成額は月額 28,000 円（施設に入所等をしている場合には月額 18,000 円）。			
事業の実績・成果					
・令和6年度は市長申立ての利用はなかった。					
市長申立て件数 0 件					
成年後見人への報酬助成件数 1 件 244,000 円					
・事業実施 (単位：件)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
申立て件数	0	0	0	0	0

事業名		訪問入浴サービス事業			1152-06	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	5,500,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	5,500,000 円	—	
目	04	地域生活支援費	決 算 額	4,025,000 円	—	
事業の目的		身体障がい者に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供することで、重度身体障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。				
事業の概要		身体障がい者の居宅を訪問し、浴槽を自宅に持ち込んで行われる入浴の介護。 ・対象者 介護保険による訪問入浴を受けることができない在宅の身体障害者。 原則、月 2 回を限度とするが、ガイドライン（事務処理要領）により月 3 回以上利用の例外もある。 利用者負担なし。				
事業の実績・成果						
・障害者総合支援法に基づき、入浴が困難な在宅の身体障がい者（児）に対し、居宅訪問による入浴サービスを提供する事業を実施することにより、身体の清潔保持及び心身機能の維持を図り、地域における身体障がい者（児）の生活を支援した。						
事業費等の推移						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者数（人）		6	7	6	6	5
委託料（円）		5,233,750	5,450,000	4,600,000	4,000,000	4,025,000

業 名		日中一時支援事業			1152-08
担 当 課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,000,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,000,000 円	—
目	04	地域生活支援費	決 算 額	162,357 円	—
事業の目的		障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることにより、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図る。			
事業の概要		障がい者等からの申請に基づき、心身等の状態が支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択し、希望事業所がサービスの提供を行う。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者。			
事業の実績・成果					
・障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図り、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図った。					
登録事業所数 32 事業所 登録者数 35 人 利用者数 8 人					
事業費等の推移					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費（円）	53,240	17,496	69,984	93,932	162,357
延べ利用回数（回）	16	2	9	25	51
延べ利用時間（時間）	84	9	37	108	197

事業名		地域活動支援センター事業			1152-09
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	10,319,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	10,319,000 円	—
目	04	地域生活支援費	決 算 額	8,261,000 円	—
事業の目的		障がい者等の地域生活支援の促進を図る。			
事業の概要		地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センターの活動を支援する。 対象者：身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者			
事業の実績・成果					
・ 障がい者の社会復帰の促進を図るため、地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センター等に運営費等を補助した。 このことにより、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図ることができた。					
・ 補助金		NP0 法人地域活動支援センターこすもす		8,000,000 円	
・ 委託料		地域活動支援センターふれあい（古河市）		261,000 円	
こすもす					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者総数（人）		22	25	29	29
市内利用者数（人）		11	14	17	16
補助金（円）		8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
ふれあい					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市内利用者数（人）		5	3	2	1
委託料（円）		1,216,650	742,650	330,400	309,000
					261,000

事業名		移動支援事業		1152-10	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	25,000,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	25,000,000 円	—
目	04	地域生活支援費	決 算 額	17,422,917 円	—
事業の目的		障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すとともに、福祉の増進を図る。			
事業の概要		障がい者等からの申請に基づき、支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択しサービスの提供を受ける。 対象となる外出は、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等社会参加のための外出に限る。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者および難病患者。			
事業の実績・成果					
・屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会生活の促進を図った。					
登録事業所数 43 事業所 登録者数 139 人 利用者数 70 人					
事業費等の推移					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費（円）	22,912,009	21,752,318	21,823,341	19,872,142	17,422,917
延べ利用回数（回）	3,138	2,994	3,075	2,700	2,545
延べ利用時間（時間）	8,384	8,005	8,055	8,194	7,054

事業名		障害（児）者日常生活用具給付等事業			1152-14
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	24,290,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	24,290,000 円	—
目	04	地域生活支援費	決 算 額	23,189,004 円	—
事業の目的		障がい者（児）等に対して職業その他日常生活の能率向上を図る。			
事業の概要		在宅障がい者・児、小児慢性特定疾病児童に対して、視覚障害者用時計・移動用リフト・ストマ用装具等の給付等を行う。 自己負担は基準額の1割、月額上限 37,200 円、市民税非課税世帯は自己負担なし。			
事業の実績・成果					
・在宅障がい者（児）に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより日常生活の便宜を図った。 個人負担額は原則1割で、対象者・基準額・耐用年数等の基準がある。					
日常生活用具別内訳					
		延件数（件）	公費負担額（円）	給付内容	
介護・訓練支援用具		2	277,200	特殊寝台等	
自立生活支援用具		8	345,996	入浴補助用具等	
在宅療養等支援用具		11	469,840	電気式たん吸引器等	
情報・意思疎通支援用具		14	1,147,692	人工咽頭等	
排泄管理支援用具（※）		1,991	20,588,276	蓄便袋・蓄尿袋等	
住宅改修		2	360,000	手すり・段差解消工事等	
小児慢性特定疾病分		0	0		
合 計		2,028	23,189,004		
※継続的に給付する用具の件数は、1 か月分の申請を1件とする。					
日常生活用具給付費の推移 （単位：円）					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
金 額	19,889,131	21,484,872	23,650,867	22,030,230	23,189,004

事業名		障害者相談支援事業			1152-15	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	18,982,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	18,982,000 円	—	
目	04	地域生活支援費	決 算 額	18,920,344 円	—	
事業の目的		在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援する。				
事業の概要		・委託：行田市、羽生市との共同設置による北埼玉障がい者生活支援センターが一般的な相談に対応。 ・計画相談：指定をうけた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応。 ・一般相談：指定をうけた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応。 ・身体障害者相談員及び知的障害者相談員を委嘱。				
事業の実績・成果						
・障がい者相談支援業務を社会福祉法人に委託し、相談ケースに応じた支援を個々に行い、障がい者の自立や社会参加の促進を図った。 （委託先：社会福祉法人 幸生会（羽生市）、社会福祉法人 共愛会（羽生市））						
相談支援を利用している障がい者等の人数（単位：人）						
		幸生会	共愛会	計		
身体障がい者		30	4	34		
知的障がい者		4	73	77		
精神障がい者		0	115	115		
そ の 他		0	0	0		
合 計		34	192	226		
相談件数（支援方法別）（単位：件）						
		幸生会	共愛会	計		
訪 問		208	525	733		
来 所		1	25	26		
電 話		181	194	375		
同 行		8	97	105		
合 計		398	841	1,239		
負担金（委託料）の推移（単位：円）						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
加須市		10,891,778	10,866,639	10,949,857	11,007,238	12,298,770
・障がい者基幹相談業務を社会福祉法人に委託し、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として相談ネットワークの構築及び体制強化を図ることにより、障がい者（児）が住み慣れた地域で安心して暮らせるために、ネットワーク会議等を定期的に行い総合的な相談事業を行った。 （委託先：社会福祉法人 幸生会（羽生市）、社会福祉法人 共愛会（羽生市））						
負担金（委託料）の推移（単位：円）						
		令和5年度	令和6年度			
加須市		5,856,804	6,477,574			
・北埼玉地域 地域生活支援拠点等の整備 障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、障がい者の生活を地域全体で支えるための、5つの機能を整備し、サービスを提供できる体制を構築した。						

- ・身体障害者相談員及び知的障害者相談員への謝金 計 140,000 円
(内訳)
 - 身体障害者相談員 20,000 円×4 名 = 80,000 円
 - 知的障害者相談員 20,000 円×3 名 = 60,000 円
- ・身体障害者相談員連絡協議会会費 1,000 円×4 人 = 4,000 円

事業名		障害者就労支援事業			1154-01	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	3,532,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	3,532,000 円	—	
目	04	地域生活支援費	決 算 額	3,423,979 円	—	
事業の目的		障がい者に対し、就労に関する相談支援や情報提供等を行うことで、障がい者の経済的自立と社会参加の促進を図る。				
事業の概要		[北埼玉障がい者就労支援センター] 障害者の就労に関する相談支援等を、加須市、羽生市、行田市との共同設置により社会福祉法人共愛会へ委託する。 [就職支度金] 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金 36,000 円を支給し、社会復帰の促進を図る。				
事業の実績・成果						
・北埼玉障がい者就労支援センター 委託料 3,027,979 円 平成 22 年 8 月から、北埼玉地区（行田市・加須市・羽生市）の共同設置により、羽生市内の施設へ委託し運営している。 登録により、就労準備支援、職場開拓・就職支援、職場定着支援、離職時支援、生活支援を実施した。 委託先 社会福祉法人 共愛会 登録者数 331 人 年間就労者数 22 人						
利用者人数・年間就労者数・支援件数の推移						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者人数（人）		70	81	84	93	92
年間就労者数（人）		11	18	22	20	22
支援 件 数 （ 件 ）	就労準備支援（件）	38	34	44	55	53
	職場開拓、就職支援（件）	64	57	90	93	88
	職場定着支援（件）	129	155	153	96	124
	離職時支援（件）	19	15	20	19	17
	生活支援（件）	86	75	86	86	118
・就職支度金支給 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図った。 対象者数 11 人 396,000 円（36,000 円×11 人）						

事業名		障害者スポーツ交流事業			1155-01
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	235,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	235,000 円	—
目	04	地域生活支援費	決 算 額	213,247 円	—
事業の目的		障害者（児）及び介護者をはじめとして、スポーツを通して交流を図る。			
事業の概要		加須市民体育館内において各障害者団体および介護者を中心としてミニ運動会を開催する。 ・パン取り競争ほか軽度な競技を中心に個人種目および団体対抗種目を実施する。 ・競技の進行等を団体の役員にも協力依頼する。 市民による障がい者スポーツ振興・普及の取組みを支援する。			
事業の実績・成果					
・感染症予防の対策を行いながら、障害者団体を中心としたスポーツ交流大会を開催した。					
競技種目：ポッチャ パン取り競争 輪投げ					
お楽しみ抽選会（合併 15 周年記念）					
参加者：加須市内で活動する障害者団体・加須市内に居住する障害者（児） 13 団体 計 230 人					
・消耗品費（賞品、パン他） 113,847 円 ・食糧費（参加者用お茶） 31,200 円 ＊パン取り競争用パンや参加者用お茶は、障害者施設から調達					
・会場借上料（パストラルかぞ） 1,200 円					
協力団体：加須市スポーツ推進委員協議会 6 人 加須市民生委員・児童委員協議会 5 人 埼玉県立誠和福祉高等学校（学生ボランティア） 10 人					
・【負担金】一般社団法人 埼玉県障害者スポーツ協会特別会費 67,000 円					

事業名		障害者コミュニケーション支援事業		1155-03	
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	10,894,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	11,340,000 円	—
目	04	地域生活支援費	決 算 額	9,169,322 円	—
事業の目的		聴覚、音声機能、視覚等の障がいのため、意思疎通を図ることに支障のある障がい者に対し、意思疎通の円滑化を図り、社会参加を推進する。			
事業の概要		聴覚障がい者のコミュニケーション支援・情報保障のため、手話通訳者等を派遣する。 登録手話通訳者認定試験の実施 また、手話通訳者等を養成するため、養成講座等を開催する。			
事業の実績・成果					
・聴覚障がい者等からの依頼を受け、市の登録手話通訳者を派遣することにより、障がい者の意思疎通の円滑化と社会参加の促進を図った。社会福祉協議会に手話奉仕員養成講座を、聴覚障害者協会に手話フォローアップ講座をそれぞれ委託した。登録手話通訳者の増員を目的にした手話通訳者養成講座は、直営にて実施した。					
・手話通訳者派遣					
			派遣体制（人）	派遣件数（人）	
専任手話通訳士			1	349	
市登録手話通訳者			6	157	
県派遣（埼玉聴覚障害者福祉会に委託）			—	2	
その他			—	7	
※平成28年9月より専任手話通訳者による市直営の派遣を開始。					
・手話通訳者利用内容内訳					
(単位：件)					
利 用 内 容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
生 活	74	90	48	61	46
医 療	253	276	316	294	285
職 業	4	25	8	12	19
教 育	10	14	14	20	22
そ の 他	42	39	71	68	73
合 計	383	444	457	455	445
・手話奉仕員養成講座 全52回(入門課程22回、基礎課程30回) 1,328,800 円					
・手話フォローアップ講座 全20回 378,500 円					
・運営委員会、認定試験審査会の開催回数5回					
手話講習会受講者数					
(単位：人)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
手話奉仕員養成講座（入門）	16	9	13	9	25
手話奉仕員養成講座（基礎）	15	9	4	7	5
手話フォローアップ講座	8	8	8	23	4
・電話リレーサービス利用料の助成					
電話リレーサービスの利用者登録を行った方からの申請を受け、7名の交付決定を行い、合計4,705 円の助成金を支給した。					

事業名		社会参加促進事業			1155-04
担当課		障がい者福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	9,357,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	9,357,000 円	—
目	04	地域生活支援費	決 算 額	7,352,714 円	—
事業の目的		障がい者の経済的負担の軽減と社会参加等の促進を図る。			
事業の概要		・ 障がい者自動車運転免許取得費補助…12 万円を限度 ・ 身体障がい者自動車改造費補助…10 万円を限度 ・ 自動車燃料費助成…月額 1,000 円（上限） ・ 福祉タクシー利用料助成…年間 36 枚 ・ ファクシミリ利用料助成…月額 1,000 円（上限）			
事業の実績・成果					
・ 障がい者が在宅においてできる限り自立した生活を行い、積極的に社会参加ができるよう日常生活の利便性の経済的負担の軽減を図るため、各種助成を行った。					
障がい者の社会参加を促進するため、申請により運転免許の取得、自動車改造費等を助成する。					
・ 障害者自動車運転免許取得費補助（限度額 120,000 円） 2 件 240,000 円					
・ 身体障害者自動車改造費補助（限度額 100,000 円） 4 件 334,870 円					
・ 自動車燃料費助成（月 1,000 円上限） 3,840,550 円（延べ 1,329 名）					
・ 福祉タクシー利用料助成（手数料・利用券印刷代金） 2,814,000 円（延べ 4,360 件）					
・ ファクシミリ利用料助成（月 1,000 円上限） 123,294 円（延べ 27 件）					
事業費の推移		(単位：円)			
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
事業費合計	8,434,332	8,321,983	8,167,296	8,195,560	7,352,714
障害者自動車運転免許取得費補助金	240,000	448,000	840,000	840,000	240,000
身体障害者自動車改造費補助金	214,740	400,000	97,100	400,000	334,870
自動車燃料費助成	4,463,750	4,207,550	4,247,100	3,925,250	3,840,550
福祉タクシー利用料助成	3,236,140	3,078,590	2,830,050	2,888,160	2,180,000
ファクシミリ利用料助成	279,702	187,843	153,046	142,150	123,294

事業名		外国人高齢者福祉手当支給事業			1142-33
担当課		国保年金課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	120,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	120,000 円	—
目	05	国民年金費	決 算 額	120,000 円	—
事業の目的		元気な高齢者を支援するため、昭和 57 年以前の年金制度における国籍要件により、国民年金に加入できなかった外国人高齢者の福祉の増進を図る。			
事業の概要		日本国籍を有しない者で、かつ大正 15 年(1926 年) 4 月 1 日以前に生まれた者に対し、福祉手当(1 人当たり月額 10,000 円)を支給する。			
事業の実績・成果					
・ 支給対象者を的確に把握し、支給した。					
対象者		外国人高齢者 1 人			
支給額		10,000 円×1 人×12 月=120,000 円			
支給日		上半期 9 月、下半期 3 月			
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
支給人数 (人)	1	1	1	1	1
金額 (円)	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

事業名		国民年金事業			1171-01
担当課		国保年金課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	3,263,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	3,676,000 円	—
目	05	国民年金費	決 算 額	3,479,646 円	—
事業の目的		国民年金の身近な窓口として、市民の老齢、障害、死亡に関して必要な給付を行い、健全な国民生活の維持・向上を図る。			
事業の概要		国民年金の加入・喪失・保険料免除関係、老齢福祉年金、障害者年金等給付関係業務（年金事務所への送達含む）や年金相談、年金の普及啓発を行う。 ・令和6年度保険料月額 16,980 円			
事業の実績・成果					
・ 国民年金にかかる各種届出書や給付請求書等の受付において、内容の確認や必要書類の点検を十分にを行い、遅滞なく年金事務所へ進達した。					
進達件数			(単位：件)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
資格関係	4,931	5,327	4,536	4,712	4,775
給付関係	649	701	155	143	153
※給付関係のうち「未支給年金請求申請」について、ねんきんサテライト加須と協議の上、令和4年度からは法定受託事務のみを受け付けることとした。 （未支給年金請求申請進達件数）令和3年度：511件 → 令和4年度：18件 令和5年度：10件、令和6年度：8件					
<市内被保険者数等>					
第1号被保険者数			(単位：人)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
被保険者数	12,067	11,863	11,476	11,426	11,334
保険料免除等件数			(単位：件)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
法定免除	911	941	1,003	1,046	1,092
申請免除	1,976	1,977	1,863	1,922	1,982
学生納付特例	1,336	1,310	1,214	1,157	1,122
納付猶予	657	637	602	596	617
計	4,880	4,865	4,682	4,721	4,813

事業名		後期高齢者医療広域連合負担事業			1135-04
担当課		国保年金課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,112,925,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,112,925,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	1,109,582,803 円	—
事業の目的		国民皆保険を堅持し、将来にわたり安定的で持続可能なものとしていくため、後期高齢者医療制度の健全な運営を図る。			
事業の概要		広域連合運営に係る経費を各市町村が広域連合規約の規定に基づき、人件費、光熱水費等の①共通経費分や、②医療給付費に要する経費対象額の 1/ 1 2 相当額を負担する。			
事業の実績・成果					

・埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、医療給付に要する経費を負担した。

療養給付費負担金 1,075,225,000 円

・埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、広域連合の共通経費を構成市町村で負担した。

埼玉県後期高齢者医療広域連合市町村負担金

(1)均等割：共通経費総額の 10%を構成市町村で除して算出

(2)人口割：共通経費総額の 45%に構成市町村の令和 6 年 3 月 31 日現在の総人口に占める各市町村の割合を乗じて算出

(3)高齢者人口割：共通経費総額の 45%に構成市町村の令和 6 年 3 月 31 日現在の満 75 歳以上人口に占める各市町村の割合を乗じて算出

共通経費負担金 34,357,803 円

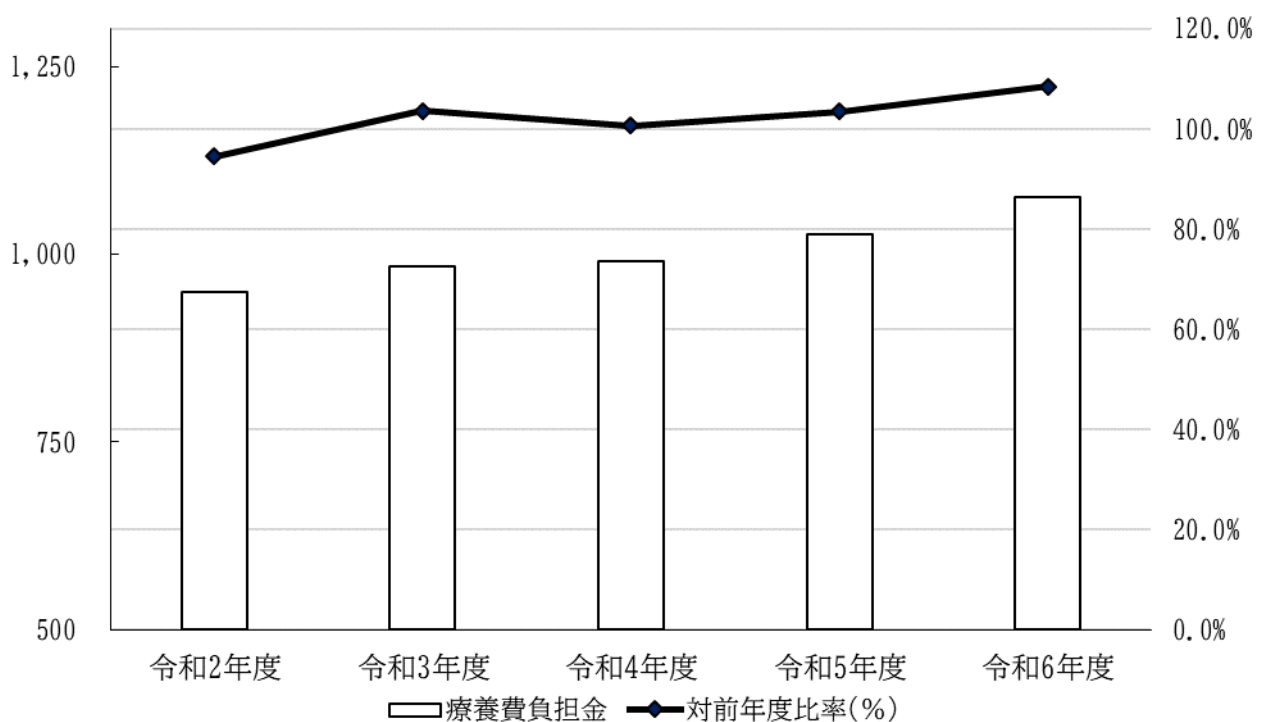
(単位：千円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
療養給付費負担金	949,094	984,073	990,948	1,025,930	1,075,225
市町村負担金 (共通経費)	25,315	25,719	24,534	38,702	34,358

負担金（百万円）

療養費負担金の推移

対前年度比率



事業名	後期高齢者医療特別会計繰出事業			1135-06
担当課	国保年金課		現 年	前年度からの繰越
款	03 民生費	当初予算額	357,747,000 円	—
項	01 社会福祉費	最終予算額	360,583,000 円	—
目	06 老人福祉費	決 算 額	332,716,044 円	—
事業の目的	高齢期における適切な医療の確保を図るため、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図る。			
事業の概要	低所得者等の保険料負担軽減分（7割・5割・2割）や一般事務費、健康増進事業費等について一般会計から繰り出しを行う。			

事業の実績・成果

・埼玉県後期高齢者医療広域連合の条例の定めにより、所得の少ない者について、保険料の均等割額（45,930 円）の軽減賦課に基づき減額した額を基礎として負担した。

・埼玉県後期高齢者医療基盤安定事業負担金 310,477,044 円
 県負担分(3/4) 232,857,783 円 市負担分(1/4) 77,619,261 円

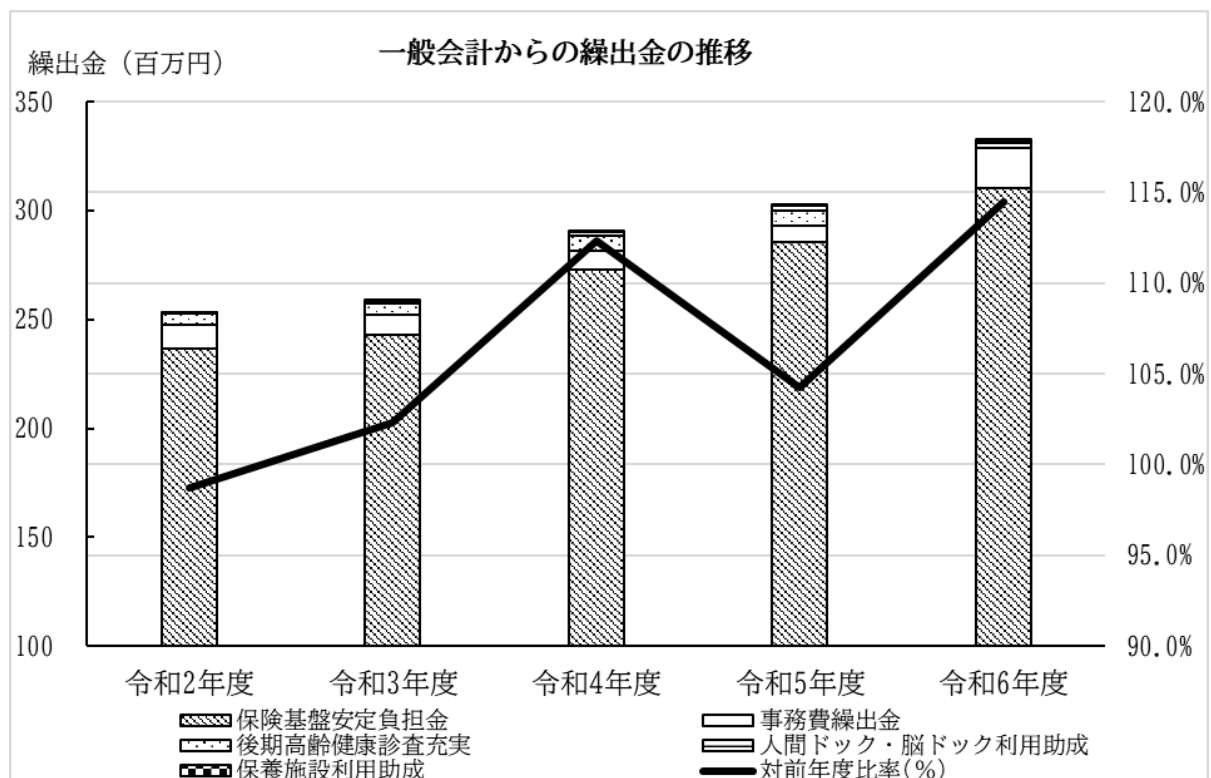
・低所得者軽減分（法 99①関係）

	対象被保険者数 (人)	1人当たり軽減額(年間) (円)	軽減額総計 (円)
2割軽減	2,296	9,186	20,481,371
5割軽減	2,501	22,965	55,635,166
7割軽減	7,528	32,151	232,591,840
合計	12,325	—	308,708,377

被扶養者軽減分（法 99②関係）

	対象被保険者数 (人)	1人当たり軽減額(年間) (円)	軽減額総計 (円)
5割軽減	97	22,965	1,768,667

・低所得者等に対する保険料軽減の市負担分や一般事務費、保養施設利用助成、人間ドック等利用助成の各事業経費分を後期高齢者医療特別会計へ支出した。



事業名		老人クラブ支援事業		1141-22	
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	5,614,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	5,614,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	5,559,585 円	—
事業の目的		健康づくり・介護予防活動、友愛活動及び社会活動への積極的な参画を通じて、明るい長寿社会づくりに資する。			
事業の概要		老人クラブ連合会におけるグラウンド・ゴルフ大会、交通安全教室、研修会、文化創作展等の開催支援、地域内での社会奉仕活動等を支援する。			
事業の実績・成果					
高齢者を主体とする地域における自主的な組織である老人クラブに対し、生きがいと健康づくりの支援を行った。また、令和 6 年度より、埼玉県老人クラブ連合会の、友愛モデル市町村に選出され、騎西地域を中心に友愛活動のより一層の推進を行っている。					
【老人クラブ数など】					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
クラブ数	92	91	90	87	88
会員数（人）	3,547	3,478	3,245	3,112	3,029
補助金交付額(円)	5,625,317	5,660,000	5,660,000	5,522,000	5,559,585
<加須市老人クラブ連合会の主な活動>					
総会、グラウンド・ゴルフ大会（年 1 回）、日帰り研修、「加須市老連だより」年 2 回発行、県老人クラブ連合会主催行事への参加、健康づくり講演会、会員が制作した絵画・工芸の作品の展示を行う「趣味の作品展」の開催					
<地域ごとの活動>					
・加 須…総会、グラウンド・ゴルフ大会（年 1 回）、ワナゲ大会（年 2 回）、文化創作展、高齢者交通安全教室、県外研修、埼玉県老人クラブ連合会主催イベントへの参加、市老人クラブ連合会主催行事への参加					
・騎 西…総会、グラウンド・ゴルフ大会（年 1 回）、県外研修、高齢者交通安全教室、市老人クラブ連合会主催行事への参加、交流会（落語）、ワナゲ・マグダーツ大会（年 1 回）					
・北川辺…総会、花のボランティア、ワナゲ大会（年 1 回）、県外研修、市老人クラブ連合会主催行事への参加、雑巾寄付事業、グラウンド・ゴルフ大会（年 2 回）					
・大利根…総会、県外研修、グラウンド・ゴルフ大会（年 1 回）、友愛訪問、高齢者交通安全教室、市老人クラブ連合会主催行事への参加					

事業名		ひとり暮らし高齢者地域交流助成事業			1141-25
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	400,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	400,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	400,000 円	—
事業の目的		ひとり暮らし高齢者の見守りや仲間づくり、生きがいづくりを促進し、要介護状態になることを予防する。			
事業の概要		社会福祉協議会に対し、ひとり暮らし高齢者地域交流事業を推進するための補助金を交付する。			
事業の実績・成果					
社会福祉協議会が実施する「ひとり暮らし高齢者地域交流事業」の推進を図るため、社会福祉協議会に対し補助金を交付し、地域交流を通じた高齢者の仲間づくりや生きがいづくりを推進した。					
内 容	ひとり暮らし高齢者を対象としたふれあい会食会の実施				
実 施	各地域・支部社協				
【実施状況】					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施回数（回）	0	1	15	46	58
参加延数（人）	0	30	354	1,051	1,240
※社会福祉協議会に対し、事業費の一部を補助					
※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は事業が中止、令和3年度は1回のみの実施となった。					

事業名		高齢者福祉管理事業			1142-01
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,887,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	3,057,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	2,763,427 円	—
事業の目的		高齢者福祉事務を執行し、高齢者に対する支援を行う。			
事業の概要		社会福祉主事資格の取得の促進、社会福祉法人への市有地等貸付け、支援が必要な高齢者の情報収集、ねんりんピック先催大会等視察調査を行う。			
事業の実績・成果					
高齢者福祉事務を適切に執行し、諸経費を支出した。					
【高齢者福祉管理費年度別実績】			(単位：円)		
令和 2 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
10,677,017		2,090,112	2,488,494	2,701,839	2,763,427
民生委員の訪問調査によって、ひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者のみの世帯の状況を把握し、その結果データを台帳に入力・管理することで、緊急時の連絡体制の確保など高齢者支援の基本情報として活用することができた。					
また、災害時要援護者台帳との連携を進め、災害時に支援が必要な高齢者の把握ができるようにした。					
調査方法	民生委員による訪問調査				
調査結果	65 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯 4,795 世帯（令和 7 年 3 月 31 日時点）				
	65 歳以上のみの高齢者世帯 4,856 世帯（令和 7 年 3 月 31 日時点）				
台帳活用	市が実施する福祉事業、社会福祉協議会や高齢者相談センターが実施する事業の基本情報として活用				
台帳更新	随時、調査結果を入力し台帳を更新				
【ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯数】			(単位：世帯)		
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ひとり暮らし高齢者世帯	3,899	4,117	4,370	4,524	4,795
高齢者のみの世帯	4,092	4,369	4,502	4,677	4,856
合計世帯数	7,991	8,486	8,872	9,201	9,651
※世帯数は、民生委員の訪問調査により把握した数					
【ねんりんピック先催大会等視察調査】					
当市は令和 8 年度に開催される「ねんりんピック彩の国さいたま 2026」のグラウンド・ゴルフの会場地であり、先催県である鳥取県湯梨浜町を視察し、関係者との意見交換及び調査等を行った。					

事業名		ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業			1142-07
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	11,100,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	11,100,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	10,270,000 円	—
事業の目的		介護される人が尊厳をもって自立した日常生活を送ることができるよう、在宅で介護を行う家族介護者を支援する。			
事業の概要		要介護4又は5の認定を受け、在宅でねたきりの高齢者を介護する家族介護者に対し、ねたきり高齢者等居宅介護者慰労金を支給する。			
事業の実績・成果					
在宅で要介護高齢者を介護している家族等に対し、慰労金を支給することによって、介護者の負担の軽減を図ることができた。					
【年度別・介護度別支給状況】					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延人数（人）	要介護4 322	要介護4 344	要介護4 342	要介護4 337	要介護4 326
	要介護5 202	要介護5 191	要介護5 188	要介護5 203	要介護5 192
支給額（円）	10,625,000	10,590,000	10,510,000	11,090,000	10,270,000
※令和元年度から事業を一般会計に移行して実施					

事業名		家族介護用品支給事業		1142-08		
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	3,412,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	3,412,000 円	—	
目	06	老人福祉費	決 算 額	2,351,217 円	—	
事業の目的		介護される人が尊厳をもって自立した日常生活を送ることができるよう、在宅で介護を行う家族介護者を支援する。				
事業の概要		在宅で要介護状態となっている高齢者を常時介護している介護者に対し、紙おむつ等の介護用品を支給する。				
事業の実績・成果						
在宅で、要介護状態になっている高齢者（ねたきり又は認知症などで常時おむつを使用している非課税世帯の人）を常時介護している家族に、介護用品を支給することにより、本人及び介護している家族の精神的・経済的負担の軽減を図ることができた。						
【年度別支給状況】						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用件数（件）		46	52	62	40	37
利用実績（円）		2,709,287	2,882,379	3,325,056	2,636,569	2,342,450
※各年度3月31日現在の件数						
※令和3年度から事業を一般会計に移行して実施						
※9割の商品に価格高騰があったが、6,300円分の支給額は据え置きのまま実施						

事業名		緊急通報システム整備事業			1142-20
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	4,067,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	4,011,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	2,293,115 円	—
事業の目的		緊急通報装置を貸与することにより、日常生活の緊急事態における高齢者の不安を解消し、もって高齢者福祉の向上を図る。			
事業の概要		ひとり暮らし高齢者等が緊急時において、救急車を呼ぶことができる装置及びペンダントを貸与し、定期的な安否確認と 24 時間 365 日対応の健康相談により利用者を見守る。			
事業の実績・成果					
65歳以上のひとり暮らし高齢者等で身体上慢性的な疾患により常時注意を要する方に、緊急通知を受信する機器を貸与することで、緊急事態における不安を解消した。					
【事業内容】 機器の設置・撤去工事、機器点検訪問 電話健康相談、電話による定期的な安否確認、緊急時の救急搬送要請					
【貸与機器】 緊急通報用電話機、携帯用無線発信機（ペンダント）					
【緊急通報システム利用件数及び設置台数】					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
緊急出場件数	31	16	22	18	20
搬送件数	17	12	18	16	18
電話健康相談※	51	188	18	28	36
設置台数	136	132	132	134	123
うち新規設置台数	21	17	15	24	9
※電話健康相談については、平成 26 年 1 月から開始					

事業名		配食サービス事業			1142-24
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	18,660,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	18,660,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	14,132,400 円	—
事業の目的		ひとり暮らし高齢者等の見守り及び栄養面における在宅生活の自立を支援し、要介護状態への進行を防止する。			
事業の概要		在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等に属する人のうち調理することが困難な人に対し、委託により栄養バランスのとれた食事を提供する（週に3回まで）。費用は1食900円(自己負担：300円、市負担：600円)			
事業の実績・成果					
配食サービスの提供によって、在宅のひとり暮らし高齢者等の栄養状態の維持・改善とともに見守りの役割を果たすことができた。					
【対象者】 おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する方で、調理を行うことが困難な方					
【事業内容】 昼食時に、栄養バランスを考慮して調理された食事を居宅に配達する。 また、食事の配達時に安否の確認を行い、異常がある場合は速やかに関係機関への連絡等を行う。 なお、食事の配達は、1日1食、1週間に3回まで、月曜日から金曜日までの昼食とする。					
【実施状況】					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用人数（人）	213	233	254	220	180
利用実績（円）	12,946,180	13,981,480	14,881,640	16,918,800	14,132,400
※各年度3月31日現在の人数					
※平成27年度から一般会計に移行					

事業名		生活管理指導短期入所事業			1142-25
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	855,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	855,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	119,700 円	—
事業の目的		基本的生活習慣等が欠如している高齢者等を短期間入所させ、生活習慣等の指導及び支援を行うことにより、当該高齢者等の体調の調整を図るとともに、要介護状態への進行を予防する。			
事業の概要		養護老人ホーム又は特別養護老人ホームに短期間入所させ、生活習慣等の指導及び支援を行う。 入所期間：原則 7 日以内 対象者：65 歳以上 利用者負担：1 日あたり 2,200 円（生活保護世帯は負担なし） 市負担：1 日あたり 5,700 円（生活保護世帯の利用は 1 日あたり 7,900 円）			
事業の実績・成果					
高齢者が、基本的生活習慣等が欠如している場合や緊急的に保護を要する状態にある場合等に、高齢者相談センターと連携して当該高齢者等を短期入所施設に入所させ、福祉の向上を図ることができた。					
【年度別実績】					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用人数（人）	6	9	12	8	1
利用日数（日）	97	148	151	88	21
利用実績（円）	436,500	674,800	736,700	444,400	119,700
※令和 3 年度から事業を一般会計に移行して実施					

事業名		養護老人ホーム入所事業			1142-26	
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	60,298,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	60,298,000 円	—	
目	06	老人福祉費	決 算 額	60,183,318 円	—	
事業の目的		住居の確保を通じ、高齢者の更なる福祉の充実を図る。				
事業の概要		65 歳以上の人で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な人を養護老人ホームに入所措置する。				
事業の実績・成果						
入所判定委員会を経て、居宅において養護を受けることが困難な方を養護老人ホーム等へ入所させ、生活の安定を図った。						
【老人ホーム入所判定委員会の開催及び新規入所者数】						
老人ホーム入所判定委員会			老人ホーム（養護・特養）			
開催回数（回）	期 日	議 決 日	新規入所者数（人）			
1	令和7年2月14日	2月14日	2 (加須2)			
※養護者による虐待等により、生命又は身体に重大な危険が生じているおそれがあると認められる高齢者を一時的に保護する場合は、入所判定委員会の開催を待つことなく入所措置を行うことができる。						
【養護老人ホーム等入所状況】 令和7年3月31日現在 (単位:人)						
あいせん ハイム	偕楽荘	熊 谷 ホーム	ひとみ園	みずほの里	愛泉苑	合計
18	2	3	1	1	0	25
【老人ホーム入所事業費】 (単位:円)						
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
委託料	53,089,351	48,242,342	48,511,092	56,295,422	60,173,918	

事業名		敬老祝金支給事業			1142-28	
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	48,832,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	45,832,000 円	—	
目	06	老人福祉費	決 算 額	41,563,503 円	—	
事業の目的		高齢者に対して長寿の祝福と敬老の意を表すとともに、所在を確認する。				
事業の概要		8 月 1 日時点で市内に 1 年以上居住し、年度内に 77 歳・88 歳・99 歳・100 歳を迎える人に敬老祝金（ちょこっとおたすけ絆サポート券）を贈呈（併せて所在確認を実施）する。 【贈呈額】 77 歳：10,000 円 88 歳：30,000 円 99 歳：50,000 円 100 歳：50,000 円				
事業の実績・成果						
・市内に居住する高齢者に対し、敬老の意を表するとともに、長寿を祝福するため、敬老祝金（ちょこっとおたすけ絆サポート券）を贈呈した。						
対 象 者 基準日の 8 月 1 日現在において、次のいずれにも該当する方 ・本市に引き続き 1 年以上居住し、住民基本台帳に記録されている方 ・基準日の属する年の 4 月 1 日からその翌年の 3 月 31 日までにおいて、年齢が満 77 歳、満 88 歳、満 99 歳又は満 100 歳となる方						
祝 金 額 満 77 歳 10,000 円×1,812 人=18,120,000 円 満 88 歳 30,000 円× 571 人=17,130,000 円 満 99 歳 50,000 円× 64 人= 3,200,000 円 満 100 歳 50,000 円× 41 人= 2,050,000 円 贈呈総額 40,500,000 円 換金済額 38,810,000 円						
贈呈方法 満 77 歳の方へは郵送（簡易書留）。 満 88 歳、満 99 歳、満 100 歳の方へは、民生委員が対象者本人へ直接手渡し（一部、市職員配布）。						
【敬老祝金贈呈者数及び祝金額】						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
贈呈 (人)	満 77 歳	1,342	1,239	950	1,613	1,812
	満 88 歳	593	574	540	609	571
	満 99 歳	35	43	58	61	64
	満 100 歳	35	28	35	42	41
	合 計	2,005	1,884	1,583	2,325	2,488
祝金計(円)		59,990,000	45,550,000	39,850,000	39,550,000	40,500,000
換金済額(円)		—	—	—	37,851,500	38,810,000
換金率(%)		—	—	—	95.71	95.83

事業名		敬老会助成事業			1142-29	
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	8,878,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	8,671,000 円	—	
目	06	老人福祉費	決 算 額	8,670,200 円	—	
事業の目的		高齢者の長寿を祝い、高齢者の生きがいの醸成を図る。				
事業の概要		敬老会を主催する社会福祉協議会に補助金を交付し、各地域における敬老会の開催を支援する。				
事業の実績・成果						
・社会福祉協議会が主催する敬老会の事業費の一部を補助し、加須市敬老会事業の推進を図った。 補助金交付額 8,670,200 円（運営費、会場設営費） 敬老会での催し 祝状・記念品贈呈、アトラクションの披露等						
【敬老会及び寿賀表彰対象者数】				(単位:人)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者(75歳以上)		15,608	16,356	17,287	18,114	19,034
米寿(88歳)		593	574	540	611	571
白寿(99歳)		35	43	58	61	64

事業名		金婚等祝賀事業		1142-30			
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越		
款	03	民生費	当初予算額	970,000 円	—		
項	01	社会福祉費	最終予算額	970,000 円	—		
目	06	老人福祉費	決 算 額	859,120 円	—		
事業の目的		市民の郷土への愛着と高齢者福祉への関心を高める。					
事業の概要		・ 金婚（婚姻 50 周年）に際し、市長の祝状及び額を贈呈する。 ・ 寿賀（100 歳）に際し、市長の祝状と額を贈呈する。 ・ 寿賀（99 歳、88 歳）に際し、市長の祝状と筒を贈呈する。					
事業の実績・成果							
市民の金婚及び寿賀の慶事に対し、市が祝意を表することにより、市民の郷土への愛着が高まり、市民と行政による協働のまちづくりの推進が図られた。							
1 金婚に対する祝状及び額の贈呈対象者数【高齢介護課及び各総合支所福祉健康担当】							
・ 贈呈者数：79 組							
年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
贈呈（組）		59	75	75	72	79	
決算（円）		121,710	180,109	173,328	242,686	491,007	
2 寿賀に対する市長の祝状及び筒又は額の贈呈対象者数。【高齢介護課及び各総合支所福祉健康担当】							
・ 贈呈者数 100 歳：41 人、99 歳：65 人、88 歳：582 人							
年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
贈呈（人）	100 歳	男	4	3	5	10	
		女	31	25	30	36	31
		計	35	28	35	42	41
	99 歳	男	4	7	9	13	12
		女	31	36	49	48	52
		計	35	43	58	61	64
	88 歳	男	191	197	176	231	213
		女	402	377	364	378	358
		計	593	574	540	609	571
決算（円）		279,606	354,384	354,384	354,384	368,113	

事業名		社会福祉法人による介護保険低所得者対策事業			1142-31	
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	371,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	371,000 円	—	
目	06	老人福祉費	決 算 額	0 円	—	
事業の目的		低所得者の介護保険サービスの利用促進を図る。				
事業の概要		社会福祉法人等が対象者に対して利用者負担の 1/4（高齢福祉年金受給者は 1/2、生活保護受給者は居住費のみ全額）の軽減を行い、利用者負担を軽減した総額のうち、本来受領すべき利用者負担収入の 1%を超えた部分の 1/2 を上限として、市が社会福祉法人に助成する。				
事業の実績・成果						
本事業は、生計困難者に対して介護保険サービスの利用者負担を軽減している社会福祉法人等に助成するものであるが、要件に該当する法人等がなかった。						
・ 社会福祉法人等利用者負担軽減対象者 0 人（うち介護保険サービス利用者 0 人） ・ 利用者負担軽減対象者の利用実績を有する社会福祉法人 0 施設 ・ 施設への助成額 0 円 （対象者に対する軽減額が、施設が本来受領すべき利用者負担収入額の 1%未満のため）						
【事業実績】						
区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用人数(人)		5	4	3	0	0
予算額(円)		371,000	371,000	371,000	371,000	371,000
決算額(円)		0	0	0	0	0

事業名		介護サービス利用者負担助成事業			1142-32
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	35,137,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	35,137,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	33,923,450 円	—
事業の目的		要介護又は要支援の認定を受け、在宅介護サービスを利用している低所得者に対し、利用者負担額の一部を助成することにより経済的負担を軽減する。			
事業の概要		市民税非課税世帯の在宅介護サービス利用者が申請することにより、自己負担額の一部(25%)を助成する。			
事業の実績・成果					
新規対象者及び未申請者宛に毎月勧奨通知を送付し、事業の周知に努めた。その結果、申請件数は増加するなど、低所得者の経済的負担を軽減するとともに、在宅での介護サービスを普及することができた。					
【介護サービス利用者負担助成利用状況】					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象件数(件)	13,692	14,435	15,601	16,091	16,827
申請件数(件)	13,251	14,094	15,114	15,332	15,704
助成額(円)	29,102,570	30,494,231	32,172,886	33,066,543	33,923,450

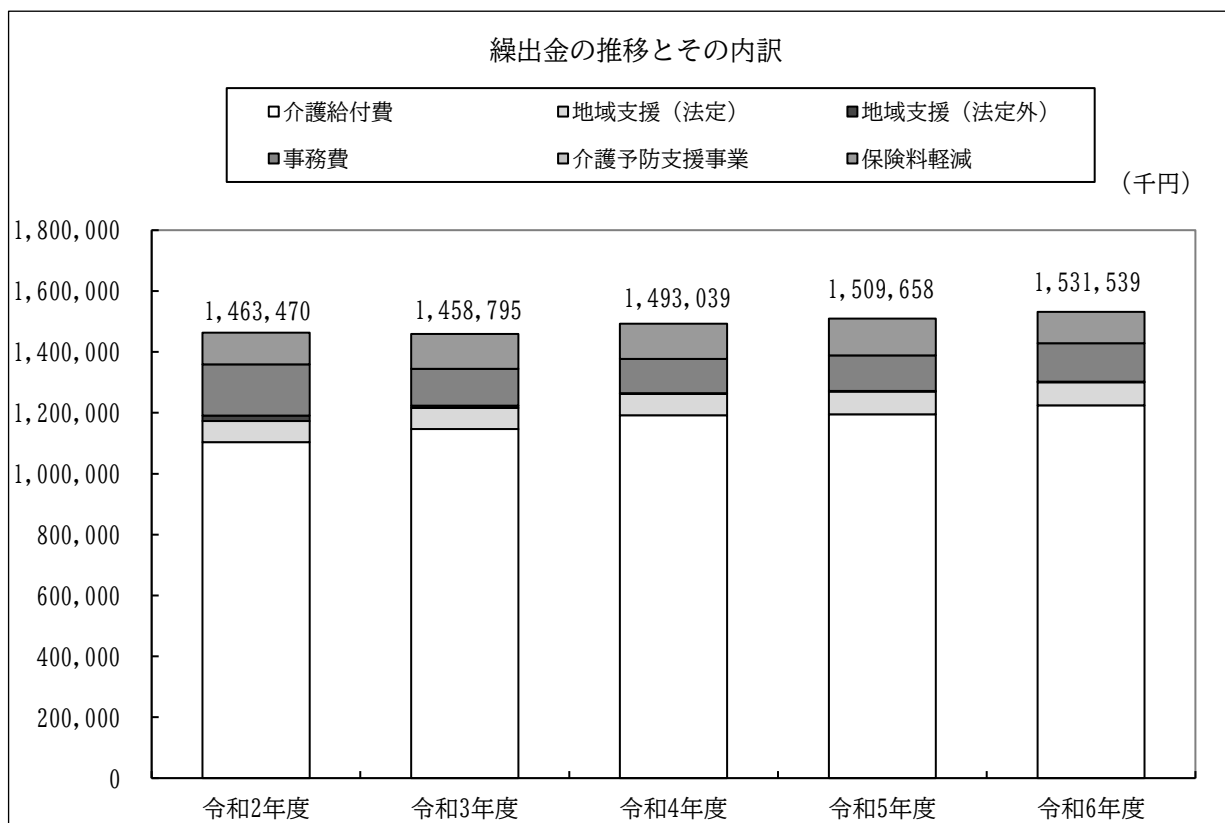
事業名		高齢者住宅改修費助成事業（新設）		1142-34	
担当課		高齢介護課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,500,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,500,000 円	—
目	06	老人福祉費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		介護保険の要介護等認定に該当しない高齢者に対し、住宅のバリアフリー改修に係る費用を助成し、転倒等のリスクを低減することにより、高齢者が要介護等状態となることを予防する。			
事業の概要		介護保険の要介護等認定において非該当となった者のうち、転倒等のリスクが高いと認められる者に対し、申請に基づき住宅改修費の一部（対象工事に係る経費の3分の2の額・上限額10万円）を助成する。			
事業の実績・成果					
介護保険の要介護認定において非該当となった者へ、認定結果とともに本事業の案内を送付し、事業の周知に努めたが、申請者はいなかった。					
・介護保険の要介護認定における非該当となった人数 31 人					
・そのうち申請時や調査時に住宅改修を希望した人数 3 人					
【事業実績】					
		区 分	令和6年度		
		申請人数（人）	0		
		助成額 （円）	0		

事業名		介護施設整備促進事業		1144-04	
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	0 円	98,460,000 円
項	01	社会福祉費	最終予算額	19,683,000 円	98,460,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	11,994,000 円	93,031,000 円
事業の目的		介護を必要とする高齢者が、必要な介護サービスを利用できるよう、安全で安心できる介護サービス提供基盤を整備する。			
事業の概要		・介護サービス事業の設置に関する相談に対応する。			
事業の実績・成果					
加須市老人福祉施設整備事業 11,994,000 円					
・(福)敬愛会 万葉の郷 7,630,000 円					
・(福)宏和会 ライゼ 清輝苑 4,364,000 円					
【前年度からの繰越事業(繰越明許)】 93,031,000 円					
市内の地域密着型特別養護老人ホームの新設を支援するため、市補助金を交付した。					
・地域密着型特別養護老人ホーム新設事業補助金 71,680,000 円(繰越明許額 71,680,000 円)					
・介護施設等施設開設準備事業補助金 11,351,000 円(繰越明許額 16,780,000 円)					
・老人福祉施設整備事業補助金 10,000,000 円(繰越明許額 10,000,000 円)					
【翌年度への繰越事業(繰越明許)】 7,689,000 円					
令和6年度から令和7年度へ繰り越す理由					
工事着手後に請負業者から、非常用自家発電設備の需要が多くなっており、当該設備の納期が令和7年6月下旬となる旨の報告があったため、当該事業に係る予算7,689,000 円の全額を令和7年度に繰り越した。					

事業名		介護保険事業特別会計繰出事業				1145-03
担当課		高齢介護課		現年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	1,530,535,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,533,904,000 円	—	
目	06	老人福祉費	決 算 額	1,531,538,880 円	—	
事業の目的		高齢者の自立支援の理念に基づき、介護保険事業の健全かつ円滑な運営を行う。				
事業の概要		介護保険法に基づき、介護保険給付費、地域支援事業費にかかる費用及び介護保険運営上の事務経費を負担する。				
事業の実績・成果						

(単位：円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
繰出金合計	1,463,469,780	1,458,794,689	1,493,038,960	1,509,657,750	1,531,538,880
実質繰出額	1,360,436,384	1,368,045,631	1,371,253,393	1,422,601,905	1,436,551,294
一般会計への返還金	103,033,396	90,749,058	121,785,567	87,055,845	94,987,586



事業名		老人福祉センター管理運営事業		1141-23	
担当課		地域振興課（大利根）		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	11,002,000 円	4,363,000 円
項	01	社会福祉費	最終予算額	11,008,000 円	4,363,000 円
目	07	老人福祉センター費	決 算 額	10,531,267 円	4,235,000 円
事業の目的		高齢者の健康づくりと生きがいづくりを目的とする。			
事業の概要		大利根総合福祉会館については、老人福祉センターが休止中であるため、今後、施設のあり方を含めて検討していく。			
事業の実績・成果					
これまで、老人福祉センターは高齢者が地域の仲間と共に健康で明るい生活を楽しむための場として、様々なイベントを開催してきたが、各老人福祉センターの施設や設備の老朽化が進んでいることから、騎西及び北川辺地域においては令和２年度に、加須地域においては令和３年度に廃止した。 なお、大利根地域においては休止している。					
【老人福祉センター利用者】			(単位：人)		
	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
老人福祉センター不老荘	休止	休止	廃止		
騎西老人福祉センター		廃止			
北川辺老人福祉センター					
大利根総合福祉会館		379 (75)	休止		
合 計	－	379 (75)	－	－	－
※（ ）の数字は、うち市外利用者の数					
【大利根総合福祉会館】					
・大利根地域の老人福祉センター（大利根総合福祉会館の１階）については、主要施設である浴用施設（温泉・１００の湯）の排水設備等の故障により、令和４年２月１８日から休止している。					
・２階及び３階の研修センターについては、通常どおり営業（貸館）を行った。					
・令和４年度末日をもって指定管理者制度の導入を終了（指定管理者：加須市社会福祉協議会）し、令和５年度からは市が直営で管理運営を行った。					
なお、貸館受付及び清掃等の一部業務については、加須市社会福祉協議会へ委託した。 （令和６年度加須市大利根総合福祉会館受付業務委託 ３,４１０,２７０円）					
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】					
・大利根総合福祉会館排煙窓・非常照明灯修繕工事 ４,２３５,０００円					

事業名		ファミリーサポートセンター事業			2114-08
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	8,260,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	9,422,000 円	—
目	08	男女共同参画費	決 算 額	8,450,794 円	—
事業の目的		こどもの健やかな成長と女性の社会参画を支援するため、きめ細かい育児サポートを行い、仕事と育児を両立できる環境を整備する。同時に市民のコミュニティ活動等への積極的な参加を促進する。			
事業の概要		育児支援を行える市民（協力会員）と、育児支援を必要とする市民（利用会員）で会員組織化し、市が運営するかぞファミリーサポートセンターにおいてコーディネーターが調整のうえ、相互援助活動を行う。			
事業の実績・成果					
1 かぞファミリー・サポート・センターの運営					
育児の支援を受けたい方（利用会員）と育児の援助に協力できる方（協力会員）により構成され、相互援助活動により仕事と家庭の両立を支援し、安心して働ける環境づくりを行った。					
また、本庁舎市民課待合に設置されている行政情報・広告放映モニターへの掲載や市報かぞにより協力会員の募集を行い会員確保に努めた。					
◇会員数の推移				(単位：人)	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用会員	264	226	218	236	183
協力会員	133	139	136	139	130
両方会員	22	12	12	13	7
合 計	419	377	366	388	320
◇利用件数の推移				(単位：件)	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用件数合計	3,763	4,358	4,106	3,937	3,066
2 会員養成講習会の実施					
普通救命講習や研修を実施することにより、会員のスキルアップに努めた。					
【普通救命講習】					
日 時	令和6年5月21日、28日				
場 所	埼玉県東部消防組合加須消防署				
参加人数	4名				
【会員養成講習会】					
日 時	令和6年12月7日				
場 所	市民プラザかぞ 302 会議室 A・B				
参加人数	11名				
内 容	こどもがやる気になる魔法の質問				
【ファミリー・サポート・センター交流会】					
日 時	令和6年9月21日				
場 所	加須げんきプラザ 食堂				
参加人数	10名				
内 容	うどん作り体験				
3 会報「ふぁみさぼ通信」の発行					
令和7年2月 令和6年度の活動内容、交流会の案内について全会員に配布					

事業名		ひととき託児事業			2114-09
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	923,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	923,000 円	—
目	08	男女共同参画費	決 算 額	296,563 円	—
事業の目的		子育て中の市民の社会参加の促進を図るとともに、市民のボランティア意識の高揚を図る。			
事業の概要		市が主催する講演会・セミナー等に、子育て中の市民が参加する間、事前登録された市民ボランティアが託児を行う。 対象年齢は2歳から就学前の児童で、託児時間は概ね2時間までとしている。 ボランティアは公募し講習会修了後、登録。活動1回に対し、1,500円の謝金を支払う有償ボランティアである。			
事業の実績・成果					
・市が主催又はこれに準ずる講演会・講座等に市民が参加する際に、登録している市民ボランティアが託児を行い、子育て中の女性の積極的な社会参加の支援及びボランティアの活動への意識高揚を図った。 ・13施設において託児を行い、子育て中の市民の社会参加を支援できた。					
◇ひととき託児ボランティア活動の推移					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
託児児童数(人)	0	0	7	113	141
ボランティア派遣数(人)	0	0	7	80	131
活動件数(件)	0	0	1	26	34

事業名		男女共同参画基本計画進行管理事業			2521-02
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	65,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	65,000 円	—
目	08	男女共同参画費	決 算 額	47,200 円	—
事業の目的		男女が互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮し、家庭や地域、職場や学校等社会のあらゆる分野において対等に参画し、共に責任を担う社会を実現する。			
事業の概要		「第2次加須市男女共同参画基本計画」の各種施策の適切な進行管理を行う。【計画期間】令和4年度～令和12年度			
事業の実績・成果					

○男女共同参画基本計画に基づく各種事業の進行管理

加須市男女共同参画基本計画の進捗状況を把握するため、関係各課に施策の達成状況調査を実施し、その結果を男女共同参画審議会に報告した。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	内 容	出席人数
令和6年7月30日(火) 加須市役所5階504会議室	・令和5年度 加須市男女共同参画プランの実施状況の報告について	14人
令和6年12月6日(金) 加須保健センター1階	・令和6年度 加須市男女共同参画推進事業所表彰について	13人

◇「加須市男女共同参画プラン」令和5年度進捗状況調査結果一覧

基本目標	事業数	取組に対する評価(%)			
		1	2	3	4
社会全体における男女共同参画の推進	25	15事業	5事業	3事業	2事業
		60.0%	20.0%	12.0%	8.0%
家庭における男女共同参画の推進	11	4事業	2事業	4事業	1事業
		36.4%	18.2%	36.4%	9.0%
地域における男女共同参画の推進	16	8事業	2事業	5事業	1事業
		50.0%	12.5%	31.3%	6.2%
働く場における男女共同参画の推進	14	13事業	0事業	1事業	0事業
		92.9%	0.0%	7.1%	0.0%
教育の場における男女共同参画の推進	9	7事業	1事業	1事業	0事業
		77.8%	11.1%	11.1%	0.0%
合 計	75	47事業	10事業	14事業	4事業
		62.7%	13.3%	18.7%	5.3%

※令和5年度評価基準

- 1 …目標を達成（実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した）
- 2 …概ね達成（実績値が目標値の80%以上に達した）
- 3 …やや遅れている（実績値が目標値の80%未満となった）
- 4 …大幅に遅れている（実績値が目標値の50%未満となった）

事業名		男女共同参画推進事業			2521-03	
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	1,305,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,294,000 円	—	
目	08	男女共同参画費	決 算 額	1,157,180 円	—	
事業の目的		男女共同参画社会の実現を図るため、積極的な啓発活動や各種相談事業等を充実させ、男女共同参画社会の形成を図る。				
事業の概要		男女共同参画市民企画委員と協働し、さまざまな啓発事業を実施する。 また、女性センターでの相談員による各種相談事業の充実を図る。				
事業の実績・成果						
○相談事業						
くらしの中で起こるさまざまな出来事で悩んでいる女性のために、面接相談を実施し、悩みの解消に向け関係機関を紹介する等、助言を行った。						
◇相談数の推移 (単位:人)						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	女性のための相談室 (相談者数)	20	18	36	13	19
○男女の平等感の意識について						
男女共同参画セミナー等の参加者を対象にアンケートを実施したところ、「家庭」「教育」「職場」「政治」「地域活動」の場、「社会通念や風潮」及び「法律や制度の上」において「平等と感じている」と回答した割合は次のとおりである。						
(単位:%)						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	平等意識	29.4	31.3	28.7	28.4	31.0
○各種審議会等における女性委員の割合						
女性委員の登用を促進するとともに、女性委員が不在の審議会等の解消に努めている。 令和7年3月31日現在、女性委員の在籍する審議会は、31 審議会、うち 16 の審議会等において女性委員の登用率が30%を超えている。						
○男女共同参画市民企画委員会との協働						
行政と市民との協働により男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関する講演会、セミナー、フォーラムなど、事業の企画立案から運営までを手がける「男女共同参画市民企画委員会」を運営した。令和6年度は委員7人により組織し、事業部、広報部、研修部の3部会に分かれて活動した。基本的に月に1度水曜日に定例会を開催し、その他必要に応じて各部会を開催し事業を推進した。						
◇男女共同参画情報紙「ぱれっと vol.28・29」の発行						
男女共同参画市民企画委員会広報部が中心となり、企画から取材、編集までを手がけ、情報紙を9月と3月に発行し、市内全戸（約39,000戸）に配布した。						
「ぱれっと vol.28」 ・男女共同参画週間記念講演会 ・手と手「頼んでよかった」の声をはげみに～夫婦二人三脚で～ ・男女共同参画セミナーのお知らせ ・男女共同参画パネル展 ・女性人材リストの登録者募集						
「ぱれっと vol.29」 ・「みんなでフォーラム in かぞ」 ・男女共同参画推進事業所表彰 ・男女共同参画セミナー ・手と手「確固たる思いを胸に日々ON AIR」 ・困ったときの相談窓口						

◇男女共同参画週間記念講演会の開催

男女共同参画社会基本法の目的や基本理念に関する理解を深めるための「男女共同参画週間」に併せ、男女共同参画推進のための施策を広く市民へ啓発することを目的として、記念講演会を実施。

開催日・場所	テーマ	講 師	参加者数
令和6年7月4日(木) パストラルかぞ 小ホール	「車イスから見える世界ってけっこうステキ ～あなたらしく生きる社会へ～」	加須市観光大使 又野亜希子 氏	133 人

◇男女共同参画パネル展示

男女共同参画週間に併せて、令和6年6月19日(水)から7月3日(水)まで、市民プラザかぞエントランスホールにて、令和5年度の男女共同参画推進事業に関するパネル展示を行った。

◇男女共同参画セミナーの開催

令和6年度のテーマ「みんなが自由に選べる社会に」

	開催日・場所	内 容	講 師	参加者数
1	令和6年8月21日 (水) 市民プラザかぞ 3階302会議室	「お洗たくを楽しくラクに!」	花王グループカスタマーマーケティング(株) 岩崎 勝予 氏、青木 裕美子 氏	30 人
2	令和6年10月23日 (水) 市民プラザかぞ 5階活動室	「災害・防災と男女共同参画」	埼玉県男女共同参画推進センター(W i t h Y o uさいたま) 黒須 さち子 氏	28 人
3	令和6年12月15日 (日) 市民プラザかぞ 3階多目的ホール	「クリスマスコンサート」	マリンバ奏者 加須市観光大使 篠塚 裕美子 氏 フルート奏者 岡村 加寿子 氏 パーカッション奏者 大崎 綾喜 氏	133 人

◇「みんなでフォーラム in かぞ」の開催

男女共同参画市民企画委員会事業部が中心となり、企画から実施まで手がけ開催した。

日 時 令和7年2月9日(日) 13:30～

場 所 市民プラザかぞ 3階多目的ホール

参加者数 102 人

内 容 ・オープニングセレモニー

大利根フォークダンス連盟

・男女共同参画推進事業所表彰：2事業所

(株)わたらせコミュニティメディア、埼玉県済生会加須病院

・講演会

「何のために男女共同参画社会をめざすのか？」講師 千金亭 値千金 氏

◇男女共同参画週間記念講演会・セミナー・フォーラム参加者数の推移

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
男女共同参画週間記念講演会	—	—	—	126	133
男女共同参画セミナー	11	88	158	189	191
みんなでフォーラム in かぞ	—	—	101	99	102

◇加須市大利根男女共同参画連絡協議会への支援

補助金交付額

(単位:円)

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

会員数

(単位:人)

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
672	567	552	609	439

事業名		DV（ドメスティック・バイオレンス）等相談事業			2521-04
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	530,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	530,000 円	—
目	08	男女共同参画費	決 算 額	518,244 円	—
事業の目的		配偶者等男女間の暴力を防止・廃絶するため、男女が共に自立し、対等なパートナーとして生活できる社会を構築する。			
事業の概要		女性センターでの相談員による、女性ホットライン（電話相談）で、子育ての悩み・家庭不和・就業支援など、女性に係る各種相談に対し、的確な支援対応に努める。また、市においてDVネットワーク会議を開催し、関係各課・機関との情報の共有を図る。 さらに、第2次DV防止基本計画を踏まえ、市民からの相談や援助要請などに迅速に対応する。			
事業の実績・成果					
○相談事業					
配偶者等からの暴力（以下DVという）等に対する電話相談事業の充実を図り、関係機関と連携し相談者への的確な支援を行うことにより、DV被害の防止、抑制に努めた。					
◇相談件数の推移					(単位:件)
女性ホットライン (電話)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		199	172	196	185
※電話相談 182 件中DV相談 5 件 ※毎週月曜日 9：00～16：00（年末年始を除く） 女性の相談員による相談業務（令和6年度実施日数 51 日）					
◇一時保護施設入所件数の推移					(単位:件)
一時保護施設 入所数		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		1	0	0	0
◇DVネットワーク会議					
DV被害者に関する情報を関係機関及び関係各課に提供・共有化を図り、個別の事案に対しての的確な支援方法及び連携関係を構築するための会議を実施した。					
1	日 時	令和6年8月22日（木）16：00～			
	場 所	本庁舎 5階 506 会議室			
	関係課等	市民課・子育て支援課・すくすく子育て相談室・こども保育課・地域福祉課・生活福祉課・障がい者福祉課・高齢介護課・いきいき健康医療課・騎西総合支所地域振興課・北川辺総合支所地域振興課・大利根総合支所地域振興課・学校教育課			
	内 容	①DV被害者支援に必要な共通確認事項について ②令和5年度加須市におけるDV被害者支援の状況について ③情報交換等			
2	日 時	令和7年3月13日（木）16：00～			
	場 所	加須保健センター1階 機能訓練室			
	関係課等	関係課（同上）、加須警察署生活安全課、加須保健所			
	内 容	①警察署におけるDV対応について ②令和6年度加須市におけるDV被害者支援の状況について ③情報交換等			

事業名		女性人材育成事業			2523-01	
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	1,749,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,749,000 円	—	
目	08	男女共同参画費	決 算 額	1,727,800 円	—	
事業の目的		女性の社会参画を促すため、リーダーの資質を備えた人材の発掘及び能力向上を図り、よりよいまちづくりを目的とした女性団体の活発な活動を支援する。				
事業の概要		各女性団体間の連携や会員の男女共同参画に対する意識を高めるために、合同研修会の開催などを通じて地域における女性人材の育成を促進する。				
事業の実績・成果						
○女性リーダー研修会						
本市における男女共同参画の推進にあたり、女性団体の指導的な役割を担う人材の主体的な活動が必要であるため、関係者の資質の向上を図ることを目的として、女性リーダー研修会を開催し、31 人が参加した。						
日 時 令和7年2月19日（水）14：00～						
場 所 市民プラザかぞ 5 階 活動室						
講 師 埼玉県情報システム戦略課 住基ネット・マイナンバー担当						
演 題 「マイナンバー入門」						
○女性団体補助金交付						
各女性団体に対し積極的な地域活動の支援と男女共同参画行政への協力を図るため、補助金を交付し、事業推進を支援した。						
1 かぞ地域女性会連合会・各地区女性会						
地域活動、行事への参加(市民平和祭・快適かぞ市民活動等)、県婦連の会議に参加、部会活動（健康推進部・環境部・福祉部等）、広報紙の発行などの活動を実施した。						
2 加須市騎西女性団体連絡協議会						
地域活動、視察研修会を開催した。						
3 加須市北川辺女性団体連絡協議会						
研修会を実施した。その他、行事への参加、視察研修会を開催した。						
4 加須市大利根連合婦人会・各地区女性会						
研修会、昆布料理講習会及び米消費拡大推進事業の開催、広報紙の発行などの活動を実施した。その他、地域活動・行事(市民まつり等)への参加を実施した。						
・補助金交付額 (単位：円)						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全域		1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000
加須地域	かぞ地域女性会連合会	805,000	805,000	805,000	805,000	805,000
	各地区女性会(6 地区)	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000
騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	241,000	241,000	241,000	241,000	241,000
北川辺地域	加須市北川辺女性団体連絡協議会	213,000	213,000	213,000	213,000	213,000
大利根地域	加須市大利根連合婦人会	274,000	274,000	274,000	274,000	274,000
	各地区女性会（2 地区）	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000

・会員数

(単位：人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	全域	1,516	1,423	1,373	1,348	1,278
加須地域	かぞ地域女性会連合会	462	453	433	430	418
騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	267	232	226	233	193
北川辺地域	加須市北川辺女性団体連絡協議会	144	136	122	104	101
大利根地域	加須市大利根連合婦人会	643	602	592	581	566

○加須市女性団体合同研修会

市内各女性団体間の連携・協働体制の強化や、会員の男女共同参画に対する意識の向上を図ることを目的として、加須市女性団体合同研修会を開催した。

日 時 令和6年11月20日(水) 13:30～

場 所 大利根文化・学習センター「アスタホール」 多目的ホール

講 師 埼玉学園大学名誉教授 服藤 早苗 氏

演 題 『「源氏物語」の時代を生きた女性たち』

○加須市女性人材リスト

審議会等委員の選任の際、積極的に女性の登用を行えるよう女性人材リストの充実、活用を図ることを目的とし、人材リスト登録者を増やすための情報収集を行うとともに、女性人材リスト活用の推進に努めた。

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数	55	55	52	56	57

事業名		女性センター等運営事業			2523-02	
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	426,000 円	—	
項	01	社会福祉費	最終予算額	437,000 円	—	
目	08	男女共同参画費	決 算 額	430,463 円	—	
事業の目的		男女共同参画社会の実現を目指し、市民団体並びに相談者等の方々の利便を高めるため、男女共同参画社会推進のための拠点施設である女性センターを適切に運営する。				
事業の概要		女性センター談話室、青年センター談話室、印刷室、ロッカー等の適切な管理運営を行う。				
事業の実績・成果						
○女性センター等管理運営事業						
女性団体やボランティア団体が活動するスペースの提供や印刷室の管理運営を行い、各グループの自主的な活動を支援した。						
◇女性センター各利用数の推移						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
女性センター談話室(人)		479	742	1,078	1,033	1,797
青年センター談話室(人)		1,023	1,741	2,478	2,585	3,550

事業名		ワーク・ライフ・バランス推進事業			2524-02
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	25,000 円	—
項	01	社会福祉費	最終予算額	25,000 円	—
目	08	男女共同参画費	決 算 額	15,873 円	—
事業の目的		働く人が意欲を持って仕事に取り組むことができ、かつ家庭や地域においても役割と責任を果たすことができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のとれた男女共同参画社会の構築を目指す。			
事業の概要		男女ともに仕事や子育てなど自らの希望する生活バランスが得られるよう、「男女共同参画推進事業所表彰」の周知などを通じて意識改革に向けた取組を行う。			
事業の実績・成果					
○市内商工業者対象チラシ配布 勤労者の労働と家庭生活の両立のため、雇用者側の理解や職場環境を向上させるための啓発を行った。 ・商工会会員事業所 約2,300 社					
○男女共同参画推進事業所表彰 令和7年2月9日（日）開催の、「みんなでフォーラム in かぞ」において、2事業所を表彰し、男女共同参画情報紙「ぱれっと」に掲載のうえ全戸配布することにより、市民や他の事業所の「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」について意識啓発を図った。					
表彰事業所					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数（件）	3	2	2	2	2
表彰 事業所名	（株）大橋製作所	沼口米菓（株）	（福）宏和会 ライゼ清輝苑	（株）ハヤカワ	（株）わたらせ コミュニティ メディア
	ラビエスト（株）				
	日本カードプロダクツ（株）	（福）さきたま 会 みずほの 里	（株）FUNS	むさしの製菓（株）	埼玉県済生会 加須病院

事業名		子ども・子育て支援計画策定事業			2111-01
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	3,546,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	3,546,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,476,000 円	—
事業の目的		こどもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うため、子ども・子育て支援事業計画を策定する。			
事業の概要		第 3 期子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和 7 年度～令和 11 年度）を策定する。			
事業の実績・成果					

こども・若者や子育て当事者等から意見を募集し、及び加須市子ども・子育て会議等での協議を経て、令和7年度からの5年間を計画期間とする第3期子ども・子育て支援事業計画を策定した。

なお、この計画は、「こども基本法」の施行や「こども大綱」の策定等を踏まえ、「こども基本法」に基づく「市町村こども計画」、「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「市町村子ども・若者計画」、「こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律」に基づく「市町村計画」等と一体として、計画の名称を「加須市こども・若者・子育て支援計画」として策定した。

◇計画策定の主な経過

年月日	内容等
令和6年7月1日	令和6年度第6回政策会議 ・（仮称）加須市こども・若者・子育て支援計画の骨子案について
令和6年7月22日	令和6年第7回加須市教育委員会定例会 ・（仮称）加須市こども・若者・子育て支援計画の骨子案について
令和6年8月6日	令和6年度第1回加須市子ども・子育て会議 ・（仮称）加須市こども・若者・子育て支援計画の骨子案について
令和6年9月2日 ～10月24日	高校・大学生年代を対象としたアンケート調査
令和6年10月11日	令和6年度第13回政策会議 ・（仮称）加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について
令和6年10月15日 ～10月31日	令和6年度加須市ヤングケアラー実態調査
令和6年10月29日	令和6年第5回加須市教育委員会臨時会 ・（仮称）加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について
令和6年11月12日	令和6年度第2回加須市子ども・子育て会議 ・（仮称）加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について
令和6年12月16日	令和6年第12回加須市教育委員会定例会 ・（仮称）加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について
令和6年12月23日 ～令和7年1月21日	（仮称）加須市こども・若者・子育て支援計画（素案）についての意見募集（パブリックコメント）
令和7年2月3日	令和6年度第3回加須市子ども・子育て会議 ・加須市こども・若者・子育て支援計画の策定について

事業名		子ども・子育て支援計画進行管理事業	2111-02	
担当課		子育て支援課	現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	362,000 円
項	02	児童福祉費	最終予算額	362,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	148,726 円

事業の目的	子ども・子育て支援計画に記載した取組を着実に実施し、計画の基本理念を実現する。			
事業の概要	計画に記載した取組の実施状況を点検、評価し、子ども・子育て会議に報告するとともに、市民に公表する。			

事業の実績・成果

令和 6 年度に点検、評価を実施した令和 5 年度における「第 2 期加須市子ども・子育て支援計画」の取組結果は、総取組数の 79%で「目標を達成」又は「目標を概ね達成」となった。

実施状況については、令和 6 年度第 1 回加須市子ども・子育て会議（令和 6 年 8 月 6 日開催）で報告するとともに、市のホームページで公表した。

令和 5 年度 第 2 期加須市子ども・子育て支援計画の施策の進捗状況評価一覧表

（上段は再掲を含む取組数）（単位：件）

基 本 目 標	取 組 数	取組に対する評価数（％）			
		1	2	3	4
1 子育て家庭への 人的・経済的支援	115 (うち再掲 47)	60 (52%) (うち再掲 27)	22 (19%) (うち再掲 9)	20 (18%) (うち再掲 7)	13 (11%) (うち再掲 4)
2 親と子の健康づくり	33 (うち再掲 13)	19 (58%) (うち再掲 5)	9 (27%) (うち再掲 6)	4 (12%) (うち再掲 2)	1 (3%) －
3 ワーク・ライフ・ バランスの子育て支援	45 (うち再掲 20)	27 (60%) (うち再掲 13)	12 (27%) (うち再掲 5)	4 (9%) (うち再掲 2)	2 (4%) －
4 教育環境の充実	68 (うち再掲 20)	25 (37%) (うち再掲 10)	28 (41%) (うち再掲 7)	11 (16%) (うち再掲 2)	4 (6%) (うち再掲 1)
5 安全で安心な生活 環境の充実	33 (うち再掲 7)	18 (55%) (うち再掲 1)	7 (21%) (うち再掲 3)	4 (12%) (うち再掲 1)	4 (12%) (うち再掲 2)
6 子どもの貧困対策 の推進	45 (うち再掲 41)	29 (65%) (うち再掲 27)	11 (24%) (うち再掲 9)	4 (9%) (うち再掲 4)	1 (2%) (うち再掲 1)
合 計	339	178 (53%)	89 (26%)	47 (14%)	25 (7%)
再掲を除く合計	191	95 (50%)	50 (26%)	29 (15%)	17 (9%)

※ 令和 5 年度評価基準

- 1 … 目標を達成（事業実施による効果が表れた。【実績値が 100%以上】）
- 2 … 概ね達成（事業実施による効果が概ね表れた。【実績値が 80%以上】）
- 3 … やや遅れている（事業実施による効果が小さかった。【実績値が 80%未満】）
- 4 … 大幅に遅れている（事業実施による効果が表れなかった。【実績値が 50%未満】）

事業名		家庭児童相談事業			2111-07							
担当課		すくすく子育て相談室			現 年	前年度からの繰越						
款	03	民生費		当初予算額	6,005,000 円	—						
項	02	児童福祉費		最終予算額	6,460,000 円	—						
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	6,387,120 円	—						
事業の目的		家庭でのこどもに関するさまざまな問題に、専門の相談員を配置し、児童の福祉の向上を図る。										
事業の概要		・家庭における児童の福祉に関する相談指導業務 ・すくすく子育て相談室で3名の児童相談員が家庭における児童の養育に関し、相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図る。 月曜日～金曜日9時～16時まで										
事業の実績・成果												
家庭における児童養育等に関する相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図った。 また、相談員が家庭訪問等を行い、児童や家族を支援した。 ・家庭児童相談員 3人（交代で週3日勤務） ・開設日・時間 月～金曜日、午前9時～12時、午後1時～4時												
相談内容・延べ件数の推移 (単位：件)												
	性格・生活習慣等	知能言語	学校生活等			非行	家族関係		環境福祉	障害	その他	計
			人間関係	登校拒否	その他		虐待	その他				
令和2年度	0	0	0	18	0	0	4,982	1,193	61	11	0	6,265
令和3年度	0	0	0	0	0	0	3,359	1,408	275	19	30	5,091
令和4年度	0	0	0	0	0	0	4,480	1,007	111	26	0	5,624
令和5年度	0	0	0	0	0	0	4,775	899	4	14	13	5,705
令和6年度	0	0	0	55	0	0	4,845	2,389	0	0	22	7,311

年度	相談対応件数	虐待相談件数
令和2年度	6,265	5,000
令和3年度	5,091	3,500
令和4年度	5,624	4,500
令和5年度	5,705	4,800
令和6年度	7,311	4,900

事業名		子育て総合相談事業			2111-08
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	7,575,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	9,144,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	8,639,607 円	—
事業の目的		安心してこどもを産み育てられるよう、保護者の身近な場所で、子育ての相談や助言、情報提供、関係機関との連携により、妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談支援を行う。			
事業の概要		すくすく子育て相談室において、妊産婦と乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や関係機関との連絡調整を行い、母子保健と子育て支援との一体的な提供を通じて包括的な支援を行う。			
事業の実績・成果					
子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の 2 つの機能を併せ持つ「すくすく子育て相談室」において、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行った。 児童福祉法改正に伴う子ども家庭センターは、令和 6 年 3 月 29 日「加須市子ども家庭センター設置要綱」を定め、令和 6 年 4 月 1 日に設置した。なお、加須市における子ども家庭センターの名称は「すくすく子育て相談室」とした。					
1 すくすく子育て相談室における対応					
(1) 子育て世代包括支援センター					
母子保健コーディネーター3 名（助産師）を配置し、母子健康手帳の交付時に全ての妊婦に対して面談を行い、支援が必要な家庭と判断した場合には、妊娠・出産・育児に関する「支援プラン」を作成し、情報提供やアドバイスを行うほか、関係機関と連携し、その家庭の状況に適したサービスを提供して支援を行った。 また、子育てコンシェルジュ 1 名（保育士）を配置し、子育てに関する様々な福祉サービスの情報を提供し、サービスを利用する場合は関係機関の申請につなげるなど、きめ細やかな相談支援を行った。					
(2) 子ども家庭総合支援拠点					
家庭児童相談員（子ども家庭支援員）3 名（教員免許、保育士免許所有者）、虐待対応専門員 3 名（社会福祉士）を配置し、児童及び妊産婦等を対象に支援や保護が必要な子どもなどへの支援や児童相談所との連携を行い専門的な相談に応じ、家庭訪問等による継続的な支援業務を行った。					
2 相談実績					
(1) 子育て世代包括支援センター（妊娠・出産・子育ての相談）					
延べ相談件数 3,469 件					
主な内訳：母子健康手帳について 471 件（うち支援プラン作成 97 件、20.6%）					
予防接種について 835 件					
その他（健診案内等） 2,163 件					
(2) 子ども家庭総合支援拠点（児童虐待等の相談）					
延べ相談件数 7,311 件					
主な内訳：児童虐待関係 4,845 件					
その他（養育に欠ける問題等） 2,466 件					

事業名		子育てワクワク情報提供事業		2111-11	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	718,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	718,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	569,250 円	—
事業の目的		各事業情報を集約して、市ホームページ等を活用し、情報提供し、子育てを支援する。			
事業の概要		・市公式 LINE にて子育て支援に関する情報を発信。 ・子育てガイドブックを配布し子育て情報を広く周知する。 ・子育て支援に関するパネルを展示する。			
事業の実績・成果					
1 かぞホッとメール（子育て情報メール）の配信 登録者に対し、子育てイベント情報・こどもの健康に関する情報・医療機関情報等の即時性の高い情報を配信した。 メール配信登録者数 1,819 人 メール配信件数 306 件					
2 パネル展示 子育て中の親世代及び一般市民に向けた情報発信の一環として、地域で活動されている団体等の活動や子育て支援の取り組みを PR するため、「小児科医による救急講座・子育て相談」の際に、パネル展示や子育て支援関連のチラシ配布を行った。					
3 子育てガイドブック 令和6年度に子育てガイドブックの改訂を行った。 発行部数 2,500 部					

事業名		子育て支援管理事業			2111-12
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	94,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	90,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	81,437 円	—
事業の目的		子育て支援事業を適正、効果的に実施する。			
事業の概要		子育て支援事業に係る管理運営経費			
事業の実績・成果					
子育て支援に関する事務の執行に必要な消耗品及び旅費を支出した。					

事業名		赤ちゃんの駅事業			2112-03
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	50,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	50,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	688 円	—
事業の目的		子育て中の親が安心して外出できるよう、子育て支援の環境を整える。			
事業の概要		次の一方又は両方の要件を備えた施設を公共的施設を中心に整備することにより、乳幼児を連れての外出を容易にする。 ①おむつ交換ができる。 ②授乳ができる。			
事業の実績・成果					
○市内「赤ちゃんの駅」設置施設 106 施設 184 箇所 ホームページ等で周知を行うとともに、赤ちゃんの駅の表示の改善や、備品の修繕を行い、安心安全な利用に努めた。					

事業名		子育て短期預かり事業			2112-04	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	800,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	800,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	240,750 円	—	
事業の目的		育児疲れや仕事、学校等の公的行事への参加のため、一時的にこどもの養育が困難になったときに市が委託した施設で預かり、養育困難時の子育てを支援することで子育て支援の充実を図る。				
事業の概要		保護者の病気等により養育が一時的に困難となる児童を委託先の児童福祉施設で預かることにより、子育てを支援する。 ・ショートステイ(宿泊)・・・0 歳～18 歳未満 ・トワイライトステイ(平日夜間)・・・3 歳～小学生まで ・ホリデーステイ(土日・祝日・年末年始等)・・・3 歳～小学生まで				
事業の実績・成果						
保護者が仕事等の理由によって、家庭でこどもの養育が困難となった場合に、そのこどもを一時的に児童福祉施設で預かることにより、子育てを支援することができた。						
1 委託先						
(1) ショートステイ		(福) 愛の泉 (愛泉乳児園 (2 歳未満)、愛泉寮 (2 歳以上)) (福) 光の子どもの家(2 歳以上) (福) 羽生福祉会 乳児院つぼみ(2 歳未満) (福) 愛全会 富士見乳児院(2 歳未満)				
(2) トワイライトステイ		(福) 愛の泉 愛泉寮 (福) 光の子どもの家				
(3) ホリデーステイ		(福) 愛の泉 愛泉寮 (福) 光の子どもの家				
2 利用日数等の推移						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用 日数 (日)	ショートステイ	36	14	9	3	1
	トワイライトステイ	0	0	0	0	0
	ホリデーステイ	4	20	43	30	57
委託額 (円)	ショートステイ	190,500	52,500	24,750	28,800	2,750
	トワイライトステイ	0	0	0	0	0
	ホリデーステイ	12,750	86,250	184,750	131,500	240,750

事業名		訪問支援ホームスタート事業			2112-05	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	1,609,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	1,609,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	1,592,000 円	—	
事業の目的		6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援する。				
事業の概要		・ 6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが無料で訪問する。 ・ 週に 1 回、2 時間程度、原則全 6 回の訪問、達成状況を把握しながら、延長について確認する。 ・ 地域子育て支援拠点事業補助金の「機能強化型分」を活用し、ホームスタートを実施する関係機関へ助成する。				
事業の実績・成果						
・ ホームスタートの研修を受けた「ホームビジター」が、調整役の「オーガナイザー（専門職）」と一緒に子育て中の家庭を訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援を行った。 ・ 地域子育て拠点事業補助金の「機能強化型分」を活用し、ホームスタートを実施する関係機関へ補助金を交付した。						
訪問実績						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
訪問件数（件）		8	17	4	6	11
延訪問回数（回）		40	26	18	6	60

事業名		産後支援事業			2112-13
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	7,740,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	6,693,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	2,273,423 円	—
事業の目的		核家族化や子育ての孤立化が進行し、産後の不安や子育てに関する悩みを抱えた家庭に対し、家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるよう支援する。			
事業の概要		・産後支援ヘルパー派遣 委託により家事援助を必要とする家庭にヘルパーの派遣を行う。 ・産後サポート 産後1年未満の母子を対象に教室を月1回開催する。 ・産後ケア 産後1年未満の母子を対象に、直営の訪問型や、委託によりデイサービス型・宿泊型を実施することで、母子の健康状況確認や育児手技の指導等を行う。			
事業の実績・成果					
産後支援ヘルパー派遣、産後サポートの教室、産後ケアを行うことにより、育児不安の軽減、こどもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。 令和6年度から産後ケア委託事業所を6カ所に増やすことで、デイサービス型及び宿泊型の利用数及び利用回数の増加に繋がった。					
1 産後支援ヘルパー派遣					
(1) 委託先(社)加須市社会福祉協議会					
(2) 派遣世帯数・事業委託費等の推移					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
派遣世帯数(世帯)	6	10	13	5	9
派遣日数(日)	68	121	165	46	91
派遣時間(時間)	112	165	226	54	118
事業委託費(円)	91,378	※476,708	526,904	128,610	281,896
※令和2年度委託費(10月～3月分)136,098円を含む。					
(3) 事業チラシ配布先					
すくすく子育て相談室					
2 産後サポートの教室(Happy ママくらぶ～産後をサポートする教室～)					
(1) 対象					
生後1年未満の母子					
(2) 内容					
母子のケア、学習会、母子交流等					
(3) 参加人数等					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施回数(回)	9	11	12	11	12
参加延人数(人)	39	104	152	205	171
※一組5回まで利用可					
3 産後ケア					
(1) 産後ケア事業登録件数					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録数(件)	7	12	22	34	46

(2) 産後ケアの利用実績

① 訪問型 産後ケア【平成31年4月1日開始】

生後1年未満の母子を対象に、助産師が自宅へ訪問し、保健指導等産後のケアを行う。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利 用 数 (件)	4	6	13	7	10
延利用回数 (回)	12	19	34	16	20

② デイサービス型 産後ケア【令和2年1月1日開始】

生後4箇月未満の母子を対象に、委託医療機関（スピカレディースクリニック・山王クリニック・ワイズレディースクリニック・はやしだ産婦人科医院・成田レディースクリニック・ざくろの木助産院）において、産婦の休息と沐浴等産後ケアを日帰りで行う。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利 用 数 (件)	2	0	5	7	13
延利用回数 (日)	6	0	9	24	30

③ 宿泊型 産後ケア【令和4年9月1日開始】

生後4箇月未満の母子を対象に、委託医療機関（スピカレディースクリニック・山王クリニック・ワイズレディースクリニック・はやしだ産婦人科医院・成田レディースクリニック・ざくろの木助産院）において、産婦の休息と沐浴等産後ケアを宿泊して行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利 用 数 (件)	4	11	20
延利用回数 (日)	14	40	56

※訪問型・デイサービス型・宿泊型を各7回(日)まで利用可能
(多胎児の場合は各14回(日)まで利用可能)

事業名		子育て支援医療費支給事業			2113-04
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	425,693,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	426,006,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	410,906,003 円	—
事業の目的		児童に係る医療費の一部を支給することにより、保護者の経済的負担を軽減し、児童の保健の向上と福祉の増進を図る。			
事業の概要		支給対象年齢：18 歳の年度末まで 支給方法：現物給付（県内）又は償還払 県補助：通院は 9 歳の年度末まで、入院は 15 歳の年度末まで			
事業の実績・成果					
子育て支援医療費を支給することにより、子育て世帯の経済的な負担を軽減することができた。					
1 事業内容					
(1) 対象児童 市内に住所を有し、医療保険に加入している 18 歳の年度末までにある児童 重度心身障害者医療費支給事業やひとり親家庭等医療費事業等の対象者を除く。					
(2) 支給内容 医療保険が適用される医療費の一部負担金（入院時の食事代を含む。）を補助					
(3) 支払方法 現物給付（県内）又は償還払					
(4) 費用負担 県：補助対象経費の 1/2					
2 支給件数及び支給金額の推移					
(単位：件、円)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
支給件数	119,123	131,587	144,680	184,900	184,865
支給金額	249,260,379	285,242,276	298,797,693	390,666,924	398,343,636
※ 令和 4 年 10 月診療分から、現物給付の対象となる医療機関等の範囲を「市内」から「県内」に拡大した。					
※ 令和 5 年 7 月診療分から、支給対象となる児童の年齢の上限を「15 歳の年度末」から「18 歳の年度末」に引き上げた。					

事業名		未熟児養育医療給付事業			2113-06	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	5,149,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	5,149,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	4,784,891 円	—	
事業の目的		医師が入院養育を必要と認めた新生児・幼児の保健の向上と、保護者の経済的負担の軽減を図るため、養育医療費を給付する。				
事業の概要		・ 対象児童：医師が入院養育を必要と認めた市内居住の1歳未満の未熟児 ・ 給付方法：保護者の申請に基づき医療券を交付し、指定医療機関にて受けた養育医療に対して給付を行う。				
事業の実績・成果						
埼玉県からの権限委譲を受け、平成25年4月1日より市の事業として行っている。 申請者に対して適正な医療費支給を行うことにより、保護者の経済的な負担の軽減に寄与することができた。						
1 事業内容						
(1) 支給対象者 市内に居住し、医師が入院養育を必要と認めた満1歳未満の未熟児						
(2) 支給内容 指定養育医療機関で行う入院治療のうち、「診察」「薬剤又は治療材料の支給」「医学的処置、手術その他の治療」「病院又は診療所への入院」「移送」が対象						
(3) 支払方法 市へ申請後、医療券の交付を受け、指定医療機関にて養育医療の給付を受ける。						
(4) 費用負担 世帯構成員の所得に応じた自己負担額を支払う。						
2 支給件数・支給金額の推移						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	支給件数(件)	66	64	54	77	68
	支給金額(円)	5,527,472	5,610,896	4,093,629	5,553,488	4,782,900

事業名		遺児手当事業			2113-07
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,910,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	2,910,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	2,406,000 円	—
事業の目的		父母の一方又は父母がともに死亡した児童の健全な育成を図る。			
事業の概要		父母の一方又は父母がともに死亡した義務教育修了前の児童の保護者に児童 1 人につき月額 3,000 円の手当を支給する。 ※ 所得制限なし			
事業の実績・成果					
対象児童の保護者に遺児手当を支給することにより、児童の健全な育成を図ることができた。					
1 事業内容					
(1) 支給対象者		父母の一方又は父母がともに死亡した児童の保護者			
(2) 支給内容		児童 1 人につき月額 3,000 円			
(3) 支給期間		義務教育修了前まで			
(4) 所得制限		なし			
(5) 支払方法		2 期に分けて支給（9 月、3 月）			
2 対象世帯数、対象児童数、延べ児童数及び手当支給額の推移					
(単位：世帯、人、円)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象世帯数	60	57	52	54	48
対象児童数	91	85	76	82	74
延べ児童数	979	953	875	863	802
手当支給額	2,937,000	2,859,000	2,625,000	2,589,000	2,406,000

事業名		誕生記念祝事業			2113-08
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	6,000,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	6,000,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	5,520,000 円	—
事業の目的		出産に対して祝意を表するとともに、出産後の経済的不安を軽減し、安心してよりよい子育てをスタートしてもらえるようにする。			
事業の概要		こどもを出産した方又はその配偶者であって、支給要件を満たす方に、誕生記念祝品として絆サポート券を支給する。			
事業の実績・成果					
絆サポート券を支給し、こどもの誕生に祝意を表することによって、支給対象者のよりよい子育てのスタートに貢献することができた。					
1 支給対象児童 出生後最初の住民登録が加須市になされた児童					
2 支給対象者 支給対象児童を出産した方又はその配偶者であって、支給対象児童の出生日時点で加須市に住民登録があり、かつ、支給対象児童と同一の世帯に登録されている方					
3 支給内容 祝品（絆サポート券）を支給（支給対象児童1人につき10,000 円相当）					
4 支給件数					
(単位：件)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
支給件数	572	605	553	549	552

事業名		多子世帯学童保育料軽減事業			2113-09
担当課		こども保育課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	6,676,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	6,676,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	5,719,900 円	—
事業の目的		複数の子どもを育てている家庭に対し、経済的な支援を行う。			
事業の概要		兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成室を利用の場合、2 人目の保育料を半額、3 人目以降の保育料を無料とする。 公立放課後児童健全育成事業では、保育料算定時に保育料を軽減する。 民間放課後児童健全育成事業では、公営の保育料軽減額を踏まえ、市が民間放課後児童クラブへ補てんする。			
事業の実績・成果					
・放課後児童健全育成事業を利用する多子世帯等の保護者に対し保育料を減免し、また、当該事業を実施する民間事業者が多子世帯等の保護者に対し保育料を減免した場合に、その減免分を補助することで、多子世帯等の経済的負担の軽減を図った。					
1 事業内容					
(1) 減免対象					
・兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成事業を利用している世帯					
・生活保護受給世帯					
(2) 減免内容					
【公立放課後児童健全育成事業】					
・同時入室第 2 子の保育料を半額減額					
・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額					
【民間放課後児童健全育成事業】					
・同時入室第 2 子の保育料の半額減額（上限 4,000 円）					
・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額（上限 8,000 円）					
・生活保護受給世帯の保育料全額減額					
2 減免額					
事業名		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
公立放課後児童健全育成事業		4,363,800 円	4,782,663 円	5,597,796 円	6,199,771 円
民間放課後児童健全育成事業		5,940,831 円	5,578,746 円	5,076,375 円	5,719,900 円
※公立放課後児童健全育成事業では、減免後の額で保育料を徴収している為、当事業の決算額には含まれない。					

事業名		子育てのための施設等利用費支給事業			2113-11	
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	75,437,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	74,897,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	62,045,108 円	—	
事業の目的		幼児期の教育及び保育等を行う施設等の利用費を無償化し、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図る。				
事業の概要		無償化に必要な施設等利用給付認定を行い、請求に基づき給付費を支払う。 新制度未移行幼稚園の保育料のほか、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等の利用料を無償化する。 無償化の対象は 3 歳児クラスから 5 歳児クラスの子ども全員と、0 歳児クラスから 2 歳児クラスの住民税非課税世帯のこども。				
事業の実績・成果						
無償化に必要な施設等利用給費認定について申請に基づき審査し、該当者全員を認定した。 令和元年 10 月の無償化以降について、請求分の給付費を執行した。						
支出金額						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
施設	(円)	50,657,100	58,761,100	60,365,965	54,978,535	54,978,029
保護者	(円)	3,404,625	4,933,650	5,653,653	6,498,510	7,007,396
令和 5 年度実績に伴う県への返還金 県支出金返還金 59,683 円						

事業名		にぎやか家庭子育て応援事業			2113-14
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,261,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	1,261,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	1,026,715 円	—
事業の目的		少子化でこどもの数が少なくなる中、こどもをたくさん産み育て、市の人口減少の歯止めと市の活性化に貢献している家庭を応援する。			
事業の概要		・ 同一世帯に 18 歳の年度末までのこどもが 2 人以上いる家庭に、こどもが誕生した場合に、絆サポート券を支給する。 ・ 基準日（1 月 1 日）時点で 15 歳までのこどもを 5 人以上養育している家庭を、記念品（絆サポート券）を添えて表彰する。			
事業の実績・成果					
表彰や記念品の贈呈を通じて「こどもを産み育てやすいまち」をアピールすることができた。 また、絆サポート券を支給することによって、多子家庭を支援できたとともに、地域の活性化に貢献することができた。					
1 事業内容					
(1) にぎやか家庭表彰					
1 月 1 日時点で、市内に在住し、15 歳までのこどもを 5 人以上養育している家庭を表彰し、記念品（絆サポート券 1 家庭につき 10,000 円相当）を贈呈					
(2) 絆サポート券支給					
市内に在住し、同一の世帯に 18 歳の年度末までのこどもが 2 人以上いて、第 3 子以降のこどもが誕生した家庭に対し、記念品（絆サポート券 1 子につき 10,000 円相当）を贈呈					
2 事業実績					
(1) にぎやか家庭表彰					
(単位：家庭)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
表彰家庭数	3	1	4	1	3
(2) 絆サポート券支給					
(単位：件)					
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
支給件数	132	106	104	99	

事業名		教育・保育に係る教材費等補助事業			2113-15	
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	2,951,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	3,491,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,400,822 円	—	
事業の目的		生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の幼稚園・保育所等の利用にかかる実費負担を軽減し、これら世帯の幼稚園・保育園等の円滑な利用を図る。				
事業の概要		幼稚園・保育所等を利用する生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の副食教材・行事費等の実費徴収にかかる費用の一部を補助。 加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校 3 年生以下の兄弟まで拡大し一部を補助。 補助限度額（月額）：副食材料費 4,800 円、教材・行事費 2,700 円				
事業の実績・成果						
1 生活保護世帯等の幼稚園・保育所等の利用に伴う副食材料費、教材・行事費の一部を補助することにより、幼稚園・保育所等の円滑な利用を推進した。						
補助請求者数・金額						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
児童数（人）		5	5	2	0	1
内、幼稚園		3	3	2	0	1
内、保育園		2	2	0	0	0
補助金額（円）		24,874	27,530	18,600	0	700
内、幼稚園		15,000	17,450	18,600	0	700
内、保育園		9,874	10,080	0	0	0
2 未移行幼稚園を利用する年収 360 万円未満世帯及び小学校 3 年生以下の兄弟から数えて第 3 子以降の副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。						
補助請求者数・金額						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
児童数（人）		26	15	18	14	38
補助金額（円）		754,968	711,750	859,651	668,048	1,926,822
3 加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校 3 年生以下の兄弟にまで拡大し、副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。						
補助請求者数・金額						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
児童数（人）		35	31	28	31	27
補助金額（円）		1,430,401	1,627,295	1,503,950	1,688,050	1,473,300

事業名		子育て支援センター事業			2114-05
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	59,475,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	65,887,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	56,911,904 円	—
事業の目的		地域における子育て支援拠点としてのセンターの充実を図り、子育て支援を推進する。			
事業の概要		子育て中の方を対象に親子の交流の場を提供し、親子交流会、育児相談の開催、子育てサークルの育成、子育て情報の提供等を行う。 ・地域子育て支援センター：15 か所 一般型：7 か所（うち公立2 か所） 公立幼稚園：8 か所			
事業の実績・成果					
子育て支援センターに運営費を助成し、地域における子育て支援を推進した。					
・子育て支援センター助成 36,159,000 円 (1) 子育て家庭への支援活動を企画する職員を配置し、育児に対する相談・子育てサークル等への支援・特別保育事業の積極的な取り組みなどを行うことにより育児支援を行った。 (2) 対象施設 公立幼稚園を除く7施設（愛の泉ふれあいホーム、加須保育園、花崎保育園、三俣第一保育園、吉川保育園、北川辺子育て支援センター、大利根子育て支援センター） (3) 事業内容					
		年間開所日数 (日)	年間延利用者数 (人)	主な事業内容	
愛の泉ふれあいホーム		227	2,892	育児相談(面接相談、電話相談) 子育て支援、親子製作・遊び等	
加須保育園		216	4,479		
花崎保育園		290	438		
三俣第一保育園		160	2,372		
吉川保育園		143	575		
北川辺子育て支援センター		235	1,595		
大利根子育て支援センター		291	6,737		
・物価高騰に係る対応（事業者支援）を実施した（巻末参照）。					

事業名		子育てサロン事業			2114-06
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	223,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	223,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	71,897 円	—
事業の目的		各地域で活動する子育て支援団体の連携により、子育てに関する情報の共有化を図るとともに、子育て家庭の現状と課題を把握し、地域ぐるみで子育てを支援する体制づくりと意識の醸成を図る。			
事業の概要		子育て中の親子を対象に子育て相談や情報交換等の場の提供及び子育てサークル等子育てボランティアへの活動の場の提供と支援を図る。			
事業の実績・成果					

○ 子育てサロンの運営

・子育て支援団体等が中心となって身近な地域に親子で交流できるサロンを運営し、27,433 人の保護者及び児童がボランティア及び利用者と交流できた。

ボランティア等による活動

No	地域名	サロンの名称	開設日	利用者数（人）
1	加須	子育てワンポイントセミナー 「ひだまり」	平成 22 年 10 月 8 日	62 (市民プラザかぞ)
2		加須コミュニティーセンター 子育てサロン「加須保育園」	平成 23 年 10 月 12 日	65 (志多見小学校)
3		不動岡コミュニティーセンター 子育てサロン「かぞてとて」	平成 25 年 6 月 23 日	184
4		不動岡コミュニティーセンター 子育てサロン「からふる」	令和 6 年 4 月 1 日	251
5		社会福祉法人愛の泉 ふれあいホームサロン	令和 6 年 4 月 1 日	111
6	騎西	騎西子育てサロン「ホップ」	平成 23 年 5 月 17 日	36
7		騎西子育てサロン 「あいあいサロン」	平成 24 年 5 月 30 日	255
8	北川辺	北川辺子育てサロン 「ぽっかぽか」	平成 23 年 1 月 31 日	95
9	大利根	大利根子育てサロン 「さくらんぼ広場」	平成 23 年 1 月 19 日	35
10		大利根子育てサロン 「ぽっけ」	平成 23 年 1 月 19 日	77
合 計				123
				1,294

仲間づくりの場の提供

No	地域名	サロンの名称	開設日	利用者数（人）
1	加須	花崎児童館子育てサロン	平成 22 年 6 月 24 日	7,314
2		利根川こども館子育てサロン	平成 25 年 2 月 22 日	15,211
3		不動岡コミュニティーセンター 子育てサロン	平成 25 年 6 月 23 日	3,614
合 計				26,139

事業名		子育て支援ネットワーク事業			2114-07
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	375,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	375,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	256,297 円	—
事業の目的		子育て支援関係団体の連携を強化して、子育て環境の充実を図り、地域での子育て支援を促進する。			
事業の概要		・子育て支援団体の情報交換会、研修 ・ファシリテーターの養成 ・親支援プログラムの開催 ・チラシ、メール配信等によるイベント案内			
事業の実績・成果					
○ 事業内容					
(1) 親支援プログラム講座（ノーバディズ・パーフェクト・プログラム）の開催 「完璧な親なんかいない」という理念のもと、子育て中の親を支援するプログラムを 2 会場で実施し、親支援を実施することができた。 実施回数 2 回 ①令和 6 年 6 月 20 日、27 日、7 月 4 日、11 日、18 日、25 日（全 6 回） 会 場 吉川保育園子育て支援センター 参加人数 9 名 ②令和 6 年 11 月 5 日、12 日、19 日、26 日、12 月 3 日、10 日（全 6 回） 会 場 豊野コミュニティセンター 参加人数 10 名					
(2) F S プログラム（通称：赤ちゃんプログラム）の企画 赤ちゃんを迎えて新しい「家族を創る」プロセスが順調に進むよう、家族の「はじめの一步」を支援するプログラム。2 会場での実施を企画し参加者を募集したが、いずれも参加申し込みがなく未実施となった。 企画回数 2 回 ①令和 6 年 10 月 3 日、10 日、17 日、24 日（全 4 回） 会 場 パストラルかぞ 和室 ②令和 7 年 1 月 9 日、16 日、23 日、30 日（全 4 回） 会 場 不動岡コミュニティセンター					
(3) 親支援プログラム フォローアップの開催（同窓会・交流会） 過去に開催した同プログラムの参加者へのフォローアップのため、同窓会・交流会を開催した。 実施グループ 4 グループ 参加人数 計 46 名					
(4) F S プログラムファシリテーター研修 F S プログラムを実施するにあたり、プログラムの意義及びその内容、進行方法等を再確認し、ファシリテーターとしての見識を深めることを目的に開催。 開 催 日 令和 6 年 8 月 9 日 参加人数 3 名					
(5) ノーバディズ・パーフェクト（NP）ファシリテーター養成講座の受講支援 講座主催 特定非営利活動法人 子ども家庭リソースセンター（東京都北区王子） 受講期間 令和 6 年 11 月 1 日～4 日（4 日間） 受講人数 1 名 支援内容 受講料、テキスト代、交通費（実費）					

事業名		民間児童館助成事業			2114-13																					
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越																					
款	03	民生費	当初予算額	3,189,000 円	—																					
項	02	児童福祉費	最終予算額	3,279,000 円	—																					
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,189,000 円	—																					
事業の目的		児童の健全な育成を促進するため、市内の民間児童館の運営及び事業の実施を支援する。																								
事業の概要		市内の民間児童館に補助金を交付し、児童の健全育成・養育に関する相談事業、地域グループの活動支援事業、異年齢交流・世代間交流事業の実施を支援する。																								
事業の実績・成果																										
市内で民間児童館を開設している社会福祉法人加須福祉会に事業費補助金（3,000,000 円）を交付し、民間児童館の運営を支援することによって、地域におけるこどもの遊びの場を確保することができた。 また、地域組織活動育成クラブ（みつまた母親クラブ）に活動補助金（189,000 円）を交付することによって、母親など地域住民の積極的な参加による地域組織の活動を促進することができた。																										
1 施設の名称 みつまた児童館（みつまた保育園に併設）																										
2 開館日数及び利用者数 （単位：日、人） <table><tr><th rowspan="2">開館日数</th><th colspan="6">利用者数</th></tr><tr><th>幼 児</th><th>小学生</th><th>中学生</th><th>大人等</th><th>合計</th><th>1 日当たり</th></tr><tr><td>239</td><td>8,899</td><td>8,510</td><td>0</td><td>3,256</td><td>20,665</td><td>86</td></tr></table>							開館日数	利用者数						幼 児	小学生	中学生	大人等	合計	1 日当たり	239	8,899	8,510	0	3,256	20,665	86
開館日数	利用者数																									
	幼 児	小学生	中学生	大人等	合計	1 日当たり																				
239	8,899	8,510	0	3,256	20,665	86																				
3 実施事業																										
(1) 相談事業																										
(2) 啓発活動・福祉サービス利用の調整等																										
(3) 地域住民による自主的活動の支援等																										
(4) 関係機関等への連絡・協力																										
(5) 地域行事との連携																										
(6) 異年齢児との交流																										
(7) 引きこもり・不登校等児童に対する支援																										
(8) 思春期児童の養育の支援 など																										
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 90,000 円																										
・ 翌年度への繰越事業の内容 民間児童館光熱費支援補助金（90,000 円）																										
・ 令和 6 年度から令和 7 年度へ繰り越す理由 令和 7 年 3 月補正で予算措置した事業であり、年度内の事業完了が困難であるため。																										

事業名		子どもの居場所づくり事業			2114-14		
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越		
款	03	民生費	当初予算額	26,029,000 円	—		
項	02	児童福祉費	最終予算額	32,778,000 円	—		
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	29,635,956 円	—		
事業の目的		地域におけるこどもの居場所を創出する。					
事業の概要		放課後や休日にこどもが立ち寄り、その場所で一時を過ごせるこどもの居場所を公共施設等に創出する。また、地域ボランティア等と協働し、「放課後子ども教室」を実施し、体験学習や遊びを提供する。					
事業の実績・成果							
1 公立児童館等の運営							
公立の加須児童館、花崎児童館及び利根川こども館において、職員の創意工夫と地域住民との連携によって、こどもが安心して過ごせる場を提供することができた。							
(1) 開館日数及び利用者数							
(単位：日、人)							
	開館日数	利用者数					
		幼 児	小学生	中学生	大人等	合 計	1日当たり
加 須 児 童 館	308	1,182	6,160	960	1,717	10,019	33
花 崎 児 童 館	308	3,776	4,392	950	3,538	12,656	41
利根川こども館	308	6,234	4,175	726	8,865	20,000	65
合 計	—	11,192	14,727	2,636	14,120	42,675	—
(2) 年間利用者数の推移							
(単位：人)							
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
加 須 児 童 館	6,955	10,758	10,638	9,567	10,019		
花 崎 児 童 館	4,519	9,125	10,153	14,939	12,656		
利根川こども館	6,346	12,640	16,059	21,787	20,000		
合 計	17,820	32,523	36,850	46,293	42,675		
2 放課後子ども教室の設置・運営							
放課後におけるこどもの居場所づくりとして、市内5校において学区協議会やイベントの開催等を企画し、予定していた全ての小学校でイベントを実施できた。							
開催校	学区協議会	イベント					
不動岡小学校	1 回	フロアカーリング体験、ネギ入りおやきづくり体験 ボッチャ体験					
水深小学校	2 回	ボッチャ体験					
騎西小学校	3 回	ボッチャ体験、もちつき大会、うどんづくり体験					
田ヶ谷小学校	2 回	芋煮会、昔遊び体験					
大利根東小学校	1 回	マジック&昔遊び体験、ボッチャ&フロアカーリング体験					
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 1,386,000 円							
・ 翌年度への繰越事業の内容 花崎児童館ホール空調機更新工事（1,386,000 円）							
・ 令和6年度から令和7年度へ繰り越す理由 令和7年2月補正で予算措置した事業であり、年度内の工事完了が困難であるため。							

事業名		児童虐待防止等ネットワーク事業		2114-15	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	339,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	654,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	595,874 円	—
事業の目的		保護者からの虐待等で、保護が必要な児童に対して適切な対応を図り、児童の健全な育成を図る。			
事業の概要		本市の虐待防止等ネットワークを構成している機関の代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を開催し、虐待等の予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図る。 なお、児童福祉法の一部改正により、平成 29 年 4 月から、要保護児童対策地域協議会の調整機関に専門職（社会福祉士、保健師等）を配置			
事業の実績・成果					
児童虐待相談対応件数が年々増加し、それに伴い相談内容が複雑・多様化しているため、ケースに関わりのある関係機関が集まり、個別ケース検討会議を随時開催している。ケース課題の整理と関係機関の役割分担を明確化し、虐待の再発防止に努めた。 児童虐待対応職員としての専門性の維持向上を目的として、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格取得のため、指定研修を 1 名受講し、資格認定試験に合格した。 実務者会議、代表者会議では各関係機関との連携強化を図り、要保護児童等に対する情報交換、支援等についての協議を行い、虐待予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図っている。代表者会議は年 1 回、実務者会議は毎月 1 回計 12 回開催している。 また、児童・保護者への虐待防止啓発を目的として、市内小学 1 年生全生徒に虐待防止啓発用のクリアファイルを配布した。また、市役所窓口にて虐待防止啓発用のポケットティッシュを配布し、市民の意識啓発を行った。 11 月の児童虐待防止月間の取組として、令和 6 年 11 月 6 日に東武伊勢崎線花崎駅改札付近で大学生とのオレンジリボン街頭啓発活動（オレンジリボン啓発用品の配布）を行った。11 月 6 日～11 月 12 日午後 6 時から午後 8 時まで、騎西城を児童虐待防止のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップし、同期間中は騎西・文化学習センター入口付近にブースを設け、児童虐待防止に関するポスターの掲示、パンフレットや啓発用ポケットティッシュを常置し、児童虐待防止の重要性について広く周知啓発を図った。 ヤングケアラー支援については、ヤングケアラーと思われる方々を市全体で支えていくために、関係機関間の支援体制を確立・強化していくことを目的として、市役所内関係部署、関係機関の職員を対象に年 3 回（第 1 回：令和 6 年 5 月 20 日、第 2 回：令和 6 年 7 月 18 日、第 3 回：令和 6 年 9 月 25 日）ワーキンググループ会議を開催した。また、支援が必要とされるヤングケアラーの実態を正確に把握し、各種支援につなげるため、令和 6 年 10 月 15 日～10 月 31 日にかけて実態調査を実施した。					
○要保護児童対策地域協議会開催件数		個別ケース検討会議	22 回（随時）		
		実務者会議	12 回（月 1 回）		
		代表者会議	1 回（年 1 回）		
○要保護児童対策地域協議会実務者会議で取り扱った件数		64 件			
うち、転出・家庭環境改善等で終結した件数		6 件			

事業名		母子福祉団体助成事業			2114-18
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	18,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	18,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	18,000 円	—
事業の目的		地域において児童福祉の向上を推進する団体に対する助成を行い、地域における子育て支援を促進する。			
事業の概要		加須市における母子及び寡婦福祉団体への事業費補助金を交付し支援			
事業の実績・成果					
母子家庭等の福祉の向上を図るため、加須市大利根母子福祉会に対して事業費補助金（18,000 円）を交付した。					
会員相互の連絡を密にし、多様化する社会生活の変化に対応する新たな生活意識の熟成を図るため、他団体との連携や協働により子育て支援の取組みを実施した。					

事業名		母子家庭等自立支援事業			2122-08	
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	12,772,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	13,477,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	13,474,380 円	—	
事業の目的		母子家庭の母及び父子家庭の父の就業及びキャリアアップのための資格取得を支援し、母子家庭等の生活の安定を図る。				
事業の概要		・ 母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 市民税非課税世帯は月額 100,000 円（課税世帯は月額 70,500 円。最終年は月額 40,000 円を加算）を支給する。 ・ 母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 修了した講座の受講料の 60%（教育訓練給付支給対象者は教育訓練給付金の額を差し引いた額）を支給する。				
事業の実績・成果						
自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金等を支給することにより、母子家庭等の母又は父の就業や自立に貢献することができた。 また、児童扶養手当の受給者に情報提供するとともに、窓口でのパンフレットの配布やホームページへの事業内容の掲載等を行うことにより、支援が必要な方を事業の利用につなげることができた。						
1 自立支援教育訓練給付金 指定講座を受講した場合に、受講に要した経費の一部（60%（12,001 円以上 200,000 円以下））を支給し、自立を支援した。 （単位：件、円）						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
母子家庭等自立支援	支給件数	3	3	3	0	3
教育訓練給付金	支 給 額	89,912	77,920	210,600	0	93,880
2 高等職業訓練促進給付金等 6 か月以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込める場合、修業期間の全ての期間で促進給付金を、訓練修了後に修了支援給付金を支給し、対象家庭の自立を支援した。 （単位：件、円）						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
高等職業訓練	支給件数	6	7	5	8	12
促進給付金	支 給 額	7,446,000	7,100,000	4,926,000	9,366,000	13,010,500
高等職業訓練	支給件数	2	3	1	1	2
修了支援給付金	支 給 額	100,000	150,000	50,000	25,000	100,000

事業名		ひとり親家庭等医療費事業			2122-11	
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	65,968,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	65,533,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	54,721,625 円	—	
事業の目的		子育て中のひとり親家庭等を経済的に支援し、生活の安定を図る。				
事業の概要		ひとり親家庭等の 18 歳の年度末まで（一定程度の障がいがある場合は 20 歳未満）の子とその母(父)又は養育者に係る医療費の一部を支給する。				
事業の実績・成果						
ひとり親家庭等医療費を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立に貢献することができた。						
1 事業内容						
(1) 支給対象者	ひとり親家庭等の 18 歳の年度末まで（一定の障がいがある場合は 20 歳未満）の子とその母（父）又は養育者					
(2) 支給内容	医療保険が適用される医療費のうち保険適用後の一部負担金の額から、支給対象者の自己負担分及び他制度から本人に支給される附加給付等を控除した額を支給					
(3) 自己負担	支給対象者のうち児童を除く者が市町村民税課税者の場合、自己負担金が発生 ①通院の場合 1 医療機関等ごと、1 人につき 1,000 円／月 ②入院の場合 1 医療機関等ごと、1 人につき 1,200 円／日					
(4) 支給期間	受給者証交付申請日（申請日前に遡及する場合あり）から受給資格消滅日まで（支給対象者又は扶養義務者等の所得が制限額を超える場合は支給停止）					
(5) 所得制限	児童扶養手当制度の一部支給限度額					
(6) 支払方法	現物給付（県内）又は償還払					
(7) 費用負担	県：補助対象経費の 1/2					
2 支給対象者数及び支給件数の推移						
(単位:人)						
支給対象者数		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
		(父母等) 822	767	745	720	720
		(児 童) 1,254	1,197	1,186	1,163	1,154
(単位:件)						
支給件数		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
		16,557	16,846	16,872	20,386	21,839
※ 令和 5 年 1 月診療分から、現物給付の対象となる医療機関等の範囲を「市内」から「県内」に拡大した。						
※ 令和 5 年 7 月診療分から、自己負担金が不要となる者の年齢の上限を「15 歳の年度末」から「18 歳の年度末」に引き上げるとともに、「15 歳の年度末」としていた現物給付の対象となる者の年齢の上限を廃止した。						

事業名		子ども食堂・フードパントリー支援事業			2122-14
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,300,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	2,300,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	2,300,000 円	—
事業の目的		市内におけるこども食堂及びフードパントリーの活動を推進する。			
事業の概要		・ こども食堂及びフードパントリーの活動を行う団体のネットワーク化を推進する。 ・ 加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会の運営に対し補助金を交付する。			
事業の実績・成果					
・ フードドライブを開催し、寄贈を受けた食品等を市内のこども食堂及びフードパントリー活動団体を通じて提供することにより、支援を必要とするこどもやその家庭を支援することができた。 ・ 「加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会」と情報交換会を開催し、及び運営費の一部を支援することによって、市内におけるこども食堂・フードパントリー活動の活性化に寄与することができた。					
フードドライブ					
実施時期					寄贈出品数
第1回	令和6年 5月 7日（火）～令和6年 5月 10日（金）				958 点
第2回	令和6年 7月 8日（月）～令和6年 7月 12日（金）				2,010 点
第3回	令和6年 9月 9日（月）～令和6年 9月 13日（金）				1,321 点
第4回	令和6年 11月 5日（火）～令和6年 11月 8日（金）				2,477 点
第5回	令和7年 1月 6日（月）～令和7年 1月 10日（金）				1,698 点
第6回	令和7年 3月 3日（月）～令和7年 3月 7日（金）				1,098 点
フードドライブ贈呈式・情報交換会					
実施日					
第1回	令和6年 5月 13日（月）				
第2回	令和6年 7月 16日（火）				
第3回	令和6年 9月 19日（木）				
第4回	令和6年 11月 12日（火）				
第5回	令和7年 1月 14日（火）				
第6回	令和7年 3月 10日（月）				
加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会登録団体一覧（令和7年3月31日時点）					
活動形態	団体名称		活動形態	団体名称	
こども食堂	すくすく広場		フードパントリー	加須子育て応援フードパントリー	
	つくしの家			あいせん子育て応援フードパントリー	
	北小浜みんなで子ども食堂			加須北子育て応援フードパントリー	
	くつろぎカフェ・加須北			騎西子育て応援フードパントリー	
	光明寺おてら食堂			鴻巣陽気な子育て応援フードパントリー	
	みつまたキッチン			ゆめさくらフードパントリー加須	
	キッチンわーぐる			—	

事業名		就学前子ども教育・保育認定事業			2131-01	
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	7,442,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	8,357,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	7,812,671 円	—	
事業の目的		就学前（0～5 歳）児童に必要な応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。				
事業の概要		就学前（0～5 歳）児童に、必要に応じて支給認定証を交付する。 保育サービスの提供を実施するため必要となる一連の事務を行う。 市民税を算定基礎に保育料の賦課徴収を行う。				
事業の実績・成果						
認定者数（年度末現在）						
(単位：人)						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1 号認定（教育）		991	908	851	801	721
2 号認定（保育 満 3 歳以上）		1,905	1,739	1,666	1,613	1,193
3 号認定（保育 満 3 歳未満）		749	563	719	741	850
合計		3,645	3,210	3,236	3,155	2,764

事業名		民間保育所運営委託事業				2131-02			
担当課		こども保育課			現 年	前年度からの繰越			
款	03	民生費		当初予算額	1,776,293,000 円		—		
項	02	児童福祉費		最終予算額	2,013,544,000 円		—		
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	1,765,523,780 円		—		
事業の目的		保育を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、保育サービスの充実を図る。							
事業の概要		保育所で保育の利用を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支出する。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。							
事業の実績・成果									
民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支給し、保育の充実を図った。									
保育所の定員・入所児童数・運営費等									
	定員 (人)	0歳児 (人)	1歳児 (人)	2歳児 (人)	3歳児 (人)	4歳児 (人)	5歳児 (人)	合計※2 (人)	運営費※3 (円)
愛泉幼児園	140	6	22	30	27	24	25	134	156,941,420
戸川保育園	70	6	10	14	15	15	17	77	110,097,580
加須保育園	160	12	24	27	28	33	33	157	172,218,600
不動岡保育園	80	0	0	22	22	20	25	89	108,271,640
不動岡第二保育園	20	9	20	0	0	0	0	29	104,497,200
志多見保育園	60	3	6	11	11	19	12	62	82,189,250
花崎保育園	180	13	21	29	27	25	25	140	149,440,960
三俣第一保育園	130	12	25	24	24	28	18	131	172,594,810
三俣第三保育園	120	6	19	25	22	23	23	118	134,120,020
みなみ保育園	131	12	20	24	26	28	32	142	161,891,760
にしき保育園	50	7	11	12	12	11	11	64	107,197,330
吉川保育園	60	7	9	16	6	8	6	52	78,450,630
リトル花保育園	90	9	16	19	20	19	20	103	139,572,680
その他※1	—	6	16	13	17	12	13	77	88,039,900
合計	—	108	219	266	257	265	260	1,375	1,765,523,780
※1 その他・・・市外公・私立保育園の総数 ※2 入所児童数は令和7年3月31日現在のもの ※3 運営費は年間の支給額									

事業名		民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業			2131-03
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	536,665,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	673,600,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	515,616,610 円	—
事業の目的		就学前（0～5 歳）児童に必要な応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。			
事業の概要		就学前(0～5 歳) 児童の認定区分ごとに保育・教育を提供する。保育又は教育を提供した民間施設（子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園、認定こども園及び地域型保育施設）は、利用した児童分の施設型給付費を市に請求し、市は確認のうえ施設に支払う（法定代理受領）。 単価は児童の年齢、園の定員による。			

事業の実績・成果

子ども・子育て支援新制度に移行した認定こども園等に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支給し、保育・教育の充実を図った。

認定こども園等の定員・入所児童数・運営費等

	認定区分	定員 (人)	0 歳児 (人)	1 歳児 (人)	2 歳児 (人)	3 歳児 (人)	4 歳児 (人)	5 歳児 (人)	合計※2 (人)	運営費※3 (円)
騎西桜が丘	1 号	90	—	—	—	23	27	25	75	197,106,741
	2,3 号	130	12	20	24	24	25	23	128	
大利根ふじこども園	1 号	75	—	—	—	24	25	20	69	140,558,860
	2,3 号	80	3	6	12	16	15	21	73	
市外私立幼稚園・ 認定こども園	1 号	—	—	—	17	38	47	46	148	163,083,229
	2,3 号	—	1	3	5	10	7	11	37	
地域型保育施設※1	2,3 号	—	1	3	4	—	—	—	8	14,867,780
合計	—	—	17	32	62	135	146	146	538	515,616,610

- *認定区分・・・1 号 満 3 歳以上教育認定（幼稚園、認定こども園幼稚園部分入園児）
2 号 満 3 歳以上保育認定（保育所、認定こども園保育部分入園児）
3 号 満 3 歳未満保育認定（保育所、認定こども園保育部分、小規模保育等入園児）

- ※1 地域型保育施設・・・小規模保育事業、家庭的保育事業に属する保育施設
※2 入所児童数は令和 7 年 3 月 31 日現在のもの
※3 運営費は年間の支給額

事業名		低年齢児保育事業			2131-05
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	69,730,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	69,730,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	62,292,000 円	—
事業の目的		乳幼児を含めた多様な年齢の児童を育てる家庭の保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。			
事業の概要		低年齢児の特性に応じた保育体制を確保するため、民間保育所に次の補助（県費 1/2）を行う。 ① 1 歳児 4 人に対し保育士 1 人の配置で 1 歳児 1 人当たり月額 20,000 円。 ② 乳児の年度途中入所に応じるため予め保育士を確保した場合、未充足乳児 1 人当たり 80,000 円（上限 882,000 円）。			
事業の実績・成果					
安定的に低年齢児（0 歳児・1 歳児）の受入れができるよう、あらかじめ保育士を確保し、年度途中入所の需要等に対応できる体制を整えた保育所に対して助成を行った。					
1 実施場所 愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第二保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園 他 市外 10 園					
2 対象一歳児年間延べ人数の推移 (単位：人)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
入所児童数	2,938	2,783	2,808	3,108	2,806

人

対象一歳児年間延べ人数の推移

年度	人
R2	2,938
R3	2,783
R4	2,808
R5	3,108
R6	2,806

事業名		長時間保育事業			2131-06
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	35,321,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	35,321,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	33,926,260 円	—
事業の目的		労働環境等の多様化に伴う保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。			
事業の概要		・ 保育短時間、保育標準時間の前後の時間において、更に延長保育を行う。 ・ 事業に際しては、保育士 2 名以上及び対象児童数に応じて必要となる職員を配置する。 ・ 児童に対しては、適宜間食又は給食等を提供する。 ・ 延長保育を実施する民間保育所に補助を行う。			
事業の実績・成果					
保護者の就労形態の多様化と通勤時間の増加等に伴い、認定時間の前後の時間において、さらに延長保育を行うため、実施する民間保育園に補助を行った。					
1 実施場所					
(標準時間認定児の延長保育が実施された園)					
愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三保第一保育園・三保第二保育園・三保第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園					
(短時間認定児の延長保育が実施された園)					
戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・みなみ保育園・吉川保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園					
2 延長保育事業延べ利用児童数の推移 (単位：人)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
短時間認定児 延べ利用人数	5,340	6,276	6,328	7,680	7,713
標準時間認定児 延べ利用人数	26,639	27,526	29,267	26,189	27,584
保育を必要とする事由や必要量により、1 日最大 11 時間利用可能な「保育標準時間」と 1 日最大 8 時間利用可能な「保育短時間」に区分されている。区分に応じた保育時間を超えると延長保育となる。(区分に応じた保育時間は各園によって異なる。)					

事業名	病後児保育事業			2131-07
担当課	こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	10,969,000 円
項	02	児童福祉費	最終予算額	10,969,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	8,868,000 円

事業の目的	保育を必要とする病後児童に対する保育サービスの充実を図り、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。			
事業の概要	病気回復中の乳幼児を預かる施設に対し、必要な看護師等の配置費用を、年間延べ利用者数に応じて補助金として支給（国 1/3・県 1/3）。 ○補助金 ・基本分：6,032,000 円（内改善分 2,225,000 円） ・加算分：年間延べ利用児童数に応じた加算額			

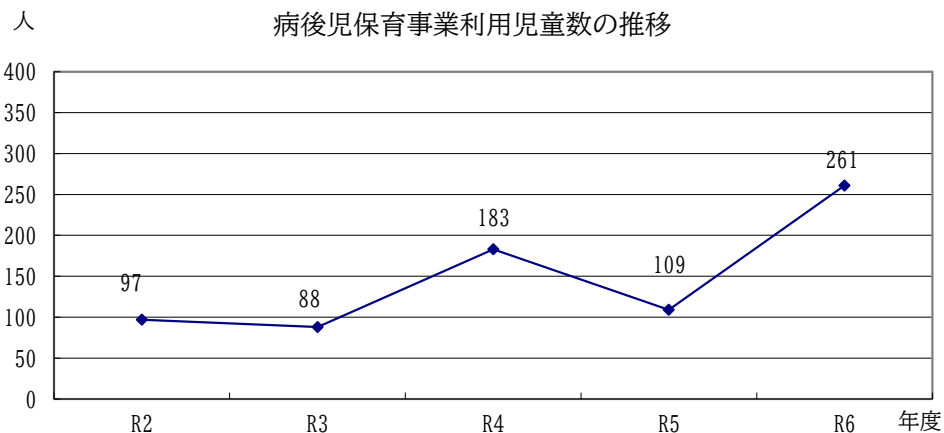
事業の実績・成果

病気の回復期にある児童を児童福祉施設等で預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援した。窓口にパンフレットを設置するなど様々な媒体を利用し制度の周知を図った。

1 実施場所 愛泉乳児園

2 病後児保育利用延べ人数 (単位：人)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用延べ人数	97	88	183	109	261



事業名		夜間保育所事業			2131-08				
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越				
款	03	民生費	当初予算額	51,581,000 円	—				
項	02	児童福祉費	最終予算額	55,414,000 円	—				
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	51,662,490 円	—				
事業の目的		夜間保育（11:00～22:00）を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するため、保育サービスの充実を図る。							
事業の概要		三保第二保育園（令和 5.10.01 より三保第二夜間保育園から名称変更）で保育の実施を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費（委託料）を保育所に支払う。							
事業の実績・成果									
民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支給し、保育の充実を図った。									
保育所の定員・入所児童数・運営費等									
	定員 (人)	0 歳児 (人)	1 歳児 (人)	2 歳児 (人)	3 歳児 (人)	4 歳児 (人)	5 歳児 (人)	合計※1 (人)	運営費※2 (円)
三保第二保育園	20	3	2	6	3	0	8	22	51,662,490
合計	—	3	2	6	3	0	8	22	51,662,490
※1 入所児童数は令和 7 年 3 月 3 1 日現在のもの									
※2 運営費は年間の支給額									

事業名		民間保育所障害児保育事業			2131-09	
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	8,769,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	8,769,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	7,532,480 円	—	
事業の目的		障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。				
事業の概要		・ 保育を必要とし、障がいがある児童を集団保育で保育する。 ・ 身障手帳・療育手帳所持児童等の障がい児 3 名につき保育士 1 名増員の対策を講じた民間保育所に対し、増員保育士の人件費の一部を助成。 (特別児童扶養手当該当の場合は市費で月額 74,140 円、その他は県費で月額 40,000 円)				
事業の実績・成果						
障がい児の受け入れを推進するために、民間保育所における保育士の加配に対し補助を行うことにより、円滑な障がい児保育を行った。						
1	実施場所	愛泉幼児園・加須保育園・みなみ保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘大利根ふじこども園 他市外 1 園				
2	障がい児保育対策事業対象児童数の推移	(単位：人)				
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	入所児童数	20	21	10	13	17

事業名		一時保育事業			2131-10
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	19,310,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	19,310,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	16,441,578 円	—
事業の目的		家庭保育者の一時的な保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。			
事業の概要		・ 公立と民間の保育所で一時的な保育の需要に応じる。 ・ 一時保育（一般型）を実施する民間保育所に対し、年間延利用児童数に応じた補助金を交付する。 ・ 一時保育（幼稚園型）を実施する幼稚園に対し、年間延べ利用児童数に応じた補助金を交付する。			
事業の実績・成果					
家庭において保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を、保育所、幼稚園、認定こども園において、一時的に預かり、必要な保育を行った。					
① 一般型 保育所・幼稚園・認定こども園等に在籍していない乳幼児を対象に、保育所の場所において一時保育を行った。					
(1)実施場所 愛泉幼稚園・加須保育園・不動岡保育園・花崎保育園・北川辺保育所・わらべ保育園					
(2)年間延べ利用児童数 506 人					
② 幼稚園型 認定こども園や幼稚園に在籍する満3歳以上の幼児で、教育時間の前後または長期休業日等に当該園において、一時保育や預かり保育を行った。					
(1)実施場所 （市内）大利根ふじこども園・認定こども園騎西桜が丘 （市外）栗橋さくら幼稚園・さくらのもり・鷺宮幼稚園					
(2)年間延べ利用児童数 7,090 人					

事業名		避難者支援民間保育所等運営委託事業			2131-11
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	4,789,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	4,789,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	731,860 円	—
事業の目的		子育て家庭の保護者の勤務等により、保育を必要とする児童の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援する。			
事業の概要		原発避難者特例法に基づき、被災した子育て家庭の保護者の勤務等により、保育所で保育の実施を行った場合、国が定めた公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支払う。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。			
事業の実績・成果					
市内民間保育園において、原発避難者特例法に基づく対象児童（2名）の保育を実施した。					
(参考) 東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律（平成23年法律第98号）第3条第1項の規定に基づき、次に掲げる市町村を指定市町村として指定する。 いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯館村					
対象児童の受入内訳					
	避難前住所	保育園名	入所期間		
1	大熊町	三俣第一保育園	令和6年4月～令和7年3月		
2	双葉町	認定こども園騎西桜が丘	令和6年4月～令和7年3月		

事業名		民間保育所助成事業		2131-12	
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	16,893,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	28,498,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	19,428,995 円	—
事業の目的		保育環境の整備・充実を図り保育サービスの充実に資する。			
事業の概要		・ 民間保育所振興費 定員 1 人 5,000 円、4 月 1 日入園児 1 人 2,000 円。職員 1 人 9,000 円。日本スポーツ振興センター共済掛金 1 人 375 円 ・ 民間保育所歯科検診費 15,000 円～30,000 円 ・ 民間保育所施設整備費助成 年間に 20 万円（毎年 1 施設の補助）			
事業の実績・成果					
・ 民間保育所等（16 園）に対して助成し、民間保育所等の運営の充実と民間保育所等に勤務する職員の処遇等の改善を図ることにより、待機児童ゼロを維持した。					
1 民間保育所振興費 13,755,995 円 （1）振興費補助 ・ 民間保育所の入所児童の処遇改善及び施設の改善に要する経費を助成した。 （2）職員厚生費補助 ・ 職員の処遇改善に要する経費を助成した。 （3）独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入費補助 ・ 園児の災害時の保障のため独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入に要する経費（定員 1 名に対し、年額 365 円等）を助成した。					
2 民間保育所歯科検診費 600,000 円 民間保育所入所乳幼児の歯科検診を推進し、乳幼児の歯科保健の充実を図るため、歯科検診費に対して補助金を交付した。					
3 民間保育所施設整備費補助金 200,000 円 三俣第二保育園で実施した園庭遊具修繕等に対して助成を行った。					
4 保育体制強化事業補助金 4,140,000 円 保育支援者を配置し、保育士の負担を軽減した保育施設に対して補助金を交付した。					
5 保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業費補助金 430,000 円 保育所等におけるこどものプライバシー保護や保護者の安心に応え、そして、未然に性被害を防止するため、パーテーションやカーテン等の購入経費の支援を実施した。その結果、民間保育所等（6 施設）に対し補助金を交付したことで、子ども達のプライバシーが保護され、保育所等の性被害対策に寄与した。なお、当該補助については国の補助金（2/3）を活用して実施した。					
6 保育所等 I C T 化推進事業補助金 27,000 円 翻訳のための機器を導入した保育施設に対して補助金を交付した。					
7 新卒保育士就職準備金貸付負担金 250,000 円 埼玉県社会福祉協議会が実施する新卒保育士就職準備金貸付事業において、5 人の対象者に対し計 250,000 を負担し、地域における保育士確保につなげた。					
8 令和 5 年度実績に伴う国への返還金 国庫支出金返還金 26,000 円					

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 7,424,000 円

・ 翌年度への繰越事業の内容

物価高騰の影響を受けている民間保育施設への緊急支援（7,424,000 円）

・ 令和6年度から令和7年度へ繰り越す理由

令和7年2月に補正した事業であり、年度内の完了が見込めないため。

事業名		保育団体助成事業			2131-20
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	232,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	232,000 円	—
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	232,000 円	—
事業の目的		私立保育園同士の連携及び公立保育所との情報交換を深めるとともに人権を尊重した保育を推進する。			
事業の概要		保育団体（加須私立保育園園長会、人権保育推進委員会）の運営費を補助することで、それぞれの団体の活動を推進し、一層の保育の質を高めることに寄与する。			
事業の実績・成果					
1 加須私立保育園園長会運営費補助金（72,000 円） 私立保育園間の連携、情報共有及び公立保育所との情報交換を図るため、加須私立保育園園長会に対して運営費補助金を交付した。					
2 人権保育推進委員会補助金（160,000 円） ・加須市騎西地域人権保育推進委員会補助金（160,000 円） ・加須市の人権保育の推進を図るため、騎西地域の人権保育推進委員会に対して運営費補助金を交付し、保育所の様々な取組みを支援した。					

事業名		公立放課後児童健全育成事業			2133-01		
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越		
款	03	民生費	当初予算額	562,940,000 円	88,788,795 円		
項	02	児童福祉費	最終予算額	586,277,000 円	88,788,795 円		
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	572,934,904 円	73,956,025 円		
事業の目的		放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。					
事業の概要		・ 保護者の就労等により、家庭保育が困難な世帯の小学校就学児童を対象に小学校や幼稚園の余裕教室等を利用して学童保育を行う。 ・ 開設時間 学校開業日：放課後～19 時 学校休業日：7 時 30 分～19 時(延長保育の実施時間：7 時 30 分～8 時) ※土曜日は複数施設の児童を特定の施設に集めて保育する合同保育を実施					
事業の実績・成果							
・ 保護者が就労等により昼間留守家庭となる市内の就学児童に対し、授業終了後に小学校や幼稚園の教室などを利用して適切な遊び及び生活の場を提供してその健全な育成を図り、保護者の仕事と家庭の両立支援を行った。							
・ 登録児童数の施設別推移（各年 5 月 1 日現在） （単位：人）							
地域	実施施設		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
加須地域	加須小学校放課後児童健全育成室		70	69	87	94	98
	花崎北小学校放課後児童健全育成室		92	73	64	61	61
	加須南小学校放課後児童健全育成室		29	34	34	27	26
	不動岡小学校放課後児童健全育成室		62	67	71	66	70
	三俣小学校放課後児童健全育成室		86	87	97	93	99
	礼羽小学校放課後児童健全育成室		36	24	29	27	36
	大桑小学校放課後児童健全育成室		105	97	101	105	134
	水深小学校第一放課後児童健全育成室		66	59	57	59	63
	水深小学校第二放課後児童健全育成室		29	34	33	35	42
	水深小学校第三放課後児童健全育成室		56	53	61	59	65
	志多見小学校放課後児童健全育成室		39	33	29	33	30
	樋遭川小学校放課後児童健全育成室		26	22	20	23	24
	大越小学校放課後児童健全育成室		24	22	17	17	12
	大利根地域	大利根東小放課後児童健全育成たなばた室		51	45	59	64
原道小放課後児童健全育成のぎく室		35	39	30	26	22	
元和小放課後児童健全育成かえで室		58	65	79	96	115	
豊野小放課後児童健全育成もみじ室		28	21	18	15	22	
合計（児童数）			892	844	886	900	984
・ 広報かぞ、SNSによる放課後児童指導員の確保や、保育面積の確保等により待機児童ゼロを維持することができた。							

- ・放課後の時間帯に加えて、土曜日及びお盆の合同保育を実施した。

放課後児童健全育成室	拠点施設
加須小学校放課後児童健全育成室	加須小学校放課後児童健全育成室
加須南小学校放課後児童健全育成室	
水深小学校第一放課後児童健全育成室	水深小学校第一放課後児童健全育成室
水深小学校第二放課後児童健全育成室	
水深小学校第三放課後児童健全育成室	
不動岡小学校放課後児童健全育成室	礼羽小学校放課後児童健全育成室
礼羽小学校放課後児童健全育成室	
志多見小学校放課後児童健全育成室	
三俣小学校放課後児童健全育成室	三俣小学校放課後児童健全育成室
樋遭川小学校放課後児童健全育成室	
大越小学校放課後児童健全育成室	
大利根東小放課後児童健全育成たなばた室	大利根東小放課後児童健全育成たなばた室
原道小放課後児童健全育成のぎく室	
元和小放課後児童健全育成かえで室	
豊野小放課後児童健全育成もみじ室	

- ・利用児童数と保護者負担金（学童保育料）収納状況の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
児童数（人）	133,829	138,750	148,468	149,714	165,871
調定額（円）	44,646,580	49,714,462	52,554,237	56,203,171	60,729,945
現年度	44,019,030	48,928,412	51,600,487	54,984,671	59,338,745
過年度	627,550	786,050	953,750	1,218,500	1,391,200
収入済額（円）	43,838,030	48,601,762	51,513,187	54,811,971	59,197,445
現年度	43,662,530	48,571,262	51,340,237	54,702,721	59,037,495
過年度	175,500	30,500	172,950	109,250	159,950
収納率（％）	98.7	98.1	97.8	98.0	97.4
現年度	99.1	99.2	99.4	99.4	99.4
過年度	28.0	3.9	18.1	8.9	11.4

※児童数は年間延べ利用児童数

- ・加須市立元和小学校校舎増築工事に伴い放課後児童健全育成室を4部屋整備し、待機児童ゼロを維持した。（令和6年度 148,436,151円）

- ・公立放課後児童クラブの性被害防止対策設備の支援 939,840円
学童保育室におけるこどものプライバシー保護や保護者の安心に応え、そして、未然に性被害を防止するため、パーテーションを購入し公立放課後児童健全育成室（10施設）へ設置した。

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 2,277,000円

- ・前年度からの繰越事業の内容
加須市立不動岡小学校放課後児童健全育成室雨漏り修繕工事（2,277,000円）

【前年度からの繰越事業（継続費通次繰越）】 86,511,795円

- ・前年度からの繰越事業の内容
加須市立元和小学校校舎増築工事（学童保育室分）（71,679,025円）

事業名		民間放課後児童健全育成事業			2133-03			
担当課		こども保育課		現年	前年度からの繰越			
款	03	民生費	当初予算額	292,744,000 円	2,946,000 円			
項	02	児童福祉費	最終予算額	296,763,000 円	2,946,000 円			
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	279,398,138 円	2,860,000 円			
事業の目的		放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。						
事業の概要		民間放課後児童クラブに事業委託し、放課後児童健全育成事業を実施する。						
事業の実績・成果								
・放課後児童健全育成事業委託 271,115,000 円 保護者が就労等により、昼間留守家庭となる市内の就学児童に対し、授業終了後に公共施設等を利用して適切な遊びや生活の場を提供して、その健全な育成を図るため、民間放課後児童クラブに放課後児童健全育成事業を委託した。(委託料の 1/3 を国、1/3 を県が補助) また、放課後児童指導員や補助員の処遇改善に関する費用を補助した。(1/3 を国、1/3 を県が補助) その結果、当該児童に対し適切な遊びの場及び生活の場を与えることができ、もって当該児童の健全な育成指導を行うことができた。 指導員の確保にも寄与し、待機児童ゼロを維持することができた。								
登録児童数の施設別推移（各年 5 月 1 日現在）				(単位：人)				
地域	クラブ名称		運営形態	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
加須	愛泉学童クラブおおぞら組		民設民営	32	24	22	22	30
	愛泉学童クラブつばさ組		民設民営	20	20	18	20	24
	かぞ児童クラブ		民設民営	38	32	35	34	37
	みつまた児童クラブ		民設民営	74	67	77	60	50
	にしき学童		民設民営	36	35	36	36	40
	みなみ児童クラブ		民設民営	33	32	19	22	27
	リトル花学童クラブ		民設民営	6	8	14	21	26
騎西	騎西風の子学童クラブ		公設民営	47	53	51	45	40
	種足つばさ学童クラブ		公設民営	46	41	39	32	28
	田ヶ谷くすの木学童クラブ		公設民営	37	33	35	23	35
	高柳けやき学童クラブ		公設民営	38	45	68	77	84
	鴻基おおぞら学童クラブ		公設民営	36	42	31	29	37
	学童保育室ふたばクラブ		民設民営	37	33	31	34	46
北川辺	東小学童クラブの会きらきらキッズ		公設民営	36	36	37	38	39
	東小学童クラブの会きらきらキッズ第 2		公設民営	29	29	27	32	28
	北川辺学童保育の会げんきクラブ		公設民営	49	51	53	47	42
合計（児童数）				594	581	593	572	613
・公設民営学童保育室の修繕等 7,156,881 円 公設民営の学童保育室の施設等について、運営する事業者からの要望等を考慮し、修繕、改修及び設備清掃等を実施するとともに、必要となる備品を購入した。その結果、公設民営の学童保育室の保育環境について、維持・向上を図ることができた。								
・民間放課後児童クラブの性被害防止対策設備の支援 869,000 円 学童保育室におけるこどものプライバシー保護や保護者の安心に応え、そして、未然に性被害を防止するため、パーテーションやカーテン等の購入経費の支援を実施した。その結果、民間放課後児童クラブ（10 クラブ）に対し補助金を交付したことで、こども達のプライバシーが保護され、クラブの性被害対策に寄与した。なお、当該補助については国の補助金（2/3）を活用して実施した。								

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 2,860,000 円

- ・前年度からの繰越事業の内容

高柳小学校放課後児童健全育成室 屋根雨漏り修繕 (2,860,000 円)

- ・令和5年度から令和6年度へ繰り越した理由

令和5年12月に補正した事業であり、年度内の工事完了が見込めないため。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 311,000 円

- ・翌年度への繰越事業の内容

物価高騰の影響を受けている民間放課後児童クラブへの緊急支援 (311,000 円)

- ・令和6年度から令和7年度へ繰り越す理由

令和7年2月に補正した事業であり、年度内の完了が見込めないため。

事業名		三世代ふれあい家族応援事業			5213-02	
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	4,400,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	4,400,000 円	—	
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	2,500,000 円	—	
事業の目的		三世代で同居する家族の市内への定住を促進するとともに、市内産業の活性化を図る。				
事業の概要		三世代同居を目的とした住宅の取得又はリフォームに係る費用の一部を助成する。				
事業の実績・成果						
1 三世代ふれあい家族住宅取得等補助金の交付（子育て支援課）						
三世代同居を目的に、市内で住宅を新築、購入又は増改築等した方に、住宅の取得等に要した費用の一部を補助することにより、市の定住人口の増加及び地域経済の活性化に貢献することができた。						
(1) 補助対象費用						
三世代家族で同居するための住宅の新築、購入又は増改築等に要した費用						
(2) 補助金額（上限）						
市内事業者利用の場合： 30 万円						
市外事業者利用の場合： 20 万円						
(3) 補助金の交付状況						
(単位：件、円)						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
補助金交付件数		19	12	20	21	12
	うち 市内事業者	5	2	3	5	1
	市外事業者	14	10	17	16	11
補助金交付額		4,300,000	2,600,000	4,300,000	4,700,000	2,500,000
	うち 市内事業者	1,500,000	600,000	900,000	1,500,000	300,000
	市外事業者	2,800,000	2,000,000	3,400,000	3,200,000	2,200,000
(4) 補助金を交付した世帯の世帯員数						
58 人（うち 49 人が市外からの転入者）						
2 固定資産税等の軽減措置（税務課）						
(1) 固定資産税等の減免対象						
200 ㎡までの宅地に適用される税額の軽減措置（固定資産税 1/6、都市計画税 1/3）を、3 年間 500 ㎡までに拡大（平成 29 年度から実施）						
(2) 固定資産税等の減免状況						
(単位：件、円)						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象件数		52	35	33	43	44
減免税額		286,400	167,000	152,900	237,400	222,700

事業名		児童手当支給事業			2113-01
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,723,274,000 円	4,224,000 円
項	02	児童福祉費	最終予算額	1,691,751,000 円	4,224,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	1,678,948,447 円	4,224,000 円
事業の目的		家庭等における生活の安定、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する。			
事業の概要		18 歳の年度末までの児童について児童手当を支給する。			
事業の実績・成果					

支給対象児童を養育する保護者に児童手当を支給することにより、子育て家庭における経済的負担の軽減を図ることができた。

また、令和 6 年 10 月から、所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間の延長及び第 3 子以降に係る手当額の増額など児童手当を拡充したことにより、子育て家庭への支援を充実させることができた。

1 事業内容

	令和 6 年 9 月分まで	令和 6 年 10 月分から
支給期間	中学生年代（15 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日）まで	高校生年代（18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日）まで
所得制限の有無	あり	なし
手当月額	3 歳未満 15,000 円 3 歳から小学校修了まで 第 1・2 子 10,000 円 第 3 子以降 15,000 円 中学生年代 10,000 円 特例給付 5,000 円	3 歳未満 第 1・2 子 15,000 円 第 3 子以降 30,000 円 3 歳から高校生年代まで 第 1・2 子 10,000 円 第 3 子以降 30,000 円
支給回数（支払期月）	年 3 回 2 月、6 月、10 月	年 6 回 2 月、4 月、6 月、8 月、10 月、12 月
他子加算の対象児童	養育する「18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの子」の中で上の子から数えて 3 人目以降の子	養育する「22 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの子」の中で上の子から数えて 3 人目以降の子

2 延べ児童数及び支給額の推移

(単位：人、円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
延べ児童数	146,611	143,186	138,317	134,267	141,227
支 給 額	1,598,025,000	1,561,955,000	1,518,600,000	1,477,160,000	1,671,335,000

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 4,224,000 円

・前年度からの繰越事業の内容

システム改修委託（制度改正対応）（4,224,000 円）

・令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越した理由

令和 6 年 2 月補正予算で措置した事業であり、年度内の事業完了が困難であったため。

事業名		低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業			2113-21
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	0 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	7,567,000 円	—
目	02	児童福祉措置費	決 算 額	7,567,000 円	—
事業の目的		食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得のひとり親世帯及びその他低所得の子育て世帯の生活を支援する。			
事業の概要		令和 5 年度に市が対象者に支給した「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の財源として、国から交付を受けた補助金の受入超過分を国に返還する。			
事業の実績・成果					
令和 5 年度に、物価高騰の影響を特に受けている低所得のひとり親世帯及びその他低所得の子育て世帯に対し児童一人当たり 5 万円を支給する事業の財源として国から交付を受けた「子育て世帯生活支援特別給付金支給事業費補助金」について、申請件数が見込みを下回り、事業完了に伴う精算の結果、補助金の額が受入超過となったため、超過した分の補助金を返還した。					
◇令和 5 年度事業の概要					
・ 食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得のひとり親世帯及びその他低所得の子育て世帯に対し、児童一人当たり一律 5 万円を早期に支給					
・ 事業の実施に要する経費（事業費及び事務費）について国が補助（10/10）					
・ 支給対象者					
（ひとり親世帯分）					
令和 5 年 3 月分の児童扶養手当受給者（申請不要）、公的年金受給者・家計急変者（申請必要）					
（その他世帯分）					
令和 4 年度実施「その他世帯分」受給者（申請不要）、家計急変者（申請必要）					
・ 給付額は、対象児童一人当たり一律 5 万円					
◇国庫補助金の精算内容					
補助率 10/10					
(単位：円)					
		補助金受入済額 A	補助金所要額 B	要返還額 A－B	
ひとり親世帯分	事業費	67,500,000	62,600,000	4,900,000	
	事務費	3,117,000	2,474,000	643,000	
その他世帯分 (ひとり親世帯以外)	事業費	55,000,000	53,200,000	1,800,000	
	事務費	4,861,000	4,637,000	224,000	
合 計		130,478,000	122,911,000	7,567,000	
◇支給決定世帯数及び支給決定児童数（実績）					
		支給決定世帯数	支給決定児童数		
ひとり親世帯分		775世帯	1,252人		
その他世帯分 (ひとり親世帯以外)		579世帯	1,064人		

事業名		未就学児へのちょこっとおたすけ絆サポート券配布事業			2113-22
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	52,416,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	52,416,000 円	—
目	02	児童措置費	決 算 額	42,815,459 円	—
事業の目的		物価高騰の影響を大きく受けている子育て世帯に対して、就学前のこどもを養育する世帯の生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、就学前のこども一人につき1万円分の「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布する。			
事業の概要		【配布対象児童】 令和6年4月1日現在、市内に住民登録されている就学前のこども (平成30年4月2日～令和6年4月1日生まれ) 【配布物】 対象児童一人につき絆サポート券1万円分 【利用期間・配布方法】 令和6年6月1日～令和6年11月30日・簡易書留			
事業の実績・成果					
物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。					

事業名	児童扶養手当支給事業				2122-09
担当課	子育て支援課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	400,286,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	364,756,000 円	—
目	02	児童措置費	決 算 額	362,541,024 円	—
事業の目的	子育て中のひとり親家庭等の生活の安定と自立を図る。				
事業の概要	・ ひとり親家庭等の 18 歳の年度末までの児童（障害の状態にある場合は 20 歳未満の児童）について児童扶養手当を支給する。 ・ 申請者や扶養義務者の所得により、手当の一部又は全部が支給停止になる場合がある。 ・ 受給開始から 5 年等経過した受給者は、自立に向けた活動等を行わない場合、手当額の 2 分の 1 が支給停止となる。				

事業の実績・成果

児童扶養手当を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立に貢献することができた。
また、令和 6 年 11 月から、所得制限を緩和するとともに、第 3 子以降の支給対象児童に係る手当月額を第 2 子に係る手当月額と同額に引き上げ、ひとり親家庭等への支援を充実させることができた。

1 児童扶養手当支給額

(単位：円、人)

区 分	手当月額	延月人数	支出額
全 部 支 給	44,140	4,571	207,285,810
	45,500		
	45,500		
一 部 支 給	44,130～10,410	3,466	102,611,170
	45,490～10,740		
	45,490～10,740		
加算額	10,420、10,410～5,210	3,557	35,296,980
	10,750、10,740～5,380		
	10,750、10,740～5,380		
	6,250、6,240～3,130	1,320	10,233,910
	6,450、6,440～3,230		
	10,750、10,740～5,380		
13 条の 2 対象者		269	6,847,850
13 条の 3 対象者		4	91,530
合 計		13,187	362,367,250

※ 手当月額の上段は令和 6 年 3 月分の手当月額、中段は令和 6 年 4 月から 10 月分までの手当月額、下段は令和 6 年 11 月分以降の手当月額を表す。

2 支給延べ児童数及び支給額の推移

(単位：人、円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
延べ児童数	14,163	13,870	13,511	13,217	13,187
支 給 額	383,155,990	368,578,290	351,862,640	348,793,810	362,367,250

事業名		避難者支援児童扶養手当支給事業			2122-10
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	3,318,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	3,318,000 円	—
目	02	児童措置費	決 算 額	1,444,940 円	—
事業の目的		原発避難者特例法に基づき市内に避難し居住しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を図る。			
事業の概要		原発避難者特例法に基づき市内に避難し居住しているひとり親家庭等の 18 歳の年度末までの児童（障害の状態にある場合は 20 歳未満の児童）について児童扶養手当を支給する。			
事業の実績・成果					
避難元の自治体と連携し、原発避難者特例法に基づいたひとり親家庭等の避難者の実態把握と手当の支給に努め、対象家庭の経済的負担を軽減することができた。					
1 対象者（令和7年3月31日現在）					
双葉町		受給者数	2 人	児童数	2 人
浪江町		受給者数	1 人	児童数	2 人
2 児童扶養手当支給額					
(単位：円、人)					
区 分		手当月額	延月人数	支出額	
全 部 支 給		44,140	24	1,089,280	
		45,500			
		45,500			
一 部 支 給		44,130～10,410	9	284,490	
		45,490～10,740			
		45,490～10,740			
加 算 額	2 子 加 算	10,420、10,410～5,210	8	71,170	
		10,750、10,740～5,380			
		10,750、10,740～5,380			
	3 子以降加算	6,250、6,240～3,130	0	0	
		6,450、6,440～3,230			
		10,750、10,740～5,380			
合 計			41	1,444,940	
※ 手当月額の上段は令和6年3月分の手当月額、中段は令和6年4月分から10月分までの手当月額、下段は令和6年11月分以降の手当月額を表す。					

事業名		公立保育所管理運営事業			2131-13	
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	428,587,000 円	12,254,000 円	
項	02	児童福祉費	最終予算額	437,865,000 円	12,254,000 円	
目	03	児童福祉施設費	決 算 額	392,677,200 円	12,254,000 円	
事業の目的		公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。				
事業の概要		公立保育所（6ヶ所）の運営管理 第一保育所、こすもす保育園、第四保育所 騎西保育所、北川辺保育所、わらべ保育園				
事業の実績・成果						
公立保育所において、安全等に十分配慮しながら保育を実施し、保育を必要とする保護者の子育て支援を行った。また、保育士（会計年度任用職員）の確保に努め、待機児童ゼロを維持した。						
○主な工事支出			(単位：円)			
施設名		内容	工事金額			
わらべ保育園		保育室等空調設備更新工事	12,254,000			
わらべ保育園		浄化槽放流ポンプ交換工事	238,590			
騎西保育所		遊戯室空調設備更新工事	1,535,600			
こすもす保育園		園児用ロッカー増設工事	458,700			
北川辺保育所		電話設備更新工事	1,735,965			
北川辺保育所		保育室照明器具交換工事	296,230			
北川辺保育所		床暖房設備修繕工事	385,000			
○保育所等入所児童数（4月1日現在）			(単位：人)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公立入所児童数		499	478	452	461	455
内 訳	市内①	472	511	450	457	447
	市外受託	6	5	2	4	8
私立入所児童数		1,567	1,484	1,470	1,463	1,457
内 訳	市内②	1,447	1,474	1,422	1,423	1,417
	市外受託	37	46	48	40	40
合 計（公+私）		2,066	1,962	1,922	1,924	1,912
市外委託③		93	87	98	102	101
内 訳	公立	5	9	6	7	7
	私立	82	60	92	95	94
①+②+③合計		2,102	2,006	1,970	1,982	1,965
※市内・・・市内在住の児童 市外受託・・・市外在住で加須市の保育所等に入所している児童 市外委託・・・市内在住で加須市以外の保育所等に入所している児童 ※①+②+③合計は、保育所等に入所している市内在住児童の合計						
物価高騰に係る対応（生活者支援）を実施した（巻末参照）。						
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 12,254,000 円						
・前年度からの繰越事業の内容 令和5年度 加須市立わらべ保育園空調設備更新工事【R6.2 補】（12,254,000 円）						
・令和5年度から令和6年度へ繰り越した理由 空調設備更新工事は、2月補正予算により予算を措置したものだが、低入札価格調査に伴い契約が令和5年度内に締結出来なかったため令和6年度へ繰り越した。						

事業名		あすなろ園管理運営事業			2131-14	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	12,154,000 円	—	
項	02	児童福祉費	最終予算額	12,340,000 円	—	
目	03	児童福祉施設費	決 算 額	11,100,158 円	—	
事業の目的		母子通園により障がい児の機能訓練や生活訓練を実施し、こどもの発達に合わせた支援とともに親支援を行い、集団保育や就学につなげる。				
事業の概要		障がいがある就学前児童の発達支援と同時に、共に通う保護者に対して家庭における育児の支援（助言・指導）等を行い、集団保育や就学に向けた訓練を行う。 保育所・幼稚園における障がい児保育についても、医師や保健センター、特別支援学校等とも連携して支援を行い、就学に向けた保護者への助言、あるいは児童発達支援事業所等の活用につなげる。				
事業の実績・成果						
就学前の心身障がい児に対する日常生活の指導訓練・地域社会との交流及び専門家等による診断又は指導を実施し、集団保育や就学に向けた訓練を行うことができた。						
○通園児童数（4月1日現在）				（単位：人）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
あすなろ園		11	10	9	22	11
○利用状況（3月31日現在）				（単位：人）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
生活指導		8	7	14	22	14
理学療法		3	2	2	4	3
言語療法		11	10	16	22	14
※専門家の訓練利用は通園者以外も利用可能である。						

事業名		公立保育所障害児保育事業			2131-15
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	109,368,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	117,343,000 円	—
目	03	児童福祉施設費	決 算 額	108,727,428 円	—
事業の目的		障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。			
事業の概要		障がいがあり保育を必要とする児童の集団保育を、全公立保育所で実施。障がい児 3 人に対し最低 1 名の保育士を加配するとともに、専門家や専門機関と必要な連携をとりながら、児童の発達及び保護者の就労と子育てを支援する。			
事業の実績・成果					
障がいの程度等により、民間保育所が受け入れを困難とした児童の入所や支援を行った。 特別支援学校のコーディネーター派遣により、個別相談や巡回指導を実施した。					
(単位：人、円)					
		特別な配慮が必要な児童数	加配保育士数	決 算 額	
第 一 保 育 所		6	3	11,225,647	
こすもす保育園		12	6	22,879,735	
第 四 保 育 所		11	4	13,308,197	
騎 西 保 育 所		4	3	10,526,434	
北 川 辺 保 育 所		13	7	26,120,933	
わ ら べ 保 育 園		12	7	24,666,482	
合 計		58	30	108,727,428	
※特別な配慮が必要な児童数及び加配保育士数は令和 7 年 3 月 31 日現在					

事業名		民間保育所等施設整備助成事業			2132-01
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	5,224,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	5,646,000 円	—
目	03	児童福祉施設費	決 算 額	5,646,000 円	—
事業の目的		保育所に入所を希望する全ての児童が入所できるよう民間保育所整備・充実を促進する。			
事業の概要		民間保育所において行う創設・増改築・大規模改修事業に対し助成を行う。			
事業の実績・成果					
社会福祉法人戸不の会 不動岡保育園が2か年事業（進捗率：令和5年度97%、令和6年度3%）として実施している園舎改築工事を支援するため、国の就学前教育・保育施設整備交付金を活用して助成を行った。					
・総事業費 401,445,000 円					
・交付金額 174,534,000 円（令和5年分168,888,000千円、令和6年度分5,646,000円）					
【内訳】			(円)		
	令和5年度分	令和6年度分	2か年合計		
国庫補助金（1/2）	112,592,000	3,764,000	116,356,000		
市補助金（1/4）	56,296,000	1,882,000	58,178,000		
施設負担分	220,513,650	6,397,350	226,911,000		
合計	389,401,650	12,043,350	401,445,000		

事業名		公立保育所施設整備事業			2132-02
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	－円	31,805,000 円
項	02	児童福祉費	最終予算額	31,302,000 円	31,805,000 円
目	03	児童福祉施設費	決 算 額	4,686,000 円	31,805,000 円
事業の目的		公立保育所の施設整備を行い、保育環境の充実を図る。もって、良好な子育て支援を行う。			
事業の概要		加須市立保育所再整備計画に基づき、計画的に施設の改修、改築等を行う。			
事業の実績・成果					
保育所の施設の一部において、老朽化等により利用者等に危険を及ぼすおそれがあることから、被害の未然防止のために緊急の修繕等を行った。					
(単位：円)					
施設名		内容	工事金額	うち、令和 6 年度支出額	
騎西保育所		屋上の防水シートの損傷に伴う屋上防水の改修	15,620,000	9,420,000	
わらべ保育園		木製テラスの劣化に伴う床デッキの張替え	22,385,000	22,385,000	
第一保育所・第四保育所		施設の非構造部材の耐震化対策	4,620,000	4,620,000	
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 31,805,000 円					
・前年度からの繰越事業の内容					
令和 5 年度 加須市立騎西保育所屋上防水改修工事【R5.12 補】 (9,420,000 円)					
令和 5 年度 加須市立わらべ保育園テラスデッキ改修工事【R5.12 補】 (22,385,000 円)					
・令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越した理由					
屋上防水改修工事及び床デッキ張替え工事は、12 月補正予算により予算を確保したもので、令和 5 年度内に完了しないため令和 6 年度へ繰り越した。					
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 8,577,800 円					
・翌年度への繰越事業の内容					
令和 6 年度 加須市立北川辺保育所 2・3 歳保育室空調設備更新工事【R7.2 補】 (5,522,000 円)					
令和 6 年度 加須市立第一保育所遊戯室空調設備更新工事【R7.2 補】 (3,055,800 円)					
・令和 6 年度から令和 7 年度へ繰り越す理由					
北川辺保育所及び第一保育所の空調設備更新工事は、2 月補正予算により予算を確保したもので、令和 6 年度内に完了しないため令和 7 年度へ繰り越した。					

事業名		子どもふれあいの家管理運営事業			2133-02
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	938,000 円	—
項	02	児童福祉費	最終予算額	938,000 円	—
目	04	児童館費	決 算 額	770,106 円	—
事業の目的		地域のこどもたちの交流施設の充実と経費節減を図るため、効率的な施設管理を行う。			
事業の概要		・ 地域の子育て支援拠点として適切に施設を管理する。 ・ 水深小学校第二放課後児童健全育成室として利用中。			
事業の実績・成果					
水深小学校区内における児童数の増加に伴い、放課後児童クラブの利用児童数が増加し、併設施設の収容能力を超えたため、子どもふれあいの家を水深小学校第二放課後児童健全育成室として活用することにより、利用児童数の分散化を図った。					

事業名		生活保護者自立支援事業			1173-02
担当課		生活福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	7,951,000 円	—
項	03	生活保護費	最終予算額	8,842,000 円	—
目	01	生活保護総務費	決 算 額	7,435,632 円	—
事業の目的		生活保護世帯の社会的自立を支援する。			
事業の概要		就労支援相談員による就労意欲の喚起及び就労自立支援、面接相談員の生活保護相談を実施する。			
事業の実績・成果					
就労支援相談員の支援による被保護世帯の就労自立・就労支援活動に取り組み、被保護世帯の自立の助長に努めた。					
就労自立の状況・推移			(単位：人)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就労人数	23	13	17	16	15
うち相談員の支援によるもの	6	9	8	7	4

事業名		生活保護適正実施推進事業			1173-03	
担当課		生活福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	8,892,000 円	—	
項	03	生活保護費	最終予算額	11,973,000 円	—	
目	01	生活保護総務費	決 算 額	11,518,218 円	—	
事業の目的		生活保護費の不正受給防止を図る。				
事業の概要		生活保護システムを活用し、保護業務に係る決定、経理、医療、介護、統計等の一連の事務処理を効率的に実施する。 医療扶助の適正化を図るため、診療報酬明細書（レセプト）の自動内容点検を実施する。 生活習慣病の発症予防や重症化予防が必要な対象者を抽出し、医療と生活の両面から健康管理支援を行う。				
事業の実績・成果						
○生活保護システムの運用は、事務処理の効率化や統計業務の正確性に寄与した。						
○診療報酬明細書の点検のうち、資格点検を職員が行うほか、内容点検、縦覧点検については、システム委託し、医療扶助費の適正な支払いに努めた。						
【参考】再審査請求の状況（令和２年度～令和６年度）				（単位：円、件）		
		返戻金額	診療機関による 取下げ等	成果額	点検内容	
					資格点検	内容点検
令和２年度	合計金額	4,290,706	0	4,290,706	1,749,886	2,540,820
	合計枚数	390	0	390	72	318
令和３年度	合計金額	6,918,717	0	6,918,718	4,496,616	2,422,102
	合計枚数	167	0	167	65	102
令和４年度	合計金額	6,762,850	0	6,762,850	5,880,656	882,194
	合計枚数	291	0	291	62	229
令和５年度	合計金額	19,394,988	0	19,394,988	14,156,050	5,238,938
	合計枚数	591	0	591	410	181
令和６年度	合計金額	18,927,210	0	18,927,210	16,861,396	2,065,814
	合計枚数	448	0	448	231	217
○現業員の資質の向上及び知識の習得を図ることを目的とし、各種研修会に参加した。						
○後発医薬品使用促進について、医療扶助における使用割合が政府目標の 80％を達成した。						

事業名		生活保護管理事業			1173-06
担当課		生活福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	8,670,000 円	—
項	03	生活保護費	最終予算額	8,670,000 円	—
目	01	生活保護総務費	決 算 額	7,954,937 円	—
事業の目的		生活保護の適正な運営を図り生活保護者の自立を促進する。			
事業の概要		生活保護新規申請時調査の徹底・29 条調査・扶養義務者照会、医療報酬支払基金等による診療報酬及び介護報酬明細書点検確認、嘱託医による医療要否意見書の確認などを実施する。			
事業の実績・成果					
○嘱託医による医療要否意見書のチェック及び要保護者の医療扶助の決定実施にともなう専門的判断及び必要な助言指導等により、医療扶助費の適正化に努めた。					
○医療報酬支払基金等による診療報酬明細書及び介護報酬明細書の審査を実施するとともに、後発医薬品の使用促進と医療費の抑制を図るため、保護だより等の啓発資料を配布し、医療扶助費等の適正化に努めた。					
○課税調査を始めとする生活保護法第 29 条調査を実施し、生活保護の適正実施に努めた。					
○市の就労支援相談員やハローワークの就労相談員等によるチーム連携により、要保護者への自立に向けた就労支援を実施し、適正指導に努めた。					
○定期的な家庭訪問や施設訪問、病状調査を実施し、適切な支援に努めた。					
○市内の無料低額宿泊所と定期的に情報交換を行い、適正運営と地域との共生に努めている。施設の入居者は増加し満室状態が続いているが、周辺自治会との信頼関係が築かれている。					
○ホームレスや生活困窮等により緊急的な食事提供が必要な方に対し、アルファ米の提供を行った。					

事業名	生活保護事業			1173-01
担当課	生活福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,842,342,000 円
項	03	生活保護費	最終予算額	2,164,957,000 円
目	02	扶助費	決 算 額	2,065,806,616 円

事業の目的 最低限度の生活の保障と要保護者の自立を図る。

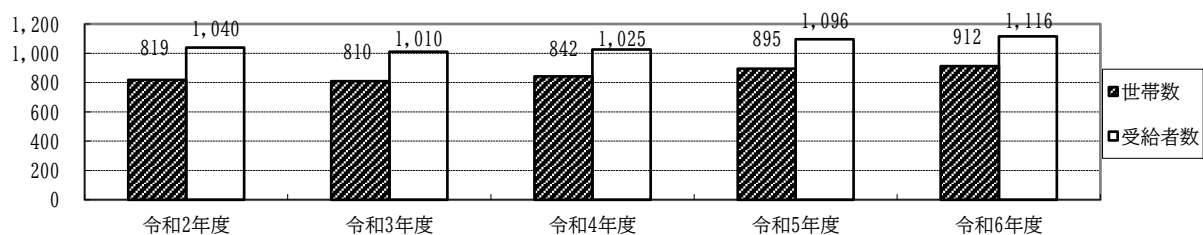
事業の概要 生活保護に関する相談、申請受付業務を行うとともに生活困窮の程度に応じた保護の実施および自立助長のための就労支援を行う。

事業の実績・成果

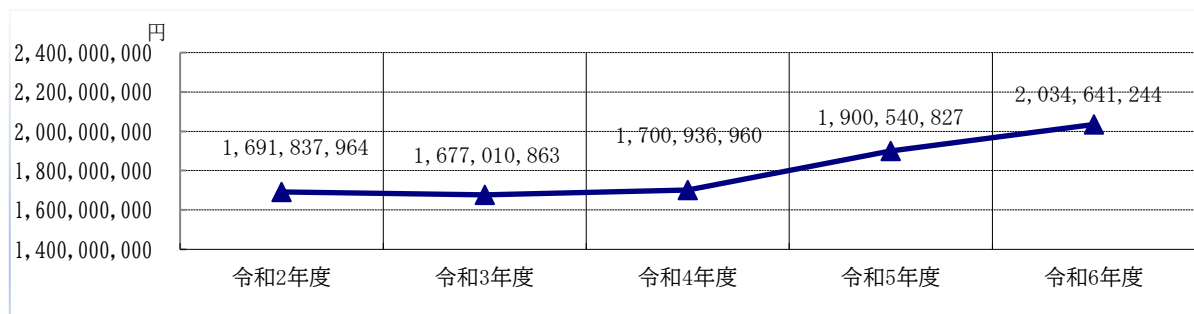
生活保護の状況について

1 生活保護世帯数および受給者数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
世帯数（世帯）	819	810	842	895	912
受給者数（人）	1,040	1,010	1,025	1,096	1,116



2 生活保護費 保護費の推移



3 類型別世帯数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高齢者世帯	466(57.1%)	461(57.2%)	469(55.8%)	488(54.6%)	501(55.0%)
母子世帯	25(3.1%)	22(2.7%)	26(3.1%)	26(2.9%)	28(3.0%)
障害者世帯	89(10.9%)	101(12.6%)	116(13.9%)	122(13.7%)	123(13.5%)
傷病者世帯	161(19.7%)	147(18.2%)	143(17.0%)	164(18.4%)	141(15.5%)
その他世帯	75(9.2%)	75(9.3%)	86(10.2%)	93(10.4%)	118(13.0%)

※類型別世帯数では停止世帯を含まないため、生活保護世帯数の合計と誤差が生じている。

生活保護費は、受給者の高齢化及び障害者世帯の増加により、医療扶助費や介護扶助費が増加傾向にある。

事業名		災害時要援護者支援事業			1163-06
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,987,000 円	—
項	04	災害救助費	最終予算額	2,028,000 円	—
目	01	災害救助費	決 算 額	1,959,069 円	—
事業の目的		災害に備えて、高齢者や障がいのある方など自ら避難することが困難な方について、地域の中で避難支援を受けられるようにするための制度を整備することにより、安心して暮らすことができる地域づくりの推進を図る。			
事業の概要		災害時に備え、要援護者の把握及び登録台帳を整備し、避難支援等関係者と情報を共有する。 要援護者名簿は、1年に1回、自治協力団体、民生委員・児童委員、自主防災組織、消防団等に配付し情報を更新する。 福祉避難スペースにおける必要備品の整備や福祉避難所確保に向け施設の検討を行う。			
事業の実績・成果					
1 災害時要援護者名簿の整備					
災害時等における安否確認や避難誘導、救出活動等を的確に行えるよう、要援護者名簿を整備した。					
(1) 名簿の配付先 自治協力団体（自主防災組織）、民生委員・児童委員、消防団等に配付 ※年度更新時に旧名簿は回収					
(2) 登録者情報の更新 定期的な登録者情報の更新に努め、災害時に備えた。					
(3) 登録者数 6,696 人（令和7年3月31日時点の実人数）					
(単位：人)					
内訳（複数項目該当者は重複加算）			延 合 計	7,308	
ひとり暮らし高齢者（支援度高）		200	身体障害者（1、2、3級）	326	
ひとり暮らし高齢者（支援度低）		2,390	知的障害者（㊤、A、B）	26	
高齢者のみの世帯（支援度高）		194	精神障害者（1、2級）	22	
高齢者のみの世帯（支援度低）		3,771	その他	90	
要介護（3、4、5）		289			
(令和7年3月31日時点)					
2 災害時要援護者名簿管理システム					
○システム保守業務…341,000 円					
災害時要援護者管理システムの円滑な運用を実施するため、システムの保守業務を委託した。					
3 福祉避難所の確保					
福祉避難スペースでは避難生活が困難な要援護者が必要な支援を受けられるよう、施設・設備、体制の整った介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害児施設、障害者サービス事業所等と協定を締結し、福祉避難所として指定している。					
福祉避難所協定締結施設数 (単位：件)					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
28	29	29	29	32	
4 非常時オストメイト用専用トイレ等の購入					
指定避難所となっている施設であって、オストメイト対応型トイレがなかった2施設について、簡易型のオストメイト専用トイレ及び専用テントを購入し、配備した。					
配備施設 市民体育館、騎西総合体育館（ふじアリーナ）					

事業名		被災者支援事業			1163-09	
担当課		地域福祉課		現 年	前年度からの繰越	
款	03	民生費	当初予算額	2,816,000 円	—	
項	04	災害救助費	最終予算額	3,016,000 円	—	
目	01	災害救助費	決 算 額	2,848,184 円	—	
事業の目的		災害見舞金・弔慰金・応急住宅補助金を支給することで、災害を受けた者などの保護と福祉の増進を図る。				
事業の概要		・災害の被災者に見舞金及び仮設住宅補助金を支給 【見舞金・弔慰金】 家屋全焼（壊）20 万円 半焼（壊）10 万円、床上浸水 5 万円 部分焼（一部損壊）1 万円 傷害見舞金 3 万円、弔慰金 10 万円 【仮設・賃貸住宅の補助】 月額 2 万円（上限）×12 ヶ月まで				
事業の実績・成果						
1 加須市災害見舞金等支給要綱に基づく見舞金弔慰金 災害見舞金弔慰金 2,290,000 円						
(単位：件)						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
家 屋	全焼・全壊 (20 万円)	3	3	1	7	9
	半焼・半壊 (10 万円)	0	2	1	1	2
	床上浸水 (5 万円)	4	0	0	0	0
	部分焼・一部 損壊 (1 万円)	5	2	2	8	6
見舞金	負傷者 (3 万円)	2	2	3	1	1
弔慰金	死亡者 (10 万円)	2	0	1	1	2
2 加須市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づく災害弔慰金 なし						
3 り災者応急住宅費補助金 480,000 円						
区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
件 数 (件)		3	4	4	4	4
金 額 (円)		355,000	320,000	567,200	300,954	480,000
4 埼玉県・市長村被災者安心支援制度負担金（令和 3 年度から本事業で実施）						
区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
件 数 (件)		1	1	1	1	
金 額 (円)		9,777	53,321	5,923	78,184	

事業名		健康づくり推進計画策定事業			1111-01		
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越		
款	04	衛生費	当初予算額	3,730,000 円	—		
項	01	保健衛生費	最終予算額	3,730,000 円	—		
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	2,651,568 円	—		
事業の目的		「埼玉一の健康寿命のまち」の実現を目指し、市民一人ひとりが健康づくりの主体となり自分に適した健康づくりを進めるための計画を策定する。					
事業の概要		(仮称) 加須市健康・スポーツ推進計画策定に向けた市民健康意識調査を実施し、令和 7 年度に計画を策定する。					
事業の実績・成果							
・(仮称) 加須市健康・スポーツ推進計画に係る調査について委託契約を締結した。 15 歳以上の市民 1,500 人を対象として、「加須市健康・スポーツに関する計画に係るアンケート調査【健康調査】」を実施し、健康に関する市民の普段の取組や考えなどについて把握することができた。							
1 委託契約の概要							
契 約 日：令和 6 年 8 月 8 日							
委 託 料：2,049,000 円							
受 注 者：株式会社社会構想研究所							
履行期間：令和 6 年 11 月 25 日から令和 6 年 12 月 16 日まで							
2 調査結果の概要							
調査種別		調査対象者	発送数(件)	回収数(件)		回収率(%)	
健康調査		15 歳以上の市民	1,500	WEB	143	586	39.1
				郵送	443		

事業名		健康づくり推進計画進行管理事業			1111-02		
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越		
款	04	衛生費	当初予算額	63,000 円	—		
項	01	保健衛生費	最終予算額	63,000 円	—		
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	51,000 円	—		
事業の目的		「埼玉一の健康寿命のまち」の実現を目指し、市民一人ひとりが健康づくりの主体となり自分に適した健康づくりを進めるための計画を推進する。					
事業の概要		第3次加須市健康づくり推進計画（令和3年度～令和7年度）に位置付けられた事業について、健康づくり推進委員会で進捗状況を報告し、評価や見直しを行う。					
事業の実績・成果							
健康づくり推進委員会を開催し、第3次健康づくり推進計画に位置付けられた事業の進捗状況を評価するとともに、委員より回答のあった助言の精査を実施した。							
1 健康づくり推進委員会開催回数：1回							
2 健康づくり推進計画に位置付けられた事業の令和5年度評価：順調・おおむね順調 70.9%							
基本目標		1 (達成済)	2 (概ね順調)	3 (やや遅れている)	4 (大幅に遅れている)	5 (未着手)	計
1 病気の発症予防と重症化予防		2	5	3	3	1	14
2 生活習慣の改善推進		6	5	1	3	7	22
3 妊産婦とこの健康づくりの推進		10	7	0	2	0	19
4 高齢者の健康づくりと介護予防の推進		2	8	3	2	0	15
5 こころの健康づくりの推進		1	1	1	1	5	9
6 地域医療体制づくり		3	6	2	2	0	13
7 新たな感性症対策の迅速・適切な実施		2	3	0	2	0	7
計		26	35	10	15	13	99

事業名		熱中症予防事業		1111-17	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	5,243,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	614,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	523,528 円	—
事業の目的		市民の熱中症罹患を予防するため、熱中症に対する知識の普及・啓発に努めるとともに、その予防対策を推進する。			
事業の概要		窓口やホームページ、広報紙等で広く熱中症に対する知識の普及・啓発を行うとともに、暑さ指数（WBGT）を基準に、防災行政無線放送、かぞホッとメールにて注意を喚起する。また、各公共施設や市内薬局等と連携し、クールオアシスまたはクーリングシェルターを設置する。			
事業の実績・成果					
熱中症特別警戒アラート発表時に開設するクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）を指定するとともに、冷房の入った一時休憩所として、市内の公共施設にクールオアシスを開設し、熱中症の予防に努めた。					
また、環境省が発表する暑さ指数（WBGT）を毎日確認し、加須市が設定した基準に当てはまる場合、防災行政無線、かぞホッとメールにて熱中症予防を呼びかけた。					
1 クーリングシェルターの指定 23 施設					
2 クールオアシスの開設 18 施設					
3 防災無線の放送（令和6年4月24日～10月23日） 67 回					
4 熱中症対策セミナーの実施 ・実施日 令和6年6月21日(金) ・場 所 市民プラザかぞ 視聴覚ホール ・講 師 大塚製薬株式会社 北関東支店 ・参加者数 77 人 ※熱中症対策品としてポカリスエットと熱中症予防カード配布					
5 各課の取り組み状況（6月～9月）					
分類		内 容			
ハード面		空調管理・ブラインドの利用			
		グリーンカーテンの設置			
		遮光シートの設置			
		クールオアシスの設置			
		扇風機・サーキュレーターの設置			
		エアコンのフィルター清掃の実施			
ソフト面		広報紙、ポスター掲示、チラシ配布、防災行政無線、現場職員への呼びかけ、民生委員等の訪問時に高齢者への呼びかけ			
		庁舎正面玄関へ外気温を表示			
		熱中症警戒アラート及び熱中症特別警戒アラート発表時の対応を市立各小・中学校に周知			

事業名		健康情報活用事業			1111-26
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	6,850,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	6,850,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	6,848,847 円	—
事業の目的		市民の病気を予防するため、市民の健康データを管理・共有し、各種相談事業や健診（検診）事業等で有効に活用する。			
事業の概要		健康管理システム「健康かるて」により、市民の乳幼児健診、予防接種、成人健診（検診）等のデータを一元管理し、市民個々への適切な事業案内や相談・指導を実施する。 また、統計データとして集計・分析することにより、県等への報告や事業の見直し、事務改善等に役立てる。			
事業の実績・成果					
・健康管理システムを安定的に運用できるよう、健康管理システムの保守管理を実施した。 予防接種や健診対象者の抽出、未受診者のフォローに活用する等、健康管理システムを適切に管理、運用することで、市民の健康づくり推進のための事業を円滑に実施できた。					
・健康管理システム保守 3,036,000 円					
・健康管理システム使用料 3,300,000 円					

事業名		健康づくり管理事業		1111-27	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	718,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	718,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	352,853 円	—
事業の目的		健康づくりの推進に係る共通的な経費、備品等を適切に管理・執行する。 また、職員の能力向上を図る。			
事業の概要		健康づくりの推進に係る共通的な物品、備品等の管理や事業日程を調整する。 また、計画的に研修等に参加し、職員の能力向上を図る。			
事業の実績・成果					
1 専門的知識の維持・向上 職員の積極的な各種研修等へ参加することにより、専門的知識の維持や向上を図ることができた。					
2 健康づくりの推進に係る共通的な物品、備品等の調達 ・公用車の管理 2 台（給油 385.78L） （車検 1 台 アルト） ・事務用品の購入（ラベルシール、ファイル、ふせん、製本テープ等）					

事業名		骨髄移植ドナー推進事業			1111-30	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	420,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	420,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	0 円	—	
事業の目的		白血病や再生不良性貧血などの病気は、骨髄移植や末梢血幹細胞移植が最も効果のある治療とされていることから、骨髄等の移植推進を図るとともに、その基盤ともなる骨髄バンクドナー登録の推進を図る。				
事業の概要		骨髄等の移植推進を図るとともに、埼玉骨髄バンク推進連絡会と連携し、市内献血実施事業所等の協力を得ながら骨髄バンク登録の推進を図る。 また、骨髄移植ドナー協力者等へ助成金を交付する。				
事業の実績・成果						
平成 26 年度から埼玉骨髄バンク推進連絡会の協力を得て、献血会場におけるドナー登録会を実施している。						
1 骨髄移植ドナー登録数						
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
実施回数（回）	2	5	5	6	3	
登録者数（人）	4	12	12	12	9	
2 骨髄移植ドナー推進事業助成金事業（単位：人）						
	区分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
提供者数	総数	1	4	0	3	0
	ドナー休暇あり	0	3	0	0	0
	ドナー休暇なし	1	1	0	3	0

事業名		献血推進事業			1111-31
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	286,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	286,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	245,863 円	—
事業の目的		がん患者、けが人等の生命を救うため、相互扶助の精神に基づき、献血の普及を図り、良質な血液を確保する。			
事業の概要		埼玉県の献血推進計画や埼玉県赤十字血液センターの献血受入計画に基づき、市内の各所で献血を実施する。 赤十字血液センターと協力して、献血の普及、協力事業所の確保を図るとともに、献血者へ記念品を配布する。			
事業の実績・成果					
各事業所・団体等 32 会場で献血を実施し、献血思想を普及するとともに血液の確保が図られた。					
1 献血者内訳等					
会場数 (回数)	献血者数 目標値 (人)	受付け数 (人)	献血者数 (人)		
			200ml	400ml	計
32 (64)	2,402	2,595	147	2,268	2,415
2 献血者の推移					
年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	(単位：人) 令和 6 年度
献血者数	1,896	2,057	1,770	2,249	2,415

事業名		健康増進等管理事業			1111-32
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,626,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,626,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	1,505,067 円	—
事業の目的		健康増進や介護予防に係る経費や備品について、総合的な管理を行う。			
事業の概要		健康増進や介護予防に係る経費や備品について、計画的な執行及び管理を行う。			
事業の実績・成果					
1 専門的知識の維持・向上 職員の積極的な各種研修等への参加及び専門誌からの情報収集に努めることにより、専門的知識の維持や向上を図ることができた。					
2 保健事業に係る健診用品、自動車等の維持管理 保健事業を円滑に遂行するため、救急用品などの各種用品、自動車等を維持管理した。 ・ 公用車の管理 4 台（給油 622.96L） （車検 4 台 ハイゼットカーゴ、エブリィ、カローラ、ムーブ） ・ 事務用品の購入（月刊誌、トナーカートリッジ、ふせん等） ・ 医薬材料の購入（OS-1、防水ワンタッチパット、ガーゼ、アルコール綿、シップ、胃腸薬等）					

事業名		食生活改善推進事業			1112-04	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	624,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	624,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	573,566 円	—	
事業の目的		食生活を改善することにより、生活習慣病予防やフレイル予防など、市民の健康づくりに資する。				
事業の概要		・食生活改善推進員協議会との共催により食生活改善推進員を養成するための養成講座や資質の向上を図るための定例リーダー研修会を開催する。 ・その他食生活改善推進活動を支援する。				
事業の実績・成果						
市管理栄養士による定例リーダー研修会により、健康課題である高血圧予防や糖尿病予防等に関する食生活改善の学びを通して、生活習慣病予防の食生活等についての知識習得や食行動を見直す機会を提供した。その結果、推進員から推進員へ伝達する活動や市民に向けての講座開催など自主事業への実施につなげることができた。また、調理実習だけではなく、運動体験や広報紙の作成、配布などの自主活動に活発に取り組むことができた。						
令和 6 年度は、食生活改善推進員等と協働で開発する「我が家の味自慢！健康食メニュー」のテーマを「減塩」「薬膳」「地産地消」とし、連携協定(R3.11.18)を締結した日本薬科大学に監修を依頼し、4品新たに作成した。						
1 ヘルシークッキング（食改主催「生活習慣病予防」を目的に市民を対象とした自主活動事業）						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数（回）	中止 （コロナのため）	中止 （コロナのため）	中止 （コロナのため）	8	9	
参加者延人数（人）				140	185	
うち初回参加人数(人)				51	72	
2 食生活改善推進員養成講座（食改との共催事業）※推進員スキルアップ含む						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施日数（日）	中止 （コロナのため）	中止 （コロナのため）	5	5	5	
参加者延人数（人）			50	16	46	
養成講座修了延べ人数(人)			404	408	419	
食生活改善推進員数（人）	140	128	97	98	82	
3 食生活改善推進員定例リーダー研修会及び本部研修会（講師：市管理栄養士等／対象：食生活改善推進員）						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数（回）	6	6	5	5	5	
参加者延人数（人）	68	133	103	82	64	
4 食生活改善推進員定例伝達活動（講師：リーダー研修会に参加した食生活改善推進員／対象：食生活改善推進員）						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数（回）	中止 （コロナのため）	31	18	13	12	
参加者延人数（人）		424	343	250	228	
5 地産地消や健康食メニュー等を取り入れた調理実習の開催						
・加須市食生活改善推進員協議会が主催する食生活改善推進事業（伝達活動、自主活動等）において、地産地消を取り入れた健康食メニューや生活習慣病予防などの講話と調理実習を実施した。						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数(回)	中止 （コロナのため）	83	64	40	38	
参加者数（人）		1,458	1,528	680	687	

6 我が家の味自慢！健康食メニュー検討部会における健康食メニューの開発

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2～4年度は開発を中止とした。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ品数（品）	49	49	49	60	64

7 健康食メニューの周知

- ・平成27年度より42か所の公共施設に紙媒体のレシピを設置していたが、DX推進のため令和5年度に回収し、市ホームページでの周知に切り替えた。
- ・骨健康度測定時にカルシウムアップをメインとした健康食メニューのレシピ3種類を各520枚（計1,560枚）配布し、骨粗しょう症予防の普及啓発を図った。

事業名		地域医療ネットワーク（とねっと）事業			1131-03
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,069,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,069,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	348,132 円	—
事業の目的		地域の限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、中核病院と病院・診療所が医療情報を共有することで、市民へ質の高い医療サービスを提供でき、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を実現する。			
事業の概要		協議会事務局費を負担し、協議会の事務を支援する。			
事業の実績・成果					
「とねっと」を管理・運営する埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局と連携し、事業終了と協議会解散に伴う清算業務を行った。					
1 会議の開催状況					
(1)協議会総会（1回）					
(2)協議会作業部会全体会会議（1回）					
(3)利根地域医療連携連絡協議会（行政担当課長）会議（2回）					
2 令和6年度の主な取組					
令和6年9月30日に協議会が解散したことに伴い、清算業務を引き継ぐ。その後、12月24日に開催された第102回利根地域医療連携連絡協議会（行政課長会議）をもって清算業務が完了となった。					

事業名	医療情報提供事業			1131-04
担当課	いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04 衛生費	当初予算額	21,000 円	—
項	01 保健衛生費	最終予算額	21,000 円	—
目	01 保健衛生総務費	決 算 額	0 円	—

事業の目的 市民が安心して医療機関にかかるよう、医療機関の情報を的確に提供する。

事業の概要 広報紙やホームページなど様々な媒体を活用し、市民に必要な医療情報を提供する。

事業の実績・成果

様々な媒体で、市民に医療機関や医療相談窓口等に関する情報を分かりやすく提供し、市民がこれらの情報を収集、把握する際の一助とすることができた。

1 情報提供

名称	発行月 (発行部数等)	掲載内容	特記
加須市 医療機関 ガイドブック (医科と歯科を統合)	令和6年3月 (4,000部)	・医療機関情報 ・救急や保健情報	・各医療機関のホームページQR コード使用 ・マイナンバー健康保険証利用の 医療機関掲載
休日・夜間救急 診断カレンダー	毎月 (広報かぞ)	・休日夜間における 救急診療体制 や休日当番医等	・祝日等の小児科休日診療の掲載 ・市内調剤薬局の輪番制QRコード 使用

2 埼玉県の救急電話相談（#7119）

埼玉県の委託により埼玉県医師会が実施している救急医療情報相談、大人の救急電話相談、小児救急電話相談。（24時間受付 年中無休）

（単位：件）

救急医療情報	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市民からの 問合せ件数	741	939	804	922	1,386

（単位：件）

大人の救急情報	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市民からの 問合せ件数	516	638	998	1,007	1,440

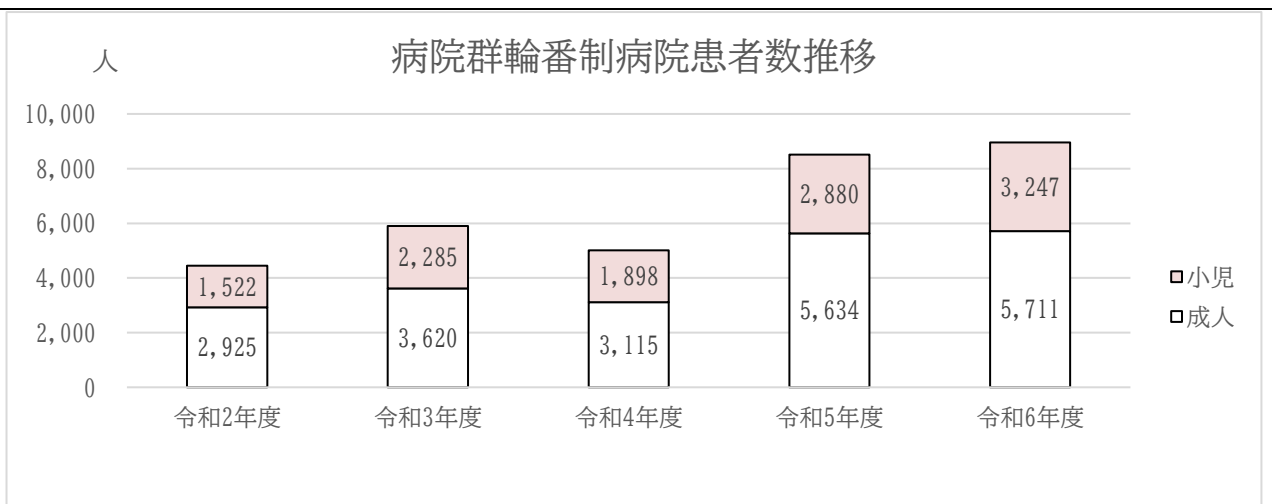
（単位：件）

小児の救急情報	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市民からの 問合せ件数	876	975	1,063	1,216	1,203

事業名		産婦人科開設支援事業		1132-02	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	4,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	4,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		特に整備が必要な分娩を扱う産婦人科及び救急医療を担う救急科の市内開設を促進し、市民がより安心できる医療環境を整備する。			
事業の概要		新たに分娩を扱う産婦人科又は救急医療を担う救急科を市内に開設しようとするものに対し、1,000 万円を上限に開設費用の 1/2 を市が補助することによって、市内開設の促進を図る。			
事業の実績・成果					
埼玉県済生会加須病院の開院に伴う埼玉県済生会との包括的連携に関する協定において、「済生会加須病院は、市民ニーズに対応した診療科目の確保に努める」としていることから、同病院に対し周産期医療の必要性について説明し、産婦人科の開設を要望した。					

事業名		看護師等育成確保支援事業			1132-03	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	949,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	949,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	810,000 円	—	
事業の目的		長寿化の進行に伴い、今後ますます医療を必要とする人の増加が見込まれるなか、地域医療を担う人材を確保し、市民がより安心できる医療環境を整備する。				
事業の概要		埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けて看護師等養成施設に就学していた学生で、卒業後、市内の医療機関等において正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き看護業務に従事しているものに対し、埼玉県に返還した奨学金の額の 1/2 を上限に市が助成する。				
事業の実績・成果						
市内の医療機関等における看護師や准看護師を確保するための支援制度として制定した「加須市看護師等育成確保支援事業補助金交付要綱」の活用に向け、市ホームページ等で周知した。						
1 事業概要						
(1) 対象者						
・ 埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けている方、またはこれから貸与を受ける方						
・ 看護師等養成施設を卒業した日の翌日から 2 ヶ月以内に市内の医療機関で看護師の業務に従事し、正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き従事している方						
(2) 補助金額						
・ 上記対象者が埼玉県に返還した奨学金の額の 2 分の 1						
2 本事業の活用実績						
年度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象者数 (人)		0	1	0	1	1
補助実績 (千円)		0	540	0	540	810

事業名		初期・2次・3次救急医療支援事業			1133-01
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	124,540,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	124,540,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	124,494,000 円	—
事業の目的		医師不足などによる厳しい医療環境のなかで、地域の救急医療体制を確保し、医療に対する市民の安心感を高める。			
事業の概要		関係機関と連携し、救急医療を必要とする市民が、安心して医療を受けられる救急医療体制を整備する。 ・在宅当番医制の運営 ・救急病院の当直医確保への支援 ・東部北地区病院群輪番制の運営支援 ・埼玉東部消防組合との連携 ・救急医療体制推進協議会等での協議 ・公的病院救急医療等運営費の補助			
事業の実績・成果					
厳しい救急医療環境の中で、休日・夜間における初期（軽症）救急患者及び二次（重症）救急患者の受入態勢を維持することができた。					
1. 初期救急医療体制 … 救急医療支援事業、在宅当番医制					
(1) 救急医療支援事業					
内容		土曜日・日曜日・祝日の夜間において、救急医療体制の確保に必要な調整及び医師雇い入れ賃金の一部を補助（補助金額：14,300 千円）			
参加病院		市内3救急告示病院（中田病院、十善病院、西山救急クリニック）			
(2) 在宅当番医制					
内容		医療機関が当番制で休日診療を実施し、初期救急患者への対応を行う。			
委託先		北埼玉医師会（加須市内：市内の3救急告示病院（中田病院、十善病院、西山救急クリニック）、羽生市内：医師会会員の27医療機関）			
構成市及び負担金		加須市：2,731 千円、羽生市：1,313 千円 合計 4,044 千円			
実施日		加須医師会：中田病院；24 日、十善病院；24 日、 西山救急クリニック；24 日 合計 72 日 羽生市医師会：27 医療機関 合計 72 日			
実施日患者数		加須医師会：3,556 人 （中田病院；1,103 人、十善病院；828 人、西山救急クリニック；1,625 人） 羽生市医師会：2,078 人			
2. 二次救急医療体制 … 病院群輪番制病院、公的病院救急医療等運営費補助					
(1) 病院群輪番制病院					
内容		東部北地区（6市2町）の二次救急医療機関が連携して、輪番方式で休日・夜間等の重症患者の受入れを実施			
運営費補助金 （6市2町合計）		成人 34,960 千円、小児 34,960 千円 （計）69,920 千円 ※小児 34,960 千円のうち、16,801 千円は県補助金			
加須市負担金		成人 6,232 千円、小児 3,237 千円 （計）9,469 千円			
実施日（回数） 及び患者数		成人：437/437（実施率 100.0%） 5,711 人 小児：437/437（実施率 100.0%） 3,247 人			



(2) 公的病院救急医療等運営費補助

救急医療等の不採算部門を担う公的病院に特別交付税を活用した財政支援を行った。

補助額……済生会加須病院：36,000 千円

事業名	休日小児科診療事業			1133-02
担当課	いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04 衛生費	当初予算額	1,695,000 円	—
項	01 保健衛生費	最終予算額	1,695,000 円	—
目	01 保健衛生総務費	決 算 額	1,695,000 円	—
事業の目的	小児患者の重症化の予防と保護者の負担の軽減を図るとともに、軽症患者の集中により逼迫している小児第二次救急医療体制の緩和を図る。			
事業の概要	市内の小児科専門医が当番制で診療にあたる休日小児科診療体制を整備する。 【実施期間】 ①4月から10月の祝日 ②11月から3月の日曜、 祝日、年末年始 （元日を除く） 【診療時間】 午前9時～正午			

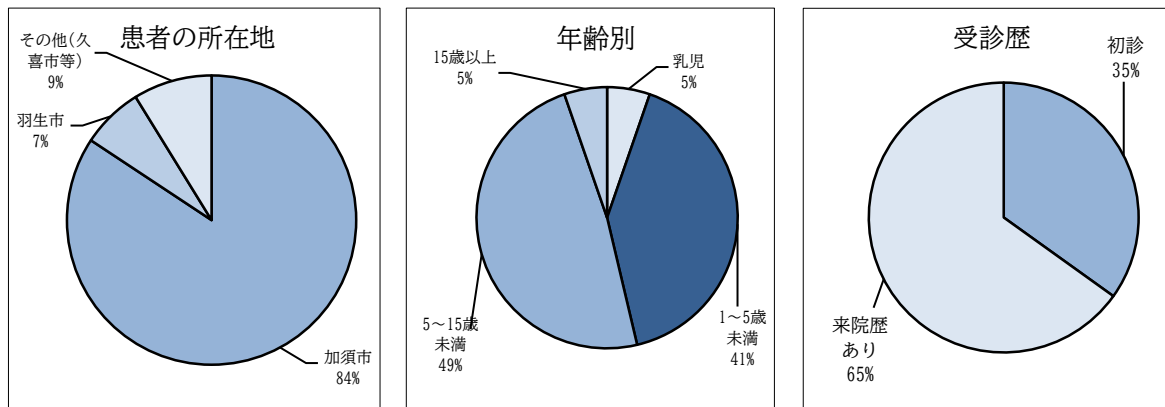
事業の実績・成果

多くの医療機関が休診となる4月から10月の祝日とインフルエンザやウイルス性胃腸炎などが流行する11月から翌年3月の日曜日・祝日・年末年始における小児科診療体制を整備し、多くの小児患者及び保護者の負担の軽減を図ることができた。

1 事業内容

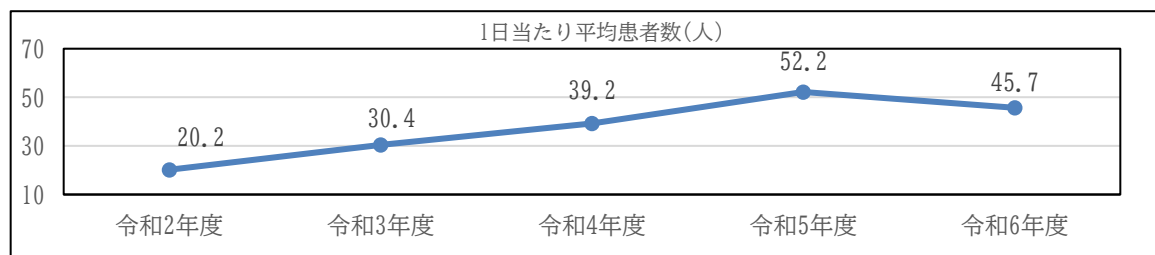
- (1) 実施日 令和6年4月～令和6年10月の祝日及び
令和6年11月～令和7年3月の日曜、祝日、年末年始（1月1日を除く）全42日
- (2) 診療時間 午前9時～正午
- (3) 医療機関 中田病院（小児科）、加藤こどもクリニック、つのだ小児科医院、
ともながこどもクリニック、福島小児科医院による当番制
- (4) 委託料 当番1回当たり40,000円、会議出席謝金1回当たり3,000円（合計1,695,000円）

2 患者の内訳（令和6年度）



3 患者数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実 施 日 (日)	41	39	39	40	42
患 者 数 (人)	827	1,187	1,528	2,087	1,918
1日当たり平均患者数(人)	20.2	30.4	39.2	52.2	45.7



事業名		特別休日歯科診療事業		1133-03		
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	175,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	175,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	175,000 円	—	
事業の目的		急病患者の歯科医療を確保するため、多くの歯科診療所が休診日にあたるゴールデンウィーク、年末年始などに歯科診療体制を整える。				
事業の概要		ゴールデンウィーク、年末年始に市内の歯科診療所が当番制で急患歯科診療を実施する。 診療時間：午前 9 時～正午				
事業の実績・成果						
ゴールデンウィーク、年末年始などの特別休日に急病患者に対する歯科診療機会を提供することができた。						
○受診者数			(単位：人)			
	月 日	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ゴールデンウィーク	5 月 3 日	0	3	0	3	2
	5 月 4 日	9	2	4	6	3
	5 月 5 日	2	4	1	4	0
年末年始	12 月 31 日	17	11	8	10	8
	1 月 1 日	0	7	1	3	10
	1 月 2 日	6	8	12	7	12
	1 月 3 日	2	15	14	2	3
計		36	50	40	35	38

事業名		小児科医による救急講座・子育て相談事業			1133-04
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	43,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	43,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	32,483 円	—
事業の目的		子育て支援の一環として、子育て中の方が、将来にわたり安心して医療を受けられる小児医療体制を構築する。			
事業の概要		小学生までの子どもを子育て中の保護者や養護教諭などを対象に、小児科専門医による講話や相談を行う講座を開催する。			
事業の実績・成果					
保護者が、こどもの急な病気やけがにも慌てずに対処できるように、市内の小児科専門医による救急講座・子育て相談を開催した。令和6年度は市民プラザかぞにおける対面形式での実施とした。					
1 参加者数		(単位：人)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加者数	—※1	650※2	690※3	1,208※3	68
※1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。					
※2 令和3年度は視聴回数を参加者数とした。					
※3 令和4,5年度は視聴回数と来場者数の合算とした。					

事業名		不妊治療事業			2111-04
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	6,540,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	6,540,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	6,280,000 円	—
事業の目的		結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、不妊や不育に悩む男女が不妊治療や不妊検査、不育症検査を受けることによる経済的負担を軽減することにより、不妊治療等を受けやすい環境を整備する。			
事業の概要		①不妊治療費助成事業は、不妊治療費用の一部（保険組合負担分や高額療養費等該当分を控除した自己負担額の 1/2、上限 15 万円）を助成。 ②早期不妊検査費助成事業及び不育症検査費助成事業は、検査時女性年齢 43 歳未満の男女が受けた不妊検査費用や不育症検査費用の一部（35 歳未満は上限 3 万円、35 歳以上 43 歳未満は上限 2 万円 1 回限り）を助成。			
事業の実績・成果					
不妊や不育症に悩む世帯に対し、経済的支援を行うことにより、不妊治療等を受けやすい環境を整備した。					
1 不妊治療費助成件数 (単位：件)					
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
不妊治療費助成件数		41	55	50	44
不妊治療による妊娠件数		16	29	25	29
【参考】 (単位：件)					
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
埼玉県不妊治療費助成事業 申請件数（加須市民）		87	101	133	97
※埼玉県不妊治療助成事業は令和 4 年度で廃止					
2 早期不妊検査費助成件数 (単位：件)					
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
早期不妊検査費助成件数		17	9	13	14
3 不育症検査費助成件数 (単位：件)					
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
不育症検査費助成件数		4	11	1	1
					3

事業名		妊産婦保健事業			2111-05	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	64,101,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	62,521,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	55,833,946 円	—	
事業の目的		結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、母体や胎児の健康の保持増進を図るとともに、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識を習得いただき、安心して出産できるよう支援する。				
事業の概要		妊婦健康診査（14 回分のうち 1 回目 14,070 円、2・4・5・7・8・9・13・14 回目は 5,010 円、11 回目 5,710 円、3 回目 8,010 円、6・12 回目 8,110 円、10 回目 8,810 円を助成）及び関連検査の費用と、新生児聴覚検査費用（令和 3 年度以降、上限 5,000 円）、産婦健康診査費用（令和 4 年度以降、上限 5,000 円）を助成する。また、令和 6 年度より低所得世帯の妊婦に対する初回産科受診料（上限 10,000 円）と多胎妊婦健康診査費用（1 回 5,000 円 5 回分まで）を助成する。パパママ学級を開催し、安心して出産できるよう支援する。				
事業の実績・成果						
妊娠届出をした妊婦の 98.3%※（521 人／530 人）が妊婦健康診査を受診したため、妊婦の健康を守ることに役立った。						
また、パパ・ママ学級参加者へのアンケートの結果、「参加して育児不安が減ったか」という質問に対して、回答者の 98.2%（54 人／55 人）が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答し、妊娠や出産に対する不安の軽減につなげることができた。						
1 妊娠届出等						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
妊娠届出(件)		584	608	579	594	530
母子手帳交付数(冊)		637	638	630	636	582
2 妊婦健康診査受診者数						(単位：人)
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
(公費負担)妊婦健康診査受診者数	1 回目	582	613	564	580	521
	2 回目	573	589	546	578	516
	3 回目	583	586	533	561	533
	4 回目	572	574	547	555	517
	5 回目	519	499	507	512	492
	HTLV-1 抗体検査	584	611	567	582	521
	性器クラミジア検査	587	612	563	576	516
6 回目から 14 回目		4,237	4,524	4,113	4,254	4,064
※前年度に妊娠の届出をされた方を含む。						
3 新生児聴覚検査費用助成件数						
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
助成件数		536	521	519	518	
4 産婦健康診査費用助成件数						
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
助成件数		492	521	522		
5 低所得世帯の妊婦に対する初回産科受診料助成件数						
		令和 6 年度				
助成件数		3				

6 多胎妊婦健康診査費用助成件数

	令和6年度
助成件数	0

7 パパ・ママ学級

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
パパ参加者数	47	68	80	61	63
ママ参加者数	65	81	86	74	67
計	112	149	166	135	130

事業名		避難者支援妊産婦保健事業			2111-06	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	364,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	364,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	88,830 円	—	
事業の目的		原発避難者特例法に基づき、東日本大震災により被災した者のうち、妊婦に対して妊婦健康診査受診等の支援を行う。				
事業の概要		妊婦健康診査（14 回分のうち 1 回目 14,070 円、2・4・5・7・8・9・13・14 回目は 5,010 円、11 回目 5,710 円、3 回目 8,010 円、6・12 回目 8,110 円、10 回目 8,810 円を助成）及び関連検査の費用と、新生児聴覚検査費用（令和 3 年度以降、上限 5,000 円）、産婦健康診査費用（令和 4 年度以降、上限 5,000 円）を助成する。（平成 24 年 1 月から実施）				
事業の実績・成果						
1 名の避難者妊婦の妊婦健康診査費用、新生児聴覚検査費用、産婦健康診査費用を支援し、妊娠期間を安心・安全に過ごしていただく一助となった。						
1 妊婦健康診査受診者数					(単位：人)	
妊婦健康診査受診		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	1 回目	0	0	0	1	0
	2 回目	1	0	0	0	1
	3 回目	1	0	0	0	1
	4 回目	1	0	0	0	1
	5 回目	1	0	0	0	1
	HTLV-1 抗体検査	0	0	0	1	0
	性器クラミジア検査	0	0	0	1	0
	6 回目から 14 回目	8	0	0	0	9
2 新生児聴覚検査費用助成件数						
		令和 6 年度				
助成件数		1				
3 産婦健康診査費用助成件数						
		令和 6 年度				
助成件数		1				

事業名		妊婦応援事業			2111-13
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	3,265,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	4,845,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	4,565,000 円	—
事業の目的		妊娠を祝福するとともに、出産準備に係る経済的な不安を軽減し、安心して出産を迎えられるよう支援する。			
事業の概要		妊娠届出による母子手帳を受ける妊婦に対し、胎児 1 子につき 5,000 円分の絆サポート券を支給する。			
事業の実績・成果					
妊娠届出をされた妊婦及び転入された妊婦に、胎児 1 子につき 5,000 円分の絆サポート券を支給し、出産準備に係る経済的な不安を軽減することができた。（令和 4 年度より実施）					
		令和 5 年度		令和 6 年度	
支給件数（件）		653		597	
届出（件）		604（双胎 12 組を含む。）		541（双胎 10 組を含む。）	
転入（件）		49		56（双胎 2 組を含む。）	

事業名		出産・子育て応援事業			2111-14
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	73,800,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	79,808,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	68,481,091 円	—
事業の目的		すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境を整備し、妊婦・子育て世帯の孤立化のを防止を図る。			
事業の概要		【伴走型相談支援】妊娠届出時、妊娠 8 か月頃、赤ちゃん訪問時に妊婦や養育者と直接面談し、育児支援や地域との連携を図るための情報発信を行う。 【経済的支援】妊娠届出後に出産応援交付金として、妊婦一人につき 50,000 円、出産後に出生児一人につき 50,000 円を支給する。 対象は、令和 4 年 4 月 1 日以降に妊娠届出された妊婦および出生した児童と養育者			
事業の実績・成果					
【伴走型相談支援】 ・妊娠 8 か月頃にアンケートを送付し、回答結果により子育てに不安を感じている妊婦について面談を実施する等、子育て世帯の出産、子育てについて精神的負担の軽減に努めた。					
妊娠 8 か月アンケート送付件数及び返信数					
		送付数	返信数		
妊娠 8 か月目アンケート		524 件	483 件		
※令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 7 月 31 日が出産予定日の妊婦へアンケートを送付。 ※未返信者の主な理由は、転出や予定日前の出産、流産・中絶、海外へ帰国等。					
【経済的支援】 ・妊娠届出時に妊婦本人が保健師や助産師と面談することで出産応援交付金、出産後赤ちゃん訪問等で保健師や助産師と面談をすることで子育て応援交付金を支給している。伴走型相談支援にて妊婦や産婦の心理的負担、応援交付金にて経済的負担の軽減に寄与した。					
出産・子育て応援交付金の支給件数及び支給額					
		出産応援交付金	子育て応援交付金		
支給件数		531 件	571 件		
支給額		26,550,000 円	28,550,000 円		
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 1,672,000 円 ・翌年度へ繰越事業の内容 健康管理システム改修費（1,672,000 円） ・令和 6 年度から令和 7 年度へ繰り越す理由 令和 7 年度より「妊婦のための支援給付金」が実施されることに伴い、新制度に対応するためシステム改修費を計上したが、システム改修が年度内に完了できないことが判明したため、システム改修に係る費用を繰り越し、令和 7 年度に改修を実施する。					

事業名		こんにちは赤ちゃん事業			2112-01
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	3,277,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	3,277,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	2,944,052 円	—
事業の目的		結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、乳児家庭の孤立化を防ぎ、親子の健全な育成環境の確保を図る。また、産後うつ病を防ぎ、適切な養育の実施を確保する。			
事業の概要		生後4 か月までの乳児のいる全ての家庭に助産師、保健師が訪問し、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状態等を把握し、助言を行う。 また、未熟児訪問や、養育支援訪問（専門的相談・指導が必要な家庭訪問）を行う。			
事業の実績・成果					
産婦から提出された出生連絡票に基づき連絡し、生後4 か月までの乳児のいる家庭を助産師又は保健師が訪問した。出生連絡票の提出がない場合、連絡を行い訪問実施。 訪問により、乳児の発育・発達、健康状態を把握するとともに、母親（父親）の育児に対する相談を受け、育児不安の軽減に努めた。また、相談内容により必要に応じた市の母子保健事業へつなぐことが出来た。					
1 訪問件数		(単位：件)			
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
545	574	530	566	551	
※訪問件数については、前年度生まれの乳児訪問及び他市町村へ依頼した訪問も含む。					
2 令和6年度訪問状況		(単位：人)			
対象者(出生数－転出＋転入)		551			
訪問者数		547			
未訪問の内訳		面接等	3		
		病院入院中	1		
※対象者数は、令和6年4月1日から令和7年3月31日に出生した児。					
3 養育支援訪問（未熟児養育医療申請者、病院からの連絡等）					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
60	54	112	147	118	
※病院からの連絡は、養育支援連絡票及び令和4年度から産婦健康診査連絡票の送付あり。 ※訪問件数については、前年度生まれの乳児を含む。					

事業名		母子保健推進員訪問活動事業			2114-02	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	166,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	166,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	43,500 円	—	
事業の目的		地域における子育て支援を促進するため、母子愛育会の班員のうち、母子保健推進員として登録した者が、市民の見守り・声掛け訪問活動を実施する。				
事業の概要		愛育班員のうち母子保健推進員として登録した者が、受け持ち地域に住む全ての市民を対象に家庭訪問を実施する。そして、母子保健推進員と保健師が地域の健康問題を把握し、健康増進に取り組む。				
事業の実績・成果						
各地域の母子保健推進員が、それぞれの担当地域の市民宅を訪問した。 訪問し、声をかけることで地域のつながりの大切さを伝え、市民の孤立感を減らすことに尽力した。 また、訪問時に市の健康に関する資料や情報を直接提供することができた。						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
家庭訪問件数（件）		301	372	372	389	435
母子保健推進員数（人）		237	237	184	175	109
※ 母子保健推進員について、休会の地区愛育班が増えたことや愛育班員の負担軽減のため母子保健推進員の登録を取りやめた地区があったため人数が減少した。						

事業名		健康づくり地域交流事業			2114-04	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	1,337,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,337,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	1,331,272 円	—	
事業の目的		地域特性に合わせた交流の場の提供や、愛育班だよりを発行し、市民の心と体の健康増進を図る。				
事業の概要		遊びの広場（こどもを遊ばせながら、母親同士が集い合える場の提供）、三世代交流会等を開催する。また、愛育班だよりを発行する。				
事業の実績・成果						
遊びの広場・三世代交流会を実施した。愛育だよりについては、連合会で広報誌「あいいく」を作成、全戸配布し、愛育班活動が行われていない地域にも活動のPRを行った。						
1 遊びの広場：親子で遊べる場や友達づくりの場						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	開催回数（回）	0	0	9	24	28
	一般参加人（人）	0	0	153	372	450
2 三世代交流会：高齢者と親とこどもと一緒に遊び相互理解を深める場						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	開催回数（回）	0	0	2	4	5
	一般参加人（人）	0	0	153	328	365
3 愛育班だより：訪問により把握した健康問題をテーマに、各地区愛育班で発行						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	発行回数（回）	2	6	9	11	11
	発行部数（部）	3,400	46,760	54,950	49,965	57,630

事業名		乳幼児健診事業			2121-01	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	16,904,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	19,284,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	15,503,581 円	—	
事業の目的		親と子の自主的な健康づくりを推進するため、乳幼児の健診を実施し、乳幼児の健康の保持増進及び虐待予防を図る。				
事業の概要		乳幼児の身体計測、内科診察・歯科診察、保健相談、栄養相談、心理相談、歯科相談を実施する。				
事業の実績・成果						
乳幼児健診を行うことにより、乳幼児の発育・発達の遅れ、疾病等の早期発見が図られた。 また、未受診児については、未把握のないよう、再通知や訪問、電話等で状況把握し、リスクの軽減を図った。 令和6年度から1か月児健診の費用助成を開始した。						
1 乳幼児健診実績の推移						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3 ～ 4 か月児健	受診人数（受診率%）	482(96.2)	573(97.3)	588(98.3)	533(97.6)	563(96.7)
	健康管理上注意する者 （その者の割合%）	216(44.8)	245(42.8)	251(42.7)	276(51.8)	329(58.4)
9 ～ 10 か月児健	受診人数（受診率%）	499(97.5)	589(95.5)	617(97.2)	546(96.3)	569(96.1)
	健康管理上注意する者 （その者の割合%）	204(40.9)	227(38.5)	287(46.5)	289(52.9)	294(51.7)
1歳6 か月児健診	受診人数（受診率%）	660(94.6)	626(96.6)	602(95.3)	627(97.1)	568(96.8)
	健康管理上注意する者 （その者の割合%）	319(48.3)	321(51.3)	312(51.8)	356(56.8)	335(59.0)
2歳児健診	受診人数（受診率%）	627(94.1)	620(93.9)	636(94.9)	668(95.4)	593(94.4)
	健康管理上注意する者 （その者の割合%）	319(50.9)	284(45.8)	337(53.0)	398(59.6)	330(55.6)
3歳児健診	受診人数（受診率%）	762(95.5)	706(95.1)	649(94.3)	657(93.7)	651(96.0)
	健康管理上注意する者 （その者の割合%）	318(41.7)	286(40.5)	299(46.1)	330(50.2)	375(57.6)

2 乳幼児健診実績 (令和6年4月1日～令和7年5月31日現在)

	該当者 (人)	受診者 (人)	未受診者 (人)	受診率 (%)	異常なし (人)	健康管理 上注意す る者(人)	その割合 (%)
3～4 か月児 健診	582	563	19	96.7	234	329	58.4
9～10 か月児 健診	592	569	23	96.1	275	294	51.7
1歳6 か月児 健診	587	568	19	96.8	233	335	59.0
2歳児 健診	628	593	35	94.4	263	330	55.6
3歳児 健診	678	651	27	96.0	276	375	57.6

3 令和6年度未受診児の状況 (令和6年4月1日～令和7年5月31日現在) (単位：人)

	3～4 か月児 健診	9～10 か月児 健診	1歳6 か月児 健診	2歳児 健診	3歳児 健診
保育園(所)・幼稚園で受診	0	3	5	16	20
医療機関で受診	6	9	9	11	1
市外・海外在住	4	4	4	1	3
市の保健師による訪問・面接	9	7	1	7	3
合 計	19	23	19	35	27

4 1 か月児健康診査費用助成件数

	令和6年度
助成件数	209

事業名		親子歯科保健推進事業			2121-02
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,321,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,321,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	777,727 円	—
事業の目的		親と子の自主的な健康づくりを推進するため、親と子がむし歯、歯並び、歯周疾患について正しい知識を習得する機会を拡充する。			
事業の概要		2 歳児から就学前の幼児を対象とした市が実施する歯 LOW 教室、フッ素塗布			
事業の実績・成果					
・歯の健康について知識の普及を図り、フッ素塗布によるむし歯の予防に努めた。その結果、むし歯のない幼児の割合は、3 歳児健診では前年度の数値を下回ったが、2 歳児健診では前年度の数値から上昇がみられた。					
1 むし歯のない幼児の割合					(単位：％)
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
歯 LOW 教室	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2 歳児健診	98.4	93.9	98.1	96.3	98.5
3 歳児健診	87.5	86.2	92.4	92.4	92.0
2 3 歳児健診における歯みがき指導参加状況					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
健診受診者(人)	762	700	649	654	651
参加人数(人)	691	700	637	650	651
参加率(％)	90.7	100	98.2	99.4	100
3 フッ素塗布(歯 LOW 教室を含む)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数(回)	10	12	16	16	15
参加人数(人)	213	135	114	118	134

事業名		育児健康相談事業			2121-05	
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	422,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	422,000 円	—	
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	417,883 円	—	
事業の目的		親と子の自主的な健康づくりを推進するため、養育者の育児不安の軽減を図り、乳幼児の健全な発育発達を促す。				
事業の概要		乳幼児健康相談、訪問、面接、電話などにより、育児や発育・発達に関する相談を行う。				
事業の実績・成果						
・乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行うことで、子育て家庭の乳幼児健康診査後のフォローや育児不安の軽減、こどもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。						
1 乳幼児健康相談						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実施回数（回）	23	28	27	24	24
	実人数（人）	176	180	197	207	204
	延人数（人）	278	328	398	406	382
2 乳幼児に対する訪問、面接、電話の実施延べ件数						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	訪問実人数（人）	76	67	102	171	92
	訪問延件数（件）	128	145	185	244	178
	面接延件数（件）	105	136	154	201	190
	電話延件数（件）	1051	966	999	1173	971

事業名		幼児発達支援事業			2121-06
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	2,983,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	2,983,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	2,928,095 円	—
事業の目的		親と子の自主的な健康づくりを推進するため、幼児期の発達又は養育者の育児の不安などにより、育児支援が必要な養育者と子に対して支援を行う。			
事業の概要		ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のある幼児やこどもとの関わりに不安をもっている養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図る。 また、必要な幼児に対し医療機関への受診を勧め、幼児の特徴を知り、発達を促す関わりができるようにする。			
事業の実績・成果					
親子・育児教室では、ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のあるこどもや、こどもとの関わりに不安を持つ養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図るとともに、必要に応じて医療機関へ受診を勧め、発達を促すことができた。 また、ことばの相談では、ことばの遅れや発音等心配のあるこどもに対し、言語聴覚士による個別相談を行うとともに、必要に応じて医療機関への受診を勧め、言語発達を促すことができた。					
1 親子・育児教室					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）		50	60	60	60
参加延人数（人）		411	479	601	635
※ 加須地域は概ね3歳4か月までは親子教室、概ね3歳4か月以降は育児教室として、騎西・北川辺・大利根地域は年齢にかかわらず、親子教室として実施した。					
2 ことばの相談（言語聴覚士による相談）					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）		67	71	71	71
参加延人数（人）		597	676	588	598

事業名		親と子の食育事業			2121-07
担当課		すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	95,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	95,000 円	—
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	72,084 円	—
事業の目的		食に対する意識を高め、正しい食習慣の形成確立を目指し、将来の生活習慣病予防や健康づくりを推進する。			
事業の概要		講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝える。 乳児期：らくらく離乳食教室 学童期：わくわく食育クッキング その他公民館、小学校等への出前健康教育			
事業の実績・成果					
講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝え、各ライフステージにおける食事作りのポイントや注意点等の情報提供を行い、日常生活に反映できるよう支援した。					
1 らくらく離乳食教室					
生後4～9か月の子どもと保護者を対象に、口腔発達に合わせた離乳食のすすめ方及び食生活リズムについての講話・実演を通して、乳児の食に関する情報を伝えることができた。					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予定回数(回)	12	12	12	12
	実施回数(回)	9	12	12	12
	参加者数(人)	75	170	172	163
【令和6年度らくらく離乳食教室終了後アンケート】					
	項目	よく理解 できた	概ね理解 できた	あまり理解 できない	全く理解で きない
	回答割合 (%)	82.7	17.3	0	0
2 児童のための栄養学習					
主食・主菜・副菜をそろえた食事と地域の食材の紹介に関して、講話・実習及び試食を実施したことにより、参加者が食を通して人とのふれあいを体験し、食や健康の大切さを学ぶことができた。					
また、実習を行った児童とその保護者(28 家庭)に対して食に関するアンケートを実施(回収率96.4%)するとともに、学校の企画として実習した料理を各家庭で児童が中心となり調理する事後活動も実施した。アンケート等を通して、普段の食生活を振り返る機会を提供することができた。					
	日 時	実施場所	対象者	参加人数	講座名
	令和7年2月13日	北川辺西小学校 家庭科室	北川辺西小学校に通う児童とその保護者	29 人(児童 28 人、 保護者 1 人)	わくわく食育クッキング

事業名		がん検診事業		1111-07		
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	174,005,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	189,100,000 円	—	
目	02	予防費	決 算 額	184,341,900 円	—	
事業の目的		市民の病気を予防するため、各種がん検診等を実施し、病気の早期発見、早期治療を促す。				
事業の概要		各種がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）、胃がんリスク検診、B型及びC型肝炎ウイルス検診を実施する。 生活保護受給者への健康診査を実施する。				
事業の実績・成果						
受診率向上への取り組みとして、SNS等での受診勧奨、未受診者への再勧奨通知、集団検診のWEB予約、集団検診申込時に複数受診の勧め、加須市ピンクリボン運動を実施したことにより、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん検診で前年度より受診率が向上した。						
1 実施内容						
検診名		集団	個別	検診内容		
胃がん検診		○	○	胃部エックス線検査（集団検診） 胃内視鏡検査（個別検診）		
肺がん検診		○	○	胸部エックス線検査、喀痰検査（ハイリスク者）		
大腸がん検診		○	○	便潜血検査		
子宮頸がん検診		○	○	子宮頸部細胞診、HPV検査		
乳がん検診		○	○	乳房エックス線検査		
前立腺がん検診		○	○	P S A検査		
胃がんリスク検診		－	○	ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG 検査、血清ペプシノゲン検査		
B型及びC型肝炎ウイルス検診		－	○	HBs抗原検査 HCV抗体検査、HCV核酸増幅検査（中力価及び低力価と分類された検体に対して行う）		
健康診査（生活保護等）		－	○	身体計測、血圧、血液検査(脂質、血糖、貧血、肝機能等)、尿検査 *医師の判断により心電図		
2 実績						
(1)がん検診						
ア 胃がん検診						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者数（人）		35,820	72,182	72,543	72,809	72,839
バリウム検査	受診者数(人)	1,693	2,410	2,567	2,355	2,055
内視鏡検査	受診者数(人)	471	542	661	700	1,769
バリウム+内視鏡	受診者数(人)	2,164	2,952	3,228	3,055	3,824
	受診率（%）	12.0	5.1	5.9	6.0	6.9
バリウム検査	要精密検査者数（人）	164	207	149	178	27
	胃がん発見者数（人）	1	2	3	2	1
内視鏡検査	要精密検査者数（人）	82	87	115	87	184
	胃がん発見者数（人）	2	2	1	1	5

イ 肺がん検診

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者数（人）	35,820	72,182	72,543	72,809	72,839
受診者数（人）	4,879	6,144	7,006	7,240	7,784
受診率（％）	13.6	8.5	9.7	9.9	10.7
要精密検査者数（人）	235	243	264	197	234
肺がん発見者数（人）	3	4	5	2	3

ウ 大腸がん検診

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者数（人）	35,820	72,182	72,543	72,809	72,839
受診者数（人）	7,728	8,350	8,951	9,077	9,531
受診率（％）	21.6	11.6	12.3	12.5	13.1
要精密検査者数（人）	553	507	543	533	556
大腸がん発見者数（人）	21	18	20	27	18

エ 子宮頸がん検診(妊婦健診を除く。)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者数（人）	24,401	47,361	47,571	47,601	47,592
受診者数（人）	4,137	4,515	4,856	5,021	5,448
受診率（％）	26.3	12.9	13.9	14.6	15.6
要精密検査者数（人）	54	47	51	59	74
子宮頸がん発見者数（人）	2	2	3	3	0

オ 乳がん検診

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者数（人）	21,455	36,724	36,906	37,014	37,045
受診者数（人）	2,007	2,349	2,544	2,291	2,586
受診率（％）	21.2	11.7	13.1	12.9	13.0
要精密検査者数（人）	134	159	211	127	115
乳がん発見者数（人）	11	11	18	8	11

カ 前立腺がん検診

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者数（人）	13,134	27,401	27,666	27,985	28,132
受診者数（人）	2,386	2,599	2,899	2,794	3,162
受診率（％）	18.2	9.5	10.5	10.0	11.2
要精密検査者数（人）	131	162	220	148	179
前立腺がん発見者数（人）	9	13	20	19	20

キ 胃がんリスク検診

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者	40歳、 41～45歳で受診 歴がなく希望する 者	40歳、 41～45歳で受診 歴がなく希望する 者	40歳、 41～45歳で受診 歴がなく希望する 者	40歳、 41～45歳で受診 歴がなく希望する 者	40歳、 41～75歳で受診 歴がなく希望する 者
受診者数（人）	79	92	71	61	442

※ 「対象者数(人)」の算出方法は令和3年度から変更となる。令和2年度までは「人口-就業者数+農林水産業従事者数」であったが、令和3年度からは年齢別対象者全てを母数とする。

※ 胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診における「受診率(%)」の数値は、県報告値（（「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100）とする。

※ がん発見者数は、精密検査実施医療機関から年度を越えて結果が報告されるため、人数は増加する場合がある。

(2) B型及びC型肝炎ウイルス検診

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数(人)	151	134	138	142	504
要精密検査者数(人)	3	3	0	2	1

(3) 健康診査(生保健診等)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者数(人)	767	675	723	735	746
受診者数(人)	79	64	65	63	90

事業名		骨粗しょう症予防事業			1111-10
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	2,006,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	2,358,000 円	—
目	02	予防費	決 算 額	2,166,332 円	—
事業の目的		要介護の主な原因となる骨折を招く骨粗しょう症予防のため、骨粗しょう症検診を実施し、早期から骨量減少への対策を行う。			
事業の概要		健康増進法に基づく節目年齢（40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、60 歳、65 歳、70 歳）の女性を対象に骨粗しょう症検診、節目以外の方を対象に骨健康度測定を実施する。			

事業の実績・成果

厚生労働省の健康づくり運動において、令和6年度より「第5次国民健康づくり～健康日本21(第三次)～」が開始。その中で取り入れられた新たな視点のひとつに「女性の健康」が明記され、「骨粗しょう症検診受診率の向上」が設定されたことを受け、令和6年度より「骨密度測定」から「骨粗しょう症検診」へ事業名を変更。また、対象者も20歳以上の市民としていたところ、健康増進法に基づく節目年齢(40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳)の市民の女性へ変更し実施した。

対象者が自身の骨密度を知ること、骨粗しょう症の予防に対する意識づけを行うことができた他、測定から検診となったことに伴い判定の精度があがったことで、より具体的な事後指導につなげることができた。

【骨粗しょう症検診】

事業名	骨密度測定				骨粗しょう症検診
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施回数(回)	12	13	15	13	12
受診者数(人)	1,027	1,247	1,304	1,278	884

令和5年度まで対象であった節目年齢以外の女性及び男性に向けて「骨健康度測定」を実施し、各地域の健康まつりにて測定の機会を提供した。

【骨健康度測定】

地域	加須	騎西	北川辺	大利根	合計
実施会場	加須市民体育館	騎西総合体育館 (ふじアリーナ)	北川辺文化・学習 センター(みのり)	大利根健康福祉 センター	659
測定者数(人)	306	76	126	151	

事業名		健康相談事業			1111-15					
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越					
款	04	衛生費	当初予算額	205,000 円	—					
項	01	保健衛生費	最終予算額	205,000 円	—					
目	02	予防費	決 算 額	173,473 円	—					
事業の目的		市民の病気を予防するため、健康相談を実施し、健康の保持増進及び生活習慣病予防に努める。								
事業の概要		高血圧、脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症、女性の健康、病態別（肥満、心臓病など）から重点課題を選定し、健康相談を実施する。								
事業の実績・成果										
・健康相談のアンケート結果から、自分や家族の体の状態や生活習慣の改善点、健診を受ける必要性について「分かった」「やや分かった」と答えた方が98.4%であったため、相談者に健診受診の必要性や生活習慣の改善点を指導することができた。										
1 重点健康相談（歯周疾患、骨粗しょう症、高血圧、糖尿病、脂質異常症）										
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
実施回数(回)	18	19	20	19	16					
相談件数(件)	518	494	408	407	224					
※令和6年度内訳 224 件（歯周疾患 15 件、骨粗しょう症 64 件、高血圧・糖尿病 115 件、脂質異常症 30 件）										
※令和5年度まで骨密度測定と同日に健康相談を実施していたが、令和6年度より骨粗しょう症検診の結果送付後に健康相談を実施している。										
2 総合健康相談										
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
実施回数(回)	392	30	32	29	21					
相談件数(件)	437	58	35	156	240					
【種類別実施内訳】										
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実施回数 (回)	相談件数 (件)	実施回数 (回)	相談件数 (件)	実施回数 (回)	相談件数 (件)	実施回数 (回)	相談件数 (件)	実施回数 (回)	相談件数 (件)
保健センター健康相談※	13	35	8	28	—	—	—	—	—	—
医療診断センター健康相談※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
出前健康相談	0	0	0	0	1	3	1	3	0	0
健康まつり健康相談※	中止		中止		中止		3	122	3	222
新型コロナウイルス相談※	337	337	—	—	—	—	—	—	—	—
その他（電話・来所）	42	65	22	30	31	32	25	31	18	18
合 計	392	437	30	58	32	35	29	156	21	240
※保健センター健康相談・医療診断健康相談は電話や窓口にて随時対応していくため令和4年度より廃止。										
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により健康まつりが中止のため、令和2年度から令和4年度までは実施なし。										
※新型コロナウイルス感染症の相談は、令和3年度より当課での集計なし。										

事業名		がん患者ウェルビーイング支援事業（新設）			1111-33
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	0 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,050,000 円	—
目	02	予防費	決 算 額	398,131 円	—
事業の目的		在宅療養をする若年の末期と診断されたがん患者に対し、住み慣れた自宅等で自分らしく安心して日常生活を送れるよう、また、がん治療に伴う外見の変化を補う。			
事業の概要		若年者在宅ターミナルケア支援事業助成金及びアピアランスケア支援事業助成金を交付する。			
事業の実績・成果					
(1) 若年者在宅ターミナルケア支援					
在宅療養をする若年（20歳以上40歳未満）の末期と診断されたがん患者が、住み慣れた自宅等で最期まで自分らしく安心して日常生活を送れるよう、在宅サービス（訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具の貸与）利用料の一部助成及び、意見書作成料の全額助成を行う事業を令和3年9月から開始した。					
また、令和6年4月より在宅サービスに福祉用具の購入を新たに追加した。					
(単位：件)					
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数		0	2	1	3
在宅サービス内訳	訪問介護	0	0	0	0
	訪問入浴介護	0	0	0	0
	福祉用具の貸与	0	2	1	3
	福祉用具の購入	—	—	—	0
意見書作成料		0	1	0	2
(2) アピアランスケア支援					
がん患者の心理的及び経済的負担の軽減を図るため、がん治療に伴う外見（アピアランス）の変化があった方に、ウィッグや乳房補整具などの購入費用の一部助成を行う事業を令和6年7月から開始した。					
(単位：件)					
区 分		令和6年度			
ウィッグ等		30			
乳房補整具等		5			
合 計		35			

事業名		生活習慣病予防事業			1112-01
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	2,738,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	2,738,000 円	—
目	02	予防費	決 算 額	2,479,145 円	—
事業の目的		市民の病気を予防するため、生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及し、市民が「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高める。			
事業の概要		生活習慣病予防講座の開催、健康手帳の交付、かぞ健康マイレージの実施等を通じ、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及する。また、受動喫煙対策として公共施設の敷地内禁煙を継続する。			
事業の実績・成果					
生活習慣病予防講座は、保健センターの他、公民館等の地域の会場へ出向く出前健康講座を実施した。講座内容は、高血圧、糖尿病などの生活習慣病や、骨粗しょう症、フレイルなどについて普及啓発を行い、生活習慣病の予防及びフレイル予防を図ることができた。					
1 健康手帳の交付		(単位：冊)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付数		4,215	4,544	5,216	4,955
					5,291
2 生活習慣病予防講座（健康教育）の開催					
(1) 令和6年度実施内容及び実績					
実 施 内 容		実施回数 (回)	参加延人数 (人)		
歯周疾患予防		7	67		
骨粗しょう症・転倒予防		14	919		
病態別（医師出前講座、栄養講座）		14	281		
一般（生活習慣病、運動、栄養等）		73	7,711		
計		108	8,978		
(2) 年度別実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）		87	104	109	109
参加延人数（人）		5,458	7,122	7,634	8,818
					8,978
3 かぞ健康マイレージの実施		(単位：人)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
応募者数		482	481	553	587
					554
4 健康まつりの開催					
(1) 令和6年度実施内容		骨健康度測定、血管年齢、血圧測定、コバトン ALK00 マイレージ案内、ピンクリボン運動等			
(2) 年度別実績		(単位：人)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度※1
参加人数		中止	中止	中止	3,155
					2,315
※1 加須地域中止					
※2 騎西・北川辺地域のまつりは中止（一部測定のみ実施）					

事業名		成人歯科保健推進事業			1112-12	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	3,305,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	3,305,000 円	—	
目	02	予防費	決 算 額	2,497,217 円	—	
事業の目的		高齢期における健康を維持し、食べる楽しさを享受できるように、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康の保持増進を図る。 また、8020 運動の普及啓発を推進する。				
事業の概要		・成人歯科検診（20 歳以上の方及び妊婦を対象）を歯科医院へ委託 ・8020 よい歯のコンクール健診（65 歳以上を対象に健診を実施し、80 歳以上で 20 本以上自分自身の歯がある方を表彰） ・歯科相談（市民を対象）				
事業の実績・成果						
成人歯科検診の実施により、口腔内の状態を把握し、歯周疾患等の早期発見・予防を図ることにつながった。また、8020 お達者歯科健康診査の実施により、8020 運動の普及啓発を推進できた。						
1 成人歯科検診（歯周病検診） 対象：20 歳以上の市民						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	検診人数（人）	430	419	511	421	379
	平均むし歯歯数（本）	11.4	11.9	11.8	11.7	10.5
	平均現存歯数（本）	26.6	26.8	27.2	26.7	26.2
2 8020 お達者歯科健康診査 対象：65 歳以上の市民						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	実施回数（回）	8	8	8	7	5
	参加人数（人）	29	25	40	33	20
	表彰人数（人）	22	20	18	23	12※
○ 表彰対象：80 歳以上（4 月 1 日現在）で、自分の歯を 20 本以上（治療した歯も含む）お持ちの方 ※ 表彰者地区別内訳：加須 6、騎西 1、北川辺 2、大利根 3						
3 歯科相談 対象：市民						
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	実施回数（回）	4	4	3	4	4
	相談件数（件）	13	13	11	17	15

事業名		こころの健康づくり事業			1113-01	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	925,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	925,000 円	—	
目	02	予防費	決 算 額	867,056 円	—	
事業の目的		市民が心身ともにより健康的な生活を送ることができるよう、心の健康づくりを推進し、精神疾患や自殺の予防を図る。				
事業の概要		精神科医師、公認心理師へ相談する機会を提供する。 また、自殺予防に関する啓発を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携し訪問指導を実施する。				
事業の実績・成果						
保健師による電話・面接・訪問相談のほか、精神科医師や公認心理師による相談を実施した。また、メンタルチェックシステム「こころの体温計」を市ホームページ等において周知し、こころの健康づくりへの普及啓発に努めるとともに、相談者のこころの健康づくりに役立てた。更に、自殺対策の一環として、ゲートキーパー研修を行った。						
1 精神保健相談（保健師による相談）			(単位：件)			
相談手段		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電 話		65	51	141	189	119
面 接		20	6	11	24	20
訪 問		7	1	5	16	8
2 こころの健康相談						
ア 精神科医師による相談						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数（回）		12	5	4	7	5
延べ人数（人）		7	7	6	11	8
イ 公認心理師による相談						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数（回）		30	25	21	21	29
延べ人数（人）		45	40	32	39	57
3 合同相談（公認心理師による相談）						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数（回）		8	9	14	14	6
延べ人数（人）		6	7	12	26	14
4 メンタルチェックシステム「こころの体温計」			(単位：件)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ホームページ アクセス件数		20,455	15,116	22,201	13,819	27,123
5 ゲートキーパー研修						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数（回）		2	2	2	2	2
延べ人数（人）		44	41	68	83	58
・公認心理師による講話：市内小中学校教諭を対象に1回、加須市社会福祉協議会の職員を対象に1回実施（内容は、ゲートキーパーの役割や傾聴の方法、相談機関の紹介等）。						

6 自殺予防週間及び月間についての周知

- ・広報かぞ 令和6年9月・令和7年3月号
- ・ホームページへの掲載
- ・図書館資料等を活用した行政情報PR活動 令和7年3月
- ・市内各駅に自殺対策ポスターの掲示、加須駅・花崎駅に自殺対策横断幕の掲示 令和7年3月

事業名		感染症予防対策事業		(新型コロナウイルス感染症予防対策事業から事業名称変更)		1121-01
担当課		いきいき健康医療課			現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	353,000 円		—
項	01	保健衛生費	最終予算額	353,000 円		—
目	02	予防費	決 算 額	244,860 円		—
事業の目的		感染症の拡大を可能な限り抑制することで、市民の生命を守り、健康被害を最小限にとどめる。				
事業の概要		・ 消毒液、マスク等の備蓄及び活用 ・ 予防方法の普及啓発				
事業の実績・成果						
新型インフルエンザ等の感染症発生に備え、保健センターの備蓄品の充足を図った。 さらに、毎週発表される感染症サーベランスを確認し、流行状況に応じて、ホームページで情報配信することにより予防啓発に努めた。						

事業名		新型コロナウイルスワクチン接種事業		1121-01	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	127,238,000 円	3,493,000 円
項	01	保健衛生費	最終予算額	481,541,000 円	3,493,000 円
目	02	予防費	決 算 額	393,592,365 円	1,097,962 円
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の罹患及び流行を防止する。			
事業の概要		新型コロナウイルス感染症の予防接種費用に対し、接種費用の一部を助成する。			
事業の実績・成果					
1 新型コロナウイルス感染症定期予防接種					
令和 6 年度より B 類疾病の定期接種として実施し、接種費用の一部を助成することにより、高齢者の疾病予防に努めることができた。					
(1) 対象者					
① 接種日現在で 65 歳以上の者					
② 接種日現在で 60 歳以上 65 歳未満の者で、心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者（身体障害者手帳 1 級相当）					
(2) 接種期間					
令和 6 年 10 月 1 日から令和 7 年 1 月 31 日					
(3) 接種費用					
令和 5 年度までの特別な供給体制から令和 6 年度からの定期接種への移行期における激変緩和措置として、国から新薬・未承認薬等研究開発支援センターを通じて、各自治体に対して接種 1 回当たり 8,300 円（税込）の助成が実施された。（単位：円）					
			自己負担	委託料	
自己負担あり			1,000	14,300	
自己負担なし ※			0	15,300	
接種不相当者			—	3,168	
※生活保護または中国残留邦人等支援を受けている方					
(4) 接種率					
		令和 6 年度			
接種者数（人）		8,406			
接種率（％）		23.9			
2 特例臨時接種後の予防接種健康被害給付金（国庫補助 10/10）		45,300,000 円			
3 特例臨時接種における国庫支出返還金		226,237,427 円			
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】		1,097,962 円			
・ワクチン接種		168,762 円			
・情報連携に係るシステム改修		726,000 円			
・医療廃棄物処理		18,700 円			
・ディープフリーザー等運搬		165,000 円			
・新型コロナウイルスワクチン接種事務費		19,500 円			

事業名		高齢者予防接種事業		1141-03		
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	94,327,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	93,534,000 円	—	
目	02	予防費	決 算 額	78,646,719 円	—	
事業の目的		対象疾患の罹患及び流行を防止する。				
事業の概要		高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌及び带状疱疹の予防接種費用に対し、接種費用の一部を助成する。				
事業の実績・成果						
1 高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種 高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部を助成することにより、高齢者の疾病予防に努めることができた。						
(単位：人)						
種 類	令和2年度 接種者数	令和3年度 接種者数	令和4年度 接種者数	令和5年度 接種者数	令和6年度	
					接種者数	対象者数
高齢者インフルエンザ	21,944	18,888	19,708	18,790	18,004	35,128
高齢者肺炎球菌	1,881	1,164	786	1,083	595	21,692
令和6年度接種率：高齢者インフルエンザ51.2%（全体）、高齢者肺炎球菌28.1%（65歳）						

事業名		後期高齢者健康診査事業			1141-05	
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	54,669,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	58,805,000 円	—	
目	02	予防費	決 算 額	55,037,404 円	—	
事業の目的		後期高齢者医療保険に加入する市民の病気を予防するため健康診査を実施し、受診者の健康維持に努める。				
事業の概要		後期高齢者を対象とした健康診査を実施する。				
事業の実績・成果						
・後期高齢者健康診査を実施することにより、生活習慣病の早期発見・重症化の予防、フレイル予防を図ることができた。後期高齢者健康診査の受診率向上への取り組みとして、未受診者への再勧奨通知や、集団検診申込時に受診勧奨を実施し、受診率が向上した。						
実績						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数（人）		3,657	3,716	4,242	4,515	5,209
個別健診（人）		3,329	3,272	3,703	3,893	4,197
集団健診（人）		328	444	539	622	701
みなし健診(人) ※						311
受診率（％）		25.9	26.0	28.5	28.7	31.0
※ 令和6年度受診率算定より、みなし受診の算定および除外者数の算定方法が変更となった。保健事業補助金にて助成している人間ドック受診者数をみなし健診として計上する。						

事業名		いきいき長寿保健事業			1141-26
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	9,860,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	9,860,000 円	—
目	02	予防費	決 算 額	6,732,397 円	—
事業の目的		医療専門職が主体となり、加齢に伴う心身機能の低下による、疾病や生活習慣病の重症化予防やフレイルを予防するための運動・口腔機能の向上や栄養状態の改善を行う。			
事業の概要		医療・介護のデータの分析をもとにした個別的支援と、ふれあいサロン等の通いの場を活用したフレイル予防の健康教室を行う。			
事業の実績・成果					
令和 2 年度から新規事業として、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に行い、疾病の予防や、生活習慣病の重症化予防、フレイル予防を推進するための取り組みを開始した。					
個別支援（ハイリスク支援）として、低栄養、口腔機能低下、生活習慣病重症化予防に該当する者を対象に、医療専門職（保健師、管理栄養士、歯科衛生士）が訪問や電話などによる保健指導を行った。その中で、生活に課題を抱えている 1 ケースを高齢者相談センターへつなぎ、継続支援につなげた。					
集団支援（ポピュレーション支援）として、ふれあいサロンへ出向き、フレイル予防の講話、フレイルチェック（後期高齢者の質問票など）を行い、フレイル予防の普及啓発を行った。					
また国保データベース（KDB）システムの健診、医療、介護情報から、健康課題の分析を行い、加須市の健康課題をまとめた。					
1 個別支援（ハイリスク支援）					
前年度後期高齢者健康診査受診者から対象者を抽出					
(1) 低栄養 (単位：人)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象者数	79	76	52	50	54
支援実施者実数	43	61	51	49	50
(2) 口腔機能低下 (単位：人)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象者数	実施なし	65	56	55	45
支援実施者実数		60	54	50	40
(3) 生活習慣病重症化予防 (単位：人)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象者数	28	24	56	79	54
支援実施者実数	20	19	55	75	48
2 集団支援（ポピュレーション支援）					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
開催回数（回）	中止	14	27	71	62
参加者数（人）		135	382	894	661

事業名	予防接種事業			2121-03
担当課	すくすく子育て相談室		現 年	前年度からの繰越
款	04 衛生費	当初予算額	291,772,000 円	—
項	01 保健衛生費	最終予算額	352,071,000 円	—
目	02 予防費	決 算 額	280,088,214 円	—
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、予防接種により対象疾病の罹患防止と免疫水準を維持することにより、流行を阻止する。			
事業の概要	定期予防接種（BCG、ポリオ、三種混合、四種混合、五種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、B型肝炎、ロタウイルス）、成人男性の風しん抗体検査及び風しん予防接種費用を全額助成する。 インフルエンザ予防接種費用の一部助成を生後6か月から中学3年生に実施する。			

事業の実績・成果

小児予防接種等の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。

1 定期接種実績

(単位：人)

種 類	令和2年度 接種者数	令和3年度 接種者数	令和4年度 接種者数	令和5年度 接種者数	令和6年度	
					接種者数	対象者数
BCG	641	569	617	541	570	570
三種混合	2	1	2	4	0	
不活性ポリオ	2	0	0	0	0	
五種混合					1,452	2,255
四種混合	2,566	2,427	2,383	2,429	836	2,255
二種混合	820	783	714	740	679	803
麻しん風しん混合1期	656	590	631	584	529	581
麻しん風しん混合2期	794	774	790	723	680	739
麻しん	0	0	0	0	0	
風しん	0	0	1	0	0	
日本脳炎	3,800	2,037	4,010	2,895	2,835	3,034
ヒブ	2,489	2,395	2,361	2,251	734	2,255
小児用肺炎球菌	2,443	2,393	2,365	2,264	2,201	2,255
子宮頸がん(定期接種)	50	192	442	466	633	6,948
子宮頸がん (キャッチアップ接種)			474	651	2,463	16,368
水痘	1,349	1,232	1,174	1,180	1,053	1,162
B型肝炎	1,803	1,755	1,769	1,650	1,622	1,674
ロタウイルス	500	1,217	1,193	1,136	1,131	1,169

※「風しん」は、成人を除く。

※「子宮頸がん」は平成25年6月から定期予防接種として継続するものの、接種を勧奨しないとされていたが、令和3年11月に積極的勧奨の差控えが終了した。キャッチアップ接種は令和4年度から開始された。

※「五種混合」は定期接種として令和6年度から開始された。

2 子宮頸がん予防接種の実施状況

平成25年度から令和6年度までの子宮頸がん予防接種の累計延べ接種者数

	累計延べ接種者数 (人)	対象者数(人)	接種率(%)
定期接種	2,287	6,948	32.9
キャッチアップ接種	3,586	16,368	21.9

※対象者数は、対象年齢の人口×3回(3回接種と仮定)

3 子宮頸がん予防接種(1回目)の累積接種者数と接種率

対象者の生まれた年度	子宮頸がん予防接種(1回目)の終了者数(人) ※1	対象者の生まれた年度別 対象者数(人) ※2	子宮頸がん予防接種(1回目)の累積接種率(%)
H9	61	536.8	11.4
H10	72	548.7	13.1
H11	109	500.3	21.8
H12	202	501.2	40.3
H13	181	496.9	36.4
H14	185	503.5	36.7
H15	189	486.3	38.9
H16	179	485.6	36.9
H17	209	472.2	44.3
H18	217	459.1	47.3
H19	223	474.5	47.0
H20	211	497.3	42.4
H21	151	444.5	34.0
H22	111	447.9	24.8
H23	71	460.9	15.4
	2,371	7,315.6	32.4

※1 平成25年度～令和6年度の定期接種(1回目)の累計接種者数(キャッチアップ接種含む)

※2 生まれ年度別対象者人口の平均(平成25年～令和6年の10月1日現在で比較)(人)

4 定期外接種(市独自の予防接種)実績

(単位:人)

種 類	令和2年度 接種者数	令和3年度 接種者数	令和4年度 接種者数	令和5年度 接種者数	令和6年度	
					接種者数	対象者数
インフルエンザ	518	363	454	430	3,958	11,864

※令和2年度から令和5年度までは接種対象者を中学校3年生としており、令和6年度より接種対象者を生後6か月から中学校3年生に拡大した。

5 風しん抗体検査等

予防接種法による風しんの定期予防接種を受ける機会が一度もなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性に対して、風しん抗体検査及び風しん予防接種クーポン券を送付した。

無料で抗体検査を受けることができ、また、その結果十分な量の抗体がない場合は、定期予防接種（無料）として接種することにより、風しんのまん延の防止を図ることができた。

(1) 風しん抗体検査及び風しん予防接種クーポン券送付

ア 対象者

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

イ クーポン券送付状況

送付年度	送付対象者	送付人数
令和元年度	昭和47年4月2日～昭和54年4月1日	5,986
令和2年度	昭和41年4月2日～昭和47年4月1日	4,736
令和3年度	昭和37年4月2日～昭和41年4月1日	2,816
令和4年度	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれたクーポン券の未使用者	10,110
令和5年度	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれたクーポン券の未使用者	9,651
令和6年度	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれたクーポン券の未使用者	165

(2) 風しん抗体検査

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受検者数（人）	989	1,200	580	425	513

(3) 風しん予防接種

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
接種者数（人）	170	239	87	81	101

【前年度からの繰越事業（繰越明許・継続費通次繰越・事故繰越）】

・なし

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 31,892,600 円

・翌年度へ繰越事業の内容

子宮頸がん予防接種費（31,892,600 円）

・令和6年度から令和7年度へ繰り越す理由

令和6年度でHPVワクチンのキャッチアップ接種が終了するため、未接種者へ勧奨したところ、HPVワクチン接種希望者が増加し、2月補正で接種委託料を計上したが、全国的にワクチンの供給不足となり接種者数が少なかった。国は、キャッチアップ接種期間を1年延長したことから、キャッチアップ接種にかかる費用を繰り越し実施する。

事業名		避難者支援予防接種事業			2121-04					
担当課		すくすく子育て相談室			現 年	前年度からの繰越				
款	04	衛生費	当初予算額	1,946,000 円		—				
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,946,000 円		—				
目	02	予防費	決 算 額	764,078 円		—				
事業の目的		原発避難者特例法に基づき東日本大震災により被災した者に対し、予防接種の支援を行う。								
事業の概要		定期予防接種（BCG、ポリオ、三種混合、四種混合、五種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、B型肝炎、ロタ）を全額助成、高齢者インフルエンザを4,107 円、高齢者肺炎球菌を5,404 円助成する。 また、小児インフルエンザ（生後6か月～中学3年生）予防接種費用を2,000 円助成する。								
事業の実績・成果										
東日本大震災により被災し、市内に避難している方に対する予防接種の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。										
定期予防接種等接種実績										
	接種者数	市町村別内訳								
		双葉町	大熊町	浪江町	飯舘村	川内村	いわき市	南相馬市	富岡町	檜葉町
BCG	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
二種混合	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
四種混合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五種混合	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0
麻しん風しん混合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本脳炎	7	5	2	0	0	0	0	0	0	0
ヒブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児用肺炎球菌	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0
水痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B型肝炎	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
子宮頸がん	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0
中学3年生インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	27	13	14	0	0	0	0	0	0	0
高齢者インフルエンザ	87	81	1	3	1	0	0	1	0	0
高齢者肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	87	81	1	3	1	0	0	1	0	0
合 計	114	94	15	3	1	0	0	1	0	0

事業名		動物適正飼養事業		4433-03	
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	794,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	794,000 円	—
目	02	予防費	決 算 額	724,368 円	—
事業の目的		狂犬病予防対策を推進するとともに、ペットの適正な飼育等の普及啓発を行い、快適な地域生活環境の保全を図る。			
事業の概要		犬の登録及び狂犬病予防注射の実施や狂犬病予防に向けた普及・啓発を行う。さらに、ペットの適正飼養についての広報活動及び指導を実施する。			
事業の実績・成果					
1 狂犬病予防集合注射					
(1)日時 令和6年 4月 8、10、12、14、16、18日 (6日間)					
(2)場所 各地域コミュニティセンター、体育館、総合支所等					
2 狂犬病予防注射勧奨通知の送付					
(1) 発 送 日 令和 6 年 12 月 5 日					
(2) 対 象 令和 5 年度狂犬病予防注射届出済かつ、令和 6 年度狂犬病予防注射接種済の届出が未済の犬 (662 頭) の飼い主					
(3) 対象人数 551 人					
【年度別狂犬病予防注射済頭数・接種率の推移】 (単位：頭・%)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
新規登録数	454	424	378	486	540
登録頭数	7,444	7,259	7,044	7,027	7,140
注射済頭数	4,766	4,782	4,525	5,243	4,822
接種率	64.0	65.9	64.2	74.6	67.5
3 適正飼育についてチラシ・広報紙による啓発					
・犬猫の糞尿迷惑看板の配布 令和 6 年度配布実績 311 枚					
4 ペット同行避難ガイドライン					
・「加須市ペット同行避難ガイドライン」を策定。					

事業名		環境美化活動団体支援事業			4121-01
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	653,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	653,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	358,482 円	—
事業の目的		環境美化の推進を図るため、市と市民等の協働により、公共施設における地域の植栽・清掃等の環境美化活動を促進する。			
事業の概要		花の植付や清掃活動などの環境美化活動に必要な物品、用具等の支給やボランティア活動保険への加入、活動団体の名称を表示したサインボードの設置などを行う。			
事業の実績・成果					
ボランティア団体や企業等との協働により、市が管理している道路や公園等の清掃や、花壇の植栽等の美化活動を行った。					
1 支援内容					
・美化活動を行うために必要な物品、用具等の支給又は貸与					
・緑化に必要な花の種・苗の支給					
・収集又は搬出が困難なごみの回収					
・活動団体の名称を表示したサインボードの設置					
・ボランティア活動保険への加入					
2 支給内容					
・軍手、鎌、ほうき等の清掃用具					
・花苗					
・ボランティア活動保険への加入					
3 ボランティア団体数					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団体数（団体）	38	39	38	38	40
4 美化活動の現状と効果					
清掃活動地域は、28 か所で実施され、継続的に清掃活動が行われた。また、15 か所の植栽活動地域では、主に春季と秋季の年2回、花苗等の植栽が行われた。					
5 広報作成					
年1回3月に、環境美化活動団体の活動を紹介する「美化新聞」を市が発行し、登録団体への周知及び市HPでPRに努めた。					

事業名		地域衛生協働事業			4122-04	
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	1,559,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,366,000 円	—	
目	03	環境衛生費	決 算 額	1,205,000 円	—	
事業の目的		地域の公衆衛生の維持・向上を図るため、地域住民との協働による地域の衛生活動を推進する。				
事業の概要		自治協力団体が地域の公衆衛生の向上等の為に行う害虫駆除で使用する防疫薬剤を配布する。また、薬剤散布に使用する機材の購入費補助を行う。				
事業の実績・成果						
1 自治協力団体（市全域）への防疫薬剤の配布						
自治協力団体（市全域）に対し、次表のとおり市が防疫薬剤を配布した。各地区において消毒機による衛生害虫の防疫活動が行われ、地域衛生の向上が図られた。						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団体数(団体)		20	20	20	20	18
回 数 (回)		105	120	102	123	100
2 環境衛生功労者感謝状の贈呈						
長年にわたり地域の清掃、ごみ等の分別指導や草刈り等の環境衛生活動を率先して実施し、地域の環境美化に尽力した方に感謝状を贈呈した。						
・ 対 象 環境衛生功労者 12 名・5 団体						
3 明るい社会づくりの会への活動事業費補助						
明るく住みよい社会づくりを図るため、加須市明るい社会づくりの会に補助金を交付し、次の事業が実施された。						
・ 会報配布、ノーポイ運動創作品展など						

事業名		清掃活動促進事業			4123-02
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	18,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	18,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	12,761 円	—
事業の目的		市民や事業者と市の協働による清潔な地域環境の実現を図るため、市民や事業者の生活環境の保全及び環境美化意識の向上に努める。			
事業の概要		・加須市コミュニティ協議会等の市民団体と協働により、まちの一斉清掃を実施する。			
事業の実績・成果					
コミュニティ協議会等の市民団体との協働により、市内の一斉清掃を行うことで、環境美化の促進と環境保全の意識高揚が図られた。					
一斉清掃はおよそ計画通りの実施となったが、渡良瀬遊水地クリーン作戦も実施した。この結果として、予算措置した渡良瀬遊水地クリーン作戦の傷害保険料及び清掃活動に伴う消耗品の支出が発生した。					
1 年間清掃活動の実績					
実施日		地域	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）	
令和6年5月26日（日）		北川辺	1,139	560	
令和6年6月23日（日）		加 須	中止	中止	
令和6年7月28日（日）		大利根	2,633	1,660	
令和6年11月10日（日）		騎 西	集計不能	2,690	
		北川辺	1,220	1,190	
令和6年11月24日（日）		加 須	3,691	4,060	
令和6年12月15日（日）		大利根	2,436	1,580	
令和7年3月2日（日）		騎 西	集計不能	1,480	
		北川辺	1,183	860	
令和7年3月9日（日）		加 須	中止	中止	
		大利根	2,572	2,560	
合 計			14,874	16,640	
2 渡良瀬遊水地クリーン作戦					
実施日		参加団体数	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）	
令和6年4月13日（土）		34 団体	357	220	

事業名		「浮野の里」自然環境保全事業			4212-01
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	3,569,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	3,569,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	3,439,800 円	—
事業の目的		自然環境との共生を推進するため、県の緑のトラスト保全地であり、優れた自然と歴史的景観が残る「浮野の里」を保全し、活用を図る。			
事業の概要		「浮野の里」公有地の管理委託や「さいたま緑のトラスト協会」ボランティアと連携した保全活動・保全管理を行うとともに、「浮野の里」自然観察会を開催し環境学習の場としても活用する。 また、県絶滅危惧種に指定されるトキソウの保護と増殖を図る。 (浮野の里面積：約 125 万㎡、うち令和 6 年度末時点の公有地面積：89,910 ㎡)			
事業の実績・成果					
1 保全活動及び保全管理					
(1)「浮野の里」環境保全活動 (単位：人)					
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
年間参加者数	1,191	1,444	1,332	1,160	1,150
(2)さいたま緑のトラスト協会ボランティアスタッフの保全活動への参加 11 人がボランティアスタッフとして登録し、「浮野の里・葦の会」の活動にあわせて定期的な保全活動を行った。					
(3)「浮野の里」公有地管理業務委託 地元の市民活動団体であり、浮野の里を熟知している「浮野の里・葦の会」に管理業務を委託し、展望台の清掃、クヌギ並木遊歩道の除草を行うほか、花菖蒲園内の除草（花菖蒲の育成・管理は当事業には含まれない。）や「ちりじ野」のヨシ刈り払いなど通年の維持管理を行った。					
(4)浮野の里ヨシ焼き 浮野の里の貴重な湿地環境の保全や害虫駆除のため、ヨシ焼きを実施した。 実施日：令和 7 年 1 月 26 日（日） 実施主体：浮野の里・葦の会					
(5)絶滅危惧種に指定される「トキソウ」の保護と増殖 トキソウ自生地での月 1 回のモニタリング調査や保護エリアの管理を行うことで、一定数のトキソウの開花を確認できた。また、トキソウの個体数が減少したときに備え、増殖試験を実施するなど、「トキソウ」の保護を図った。					
2 利活用					
(1)希少植物「ノウルシ（4 月）」や花菖蒲園の「ハナショウブ（6 月）」の周知 市ホームページ等で開花状況等の周知を行ったことにより、多くの来訪者が訪れた。					
(2)自然観察会の開催 貴重な自然環境や美しい歴史的景観を形成している「浮野の里」で、埼玉県環境アドバイザー及び元市内中学校校長を講師に迎え、小学生を対象に自然観察会を開催し、自然環境に対する意識と理解を深めた。 令和 6 年 11 月 9 日（土） 参加者 79 人（水生生物観察会） 参加者 66 人（昆虫観察会）					

事業名		「風の里」環境保全事業			4212-02
担当課		地域振興課（騎西）		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	20,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	20,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	12,662 円	—
事業の目的		見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割を果たす“ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全・活用に努める。			
事業の概要		・種足小学校3年生を対象にした自然観察会等の実施 ・施設の維持管理			
事業の実績・成果					
・見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割を果たす“ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全管理を行った。 貴重な自然環境を利用して、地元小学校の児童を対象に自然観察会を開催し、講師（埼玉県環境アドバイザー）より詳しい説明等を受け、参加者は生物多様性の大切さと地域の自然環境の現状を体感することができた。					
・風の里自然観察会 令和6年9月26日（木） 参加者14人（種足小学校3年生12人、教師2人）					





事業名		オニバス保護活用事業			4212-03	
担当課		地域振興課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越	
款	04	衛生費	当初予算額	599,000 円	—	
項	01	保健衛生費	最終予算額	599,000 円	—	
目	03	環境衛生費	決 算 額	491,587 円	—	
事業の目的		豊かな自然環境を保全するために、絶滅危惧種であるオニバス及び同所に自生する水生植物の保護育成を通じ、地域の活性化を図る。				
事業の概要		オニバスの保護に伴う除草などの一連の作業を地元のオニバス保護管理団体（オニバスの会）に委託し、実施する。 また、オニバスの会及び環境科学国際センター等の協力を得ながら、オニバスの保護育成に努める。				
事業の実績・成果						
絶滅危惧種であるオニバスの保護に努めるとともに、その活動を通じ地域の観光資源として活用を図るため、オニバスの会を中心に保護活動及びPR 活動に取り組んだ。						
1 オニバスの保護活動						
オニバス保護活動団体である「オニバスの会」にオニバス自生地及び試験田等の管理委託を行い、開花時期に照準を合わせ、管理作業及び景観づくりに努めた。						
(1) 除草作業 令和6年6月11日、7月30日、8月20日（計3回）						
(2) 試験田の耕耘 令和7年3月21日						
※オニバス開花時期等						
発芽確認 令和6年5月21日						
開花確認 令和6年7月29日						
2 オニバスのPR 活動						
(1) オニバス開花時期のガイド活動（チーフガイド2人、ボランティアガイド12人）						
令和6年8月中の毎週土・日曜日及びお盆期間（13日（火）・14日（水）・15日（木））						
午前8時～11時						
(2) オニバスフェスタ						
令和6年8月24日（土）午前7時～午前11時30分						
(3) 開花時期における来訪者数 (単位：人)						
来訪者数等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開花時期の来訪者数		1,079	425	1,078	1,336	1580
うちオニバスフェスタ来訪者数		中止	中止	中止	250	281





オニバスの花

オニバスガイドによる案内

事業名		一般廃棄物処理基本計画進行管理事業			4411-02
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	170,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	170,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		循環型社会の構築を目指すため、一般廃棄物の資源化・減量化・適正処理を総合的・計画的に推進する。			
事業の概要		・一般廃棄物処理基本計画の施策を計画的に推進するため、省令第1条の3の規定により毎年度の事業に係る実施計画を定める。 ・計画の進行管理を行うため、前年度の事業成果を取りまとめ、廃棄物減量等推進審議会に報告し意見を聴く。 (計画期間：令和4年度～令和13年度)			
事業の実績・成果					
令和5年3月に第2次加須市一般廃棄物処理基本計画が策定された後、施設整備及び施設の統合に向けた計画の詳細が定まっていなかったため、廃棄物減量等推進審議会を開催しなかった。					

事業名		5 Rの推進事業			4411-04
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	4,524,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	4,524,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	2,487,476 円	—
事業の目的		市民との協働により「日本一のリサイクルのまち」をめざし、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの発生抑制・再使用・再生利用等5 Rを推進し、市民の意識を高める。			
事業の概要		・ごみ処理施設見学会、講座等の開催やホームページ、広報等を活用した市民への啓発を実施する。 ・資源ごみ回収報償金を交付し市民のリサイクル活動を支援する。 ・外国人にも意識を高めてもらうよう、外国語版のごみの分け方・出し方を作成している。			
事業の実績・成果					
・ごみの減量化・資源化を図るため、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）、不要なものを買わない・もらわない（リフューズ）、修理しながら長く使い続ける（リペア）の5 Rの推進に関する啓発活動を行った。 ・「ごみの分け方・出し方」、ごみカレンダーについては、5 か国版（英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語）を用い、外国人の市民に対しても適正な分別を推進した。 ・小型家電の回収量の増加を図るため、平成30年7月から本庁舎、騎西総合支所、北川辺総合支所、大和根総合支所に回収ボックスを設置し、資源化の周知及び排出機会の拡大を行っている。					
1 1人1日あたりのごみ排出量の推移			(単位：g)		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1人1日あたりのごみ排出量	1,010	984	981	949	953
2 資源ごみ集団回収					
(1) 回収実績			(単位：kg、本)		
団体数	紙 類	布 類	生びん	金属類	資源化総量
48 団体	47,830	8,480	0	18,034	497,344
(2) 回収量・報償金の推移			(単位：t、円)		
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回 収 量	517	584	638	532	497
報償金額	2,584,395	2,921,430	3,188,830	2,660,050	2,486,720
3 外国人に対するごみ分別の啓発					
地元リサイクル協力会と連携し、共住する外国人を対象にごみの分け方・出し方を説明した。 令和6年6月20日（木） 12:30～ KJS 東京日本語学校にて実施（スリランカ国籍の対象者6名）					

事業名		バイオマス資源化事業			4411-05
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	29,025,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	28,748,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	24,838,693 円	—
事業の目的		ごみの資源化・減量化のため、草木類や生ごみ等のバイオマス（生物由来のもの）の資源化を推進する。			
事業の概要		・ 民間リサイクル業者と連携した草木類の資源化（チップ化して燃料へ）を実施する（緑のリサイクル事業）。 ・ 生ごみ処理容器等購入費補助金を周知及び交付する。 ・ 公園の剪定枝などをチップ化、堆肥化、木炭化する。また、体験会などを実施する。			
事業の実績・成果					
・ 剪定枝、家具類などの木くず類について、「緑のリサイクル事業」として民間処理施設でチップ化し、発電施設や製紙メーカーなどの工場で使用する電力用ボイラーなどの代替燃料として、資源化を図った。					
・ 草木類中間処理委託 (単位：kg、円)					
年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
資源化量	4,807,860	4,423,220	4,580,510	4,510,450	5,071,970
市委託処理量	2,275,070	2,033,570	2,219,900	2,178,180	2,307,990
委託費	20,071,449	17,895,416	19,583,221	19,209,728	20,310,312
・ 燃やすごみの減容のため、コンポスト・電気式処理機等を購入する方に対して、生ごみ処理容器の購入費を助成した。（平成 24 年 6 月 1 日から補助金額の統一・拡充）					
生ごみ処理容器購入費補助制度の利用状況			補助上限額：電気式処理機 40,000 円／1 基 コンポスト 4,000 円／1 基		
基数	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
コンポスト	45 基	68 基	50 基	41 基	45 基
電気式処理機	71 基	62 基	71 基	139 基	101 基
計	116 基	130 基	121 基	180 基	146 基
補助金額					
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
コンポスト	171,658 円	295,850 円	188,744 円	157,649 円	171,317 円
電気式処理機	2,388,159 円	2,262,318 円	2,798,723 円	5,326,833 円	3,946,104 円
計	2,559,817 円	2,558,168 円	2,987,467 円	5,484,482 円	4,117,421 円
・ 公園の管理作業で発生する剪定枝や枯葉などの資源を再利用するとともに、自然への理解、環境への認識深めるため、炭焼き体験会を実施した。					
					

事業名		食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業			4411-06												
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越												
款	04	衛生費	当初予算額	20,000 円	—												
項	01	保健衛生費	最終予算額	20,000 円	—												
目	03	環境衛生費	決 算 額	0 円	—												
事業の目的		食品ロス及びプラスチックごみを削減させ、ごみの資源化・減量化を推進するとともに、世界的な問題となっている海洋汚染の防止等を図る。															
事業の概要		・ 広報紙、HP、チラシ等により啓発活動を実施する。 ・ 食品ロス削減のため、食べきりかぞ協力店事業を実施する。 ・ プラスチックごみ削減のため、マイバッグ・マイボトル運動を実施する。 ・ 市役所内においても、プラスチック削減運動（マイバッグ・マイボトル運動）を実施する。															
事業の実績・成果																	
本来食べられるのに廃棄されてしまう食品ロスを削減するため、市民への啓発のほか、来店者からの希望する量のメニューの導入や食べ残しの削減の対応などの協力を行う「食べきりかぞ」協力店の登録やPRを進め、ごみの減量化を図った。また、海洋プラスチック汚染が問題視されているなか、プラスチックごみの排出抑制のため、令和2年7月からのレジ袋有料化に伴い、マイバッグの利用推進を図った。 1 プラスチックごみの排出抑制、削減の取組み (1) 市民向けにマイバッグの利用促進及びPR（市内公共施設にポスター掲示、チラシを配布） (2) 市役所内において、マイボトル・マイバッグ運動を推進（令和3年1月4日から） (3) 消費者庁が定めた食品ロス削減強化月間に、市内公共施設21施設に啓発ポスター2種類を掲示（令和6年10月） 2 加須市マイボトル利用推進キャッチフレーズ等掲載 マイボトルの利用をさらに促進させるため、令和4年度に募集した、マイボトル利用推進キャッチフレーズ・ロゴマークの、各最優秀作品をアイコン化したものを、ごみカレンダー、ごみの分け方・出し方等の市刊行物にも掲載し、マイボトル利用推進を図った。 加須市マイボトル利用推進シールデザイン  3 食べきりかぞ協力店事業 生ごみの減量や、食品ロスの削減に向けた下記の取組を1つでも実践する店舗を、「『食べきり“かぞ”』協力店」として登録し、その取組をホームページにて周知し、協力店への呼びかけを継続した。 取組実践項目 (1) 小盛、ハーフサイズメニュー等の設定 (2) 来店者からの要望に応じた量の調整 (3) 食べ残し削減の呼びかけ 例：宴会での食べきりの呼びかけ、注文受付時に適量注文の呼びかけ、食べきり協力店である旨の呼びかけ等 (4) 量り売り、ばら売り、少量パック等による販売 (5) ポスター等の掲示による啓発活動の実施 (6) その他生ごみの減量・食品ロスの削減につながる取組の実施 (単位：店) <table><tr><td>年 度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>登録店舗数</td><td>47</td><td>57</td><td>57</td><td>57</td><td>58</td></tr></table>						年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	登録店舗数	47	57	57	57	58
年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度												
登録店舗数	47	57	57	57	58												

事業名		リサイクル協働事業			4411-07
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	30,942,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	29,200,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	23,748,470 円	—
事業の目的		ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの分別や集積所の管理等について、地区リサイクル推進協力会を中心とした市民との協働を進める。			
事業の概要		・リサイクル推進協力会連絡会・役員会における地域間の情報共有、各地域協力会で実施する研修実施、各地区のごみ収納かご、カラスネット購入の支援を行う。 ・市内の地区協力会におけるごみ集積所管理等のリサイクル推進員の活動を支援する。 ・ごみ集積所整備に対する支援を行う。			
事業の実績・成果					
「日本一のリサイクルのまち」を目指し、ごみの分別・収集体制の統一を機に設立した市民団体であるリサイクル推進協力会を多方面から支援し、市民と行政の協働によるごみの減量化と資源化を図った。					
1 ごみ集積所整備の支援 9件 688,050円 ごみの集積所の新設、改修等について、各地区のリサイクル協力会に補助金を交付した。					
2 リサイクル推進協力会への支援 (1)各地域リサイクル推進協力会及び各地区リサイクル推進協力会交付金を交付した。 (単位：地区、円)					
地 域		地区協力会数	交付金額		
加須地域リサイクル推進協力会		75	13,591,093		
騎西地域リサイクル推進協力会		48	4,032,822		
北川辺地域リサイクル推進協力会		19	1,382,275		
大利根地域リサイクル推進協力会		39	3,381,381		
合 計		181	22,387,571		
(2)ごみ集積所の適正管理・不法投棄対応等に係る現地確認、指導等を行った。					
3 各地域リサイクル推進協力会・加須市リサイクル推進協力会連絡会の運営支援 (1)リサイクル推進員研修の実施 各地域リサイクル推進協力会長の判断において、リサイクル推進員研修会を実施し、リサイクル推進員の知識習得を図り、各地区リサイクル推進協力会におけるごみの排出を円滑にした。					
(単位：人)					
地 域		実施日	推進員人数	参加者数	
加須地域リサイクル推進協力会		令和6年5月20日、27日	378	161	
騎西地域リサイクル推進協力会		令和6年7月6日	222	45	
北川辺地域リサイクル推進協力会		マニュアル送付による実施	79	79	
大利根地域リサイクル推進協力会		令和6年6月8日	252	83	
合 計			931	368	
(2)加須市リサイクル推進協力会連絡会及び各地域リサイクル推進協力会役員会の開催 加須市リサイクル推進協力会連絡会及び各地域リサイクル推進協力会役員会を開催し、情報提供及び課題解決を図り、各協力会の問題の解決方法を協議した。					

事業名		資源物再生処理事業			4411-08
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	196,366,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	196,366,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	174,612,140 円	—
事業の目的					
循環型社会の構築を図るため、ごみの資源化・減量化を推進する。					
事業の概要					
・ スチール缶、アルミ缶、飲食用びん、ペットボトル、プラスチック類・ゴム製品、紙・布類、小型家電、布団の資源化を図る。					
事業の実績・成果					
・ 資源ごみ等のリサイクルを行うとともに、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、びん類・ペットボトルの再商品化を図り、ごみの資源化・減量化を推進した。					
・ リサイクル率の推移 (単位：%)					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
リサイクル率	38.4	37.4	37.7	37.6	38.5
※令和6年度までの目標値 43.2%					
・ 分別収集された資源ごみや焼却後の磁性物、クリーンセンターで分別した小型家電や布団、硬質プラスチック、粗大ごみ処理施設での破碎処理後の金属類などを再生事業者へ売払った。					
・ 再生資源売払代金（歳入） (単位：kg、円)					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
資源化量	4,071,482	3,839,213	3,567,005	3,332,393	3,181,005
売払代金	16,418,037	39,976,016	42,910,707	39,427,958	39,693,126
・ 容器包装リサイクル法に係る拠出金（歳入） 有償入札拠出金（ペットボトル） 14,426,725 円					
・ 資源ごみの中間処理の概要 (単位：kg、円)					
品 目	委託事業者		処理量	委託料	
びん類	(株)ウィズ ウェイスト ジャパン		94,180	3,418,734	
びん類	(株)山口商店		335,800	8,495,740	
びん類	三栄ガラス(株)		175,720	347,657	
プラスチック類 ゴム製品	(株)ダイヤ整環		2,097,370	113,048,243	
プラスチック類 ゴム製品	(株)ウィズ ウェイスト ジャパン		657,050	37,438,706	
ペットボトル	(公社)加須市 シルバー人材センター		192,190	6,745,818	

事業名		PCB廃棄物適正処理推進事業			4412-06
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	10,979,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	10,979,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	7,476,150 円	—
事業の目的		PCB 特措法に基づく適正な PCB 廃棄物等の保管・処理を実施する。			
事業の概要		市の保有する PCB 廃棄物の保有状況調査を適宜実施し、保管及び処分に係る計画・スケジュールを作成する。			
		また、当該計画等に基づき、各保有課と調整のうえ、法令に定める適正な保管・処分を計画的・効率的に実施する。			
事業の実績・成果					
1 PCB 廃棄物の適正保管及び処分					
(1)低濃度 PCB 廃棄物の処分					
6 施設で変圧器 13 基について適正に処理を行った。					
(単位：基)					
保管施設名		廃棄物の種類		数量	
加須市立騎西小学校		変圧器		3	
加須市立田ヶ谷小学校		変圧器		3	
加須市立鴻荃小学校		変圧器		2	
加須市立高柳小学校		変圧器		1	
加須市立種足小学校		変圧器		3	
騎西中央公園		変圧器		1	
(2)PCB 含有蛍光灯安定器の処分					
令和 5 年度末に国より処分方法が示され、適正に保管していた PCB 含有蛍光灯安定器について適正に処理を行った。					
(単位：基)					
保管施設名		廃棄物の種類		数量	
志多見コミュニティセンター		蛍光灯用安定器		6	
(3)微量 PCB 含有疑いのあるコンデンサー（使用中）の機器入替（処分）・濃度分析の実施					
(単位：基)					
使用施設名		廃棄物の種類		数量	含有結果
加須市立わらべ保育園		コンデンサー		1	非含有
加須市障害福祉サービス事業所 あけぼの園		コンデンサー		1	非含有
加須市市民総合会館		コンデンサー		3	非含有
騎西文化・学習センター		コンデンサー		1	非含有
土手排水機場		コンデンサー		2	非含有
加須流通業務団地調整池		コンデンサー		1	非含有
会の川親水公園		コンデンサー		3	非含有
(4)PCB 含有疑いのある変圧器（使用中）の濃度分析の実施					
(単位：基)					
使用施設名		廃棄物の種類		数量	含有結果
加須市立加須南小学校		変圧器		1	非含有
加須市立北川辺東小学校		変圧器		2	非含有
加須市立北川辺中学校		変圧器		2	非含有

(5) PCB 含有水銀灯用安定器の適正保管

公園の屋外照明灯の LED 交換修繕において、令和 6 年 12 月に PCB 含有を否定できない水銀灯用安定器 2 基が見つかったため、保管基準に従い、適正に保管するとともに、早期に処理施設への搬入荷姿登録、収集運搬業務委託及び処理委託契約を締結したが、当該廃棄物の処理施設は全国で 1 事業者のみであり、処理依頼が集中している状況から年度内の受入が困難なため、予算の繰越を実施した。

(単位：基)

保管施設名	廃棄物の種類	数量
道路補修事務所	水銀灯用安定器	6

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 574,200 円

・ 翌年度への繰越事業の内容

高濃度 PCB 廃棄物処理業務委託(道路補修事務所) (431,200 円)

高濃度 PCB 廃棄物収集運搬業務委託(道路補修事務所) (143,000 円)

・ 令和 6 年度から令和 7 年度へ繰り越す理由

処理依頼が集中している状況から年度内の受入が困難なため。

2 特別管理産業廃棄物管理責任者の設置

(1)新たに PCB 廃棄物の保管が必要となった施設や職員の人事異動等により特別管理産業廃棄物管理責任者が不在となった施設等の職員が、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが主催する講習会を受講し、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を取得した。

受講者：2 名

事業名		不法投棄防止事業			4433-04
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	964,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	964,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	862,190 円	—
事業の目的		地域の環境美化及び生活環境の保全を図るため、ごみの不法投棄を防止する。			
事業の概要		・ 関係課との合同パトロールを行い、ごみの不法投棄を防止する。 ・ 希望する市民へ看板を配布し、民地への不法投棄防止を支援する。 ・ 集積所への不法投棄ごみのうち、タイヤなどの処理困難物を回収し適正に処理する。 ・ 集積所への不法投棄防止対策を検討する。			
事業の実績・成果					
市民からの情報提供や日々の不法投棄防止パトロールにより、ごみ集積所の不適正排出、道路・河川等の不法投棄によるごみを回収し、処理困難物の適正処理を行い、生活環境の保全を図った。 また、不法投棄防止看板を作製し、希望する市民に配布した。					
1 不法投棄処理困難物処理				(単位：kg、円)	
委託先		処理困難物	処理量	委託料（手数料）	
(株)クワバラ・パンぷキン		タイヤ・ソファ・コンクリート・消火器等	1,770	23,010	
(株)ダイヤ整環		タイヤ・マットレス・コンクリート等	13,320	173,160	
(財)家電製品協会 (収集運搬事業者の運搬委託料含む)		特定家庭用機器	—	処理リサイクル手数料 240,320 運搬委託料 26,400	
合計				462,890	
2 不法投棄防止看板等の作成				(単位：枚及び本、円)	
作成物		作成数	購入費		
不法投棄防止看板		110	338,800		
看板取付用支柱		50	60,500		
合計		—	399,300		

事業名		生活環境緊急対策事業			4433-06
担当課		環境政策課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	249,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	249,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	96,052 円	—
事業の目的		市民の生活環境の保全を図るため、緊急性を要する事故・災害の発生時において、環境衛生面での迅速な対応を行う。			
事業の概要		油の流出などの水質事故への迅速な対応や床下浸水被害家屋等への消毒の迅速な実施などの生活環境上の緊急時の対応を行う。また、スズメ蜂などの害虫駆除業者の市民への紹介を行う。			
事業の実績・成果					
1 市民からの蜂駆除に関する問合せ・相談 駆除事業者等の紹介 90 件					
2 集中豪雨や台風の影響による床下浸水家屋の床下消毒の実施 令和 6 年度浸水家屋消毒件数 0 件					
3 水質事故への対応 対応件数 2 件					

事業名		広域利根斎場組合運営事業			5315-02
担当課		市民課		現年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	50,676,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	50,676,000 円	—
目	03	環境衛生費	決 算 額	50,676,000 円	—
事業の目的		生活環境の保全を図るため、「広域利根斎場」の円滑な管理運営を行う。			
事業の概要		火葬業務等を行う斎場（メモリアルトネ）の管理運営を行うため、運営費負担金を支出する。 【構成市】：加須市、久喜市、幸手市、宮代町			
事業の実績・成果					
1 広域利根斎場組合の施設の維持管理や運営業務が円滑に行われるよう負担金を交付した。					
負担金額の推移			(単位：円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
負担金額	37,887,000	43,176,000	49,570,000	51,211,000	50,676,000
負担金総額	110,000,000	125,000,000	145,000,000	150,135,000	151,000,000
※負担金総額は、久喜市・加須市・幸手市・宮代町の合計					
<参考>広域利根斎場組合決算額の推移			(単位：円)		
決算額	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
歳入	236,123,705	311,083,061	347,269,892	346,754,615	315,203,806
歳出	208,424,717	269,352,481	321,243,079	302,848,675	266,282,743
2 広域利根斎場組合施設使用状況					
広域利根斎場組合施設利用の推移（加須市分）			(単位：件)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
火葬室	1,188	1,257	1,364	1,342	1,393
待合室	1,321	1,390	1,306	1,332	1,354
葬祭場	492	444	462	450	459
霊安室	171	161	176	186	182
小動物	1,147	1,119	1,021	1,161	1,061
※令和4年度から1日の火葬受入件数を2件増やし、16件/日から18件/日に増枠					

事業名		加須保健センター管理運営事業			1111-28
担当課		いきいき健康医療課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	13,499,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	14,036,000 円	—
目	04	保健センター費	決 算 額	12,545,133 円	—
事業の目的		健康づくりの拠点である加須保健センターの施設設備を適切に維持管理するとともに有効活用を図る。			
事業の概要		老朽化の進んでいる加須保健センターの施設、電気、機械設備等を計画的に維持管理・修繕する。			
事業の実績・成果					
消防設備点検、自家用電気工作物管理、清掃業務、冷暖房保守及び警備等の委託による管理運営を行うとともに、コピー、電気、ガス、水道・下水道及び電話等の適正管理に努めた。 加須保健センターにおいて、下表の修繕及び工事を実施した。					
(単位：円)					
N0.	件名			執行済額	
1	事務室照明器具取替工事			36,300	
2	女子トイレロータンク部品交換			27,830	
3	1 階衛生器具撤去作業			33,000	
4	1 階会議室外壁雨漏り修繕			99,000	
5	トイレ自動水栓取付工事			1,254,000	
6	機能訓練室空調設備設置工事			1,749,000	
7	機能訓練室照明修繕			298,100	
8	駐車場区画線等修繕			434,500	
合計			3,931,730		

事業名		健康ふれあいセンター管理運営事業			1113-19
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	64,413,000 円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	64,690,000 円	—
目	05	健康ふれあいセンター費	決 算 額	59,829,912 円	—
事業の目的		市民の健康の保持及び増進、体力の向上並びに住民相互のふれあいと交流の場としての施設の管理運営を行う。			
事業の概要		・ 指定管理者による施設の管理・運営を実施し、衛生管理や設備の点検及び修繕を行う。 ・ 経営安定化のための集客事業を実施する。			
事業の実績・成果					
健康ふれあいセンターの管理運営を指定管理者の㈱クリーン工房に委託し、民間のノウハウを活用した運営を行った。 ※指定管理の期間は令和6年4月～令和9年3月までの3年間					
1 入館者数 入館者数は、90,707人で前年比112.7%となった。					
(単位：日、人)					
年度	営業日数	入館者数			
		大人	子供（小学生）	幼児（小学校就学前）	合 計
令和2年度	241	35,398	1,512	1,135	38,045
令和3年度	310	52,269	2,073	1,641	55,983
令和4年度	310	60,717	2,946	2,199	65,862
令和5年度	311	73,953	3,753	2,806	80,512
令和6年度	311	83,778	3,733	3,196	90,707
2 施設利用料金及び売上金（指定管理者の収入） 売上げは、60,206,844円で前年比111%となった。					
(単位：円)					
年 度	施設利用料金		売上金		合 計
令和2年度	14,881,000		11,142,441		26,023,441
令和3年度	21,839,000		15,133,682		36,972,682
令和4年度	25,704,200		18,280,159		43,984,359
令和5年度	31,859,000		22,298,990		54,157,990
令和6年度	35,883,800		24,323,044		60,206,844
3 施設の更新工事、修繕の状況、備品購入等					
(1)施設の更新工事 ・ 男女脱衣室空調機更新工事					
(2)施設の修繕 ・ 減圧式逆流防止装置修繕					
(3)備品購入等 ・ なし					

事業名		加須クリーンセンター管理運営事業			4412-01
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	15,155,000 円	—
項	02	清掃費	最終予算額	15,716,596 円	—
目	01	清掃総務費	決 算 額	14,267,151 円	—
事業の目的		処理施設の適切な管理運営のために、施設の安全管理及び周辺環境美化を推進する。			
事業の概要		・ 処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・ 周辺地域の生活環境の保全に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・ 施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化の PR を図る。			
事業の実績・成果					
加須クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。 また、周辺環境対策として地元周辺整備対策協議会へ補助金を交付し、会員の交流会として、グラウンドゴルフ大会や視察研修を行った。視察研修では、ガラス類等の再資源化処理施設において、資源化処理の工程などについての説明を受けることにより、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。					
1 円滑な受付、誘導 受付を会計年度任用職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。					
2 適切な施設管理 (1) 施設保守点検 ・ 施設警備保守 ・ 自動ドア保守点検 (2) 場内環境美化 ・ 場内樹木剪定委託					
3 周辺環境対策 周辺整備対策協議会の会員の方が、周辺ほ場の整地等を行うなど、周辺環境の向上を図った。					

事業名		大利根クリーンセンター管理運営事業			4412-02
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	12,831,000 円	—
項	02	清掃費	最終予算額	13,262,000 円	—
目	01	清掃総務費	決 算 額	10,069,078 円	—
事業の目的		処理施設の適切な管理運営のために、ごみの適正処理及び周辺環境美化を推進する。			
事業の概要		・ 処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・ 周辺地域の生活環境の保全に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・ 施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化のPRを図る（中止）。			
事業の実績・成果					
大利根クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。 また、周辺環境対策として地元環境対策協議会へ補助金を交付するとともに当該協議会との懇談会を開催することにより、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。					
1 円滑な受付、誘導 受付を臨時職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。					
2 適切な施設管理 (1) 施設保守点検 ・ 自家用電気工作物保安管理 ・ 消防設備点検 ・ 場内除草業務委託 ・ 浄化槽保守点検 (2) 場内環境美化 ・ 場内樹木消毒 ・ 高木剪定委託：樹高 10～15m級の高木剪定作業 ・ 伐採作業委託：樹高 15m以上の高木伐採作業					
3 周辺環境対策 地元環境対策協議会会長と随時打ち合わせを行い、令和7年2月11日（祝・火）には、協議会会員との懇談会を行った。					

事業名		ごみ収集事業			4411-03																																																																							
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越																																																																							
款	04	衛生費	当初予算額	584,428,000 円	—																																																																							
項	02	清掃費	最終予算額	585,067,404 円	—																																																																							
目	02	じん芥処理費	決 算 額	552,674,746 円	—																																																																							
事業の目的		生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともに、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみ集積所に出されたごみを適正に収集運搬する。																																																																										
事業の概要		・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源ごみ等を適正に収集運搬する。 ・ごみカレンダー等を配布し、ごみ収集日程やごみの出し方などを周知徹底する。 ・指定ごみ袋取扱店と連携した指定ごみ袋の安定供給とごみ処理手数料の円滑な徴収・収納を実施する。																																																																										
事業の実績・成果																																																																												
ごみに出されたごみを適正に収集運搬するとともに、指定ごみ袋制度、粗大ごみの戸別収集を実施し、生活環境の保全等を図った。 1 燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源ごみ等収集運搬業務委託 450,511,776 円 市民が集積所に出した燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ等の収集運搬業務及び粗大ごみ戸別収集業務を委託し収集を行った。 ○収集品目別・地域別委託料 (単位：円) <table> <tr> <th>収集品目</th><th>加 須</th><th colspan="2">騎 西</th><th>北川辺・大利根</th></tr> <tr> <td>燃やすごみ</td><td rowspan="2">128,990,400</td><td>A</td><td rowspan="7">A: 43,791,000 B: 40,761,600</td><td>41,322,468</td></tr> <tr> <td>プラスチック類・ゴム製品</td><td>B</td><td rowspan="3">34,715,868</td></tr> <tr> <td>燃やさないごみ</td><td rowspan="4">92,718,120</td><td colspan="3" rowspan="2">A</td></tr> <tr> <td>危険ごみ</td></tr> <tr> <td>粗大ごみ</td><td colspan="2" rowspan="2">B</td><td>29,488,800</td></tr> <tr> <td>びん・缶・ペットボトル</td><td>17,549,400</td></tr> <tr> <td>紙・布類</td><td>21,174,120</td><td></td><td></td></tr> </table> ※集積所のごみ収集を 12 月 30 日まで、また、祝日も収集を実施することにより、適切な市民サービスが継続されている。 <table> <tr> <th colspan="2">販売冊数</th><th>手数料徴収額</th><th>徴収委託料</th><th>登録店舗数</th></tr> <tr> <td>燃やすごみ</td><td>45ℓ</td><td>232,178 冊</td><td>58,044,500 円</td><td rowspan="9">188 店</td></tr> <tr> <td>燃やすごみ</td><td>30ℓ</td><td>150,247 冊</td><td>25,541,990 円</td></tr> <tr> <td>燃やすごみ</td><td>20ℓ</td><td>100,625 冊</td><td>11,068,750 円</td></tr> <tr> <td>燃やすごみ</td><td>15ℓ</td><td>92,398 冊</td><td>6,467,860 円</td></tr> <tr> <td>燃やさないごみ</td><td>45ℓ</td><td>13,132 冊</td><td>3,283,000 円</td></tr> <tr> <td>燃やさないごみ</td><td>30ℓ</td><td>6,657 冊</td><td>1,131,690 円</td></tr> <tr> <td>燃やさないごみ</td><td>20ℓ</td><td>4,679 冊</td><td>514,690 円</td></tr> <tr> <td>燃やさないごみ</td><td>10ℓ</td><td>4,274 冊</td><td>213,700 円</td></tr> <tr> <td>合計</td><td></td><td>604,190 冊</td><td>106,266,180 円</td></tr> </table> ・指定ごみ袋製造・配送業務委託料 55,107,030 円 ・指定ごみ袋受注及びごみ処理手数料出納業務委託料 6,652,800 円 3 犬猫等死体処理業務委託 1,724,250 円 市の管理する道路等の犬や猫等の動物の死体処理を適正に行った。(処理件数 98 件) 4 ごみカレンダー作成 令和 7 年度版を、令和 7 年 3 月に全戸配布した。						収集品目	加 須	騎 西		北川辺・大利根	燃やすごみ	128,990,400	A	A: 43,791,000 B: 40,761,600	41,322,468	プラスチック類・ゴム製品	B	34,715,868	燃やさないごみ	92,718,120	A			危険ごみ	粗大ごみ	B		29,488,800	びん・缶・ペットボトル	17,549,400	紙・布類	21,174,120			販売冊数		手数料徴収額	徴収委託料	登録店舗数	燃やすごみ	45ℓ	232,178 冊	58,044,500 円	188 店	燃やすごみ	30ℓ	150,247 冊	25,541,990 円	燃やすごみ	20ℓ	100,625 冊	11,068,750 円	燃やすごみ	15ℓ	92,398 冊	6,467,860 円	燃やさないごみ	45ℓ	13,132 冊	3,283,000 円	燃やさないごみ	30ℓ	6,657 冊	1,131,690 円	燃やさないごみ	20ℓ	4,679 冊	514,690 円	燃やさないごみ	10ℓ	4,274 冊	213,700 円	合計		604,190 冊	106,266,180 円
収集品目	加 須	騎 西		北川辺・大利根																																																																								
燃やすごみ	128,990,400	A	A: 43,791,000 B: 40,761,600	41,322,468																																																																								
プラスチック類・ゴム製品		B		34,715,868																																																																								
燃やさないごみ	92,718,120	A																																																																										
危険ごみ																																																																												
粗大ごみ		B		29,488,800																																																																								
びん・缶・ペットボトル				17,549,400																																																																								
紙・布類	21,174,120																																																																											
販売冊数		手数料徴収額	徴収委託料	登録店舗数																																																																								
燃やすごみ	45ℓ	232,178 冊	58,044,500 円	188 店																																																																								
燃やすごみ	30ℓ	150,247 冊	25,541,990 円																																																																									
燃やすごみ	20ℓ	100,625 冊	11,068,750 円																																																																									
燃やすごみ	15ℓ	92,398 冊	6,467,860 円																																																																									
燃やさないごみ	45ℓ	13,132 冊	3,283,000 円																																																																									
燃やさないごみ	30ℓ	6,657 冊	1,131,690 円																																																																									
燃やさないごみ	20ℓ	4,679 冊	514,690 円																																																																									
燃やさないごみ	10ℓ	4,274 冊	213,700 円																																																																									
合計		604,190 冊	106,266,180 円																																																																									

事業名		加須クリーンセンターごみ処理事業			4412-03
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	779,048,000 円	—
項	02	清掃費	最終予算額	777,093,000 円	—
目	02	じん芥処理費	決 算 額	700,096,477 円	—
事業の目的		加須・騎西地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。			
事業の概要		・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、ペットボトル等の中間処理・処分を実施する。 ・ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設、ペットボトル減容施設の運転及び維持管理を行う。 ・直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・最終処分場を維持管理する。 ・環境調査を実施する。 ・リサイクルフェアを実施する。			
事業の実績・成果					
処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域等から排出されるごみの処理等を、安定して行うことができた。					
1 燃やすごみの処理					
○燃やすごみ搬入量 (単位：t)					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
22,686	22,184	22,319	21,663	21,839	
燃やすごみの中から、草木類 51t、紙類 65t、布団類 9t、布類 7t を分別し資源化した。					
2 燃やさないごみ、粗大ごみ、危険ごみの処理					
○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む） (単位：t)					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
2,191	2,013	1,882	1,841	1,827	
○粗大ごみ搬入量 (単位：t)					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
132	123	120	109	111	
燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類 442t、小型家電 177t、金属類 408 t、プラスチック類 107t、硬質プラスチック 47t、びん類 38t、アルミ缶 5t、スチール缶 4t を分別し資源化した。また、危険ごみの中から、乾電池 34t、蛍光灯 5t を資源化した。					
3 ペットボトルの処理					
○ペットボトル処理量 (単位：t)					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
212	207	211	237	216	
処理量に、ペットボトルのラベル、キャップを含む。					
4 焼却灰等の状況					
○焼却灰等の処分の状況 (単位：t、円)					
焼却灰発生量(ばいじん含む)		処分の内容			
3,307		資源化	数量	委託料	
		ツネイカムテックス(株)	1,929	78,071,342	
		渡辺産業(株)	547	19,563,110	
		埋立処分	数量	委託料	
		(株)ウイズウェイストジャパン	584	20,220,005	
		グリーンフィル小坂 (株)	237	9,402,527	
		埼玉県環境整備センター	10	226,600	

※委託料に運搬費を含む。

○不燃残渣の処分の状況

(単位：t、円)

不燃残渣発生量	処分の内容		
11	埋立処分	数量	委託料
	埼玉県環境整備センター	11	219,975

※委託料に運搬費を含む。

○自己最終処分場の状況

(単位：m³)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
埋立量	0	0	0	0	0
残余容量	11,151	11,151	11,151	11,151	11,151

5 施設修繕の状況

<ごみ焼却施設>

- ・ごみ焼却炉内修繕
- ・灰出しコンベア及び2号炉バグフィルタ入口切替ダンパ修繕

<粗大ごみ施設>

- ・粗大ごみ処理施設供給コンベア修繕

<浸出水処理施設>

- ・浸出水処理施設機器点検整備委託

6 リサイクルフェアの実施

粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、7月にごみの再使用（リユース）を促進する「リサイクルフェア」を、また、11月に第11回環境フォーラム内において「ミニリサイクルフェア」を、2月に「本のリサイクルフェア」を開催した。

○リサイクルフェア及びイベント回収の状況

	第31回開催	ミニリサイクルフェア	本のリサイクルフェア
開催日	令和6年7月11日(木)～13日(土)	令和6年11月16日(土)	令和7年2月23日(祝・日)
開催場所	リサイクル品展示会場	北川辺文化・学習センター「みのり」	ごみ焼却棟3階大会議室
換算重量	710.6 kg	47.55 kg	894.3kg
来場者数	483 人	集計不能	373 人
引渡点数	51 点	10 点	3,684 点
バッテリー回収	10 個	なし	なし
パソコン回収	27 台	なし	なし
携帯電話回収	6 台	なし	なし

事業名		大利根クリーンセンターごみ処理事業			4412-04
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	230,516,000 円	—
項	02	清掃費	最終予算額	243,386,000 円	—
目	02	じん芥処理費	決 算 額	229,534,466 円	—
事業の目的		北川辺・大利根地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。			
事業の概要		・ 燃やすごみ等の中間処理・処分を実施する。 ・ ごみ焼却施設の運転及び維持管理を行う。 ・ 直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・ 環境調査を実施する。 ・ リサイクルフェアを実施する。			
事業の実績・成果					
処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域から排出されるごみの処理等を、安定して行うことができた。					
1 燃やすごみの処理					
○燃やすごみ搬入量 (単位：t)					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
6,036	6,050	6,064	5,992	5,905	
燃やすごみの中から、草木類 1,103t、紙類 44t、布類 4t、布団 0t を分別し資源化した。					
2 燃やさないごみ、粗大ごみ、危険ごみの処理					
○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む） (単位：t)					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
160	160	174	158	248	
○粗大ごみ搬入量 (単位：t)					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
303	250	176	176	183	
燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類 198t、小型家電 25t、金属類 44t、プラスチック類 113t、硬質プラスチック 9t、びん類 7t、アルミ缶 1t、スチール缶 1t、乾電池 1t、蛍光灯 1t を分別し資源化した。					
3 焼却灰等の状況					
○焼却灰等の処分の状況 (単位：t、円)					
焼却灰発生量(ばいじん含む)		処分の内容			
593		再資源化	数量	委託料	
		ツネイカムテックス(株)	402.97	13,298,010	
		メルテック(株)	60.02	3,235,078	
		埋立処分	数量	委託料	
		(株)アイズ ウェイストジャパン	129.90	5,572,710	
※委託料に運搬費を含む。					
4 施設修繕の状況					
・ ダスト搬送コンベア修繕：コンベアチェーン等の交換修繕					
・ 消石灰デリバリーホース交換修繕：粉体用ホースダクトの交換修繕					
・ ストーカー油圧ユニットオイル交換修繕：作動油とガスケットの交換修繕					
・ 2号炉内火格子取替修繕：2号炉内の後燃焼段4,5段目と乾燥段火格子の修繕					
・ 集塵機制御盤モニター（2号）交換修繕：タッチパネルの交換修繕					
・ 活性炭吸着塔修繕：吸着塔内の鋼材の腐食個所の修繕					
・ ダンピングシャッター緊急補修修繕：ダンピングシャッターの電源コード類の修繕					
・ 漏電緊急修繕：ごみ焼却施設3階電灯動力盤周辺に発生した漏電の緊急修繕					
・ 非常灯修繕：ごみ焼却施設内に設置してある非常灯の交換修繕					
・ 水中取水ポンプ緊急補修修繕：破損した水中取水ポンプの交換修繕					
・ 混和槽攪拌ブロワー緊急修繕：混和槽攪拌ブロワーの交換修繕					

- ・計量器操作ポストボックス緊急修繕：計量器操作ポストボックスの交換修繕
- ・2号炉煙道緊急修繕：腐食個所の修繕
- ・ごみ焼却炉内耐火物緊急修繕【R6.9補】：焼却炉(1号炉)の側壁煉瓦左右、ごみ供給ホッパー、パッチング補修等の緊急修繕

5 リサイクルフェアの実施

粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、ごみの再使用（リユース）を促進する「第32回リサイクルフェア」を開催した。

- ・開催日 令和6年11月14日（木）～16日（土）
- ・来場者数 543人
- ・申込者数 352人（うち、オンライン申込 93人）
- ・展示品 42点（うち、引き渡した展示品の数 41点）
- ・バッテリー等回収結果
バッテリー10個、パソコン53個、携帯電話30個 回収

事業名		ごみ焼却施設基幹改良事業			4412-07
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	17,292,000 円	—
項	02	清掃費	最終予算額	9,768,000 円	—
目	02	じん芥処理費	決 算 額	9,768,000 円	—
事業の目的		加須クリーンセンターのごみ焼却施設は稼働が 27 年が経過し、施設の老朽化が進行している。このため、令和 9 年度及び令和 10 年度に実施を予定している加須クリーンセンターごみ焼却施設の基幹改良工事に向けた準備として、各計画の策定及び調査等を行う。			
事業の概要		基幹改良工事に先立ち、改良工事に向けた準備のため長寿命化総合計画を策定する。			
事業の実績・成果					
加須クリーンセンターのごみ焼却施設は、令和 9 年度から令和 10 年度に基幹改良工事を行う予定としており、その財源として、循環型社会形成推進交付金の活用を見込み、当該交付金の申請の際に、長寿命化総合計画を策定することが求められている。 当該計画の内容は、日常の適正な運転管理と毎年の適切な定期点検整備、定期の延命化対策を実施することにより、施設の延命化、財政の支出の削減を図ることを目的としている。 ○計画概要 1 施設の概要と維持補修履歴の整理 2 施設保全計画の作成・運営 3 延命化計画の策定 この他、延命化工事スケジュール、保全スケジュールおよび基幹的設備改良工事の概要などの検討を踏まえた計画とした。 ○策定 令和 7 年 3 月 加須クリーンセンター長寿命化総合計画策定					

事業名		加須クリーンセンターし尿処理事業			4424-03
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	181,154,000 円	—
項	02	清掃費	最終予算額	183,109,000 円	—
目	03	し尿処理費	決 算 額	172,438,315 円	—
事業の目的		河川の浄化を図るため、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。			
事業の概要		・ 浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・ し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。			
事業の実績・成果					
処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を、安定して処理することができた。					
1 し尿及び浄化槽汚泥の処理					
○し尿処理量				(単位：kl)	
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
生し尿	660	590	635	603	553
浄化槽汚泥等	19,611	19,633	20,042	19,661	20,057
合計	20,271	20,223	20,677	20,264	20,610
2 焼却灰等の状況					
○焼却灰等の処分の状況				(単位：t、円)	
焼却灰発生量(ばいじん含む)		処分の内容			
62		再資源化	数量	委託料	
		ツネイカムテックス(株)	62	2,524,732	
※委託料に運搬費を含む。					
3 公衆衛生向上の支援					
し尿の適正処理及び悪臭防止を推進するため、し尿収集運搬許可業者 9 社で組織する加須市清掃組合に対し補助金を交付し公衆衛生向上に努めた。					
・ 悪臭防止対策（清掃車から発生する悪臭防止対策） 480,000 円					
・ し尿処理業務の円滑化対策 180,000 円					
4 施設修繕の状況					
・ 循環液ポンプ吐出バルブ修繕					
・ 曝気ブローア修繕					
・ 空調設備修繕工事					

事業名		大利根クリーンセンターし尿処理事業			4424-04
担当課		資源リサイクル課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	100,129,000 円	—
項	02	清掃費	最終予算額	100,129,000 円	—
目	03	し尿処理費	決 算 額	95,547,773 円	—
事業の目的		河川の浄化を図るため、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。			
事業の概要		・ 浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・ し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。			
事業の実績・成果					
処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を、安定して処理することができた。					
1 し尿及び浄化槽汚泥の処理					
○し尿処理量 (単位：kl)					
区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生し尿		502	521	546	475
浄化槽汚泥等		11,955	11,587	11,107	11,149
合 計		12,457	12,108	11,653	11,624
2 焼却灰等の状況					
○焼却灰等の処分の状況 (単位：t、円)					
焼却灰発生量(ばいじん含む)			処分の内容		
28			再資源化	数量	委託料
			ツネイカムテックス(株)	27.63	911,790
※委託料に運搬費を含む。					
3 施設修繕の状況					
・ 機械設備修繕工事：硝化槽曝気配管取替工事、前処理機修繕工事、メタノールポンプ修繕工事					
・ 機械室壁面補修修繕：し尿処理施設 機械室の壁面補修修繕					
・ 凝集槽・混和槽内面防食修繕：し尿処理施設 凝集槽・混和槽内面の防食修繕					
・ 計量器交換修繕：し尿処理施設 データ処理装置の交換修繕					
・ 非常灯修繕：し尿処理施設内に設置してある非常灯の交換修繕					

事業名		水道事業会計繰出事業			1343-07
担当課		水道課		現 年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	0 円	—
項	03	水道費	最終予算額	104,000,000 円	—
目	01	水道費	決 算 額	104,000,000 円	—
事業の目的		物価高騰の影響を受けている市民生活及び事業活動の支援として、全世帯及び全事業所（官公庁等除く。）の水道基本料金を免除することにより生じる水道事業会計の減収を補填し、水道事業運営の安定化を図る。			
事業の概要		4 箇月分（令和 7 年 2 月～令和 7 年 5 月検針分）の水道基本料金を免除することにより生じる水道事業会計の減収分を繰出金として適正に措置する。			
事業の実績・成果					
物価高騰に係る対応を実施した（巻末参照）。					